

ごみ減量化手法等効果検証調査
報告書

平成 22 年 3 月
三 重 県

【 目 次 】

I. 家庭ごみ組成分析調査	
1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査手順	3
(4) 分類項目	5
2. 調査結果	7
(1) 市町別分析結果	7
(2) 地域別分析結果	21
3. 分析調査詳細	31
(1) 品目別組成	31
(2) 可燃ごみに含まれる容器包装	58
(3) 分別状況	67
II. ごみ減量化施策とごみ減量化の効果の検証	
1. 検証の目的	71
2. 減量化施策の取組状況	71
(1) 三重県の取組	71
(2) 県内市町の取組	72
3. ごみ減量化施策と減量化の効果	75
(1) 家庭系ごみの有料化	75
(2) レジ袋の有料化	102
(3) 生ごみの再資源化	106
4. ごみ減量化施策の事例	113
(1) 廃食用油の資源化（バイオディーゼル燃料）	113
(2) 生ごみの資源化利用	116
(3) 剪定枝等の資源化	118
(4) 一般廃棄物（可燃ごみ）の資源化（炭化）	119

資料編

資料 1	家庭ごみ組成分析調査結果.....	120
(1)	伊勢市	120
(2)	名張市	123
(3)	菰野町	126
(4)	鳥羽市	128
資料 2	三重県のごみ量実績.....	129
(1)	ごみ総排出量.....	129
(2)	家庭系、事業系ごみの排出量.....	130
(3)	資源回収量.....	133
(4)	資源化量、最終処分量.....	134
資料 3	ごみ減量化施策と減量化の効果.....	138
(1)	家庭系ごみの有料化 集団回収量.....	138
(2)	家庭系ごみの有料化 資源回収量.....	140
資料 4	本調査対象の県内、県外市町のごみ分別状況.....	142

ごみ減量化手法等効果検証調査 報告書

平成 22 年 3 月

三重県環境森林部 ごみゼロ推進室

〒514-8570 三重県津市広明町 13 番地

TEL 059-224-3126

FAX 059-229-1016

I. 家庭ごみ組成分析調査

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、地域特性に着目して抽出した集積所に出された家庭ごみについて、その組成からごみ質や分別状況等の現状を把握し、前回調査（平成16年度実施）と比較をすることにより、ごみゼロ社会実現プランモデル事業の効果・検証を行うものである。

(2) 調査内容

ア 調査対象ごみ

可燃ごみ

イ 調査対象市町

伊勢市、名張市、鳥羽市、菰野町

基本的に前回調査と同様の地域とし、ごみゼロ社会実現プランモデル事業を実施している地域を中心に行った。

ウ 調査時期

市町	収集日	分析日	分析場所
伊勢市	11月12日(木) ～13日(金)	11月12日(木) ～13日(金)	伊勢市清掃センター
名張市	11月16日(月) ～17日(火)	11月16日(月) ～17日(火)	伊賀南部クリーンセンター
鳥羽市	11月26日(木) ～27日(金)	11月27日(金)	鳥羽市清掃センター
菰野町	11月5日(木) ～6日(金)	11月6日(金)	菰野町清掃センター

エ 検体数とその内訳

可燃ごみ (21 検体)

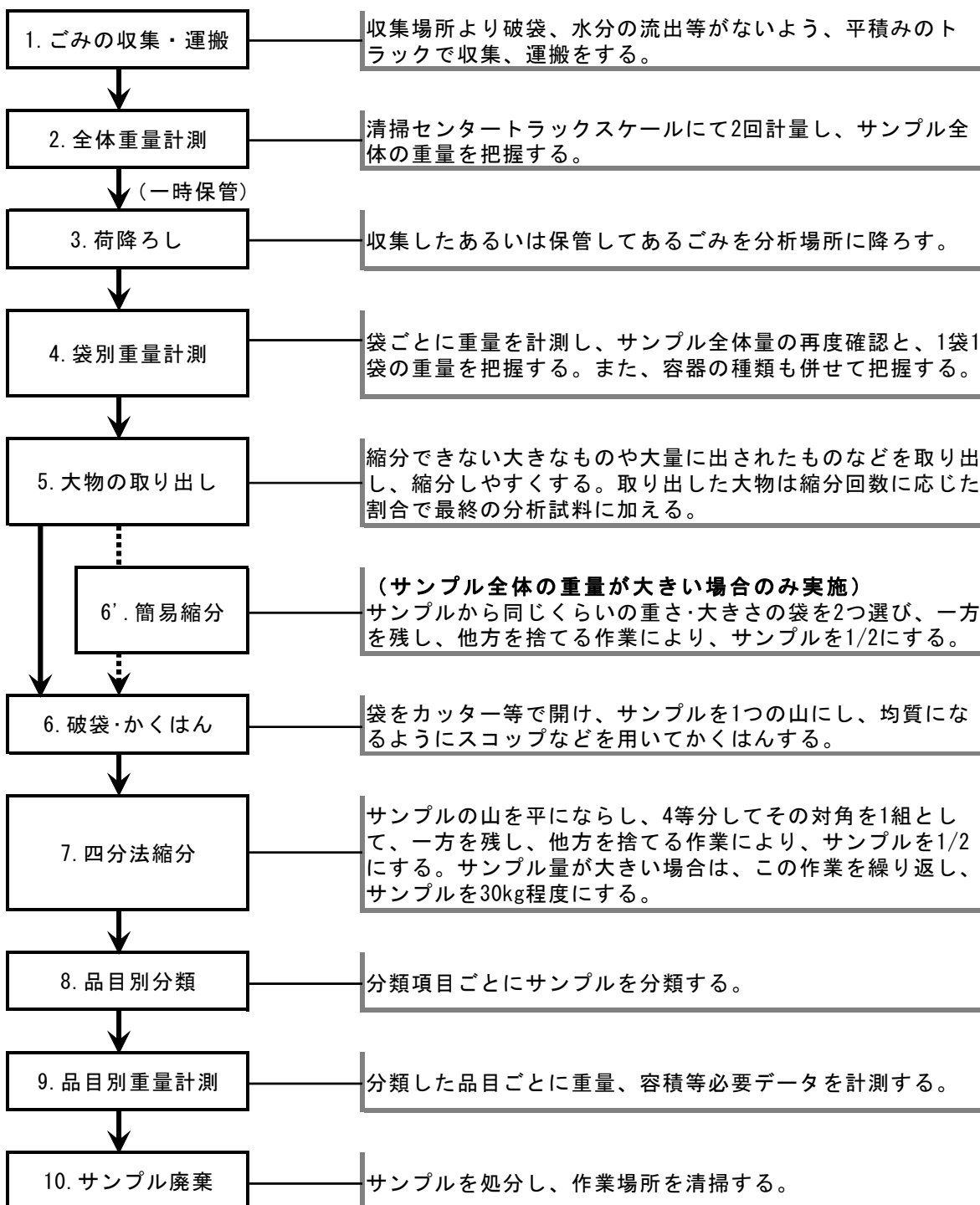
市町	住宅地域 (旧来)	住宅地域 (郊外)	農村(漁村) 地域	住商混在 地域	集合住宅 (家族世帯)	集合住宅 (単身世帯)
伊勢市	一之木※	鹿海町 A 柏町※ B	小川	本町※	船江	通町
名張市	朝日町	南百合が丘 A 桔梗が丘※ B	東田原	平尾	瀬古口	夏見
鳥羽市	横町	安楽島町	小浜町	幸丘		
菰野町	藩内	大羽根園	潤田			

注 1) ※印は前回調査(平成 16 年度実施)時に戸別収集地域であったが、現在は伊勢市一之木、本町の一部地域のみで戸別収集が行われており、その他はステーション収集地域である。また、本調査の収集対象地域では、伊勢市一之木、本町においても戸別収集ではなくステーション収集地域であった。

注 2) 「2 調査結果」以降において、伊勢市鹿海町は「A」、柏町は「B」、名張市百合が丘は「A」、名張市桔梗が丘は「B」と表記する。

(3) 調査手順

ア 調査手順フロー



イ 可燃ごみにおける一連作業



袋別重量計測



大物の取り出し



破袋



四分法縮分



品目別分類



品目別重量計測

(4) 分類項目

可燃ごみ

分類項目			代表品目
大分類	中分類	細分類	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	肉、魚、漬け物等のパックや缶詰で中身の半分以上が未利用のもの。野菜、卵、パン等ほとんど原型のまま裸で捨てられているもの
		調理くず、残飯	上記以外
	草木類	剪定枝	剪定枝、木の葉、刈り草等
		使い捨て用品	割り箸、ようじ等
紙類	容器包装	その他	木箱、麻ひも、コルク等
		ダンボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの
		紙パック	牛乳、ジュース等の紙パック (500cc、1,000cc)
		食料品容器	菓子箱等
		日用品容器	ティッシュ、石鹸等の箱
		その他容器包装	紙袋、包装紙等
	容器包装 (汚れのひどいもの)	内容物の付着した容器包装で汚れのひどいもの	
	容器包装以外	新聞紙	
		チラシ	折込広告、パンフレット等
		雑誌	週刊誌、月刊誌、ノート等
		書籍	単行本、新書本、文庫本等
		OA用紙	コピー用紙、伝票等
		OA用紙 (シュレッダー後)	
		雑紙	ダイレクトメール、はがき、封筒等名刺以上の大きさのあるもの
		汚れた新聞、チラシ	
		使い捨て用品 (ティッシュ等)	ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、紙ふきん、紙コップ、紙皿、使い捨てマスク等
		その他紙類	レシート、シール、写真、値札、トイレトペーパーの芯等
紙おむつ等		紙おむつ	乳幼児用紙おむつ、大人用紙おむつ
	生理用品		
繊維類	衣類等	Yシャツ、Tシャツ、ブラウス、下着、肌着、ズボン、Gパン、セーター、着物、ゆかた、背広、ジャンパー、ハンカチ、シート、タオル、タオルケット、毛布等で汚れの著しくないもの (リユース、リサイクルできる可能性の高いもの)	
	その他繊維類	座布団、カーペット、玄関マット、ぬいぐるみ、上記のうち汚れの著しいもの等	
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	飲料、醤油等のペットボトル
		その他のボトル	シャンプー、洗剤、調味料等のボトル
		チューブ類	マヨネーズ、歯磨き粉等のチューブ
		白色トレイ	発泡系トレイ (白色のみ)
		色付トレイ	発泡系トレイ (色・柄付き)
		持ち帰り弁当の容器	コンビニ弁当の容器、弁当屋使い捨て容器
		食料品の容器・袋	菓子パック、豆腐、ヨーグルト、カップめん等の容器。菓子、ラーメン等の袋
		日用品の容器・袋	衣類、トイレトペーパー、コピー用紙等の袋
		レジ袋(中身なし)	そのまま、ごみとして出されたレジ袋
		レジ袋(中身あり)	ごみを入れる中袋として使われたレジ袋
		その他プラスチック容器	ペットボトルのキャップ等
		その他プラスチック包装	ラップ、フィルム、果物の緩衝材やネット、錠剤包装等
		容器包装以外	使い捨て用品
	その他プラスチック用品	CDケース、歯ブラシ、ストロー、プランター、バケツ等のプラスチック製品	
金属類	容器	アルミ缶	飲料用、食料用アルミ缶
		スチール缶	飲料用、食料用スチール缶
		その他金属容器	スプレー缶、カセット式ガスボンベ等
容器以外		ハンガー、アルミホイール、安全ピン、クリップ等	
びん類		リターナブルびん	ビールびん、一升びん等
		無色雑びん	
		茶色雑びん	
		その他色雑びん	
その他	ごみ袋 (外袋)	飲料用以外のびん	薬品、化粧品等のびん等
		指定袋	ごみ袋として指定された特定の袋 (指定袋の自治体のみ)
		市販の袋 (透明、半透明)	市販のごみ袋 (特定の指定袋以外)
		レジ袋	ごみを排出する外袋として使われたレジ袋
	その他	その他	他の市町村の指定袋等
		ゴム・皮革類	かばん、くつ、ベルト、ゴム手袋等
		ガラス・陶磁器くず	窓ガラス、コップ、茶碗等の破片、ブロック、タイル等のがれき類
		土砂・残土・灰	園芸用土、焼却灰等
		ペット砂	樹脂製等
		ペット砂	紙製等
		蛍光管	
		電池	筒型乾電池、角型乾電池、ボタン電池、充電式電池、リチウム電池等
		体温計・温度計	
		危険物	農業・劇薬、中身の入っているスプレー缶、カセット式ガスボンベ等
		医療廃棄物	注射器、点滴用具、薬等
		製品廃棄物	木製家具等
		その他	いずれにも当てはまらないもの

また、「2 調査結果」以降における可燃ごみの紙類、プラスチック類、容器包装については、下表のように分類し、掲載している。

ア 紙類

容器包装	ダンボール
	紙パック
	食料品容器
	日用品容器
	その他容器包装
	容器包装(汚れのひどいもの)
使い捨て用品	ティッシュ等
	紙おむつ等
その他紙類	新聞紙
	チラシ
	雑誌
	書籍
	OA用紙
	OA用紙(シュレッダー後)
	雑紙
	汚れた新聞、チラシ
	その他紙類

イ プラスチック類

ボトル類	ペットボトル
	その他のボトル
チューブ類	チューブ類
発泡トレイ	白色トレイ
	色付トレイ
食料品容器等	持ち帰り弁当の容器 食料品の容器・袋
日用品容器等	日用品の容器・袋
レジ袋	レジ袋(中身なし)
	レジ袋(中身あり)
その他	その他プラ容器
	その他プラ包装

ウ 容器包装

紙製容器包装	ダンボール
	紙パック
	食料品容器
	日用品容器
	その他容器包装
	容器包装(汚れのひどいもの)
プラ製容器包装	ペットボトル
	その他のボトル
	チューブ類
	白色トレイ
	色付トレイ
	持ち帰り弁当の容器
	食料品の容器・袋
	日用品の容器・袋
	レジ袋(中身なし)
	レジ袋(中身あり)
	その他プラ容器
	その他プラ包装
	金属類
スチール缶	
その他金属容器	
びん類	リターナブルびん
	無色雑びん
	茶色雑びん
	その他色雑びん
	飲料用以外のびん

エ 資源物

ダンボール
紙パック
新聞紙
チラシ
雑誌
書籍
ペットボトル
アルミ缶
スチール缶
その他金属容器
リターナブルびん
無色雑びん
茶色雑びん
その他色雑びん

2. 調査結果

(1) 市町別分析結果

ア 品目別組成

(ア) 全体の組成

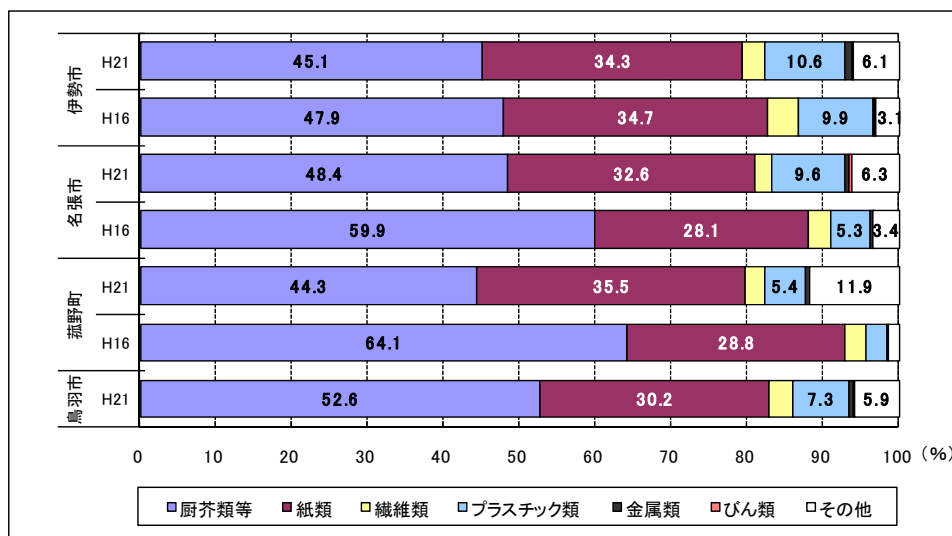
全体の組成は、重量比で「厨芥類」が4～5割、「紙類」が3割、「プラスチック類」が1割となっており、各市町とも「厨芥類」「紙類」「プラスチック類」で全体の9割占めている。

容積比は、「紙類」と「プラスチック類」で全体の7～8割を占めている。また、菰野町において、「プラスチック類」が19.2%とその他3市より低くなっている。

●前回調査との比較¹

重量比において「厨芥類」は、名張市で1割の減少、菰野町では前回調査が64.1%、本調査が44.3%と2割減少している。「紙類」は、名張市でわずかに増加、菰野町で1割弱増加している。「プラスチック類」は、菰野町で変化はみられず、名張市でわずかに増加している。伊勢市は、「厨芥類」「紙類」「プラスチック類」において変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市			菰野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	45.1	47.9	-2.8	48.4	59.9	-11.5	44.3	64.1	-19.8	52.6
紙類	34.3	34.7	-0.4	32.6	28.1	4.5	35.5	28.8	6.7	30.2
繊維類	2.8	4.1	-1.3	2.2	2.9	-0.7	2.6	2.7	-0.1	3.2
プラスチック類	10.6	9.9	0.7	9.6	5.3	4.3	5.4	2.8	2.6	7.3
金属類	0.9	0.2	0.7	0.6	0.3	0.3	0.5	0.1	0.4	0.6
びん類	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	—	—	—	0.2
その他	6.1	3.1	3.0	6.3	3.4	2.9	11.9	1.5	10.4	5.9
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0

注1) 単位は、「%」。

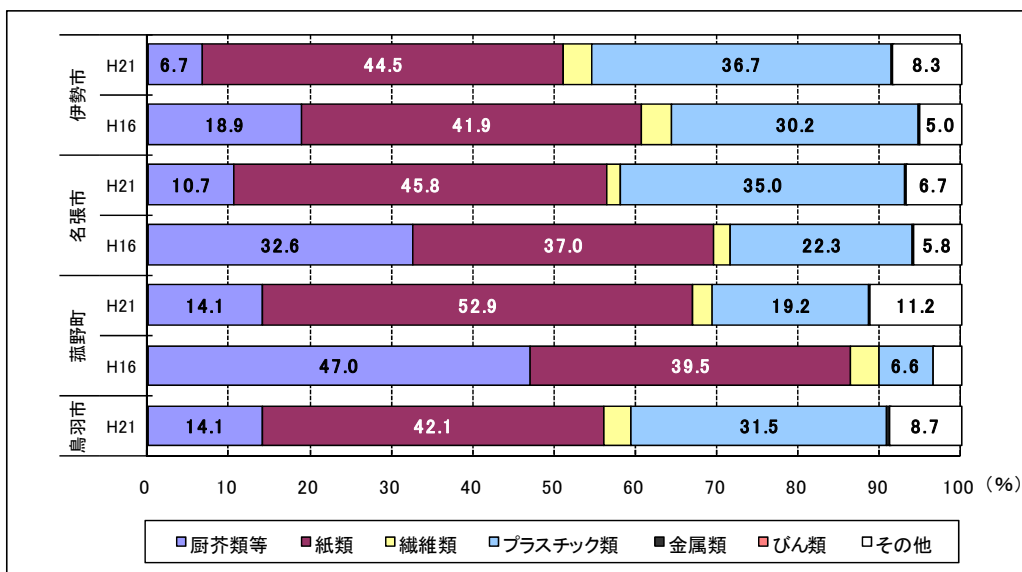
注2) 本報告書の値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

注3) 「—」は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

1 比較評価の基準は以下のようにした。

- ① 3%以下の増減(変化) …変化なし
- ② 3～5%の増減 …わずかに増加 または 減少
- ③ 5～10%の増減 …1割弱の増加 または 減少
- ④ 10%以上の増減 …1割、2割～の増加 または 減少

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市			菰野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	6.7	18.9	-12.2	10.7	32.6	-21.9	14.1	47.0	-32.9	14.1
紙類	44.5	41.9	2.6	45.8	37.0	8.8	52.9	39.5	13.4	42.1
繊維類	3.4	3.7	-0.3	1.7	2.1	-0.4	2.4	3.4	-1.0	3.3
プラスチック類	36.7	30.2	6.5	35.0	22.3	12.7	19.2	6.6	12.6	31.5
金属類	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	-0.0	0.1	0.1	-0.0	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
その他	8.3	5.0	3.3	6.7	5.8	0.9	11.2	3.4	7.8	8.7
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0

(イ) 厨芥類等の組成

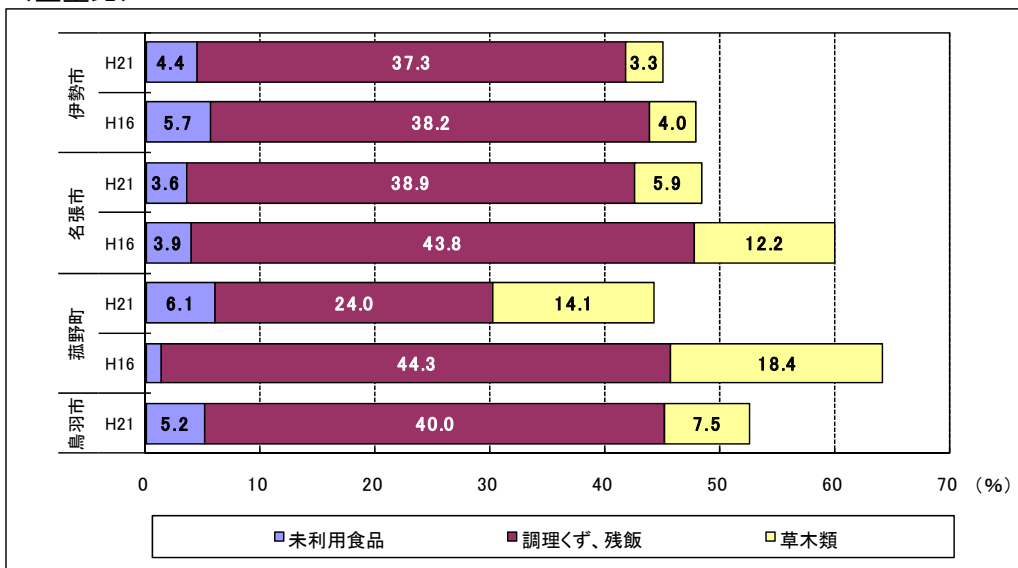
可燃ごみに含まれる厨芥類等を「未利用食品」、「調理くず等」、「草木類」に分けると、重量比は、「調理くず等」が最も多く 2~4 割占めている。「草木類」は菰野町で 14.1%と多くなっている。

容積比も「調理くず等」がほとんどを占めているが、菰野町においては「草木類」が 9.2%と最も多くなっている。

● 前回調査との比較

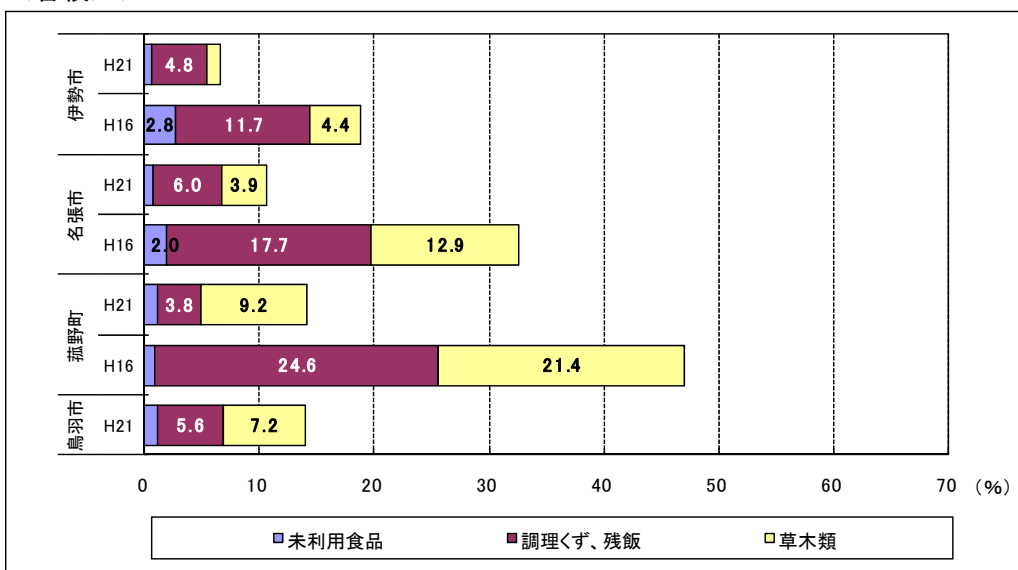
重量比において「未利用食品」は、菰野町でわずかに増加しており、名張市では変化はみられない。「調理くず等」は、菰野町で前回調査が 44.3%、本調査が 24.0%と 2 割減少、名張市ではわずかに減少している。また、「草木類」は、名張市が前回調査より 1 割弱減少しており、菰野町ではわずかに減少している。伊勢市は、「未利用食品」「調理くず等」「草木類」において変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
未利用食品	4.4	5.7	3.6	3.9	6.1	1.4	5.2
調理くず、残飯	37.3	38.2	38.9	43.8	24.0	44.3	40.0
草木類	3.3	4.0	5.9	12.2	14.1	18.4	7.5
計	45.1	47.9	48.4	59.9	44.3	64.1	52.6

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
未利用食品	0.7	2.8	0.8	2.0	1.2	1.0	1.2
調理くず、残飯	4.8	11.7	6.0	17.7	3.8	24.6	5.6
草木類	1.2	4.4	3.9	12.9	9.2	21.4	7.2
計	6.7	18.9	10.7	32.6	14.1	47.0	14.1

(ウ) 紙類の組成

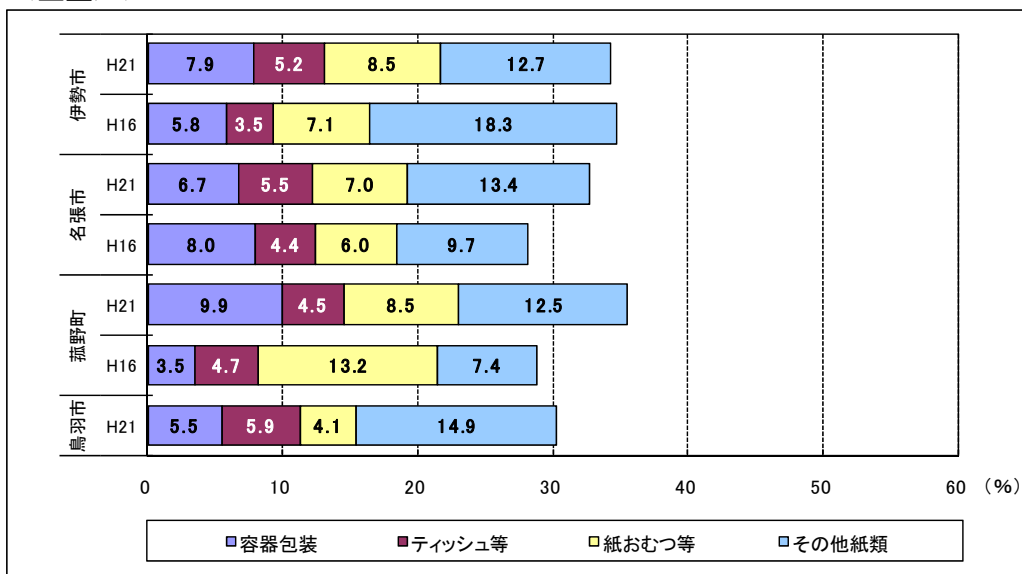
可燃ごみに含まれる紙類を「容器包装」と「使い捨て用品」（「ティッシュ等」、「紙おむつ等」）、「その他紙類」に分けると、重量比は、「使い捨て用品」と「その他紙類」がそれぞれ1割強を占め、「容器包装」が1割弱を占めている。また、紙製容器包装の分別収集を行っている菰野町と鳥羽市においては、鳥羽市が最も「容器包装」の割合が少なくなっているが、菰野町は4市町のなかでも最も多く1割を占めている。

容積比は、「その他紙類」が最も多く1～2割を占めている。

● 前回調査との比較

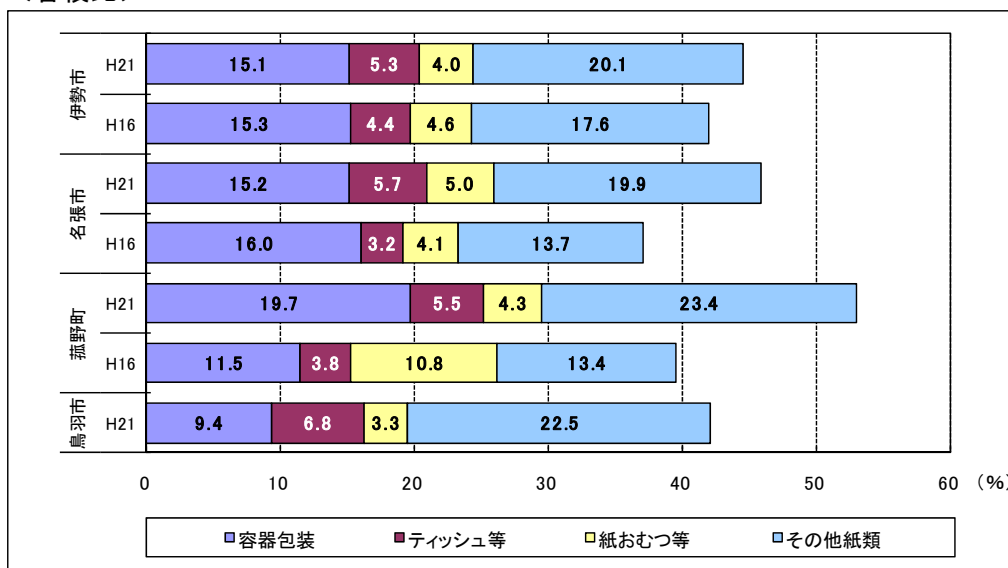
重量比において「容器包装」は、菰野町で前回調査が3.5%に対し、本調査では9.9%と約3倍に増加し、全体の1割を占めている。前回調査時では3市町のうち最も「容器包装」の割合が少なかったのに対し、本調査では最も多くなっている。また、「紙おむつ等」は、伊勢市、名張市で変化がみられず、菰野町ではわずかに減少している。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	7.9	5.8	6.7	8.0	9.9	3.5	5.5
ティッシュ等	5.2	3.5	5.5	4.4	4.5	4.7	5.9
紙おむつ等	8.5	7.1	7.0	6.0	8.5	13.2	4.1
その他紙類	12.7	18.3	13.4	9.7	12.5	7.4	14.9
計	34.3	34.7	32.6	28.1	35.5	28.8	30.2

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	15.1	15.3	15.2	16.0	19.7	11.5	9.4
ティッシュ等	5.3	4.4	5.7	3.2	5.5	3.8	6.8
紙おむつ等	4.0	4.6	5.0	4.1	4.3	10.8	3.3
その他紙類	20.1	17.6	19.9	13.7	23.4	13.4	22.5
計	44.5	41.9	45.8	37.0	52.9	39.5	42.1

(エ) プラスチック類の組成

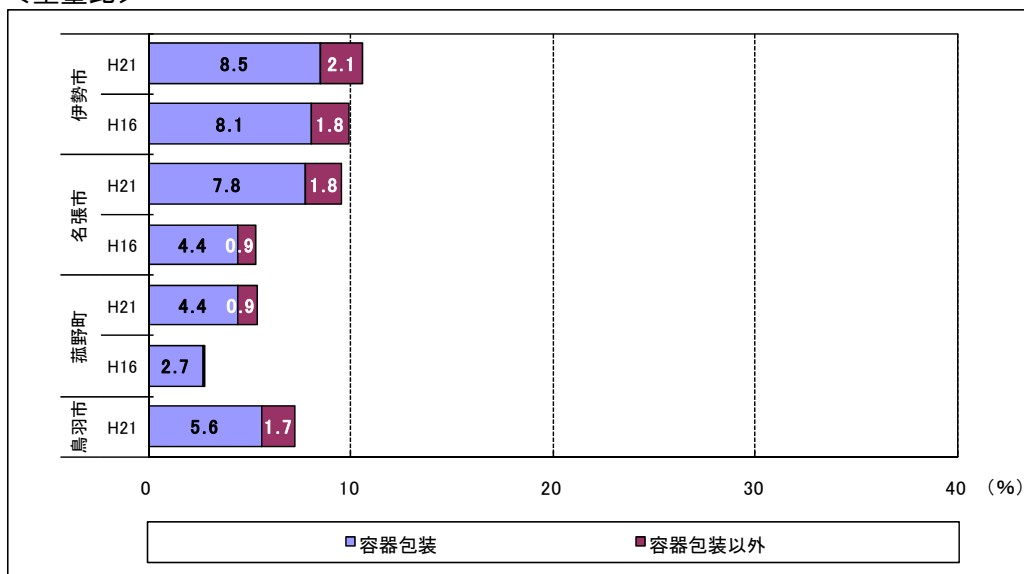
a 容器包装と容器包装以外

可燃ごみに含まれるプラスチック類を「容器包装」と「容器包装以外」に分けると、重量比、容積比ともに「容器包装」がほとんどを占めている。

●前回調査との比較

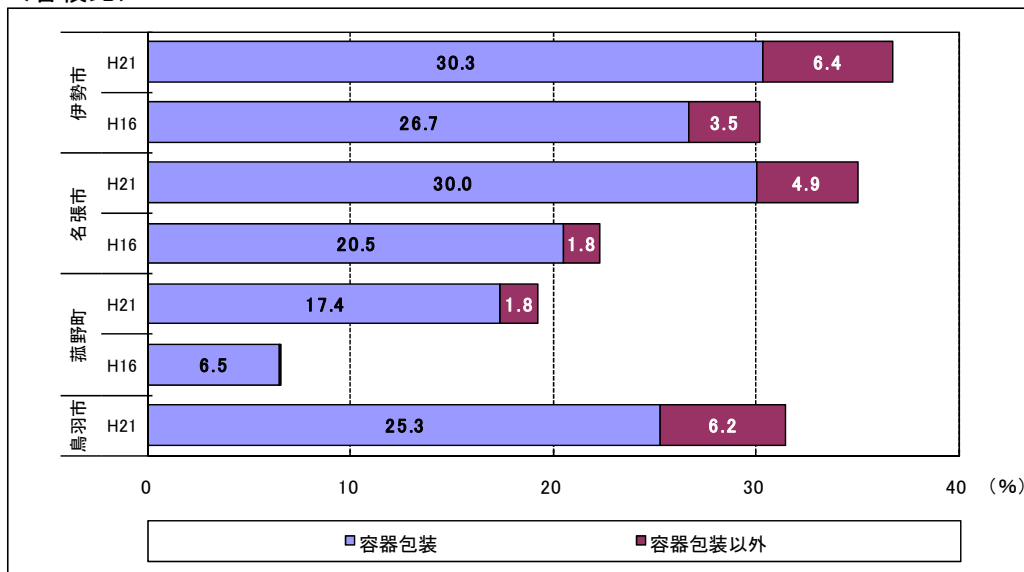
重量比において「容器包装」は、伊勢市と菰野町で変化はみられず、名張市で前回調査が4.4%に対し、本調査では7.8%とわずかに増加している。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	8.5	8.1	7.8	4.4	4.4	2.7	5.6
容器包装以外	2.1	1.8	1.8	0.9	0.9	0.1	1.7
計	10.6	9.9	9.6	5.3	5.4	2.8	7.3

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	30.3	26.7	30.0	20.5	17.4	6.5	25.3
容器包装以外	6.4	3.5	4.9	1.8	1.8	0.1	6.2
計	36.7	30.2	35.0	22.3	19.2	6.6	31.5

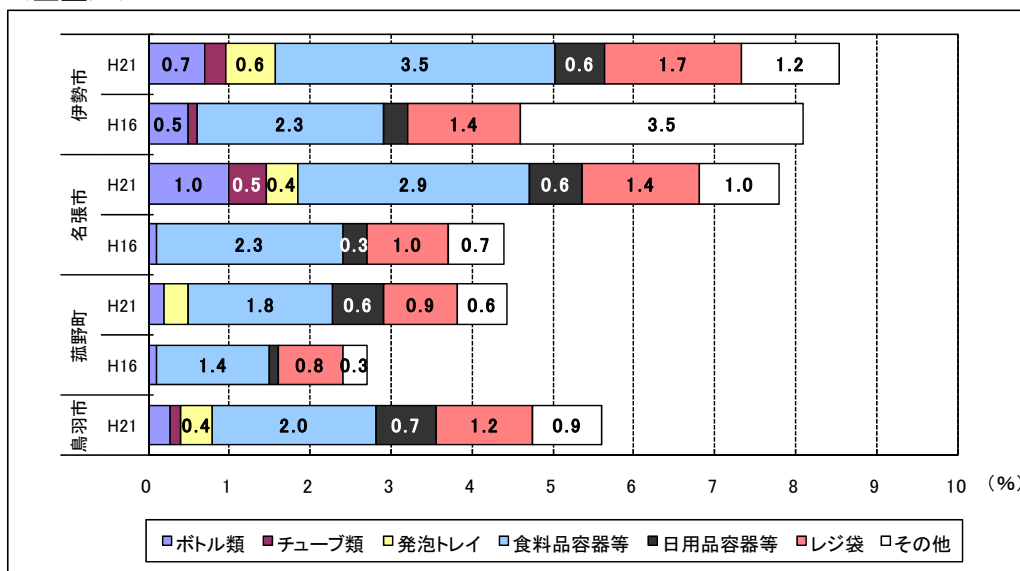
b 容器包装の組成

プラスチック容器包装の内訳をみると、重量比、容積比ともに「食料品容器包装」が最も多く、ついで「レジ袋」が多くなっている。

●前回調査との比較

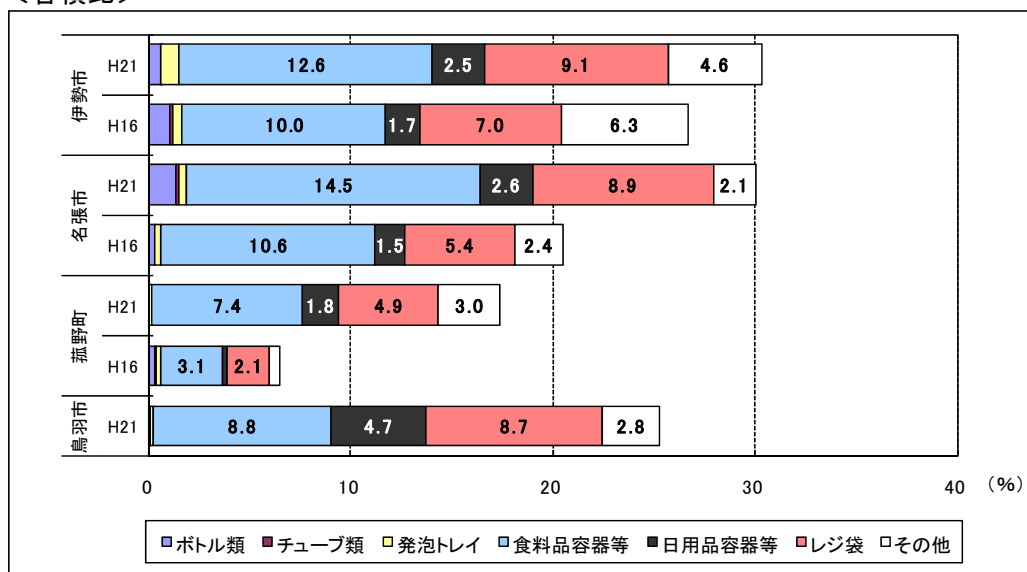
どの分類についても前回調査との変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
ボトル類	0.7	0.5	1.0	0.1	0.2	0.1	0.3
チューブ類	0.3	0.1	0.5	0.0	—	0.0	0.1
発泡トレイ	0.6	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.4
食料品容器等	3.5	2.3	2.9	2.3	1.8	1.4	2.0
日用品容器等	0.6	0.3	0.6	0.3	0.6	0.1	0.7
レジ袋	1.7	1.4	1.4	1.0	0.9	0.8	1.2
その他	1.2	3.5	1.0	0.7	0.6	0.3	0.9
計	8.5	8.1	7.8	4.4	4.4	2.7	5.6

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菟野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
ボトル類	0.6	1.1	1.4	0.3	0.0	0.3	0.0
チューブ類	0.0	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.1
発泡トレイ	0.8	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
食料品容器等	12.6	10.0	14.5	10.6	7.4	3.1	8.8
日用品容器等	2.5	1.7	2.6	1.5	1.8	0.2	4.7
レジ袋	9.1	7.0	8.9	5.4	4.9	2.1	8.7
その他	4.6	6.3	2.1	2.4	3.0	0.5	2.8
計	30.3	26.7	30.0	20.5	17.4	6.5	25.3

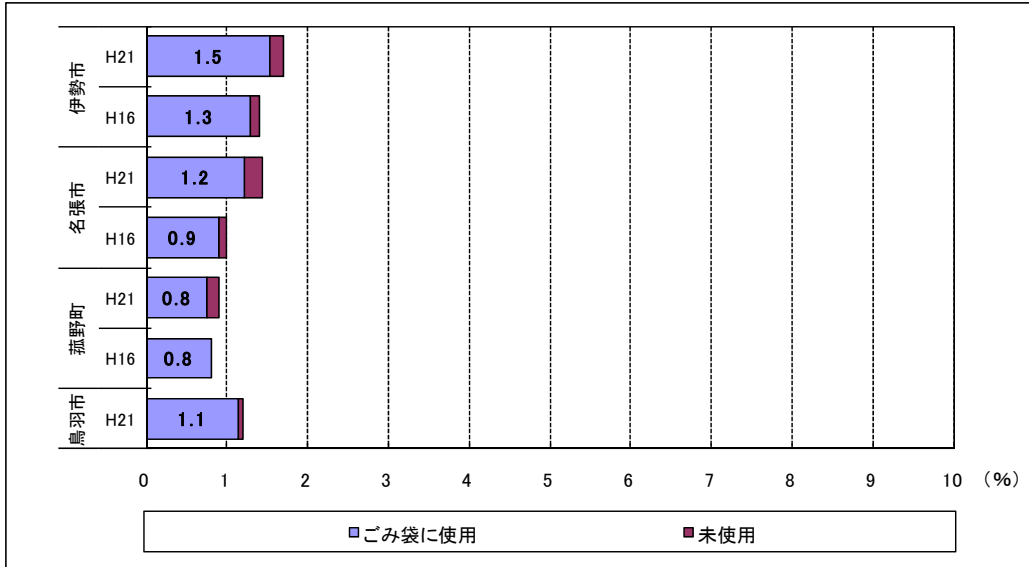
c レジ袋の排出状況

排出されたごみ袋（外袋）の中に含まれるレジ袋については、重量比、容積比ともに厨芥類や紙おむつ等を入れるためなどに使用されたものがほとんどを占めている。

●前回調査との比較

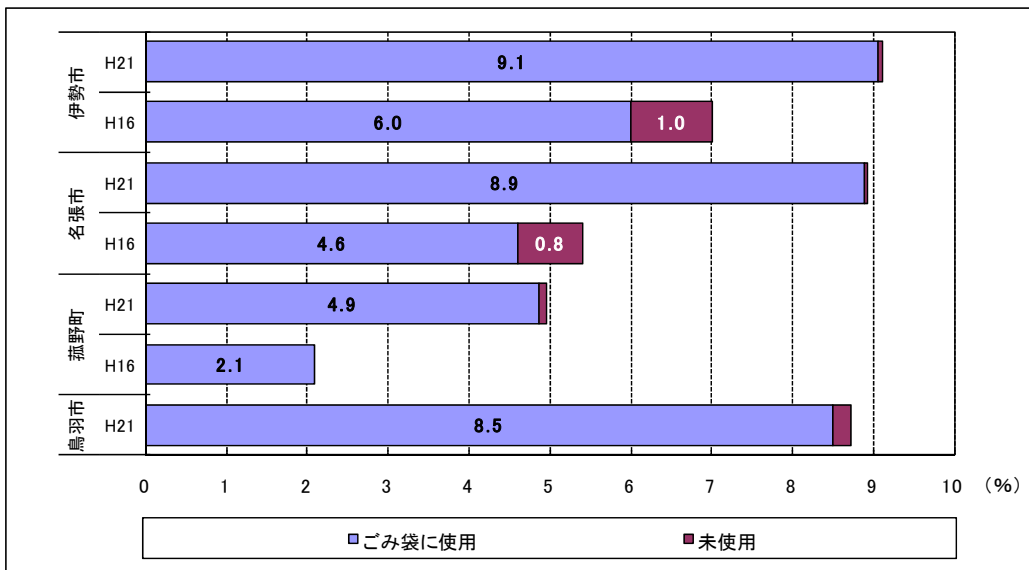
前回調査と本調査の重量比の変化はみられない。容積比については、「ごみ袋に使用」されたレジ袋はわずかに増加し、「未使用」については変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
ごみ袋に使用	1.5	1.3	1.2	0.9	0.8	0.8	1.1
未使用	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	—	0.1
計	1.7	1.4	1.4	1.0	0.9	0.8	1.2

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
ごみ袋に使用	9.1	6.0	8.9	4.6	4.9	2.1	8.5
未使用	0.0	1.0	0.0	0.8	0.1	—	0.2
計	9.1	7.0	8.9	5.4	4.9	2.1	8.7

イ 可燃ごみに含まれる容器包装

(ア) 容器包装と容器包装以外

可燃ごみに含まれる「容器包装」について重量比は、「容器包装以外」が2割程度を占めている。また容積比は重量比とは反対に、鳥羽市を除く3市町で、「容器包装」が「容器包装以外」より多く占めている。

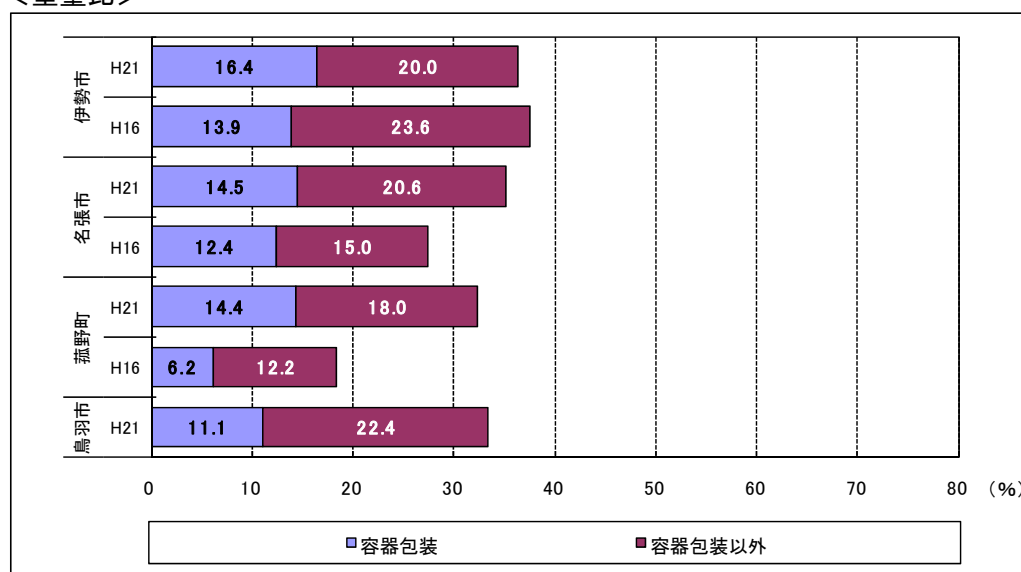
この重量比において「容器包装以外」の割合が多かった要因として、紙類の「容器包装以外」の割合が高いうえに「容器包装以外」は新聞や雑誌のその他紙類が含まれるため重量があったことが関係していると考えられる。

容積比については、全体のうちの紙類とプラスチック類の割合を比べると紙類の方が多いが、紙類は「容器包装以外」の割合が7割～8割を占めるのに対し、プラスチック類は「容器包装」が8割以上を占めるため、「容器包装」の割合が高くなったと考えられる。

● 前回調査との比較

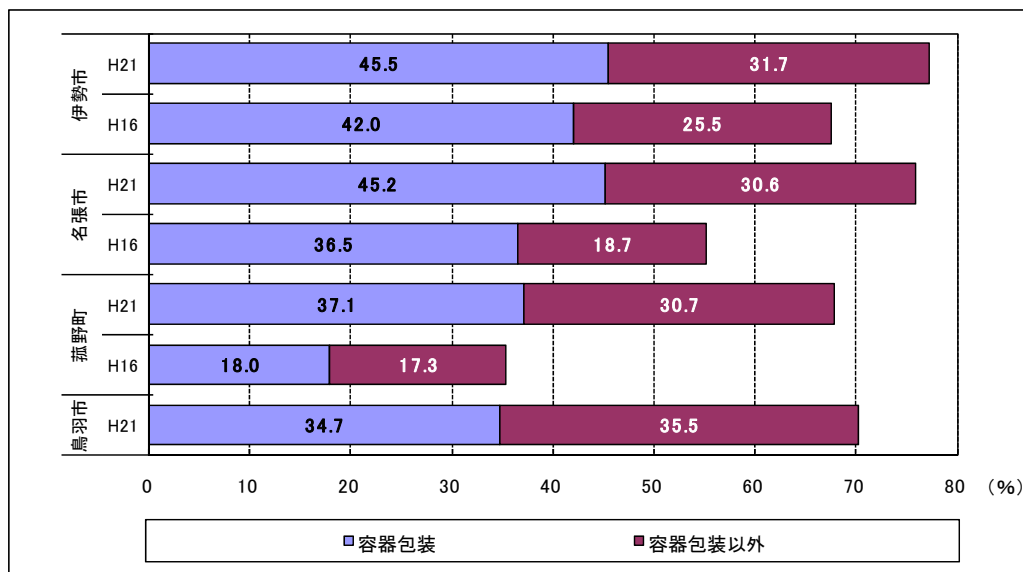
重量比において「容器包装」は伊勢市、名張市で変化がみられず、菰野町で前回調査が6.2%に対し本調査が14.4%と最も多く、1割弱増加している。「容器包装以外」は、伊勢市でわずかに減少し、名張市、菰野町で1割弱増加している。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	16.4	13.9	14.5	12.4	14.4	6.2	11.1
容器包装以外	20.0	23.6	20.6	15.0	18.0	12.2	22.4
計	36.4	37.5	35.2	27.4	32.3	18.4	33.4

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
容器包装	45.5	42.0	45.2	36.5	37.1	18.0	34.7
容器包装以外	31.7	25.5	30.6	18.7	30.7	17.3	35.5
計	77.2	67.5	75.8	55.2	67.8	35.3	70.2

(イ) 容器包装の組成

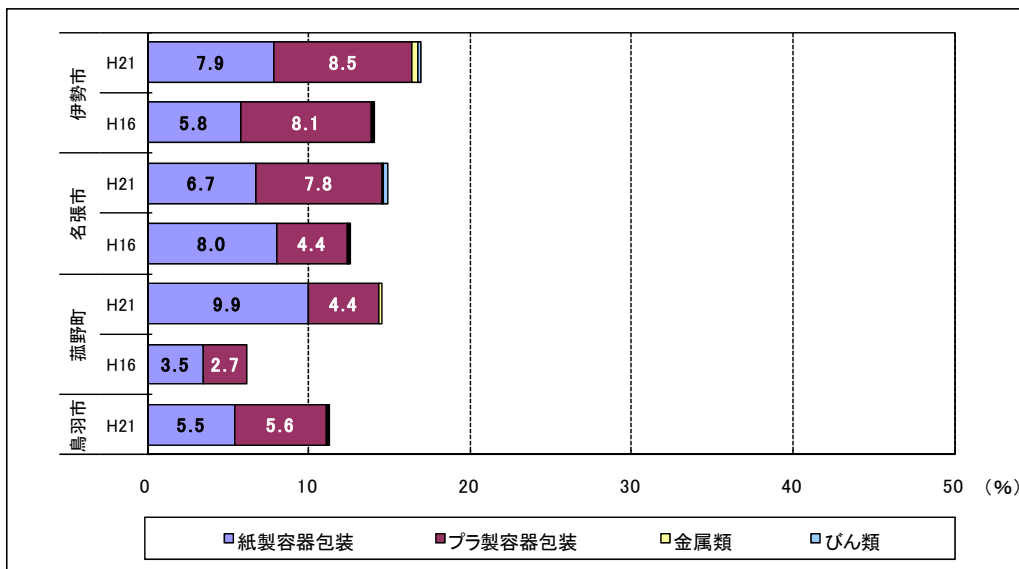
可燃ごみに含まれる容器包装の内訳をみると、重量比、容積比ともに、「紙製容器包装」と「プラスチック製容器包装」がほとんどを占めている。

菰野町においては、「紙製容器包装」が「プラスチック製容器包装」よりも多く、その他3市町は「プラスチック製容器包装」が多い。

●前回調査との比較

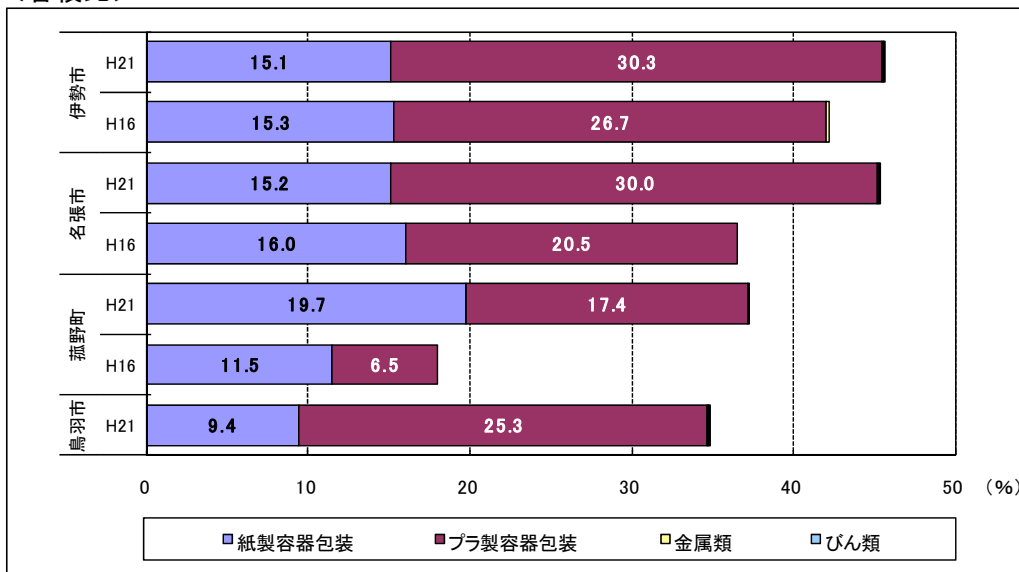
重量比において名張市では「プラスチック製容器包装」がわずかに増加、菰野町では「紙製容器包装」が1割弱増加し、伊勢市では変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
紙製容器包装	7.9	5.8	6.7	8.0	9.9	3.5	5.5
プラ製容器包装	8.5	8.1	7.8	4.4	4.4	2.7	5.6
金属類	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
びん類	0.2	0.1	0.3	0.1	-	-	0.2
計	16.9	14.1	14.9	12.6	14.5	6.2	11.3

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
紙製容器包装	15.1	15.3	15.2	16.0	19.7	11.5	9.4
プラ製容器包装	30.3	26.7	30.0	20.5	17.4	6.5	25.3
金属類	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0
計	45.6	42.2	45.2	36.5	37.2	18.0	34.8

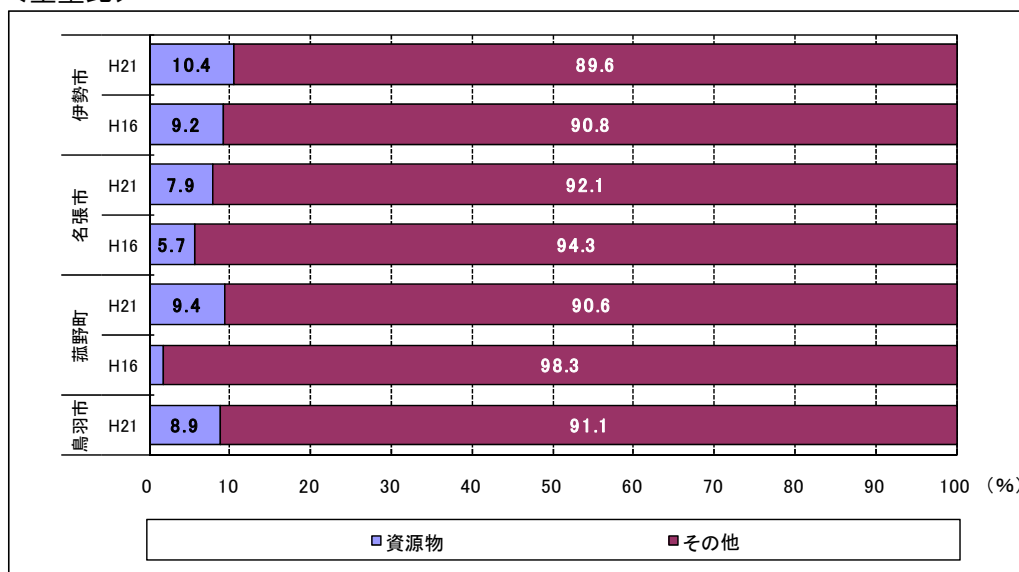
(ウ) 分別状況

可燃ごみの中に含まれる「ダンボール」、「紙パック」、「新聞」、「チラシ」、「雑誌」、「書籍」、「ペットボトル」、「金属類」、「びん類」は、可燃ごみとは別に収集されている品目で、これらを資源物としてみると、重量比で1割弱を占め、どの市町でも分別がほぼ適正に行われていると思われる。特に4市町のうち、名張市が最も低く7.9%となっている。

●前回調査との比較

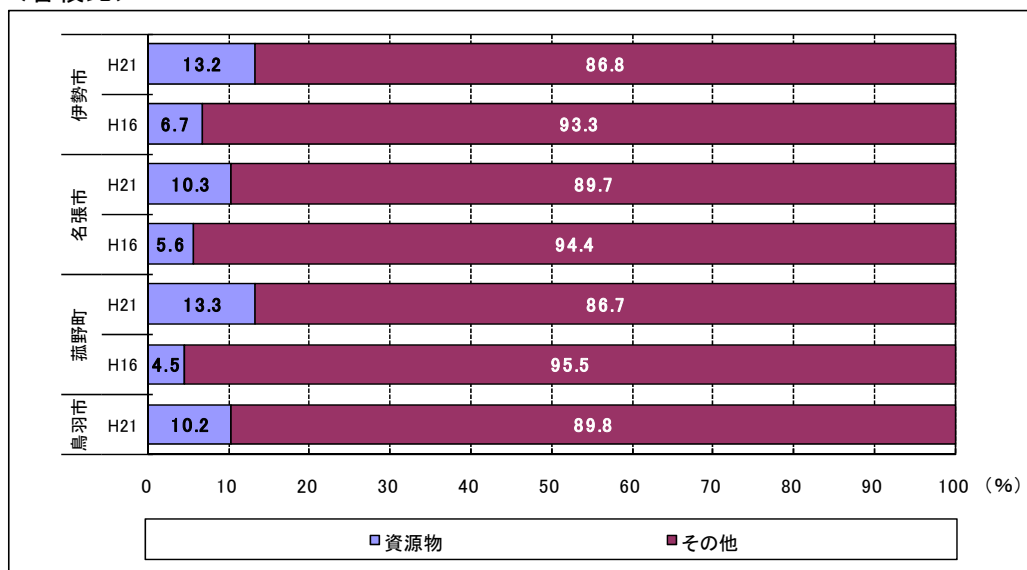
重量比において資源物の混入の割合は、菰野町で前回調査が1.7%に対し、本調査は9.4%と最も多く、1割弱増加している。伊勢市、名張市は、ともに変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
資源物	10.4	9.2	7.9	5.7	9.4	1.7	8.9
その他	89.6	90.8	92.1	94.3	90.6	98.3	91.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<容積比>



容積比	伊勢市		名張市		菰野町		鳥羽市
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21
資源物	13.2	6.7	10.3	5.6	13.3	4.5	10.2
その他	86.8	93.3	89.7	94.4	86.7	95.5	89.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域別分析結果

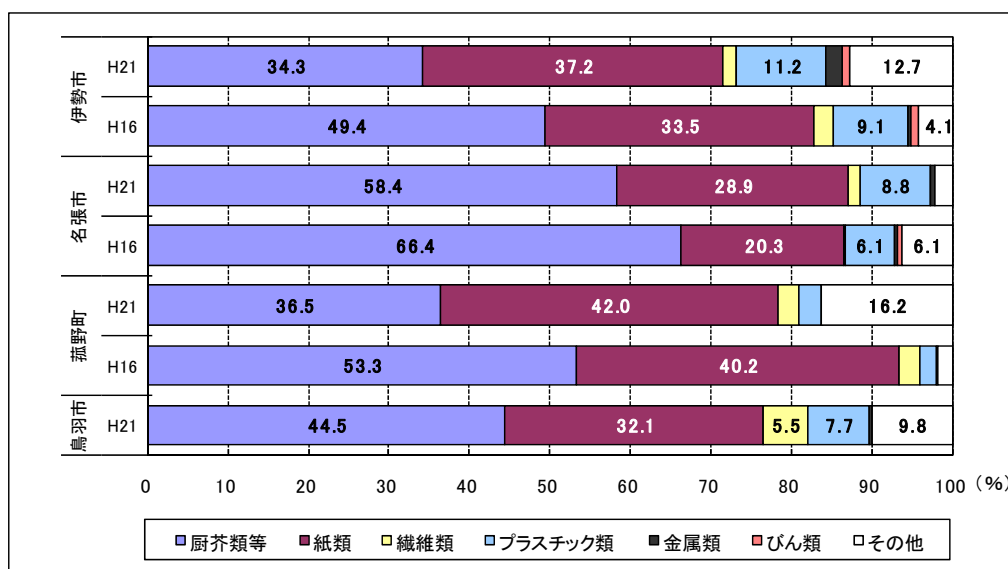
ア 住宅地域（旧来）

重量比は、「厨芥類」が名張市で6割程度と最も多く、「紙類」は菰野町が4割を占めている。「プラスチック類」は伊勢市で1割以上と最も多いが、容積比では伊勢市、名張市、鳥羽市で多く、3割を占めている。

● 前回調査との比較

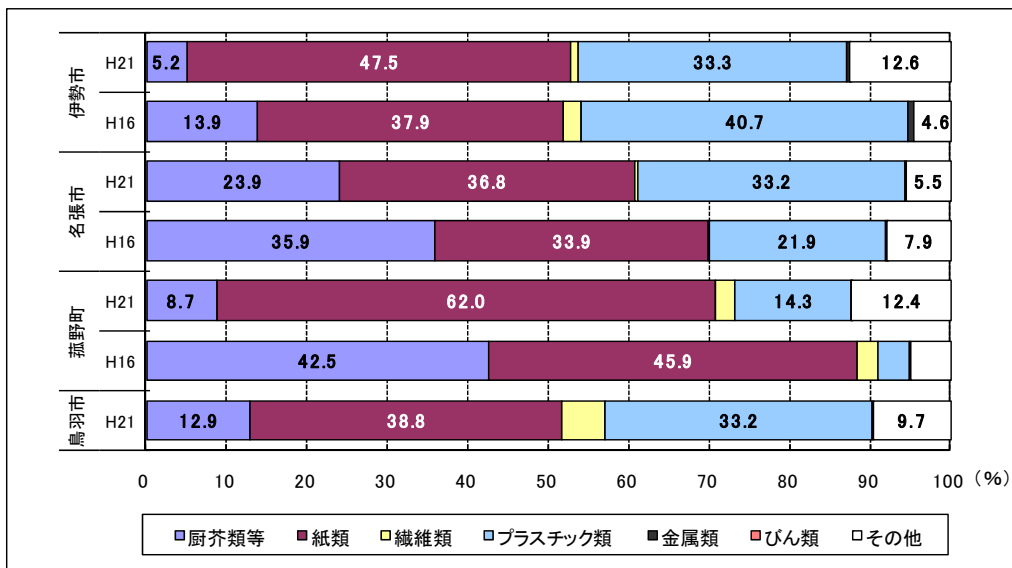
重量比において「厨芥類」は、名張市で1割弱減少し、伊勢市、菰野町の2市町で1～2割減少しており、菰野町では前回調査が53.3%、本調査が36.5%と減少割合が最も多くなっている。「紙類」は、伊勢市、菰野町で変化はみられず、名張市で前回調査が20.3%、本調査が28.9%と最も多く増加している。「プラスチック類」は、3市町で前回調査からの変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市			菰野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	34.3	49.4	-15.1	58.4	66.4	-8.0	36.5	53.3	-16.8	44.5
紙類	37.2	33.5	3.7	28.9	20.3	8.6	42.0	40.2	1.8	32.1
繊維類	1.7	2.5	-0.8	1.4	0.1	1.3	2.6	2.6	-0.0	5.5
プラスチック類	11.2	9.1	2.1	8.8	6.1	2.7	2.7	2.1	0.6	7.7
金属類	2.0	0.5	1.5	0.5	0.3	0.2	0.0	0.1	-0.1	0.4
びん類	0.9	0.9	-0.0	—	0.7	-0.7	—	—	—	—
その他	12.7	4.1	8.6	2.1	6.1	-4.0	16.2	1.7	14.5	9.8
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市			菰野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	5.2	13.9	-8.7	23.9	35.9	-12.0	8.7	42.5	-33.8	12.9
紙類	47.5	37.9	9.6	36.8	33.9	2.9	62.0	45.9	16.1	38.8
繊維類	1.0	2.2	-1.2	0.4	0.1	0.3	2.5	2.5	0.0	5.3
プラスチック類	33.3	40.7	-7.4	33.2	21.9	11.3	14.3	4.0	10.3	33.2
金属類	0.3	0.7	-0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	-0.0	0.1
びん類	0.1	0.0	0.1	—	0.1	-0.1	—	—	—	—
その他	12.6	4.6	8.0	5.5	7.9	-2.4	12.4	5.0	7.4	9.7
計	100.0	100.0		100.0	100.0					100.0

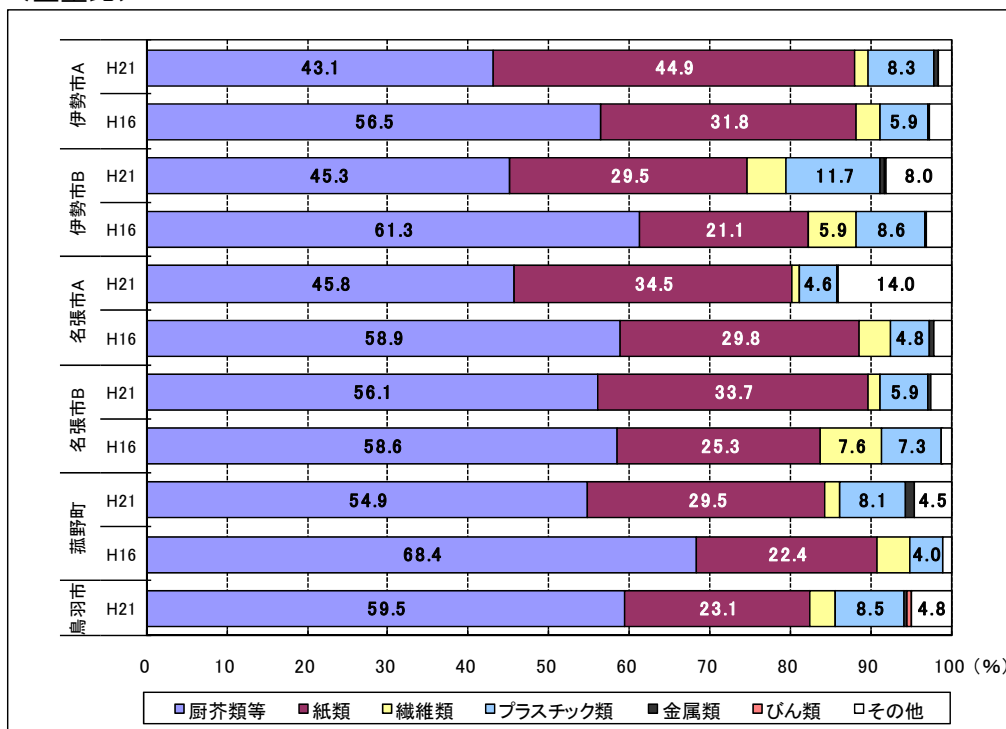
イ 住宅地域（郊外）

重量比は、「厨芥類」が鳥羽市で6割程度と最も多く、「紙類」は伊勢市Aが4割以上を占めている。「プラスチック類」は伊勢市Bで1割程度と最も多い。容積比についても「プラスチック類」は伊勢市Bで多く、3～4割を占めている。

●前回調査との比較

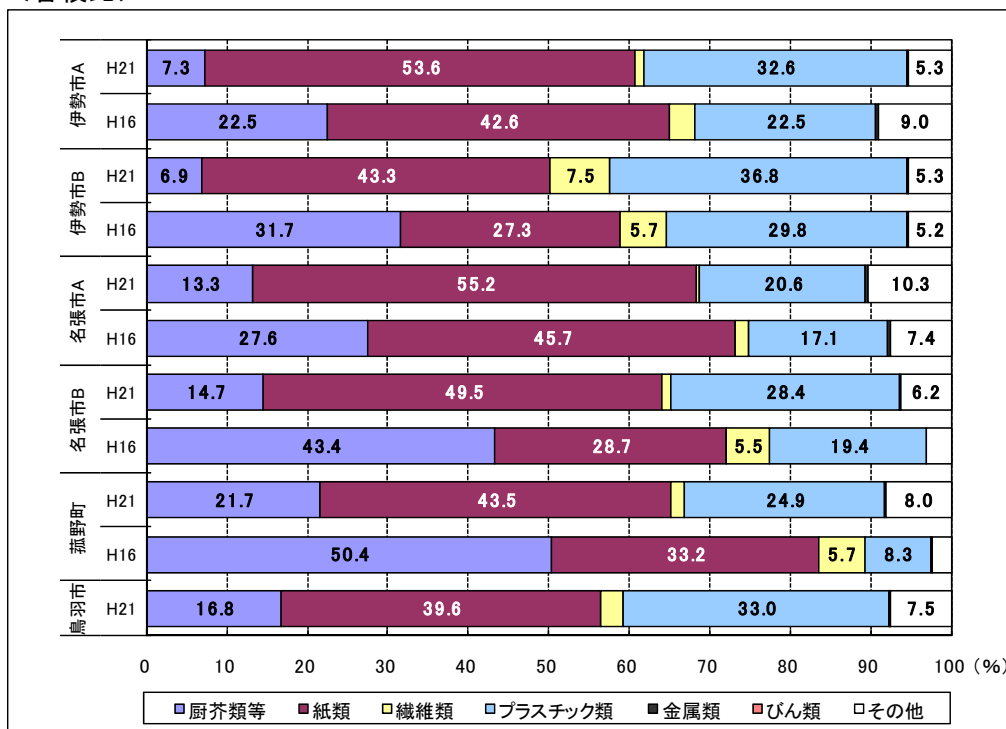
重量比において「厨芥類」は、名張市Bを除く地域で1割以上減少しており、伊勢市Bで前回調査が61.3%、本調査が45.3%と減少割合が最も多くなっている。名張市Bは、変化はみられない。「紙類」は、全地域で増加しているが、伊勢市Aで前回調査が31.8%、本調査が44.9%と最も多く、1割以上増加している。「プラスチック類」は、伊勢市B、菰野町の2市町でわずかに増加しているが、その他の地域では変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市A			伊勢市B			名張市A		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	43.1	56.5	-13.4	45.3	61.3	-16.0	45.8	58.9	-13.1
紙類	44.9	31.8	13.1	29.5	21.1	8.4	34.5	29.8	4.7
繊維類	1.7	2.9	-1.2	4.9	5.9	-1.0	0.9	3.8	-2.9
プラスチック類	8.3	5.9	2.4	11.7	8.6	3.1	4.6	4.8	-0.2
金属類	0.4	0.2	0.2	0.5	0.1	0.4	0.2	0.7	-0.5
びん類	—	—	—	0.2	—	0.2	—	—	—
その他	1.5	2.7	-1.2	8.0	3.0	5.0	14.0	2.0	12.0
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
	名張市B			菰野町			鳥羽市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	56.1	58.6	-2.5	54.9	68.4	-13.5	59.5		
紙類	33.7	25.3	8.4	29.5	22.4	7.1	23.1		
繊維類	1.6	7.6	-6.0	1.8	4.2	-2.4	3.2		
プラスチック類	5.9	7.3	-1.4	8.1	4.0	4.1	8.5		
金属類	0.4	0.1	0.3	1.1	0.0	1.1	0.4		
びん類	—	—	—	—	—	—	0.6		
その他	2.4	1.1	1.3	4.5	1.0	3.5	4.8		
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0		

<容積比>



容積比	伊勢市A			伊勢市B			名張市A		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	7.3	22.5	-15.2	6.9	31.7	-24.8	13.3	27.6	-14.3
紙類	53.6	42.6	11.0	43.3	27.3	16.0	55.2	45.7	9.5
繊維類	1.0	3.1	-2.1	7.5	5.7	1.8	0.3	1.7	-1.4
プラスチック類	32.6	22.5	10.1	36.8	29.8	7.0	20.6	17.1	3.5
金属類	0.2	0.3	-0.1	0.1	0.3	-0.2	0.3	0.5	-0.2
びん類	—	—	—	0.1	—	0.1	—	—	—
その他	5.3	9.0	-3.7	5.3	5.2	0.1	10.3	7.4	2.9
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
	名張市B			菰野町			鳥羽市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	14.7	43.4	-28.7	21.7	50.4	-28.7	16.8	—	—
紙類	49.5	28.7	20.8	43.5	33.2	10.3	39.6	—	—
繊維類	1.0	5.5	-4.5	1.7	5.7	-4.0	2.8	—	—
プラスチック類	28.4	19.4	9.0	24.9	8.3	16.6	33.0	—	—
金属類	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	—	—
びん類	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—
その他	6.2	3.0	3.2	8.0	2.3	5.7	7.5	—	—
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0		

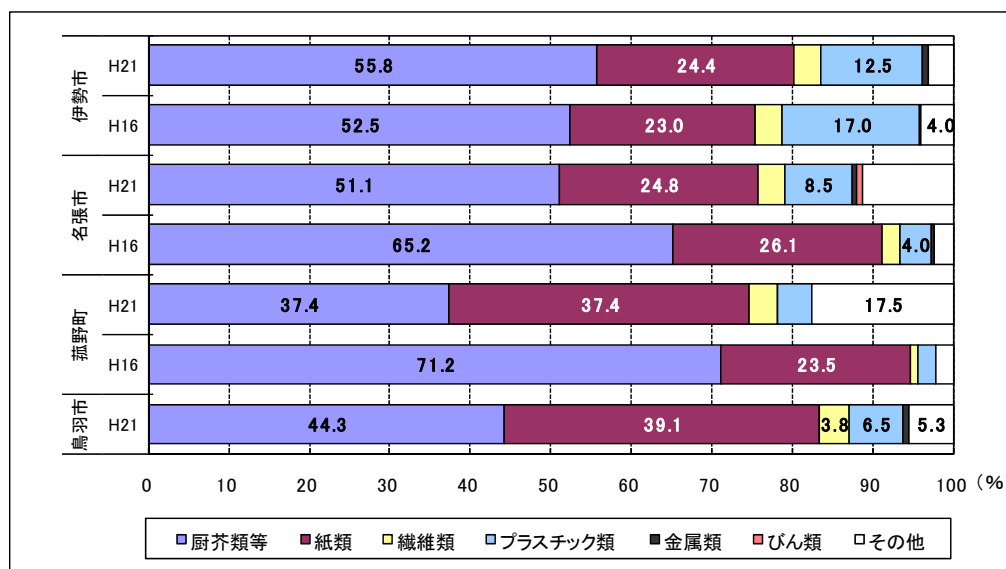
ウ 農村（漁村）地域

重量比は、「厨芥類」が伊勢市で6割と最も多く、「紙類」は菰野町と鳥羽市で4割を占めている。「プラスチック類」は伊勢市で1割程度と最も多い。容積比では「プラスチック類」が伊勢市で多く、4割を占めている。

●前回調査との比較

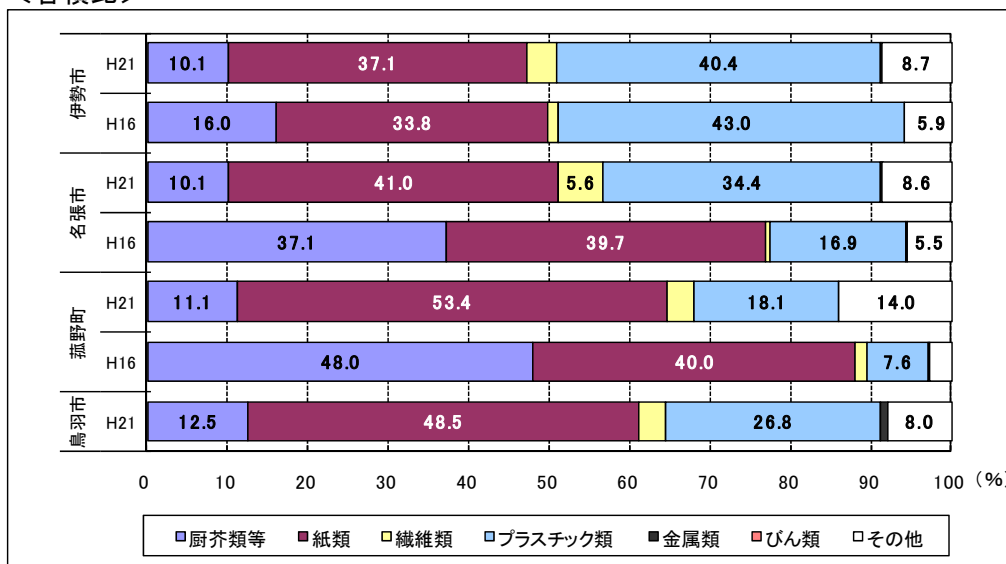
重量比において「厨芥類」は、名張市、菰野町で減少しており、菰野町では前回調査が71.2%、本調査が37.4%で前回調査からの減少割合が最も多くなっている。伊勢市では変化はみられない。「紙類」は、菰野町で1割以上増加し、伊勢市と名張市では変化はみられない。「プラスチック類」は、伊勢市でわずかに減少、名張市でわずかに増加、菰野町では変化はみられない。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市			菰野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	55.8	52.5	3.3	51.1	65.2	-14.1	37.4	71.2	-33.8	44.3
紙類	24.4	23.0	1.4	24.8	26.1	-1.3	37.4	23.5	13.9	39.1
繊維類	3.4	3.4	0.0	3.3	2.1	1.2	3.5	1.0	2.5	3.8
プラスチック類	12.5	17.0	-4.5	8.5	4.0	4.5	4.2	2.3	1.9	6.5
金属類	0.9	0.1	0.8	0.6	0.3	0.3	—	0.0	-0.0	0.9
びん類	—	—	—	0.6	—	0.6	—	—	—	—
その他	2.9	4.0	-1.1	11.3	2.3	9.0	17.5	2.0	15.5	5.3
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市			菟野町			鳥羽市
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21
厨芥類等	10.1	16.0	-5.9	10.1	37.1	-27.0	11.1	48.0	-36.9	12.5
紙類	37.1	33.8	3.3	41.0	39.7	1.3	53.4	40.0	13.4	48.5
繊維類	3.7	1.3	2.4	5.6	0.6	5.0	3.4	1.5	1.9	3.3
プラスチック類	40.4	43.0	-2.6	34.4	16.9	17.5	18.1	7.6	10.5	26.8
金属類	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	—	0.1	-0.1	0.9
びん類	—	—	—	0.1	—	0.1	—	—	—	—
その他	8.7	5.9	2.8	8.6	5.5	3.1	14.0	2.8	11.2	8.0
計	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0

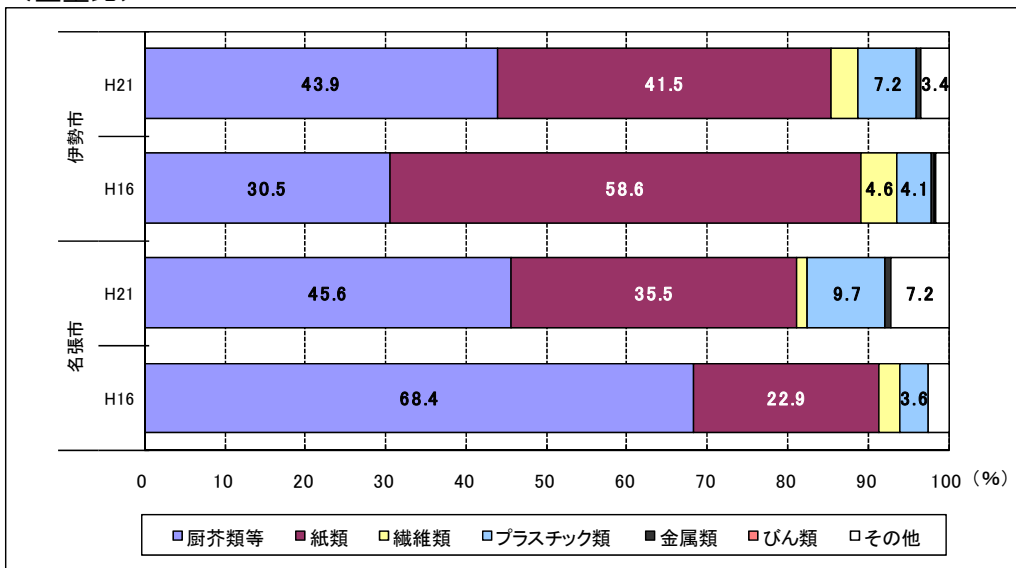
エ 住商混合地域

伊勢市、名張市の2地域は、重量比、容積比のそれぞれで同じような割合を示し、重量比について「厨芥類」が4～5割、「紙類」が4割を占めている。また容積比は「紙類」が5～6割、「プラスチック類」は3割を占めている。

●前回調査との比較

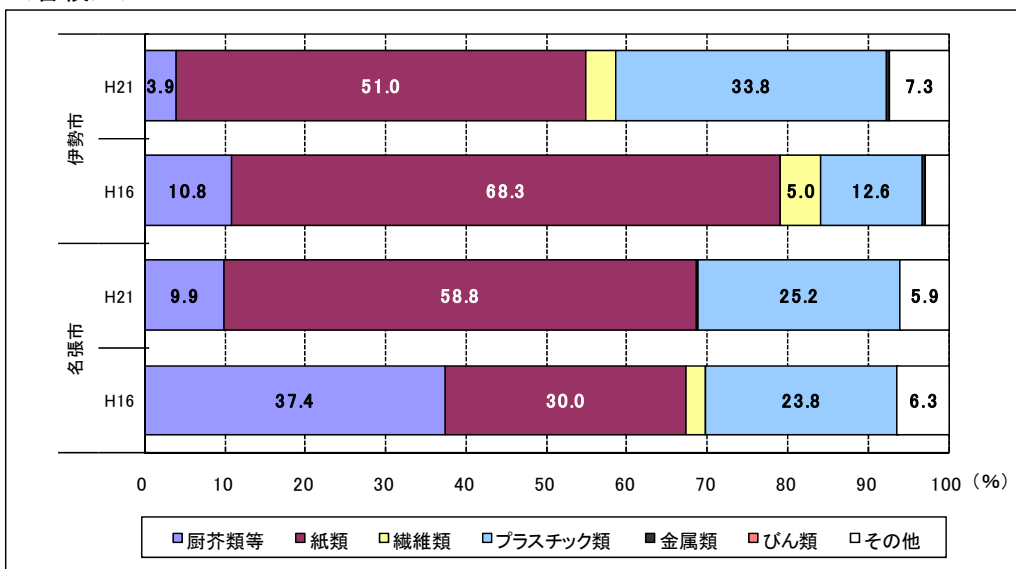
重量比において「厨芥類」は、伊勢市で増加、名張市で減少しており、名張市では前回調査が68.4%、本調査が45.6%と2割以上減少している。「紙類」は、名張市で増加、伊勢市で減少しており、伊勢市では前回調査が58.6%、本調査が41.5%と2割程度減少している。伊勢市における「紙類」の減少要因は、OA用紙（シュレッダー後）が前回調査では全体の3割を占めていたのに対し、本調査では全く排出されなかったためである。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	43.9	30.5	13.4	45.6	68.4	-22.8
紙類	41.5	58.6	-17.1	35.5	22.9	12.6
繊維類	3.4	4.6	-1.2	1.4	2.6	-1.2
プラスチック類	7.2	4.1	3.1	9.7	3.6	6.1
金属類	0.6	0.5	0.1	0.6	0.0	0.6
びん類	—	0.2	-0.2	—	—	—
その他	3.4	1.5	1.9	7.2	2.5	4.7
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	3.9	10.8	-6.9	9.9	37.4	-27.5
紙類	51.0	68.3	-17.3	58.8	30.0	28.8
繊維類	3.7	5.0	-1.3	0.2	2.4	-2.2
プラスチック類	33.8	12.6	21.2	25.2	23.8	1.4
金属類	0.3	0.5	-0.2	0.0	0.1	-0.1
びん類	—	0.0	-0.0	—	—	—
その他	7.3	2.8	4.5	5.9	6.3	-0.4
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

オ 集合住宅（家族世帯）

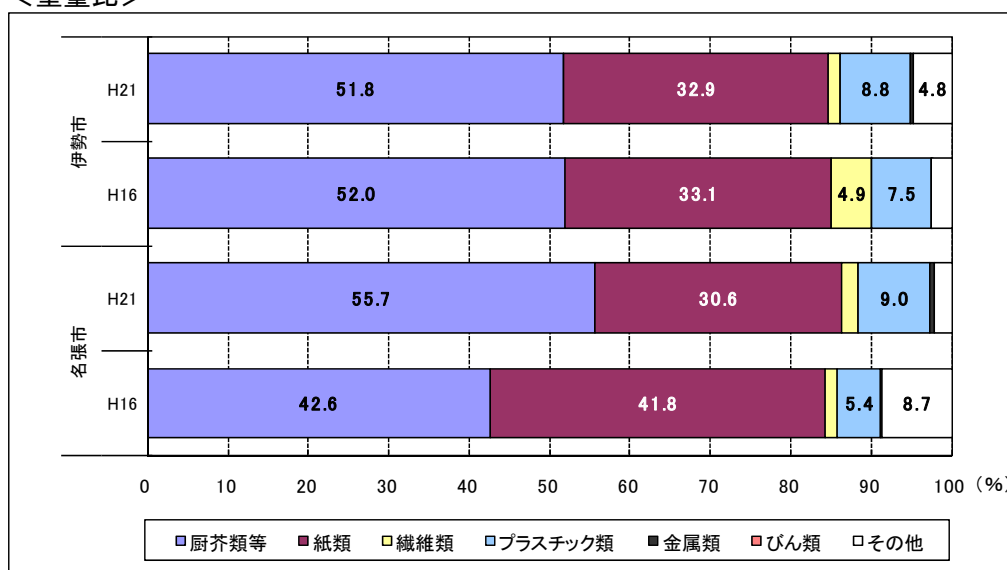
伊勢市、名張市の2地域は、重量比、容積比のそれぞれで同じような割合を示し、重量比について「厨芥類」が5～6割、「紙類」が3割を占めている。また容積比は「紙類」が5～6割、「プラスチック類」は3割を占めている。

●前回調査との比較

重量比において伊勢市では、繊維類がわずかに減少しているが、その他の分類は前回調査から大きな変化はみられない。

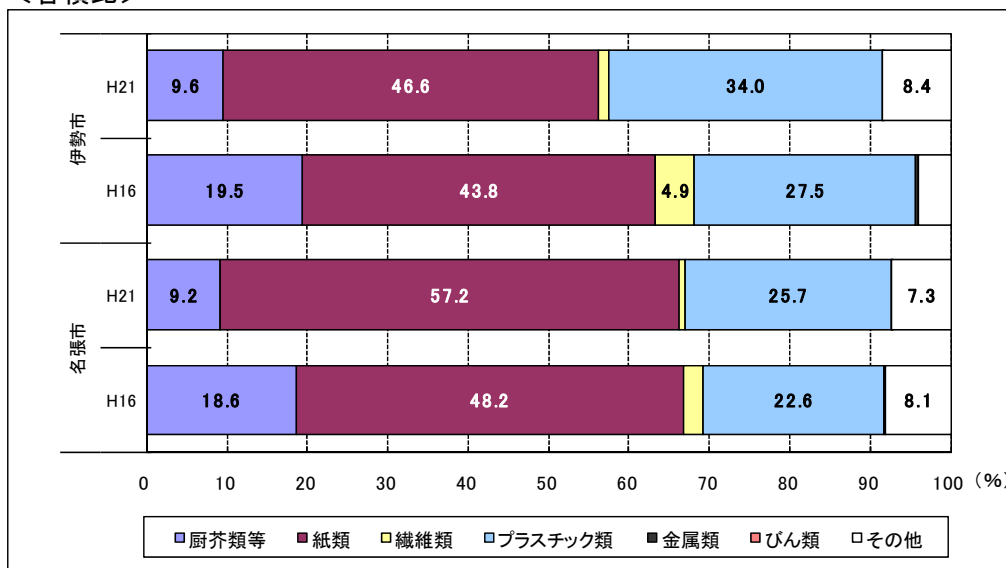
名張市では、「厨芥類」については前回調査が2.6%、本調査が55.7%と1割弱増加し、「紙類」は前回調査が41.8%、本調査が30.6%と1割弱減少している。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	51.8	52.0	-0.2	55.7	42.6	13.1
紙類	32.9	33.1	-0.2	30.6	41.8	-11.2
繊維類	1.4	4.9	-3.5	2.0	1.4	0.6
プラスチック類	8.8	7.5	1.3	9.0	5.4	3.6
金属類	0.3	0.1	0.2	0.5	0.1	0.4
びん類	-	-	-	-	-	-
その他	4.8	2.4	2.4	2.2	8.7	-6.5
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	9.6	19.5	-9.9	9.2	18.6	-9.4
紙類	46.6	43.8	2.8	57.2	48.2	9.0
繊維類	1.3	4.9	-3.6	0.6	2.4	-1.8
プラスチック類	34.0	27.5	6.5	25.7	22.6	3.1
金属類	0.1	0.4	-0.3	0.1	0.1	-0.0
びん類	-	-	-	-	-	-
その他	8.4	3.9	4.5	7.3	8.1	-0.8
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

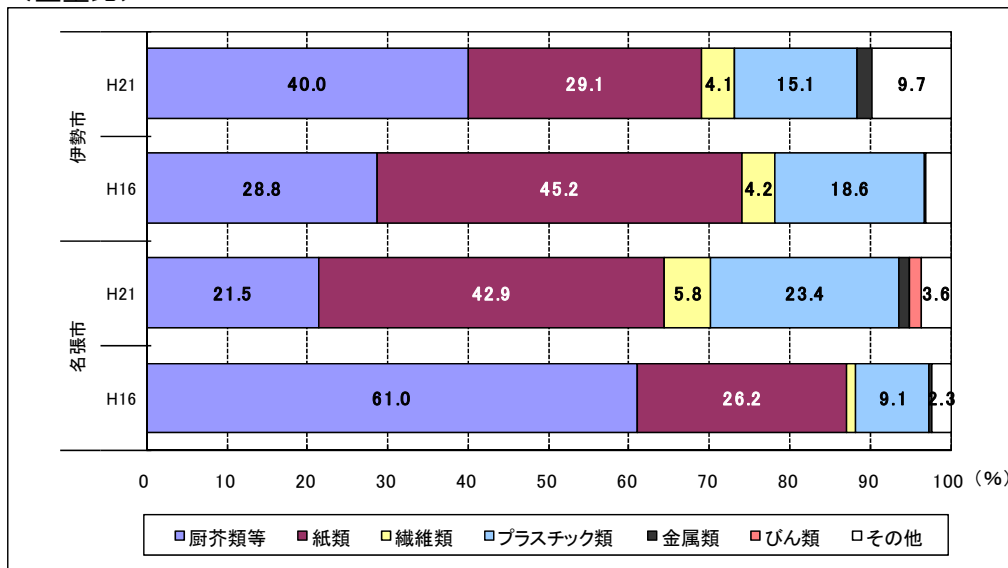
カ 集合住宅（単身世帯）

重量比は、「厨芥類」が伊勢市で4割と多く、「紙類」は名張市で4割を占め、「厨芥類」よりも多くなっている。「プラスチック類」は名張市で2割を占めている。容積比では伊勢市、名張市ともに「紙類」が3割、「プラスチック類」が5～6割を占めている。

●前回調査との比較

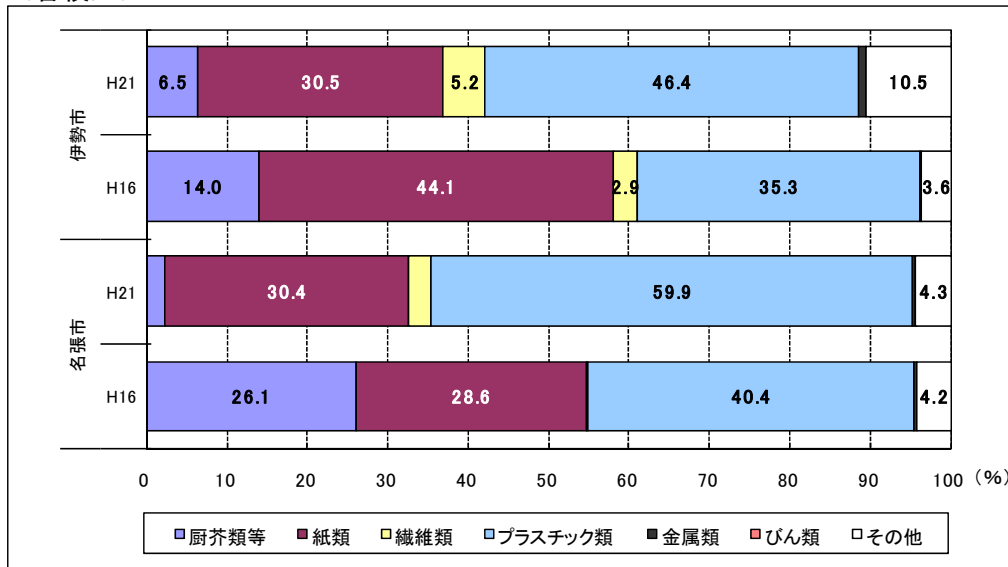
重量比において「厨芥類」は、伊勢市で増加、名張市で減少しており、名張市では前回調査が61.0%、本調査が21.5%と4割弱減少している。「紙類」は、名張市で増加、伊勢市で減少しており、伊勢市では前回調査が45.2%、本調査が29.1%と2割弱減少している。

<重量比>



重量比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	40.0	28.8	11.2	21.5	61.0	-39.5
紙類	29.1	45.2	-16.1	42.9	26.2	16.7
繊維類	4.1	4.2	-0.1	5.8	1.1	4.7
プラスチック類	15.1	18.6	-3.5	23.4	9.1	14.3
金属類	1.9	0.2	1.7	1.3	0.3	1.0
びん類	—	—	—	1.4	—	1.4
その他	9.7	3.0	6.7	3.6	2.3	1.3
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

<容積比>



容積比	伊勢市			名張市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
厨芥類等	6.5	14.0	-7.5	2.3	26.1	-23.8
紙類	30.5	44.1	-13.6	30.4	28.6	1.8
繊維類	5.2	2.9	2.3	2.8	0.3	2.5
プラスチック類	46.4	35.3	11.1	59.9	40.4	19.5
金属類	1.0	0.1	0.9	0.3	0.4	-0.1
びん類	—	—	—	0.1	—	0.1
その他	10.5	3.6	6.9	4.3	4.2	0.1
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

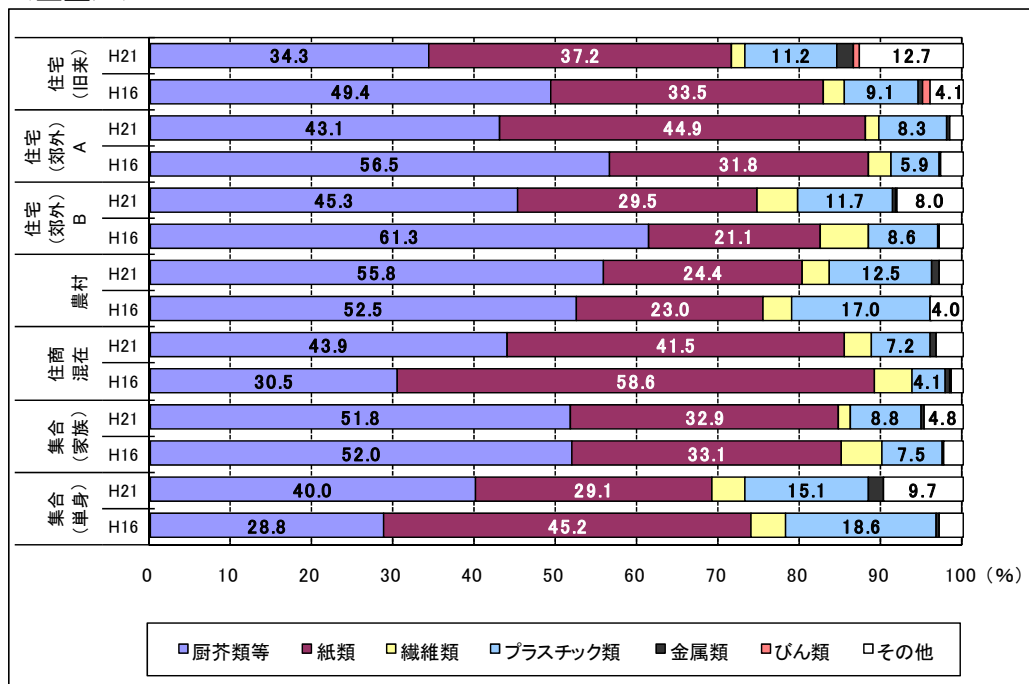
3. 分析調査詳細

(1) 品目別組成

ア 全体の組成

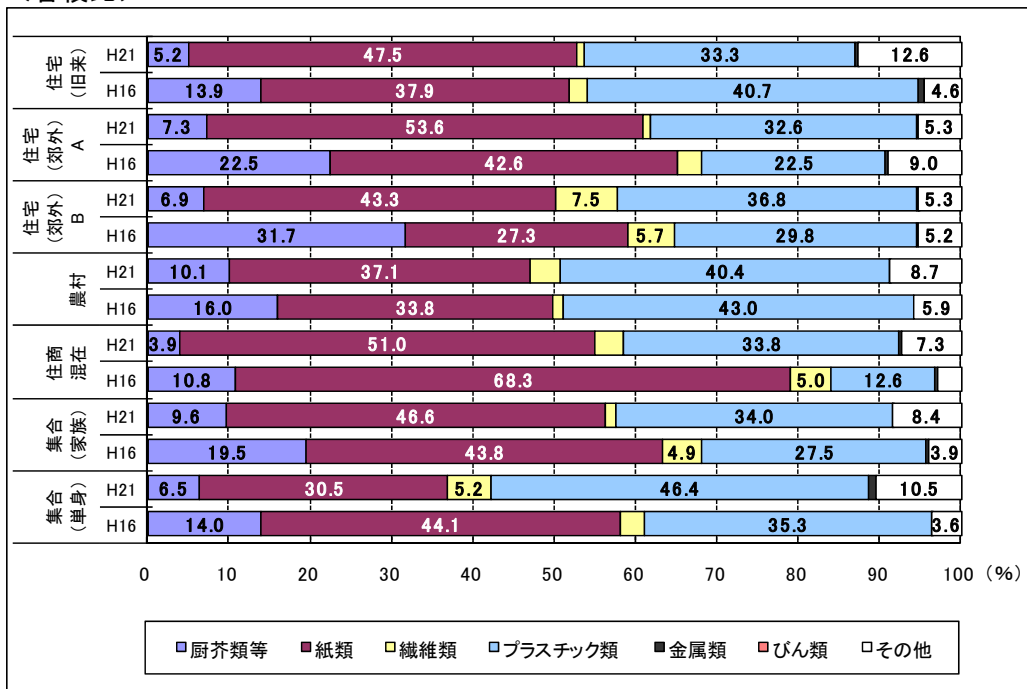
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	34.3	49.4	43.1	56.5	45.3	61.3	55.8	52.5	43.9	30.5	51.8	52.0	40.0	28.8
紙類	37.2	33.5	44.9	31.8	29.5	21.1	24.4	23.0	41.5	58.6	32.9	33.1	29.1	45.2
繊維類	1.7	2.5	1.7	2.9	4.9	5.9	3.4	3.4	3.4	4.6	1.4	4.9	4.1	4.2
プラスチック類	11.2	9.1	8.3	5.9	11.7	8.6	12.5	17.0	7.2	4.1	8.8	7.5	15.1	18.6
金属類	2.0	0.5	0.4	0.2	0.5	0.1	0.9	0.1	0.6	0.5	0.3	0.1	1.9	0.2
びん類	0.9	0.9	—	—	0.2	—	—	—	—	0.2	—	—	—	—
その他	12.7	4.1	1.5	2.7	8.0	3.0	2.9	4.0	3.4	1.5	4.8	2.4	9.7	3.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

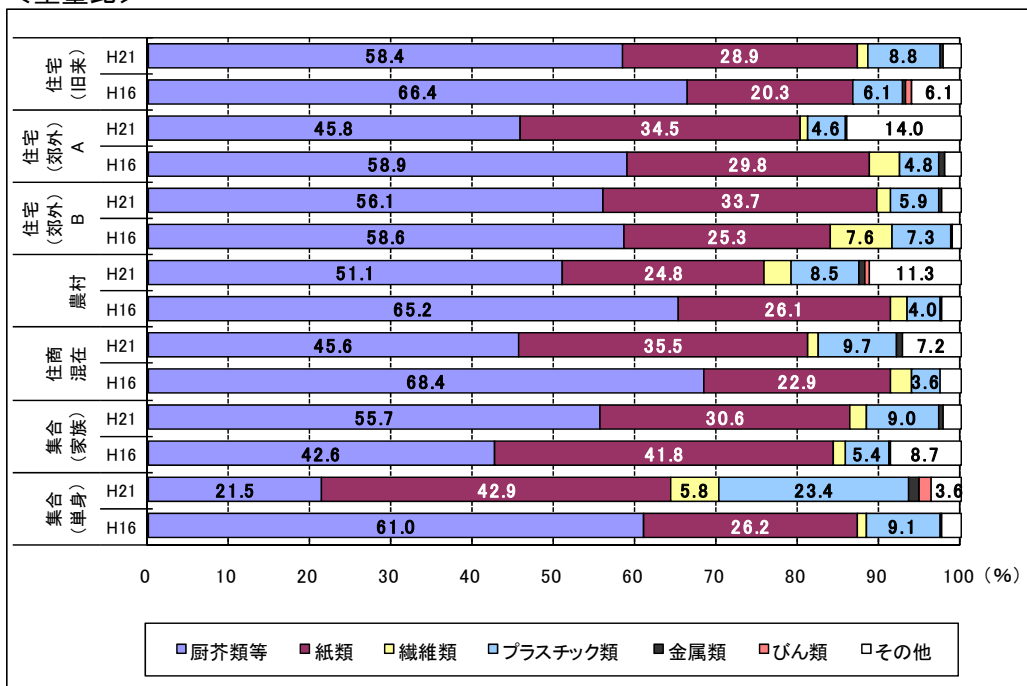
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	5.2	13.9	7.3	22.5	6.9	31.7	10.1	16.0	3.9	10.8	9.6	19.5	6.5	14.0
紙類	47.5	37.9	53.6	42.6	43.3	27.3	37.1	33.8	51.0	68.3	46.6	43.8	30.5	44.1
繊維類	1.0	2.2	1.0	3.1	7.5	5.7	3.7	1.3	3.7	5.0	1.3	4.9	5.2	2.9
プラスチック類	33.3	40.7	32.6	22.5	36.8	29.8	40.4	43.0	33.8	12.6	34.0	27.5	46.4	35.3
金属類	0.3	0.7	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.0	0.3	0.5	0.1	0.4	1.0	0.1
びん類	0.1	0.0	—	—	0.1	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
その他	12.6	4.6	5.3	9.0	5.3	5.2	8.7	5.9	7.3	2.8	8.4	3.9	10.5	3.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

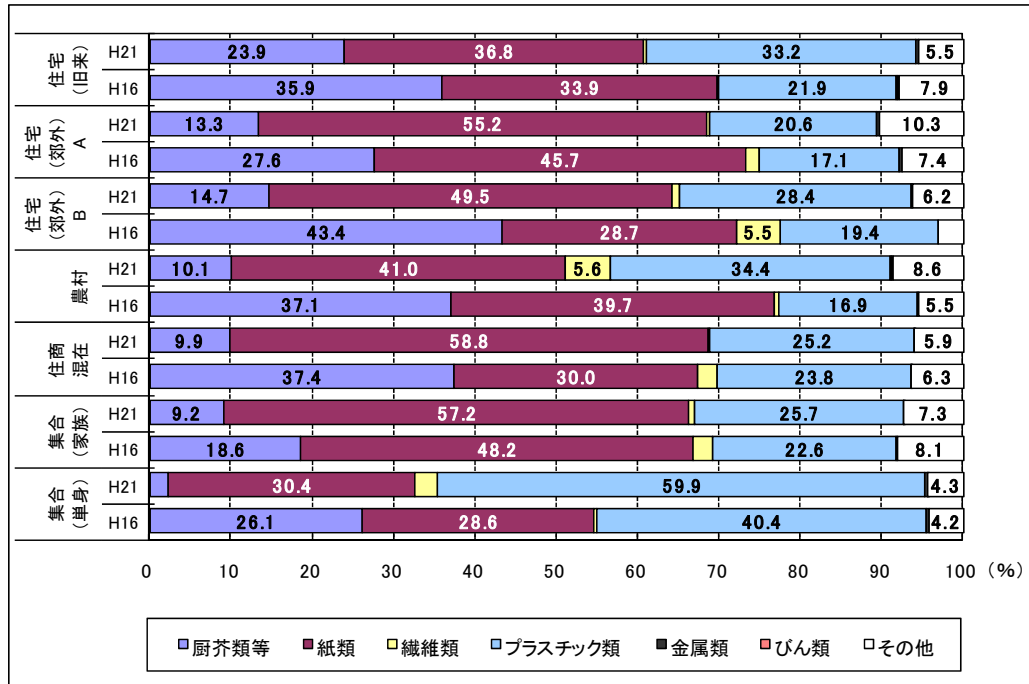
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	58.4	66.4	45.8	58.9	56.1	58.6	51.1	65.2	45.6	68.4	55.7	42.6	21.5	61.0
紙類	28.9	20.3	34.5	29.8	33.7	25.3	24.8	26.1	35.5	22.9	30.6	41.8	42.9	26.2
繊維類	1.4	0.1	0.9	3.8	1.6	7.6	3.3	2.1	1.4	2.6	2.0	1.4	5.8	1.1
プラスチック類	8.8	6.1	4.6	4.8	5.9	7.3	8.5	4.0	9.7	3.6	9.0	5.4	23.4	9.1
金属類	0.5	0.3	0.2	0.7	0.4	0.1	0.6	0.3	0.6	0.0	0.5	0.1	1.3	0.3
びん類	—	0.7	—	—	—	—	0.6	—	—	—	—	—	1.4	—
その他	2.1	6.1	14.0	2.0	2.4	1.1	11.3	2.3	7.2	2.5	2.2	8.7	3.6	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

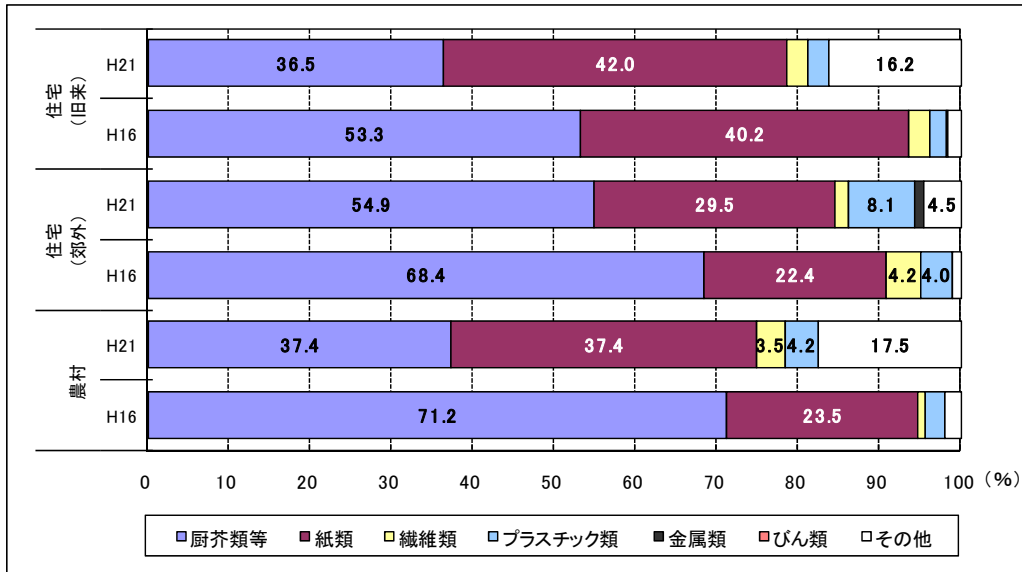
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	23.9	35.9	13.3	27.6	14.7	43.4	10.1	37.1	9.9	37.4	9.2	18.6	2.3	26.1
紙類	36.8	33.9	55.2	45.7	49.5	28.7	41.0	39.7	58.8	30.0	57.2	48.2	30.4	28.6
繊維類	0.4	0.1	0.3	1.7	1.0	5.5	5.6	0.6	0.2	2.4	0.6	2.4	2.8	0.3
プラスチック類	33.2	21.9	20.6	17.1	28.4	19.4	34.4	16.9	25.2	23.8	25.7	22.6	59.9	40.4
金属類	0.3	0.2	0.3	0.5	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4
びん類	—	0.1	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.1	—
その他	5.5	7.9	10.3	7.4	6.2	3.0	8.6	5.5	5.9	6.3	7.3	8.1	4.3	4.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

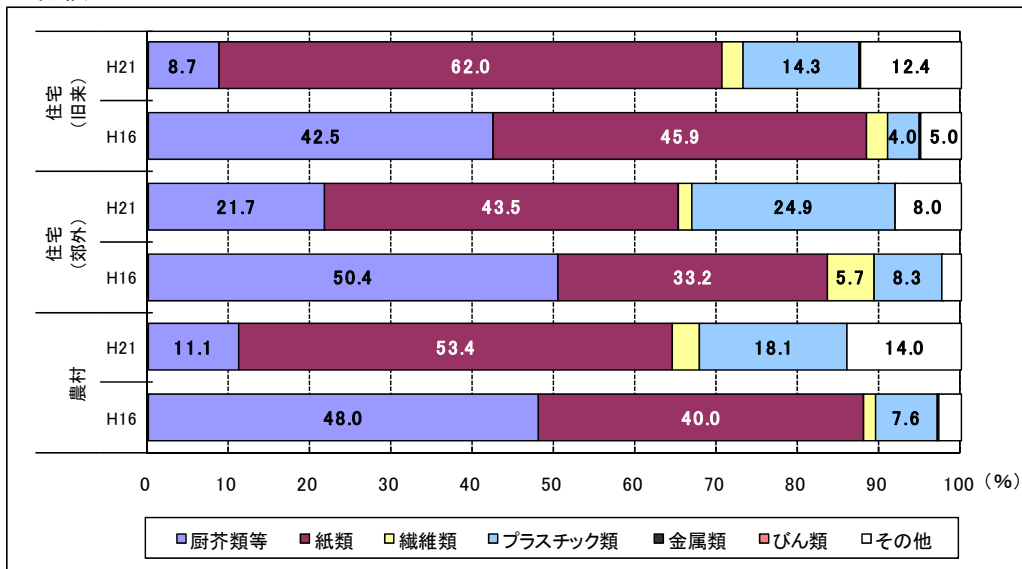
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	36.5	53.3	54.9	68.4	37.4	71.2
紙類	42.0	40.2	29.5	22.4	37.4	23.5
繊維類	2.6	2.6	1.8	4.2	3.5	1.0
プラスチック類	2.7	2.1	8.1	4.0	4.2	2.3
金属類	0.0	0.1	1.1	0.0	—	0.0
びん類	—	—	—	—	—	—
その他	16.2	1.7	4.5	1.0	17.5	2.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

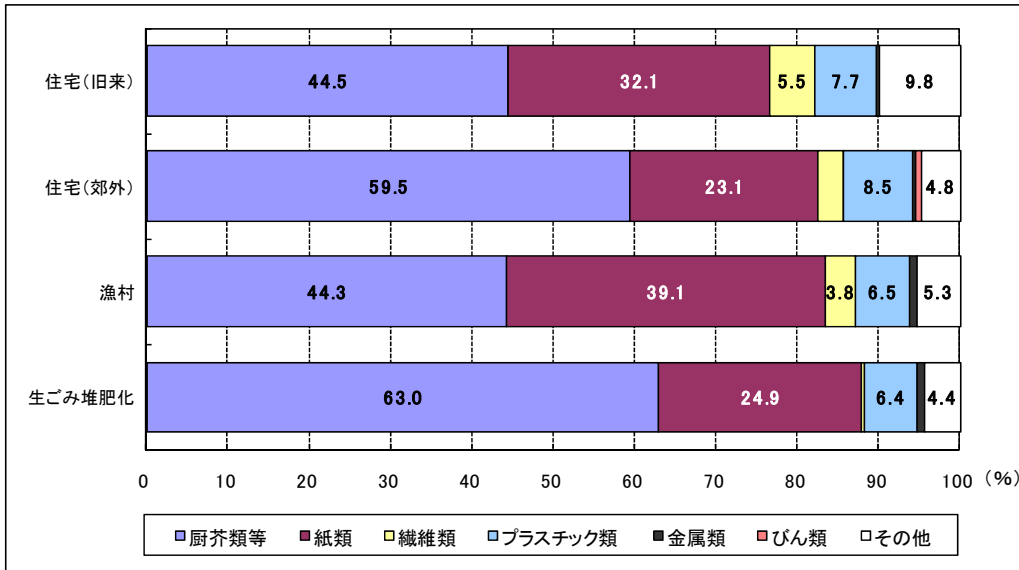
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
厨芥類等	8.7	42.5	21.7	50.4	11.1	48.0
紙類	62.0	45.9	43.5	33.2	53.4	40.0
繊維類	2.5	2.5	1.7	5.7	3.4	1.5
プラスチック類	14.3	4.0	24.9	8.3	18.1	7.6
金属類	0.1	0.1	0.1	0.1	—	0.1
びん類	—	—	—	—	—	—
その他	12.4	5.0	8.0	2.3	14.0	2.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

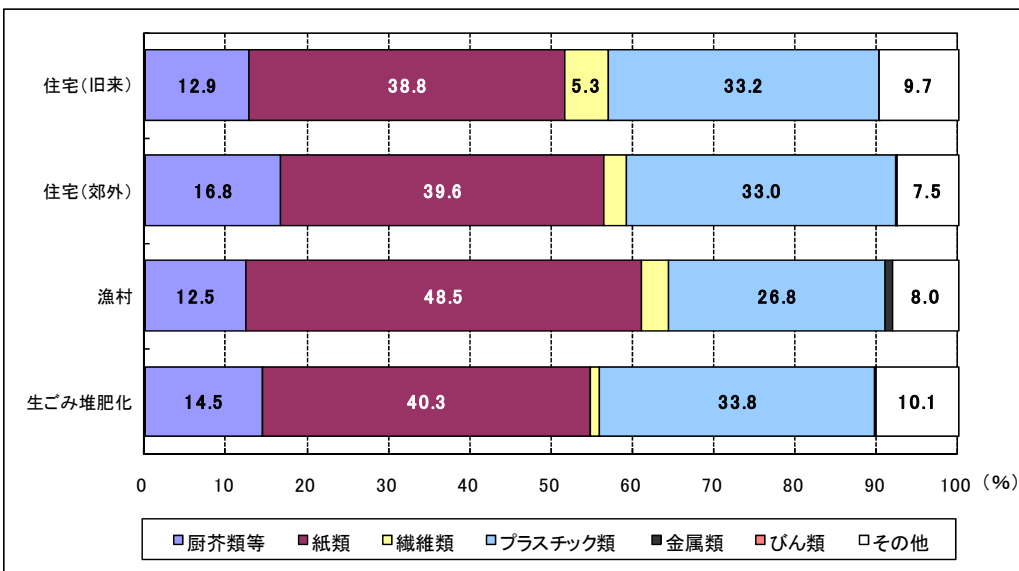
(エ) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
厨芥類等	44.5	59.5	44.3	63.0
紙類	32.1	23.1	39.1	24.9
繊維類	5.5	3.2	3.8	0.4
プラスチック類	7.7	8.5	6.5	6.4
金属類	0.4	0.4	0.9	0.9
びん類	—	0.6	—	—
その他	9.8	4.8	5.3	4.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0

<容積比>

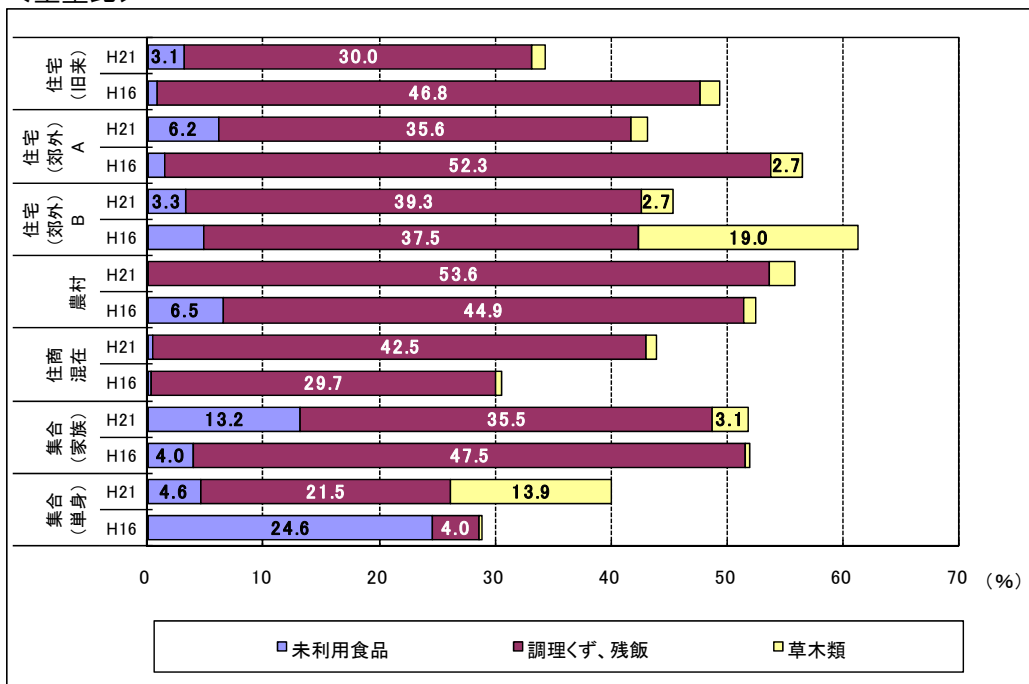


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
厨芥類等	12.9	16.8	12.5	14.5
紙類	38.8	39.6	48.5	40.3
繊維類	5.3	2.8	3.3	1.2
プラスチック類	33.2	33.0	26.8	33.8
金属類	0.1	0.1	0.9	0.1
びん類	—	0.1	—	—
その他	9.7	7.5	8.0	10.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0

イ 厨芥類等の組成

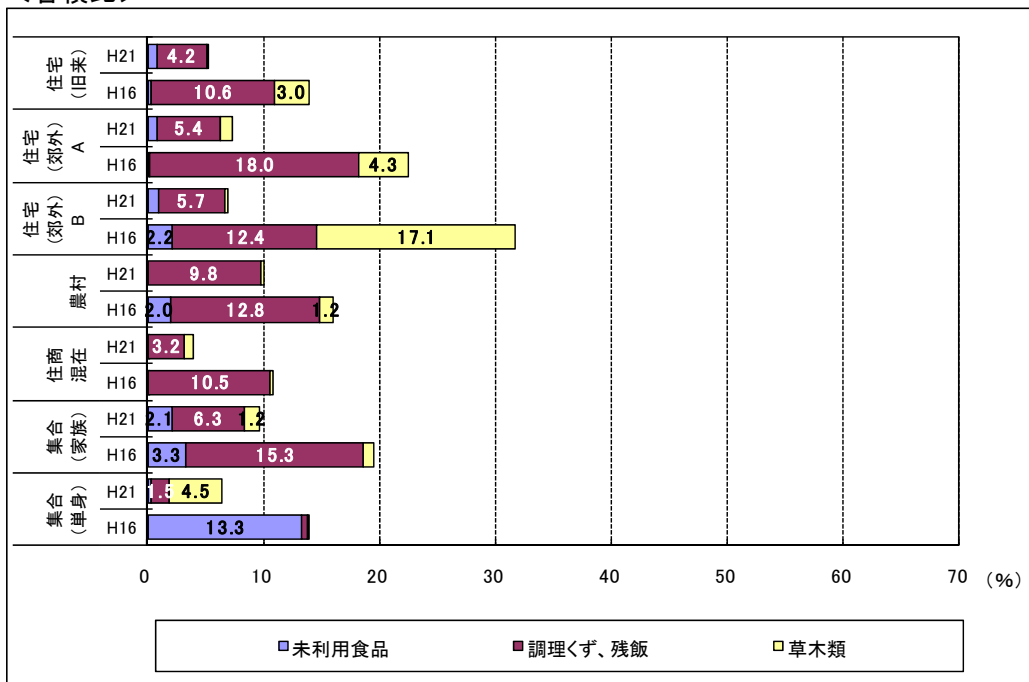
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	3.1	0.8	6.2	1.5	3.3	4.8	—	6.5	0.5	0.3	13.2	4.0	4.6	24.6
調理くず、残飯	30.0	46.8	35.6	52.3	39.3	37.5	53.6	44.9	42.5	29.7	35.5	47.5	21.5	4.0
草木類	1.1	1.8	1.3	2.7	2.7	19.0	2.2	1.1	0.9	0.5	3.1	0.5	13.9	0.2
計	34.3	49.4	43.1	56.5	45.3	61.3	55.8	52.5	43.9	30.5	51.8	52.0	40.0	28.8

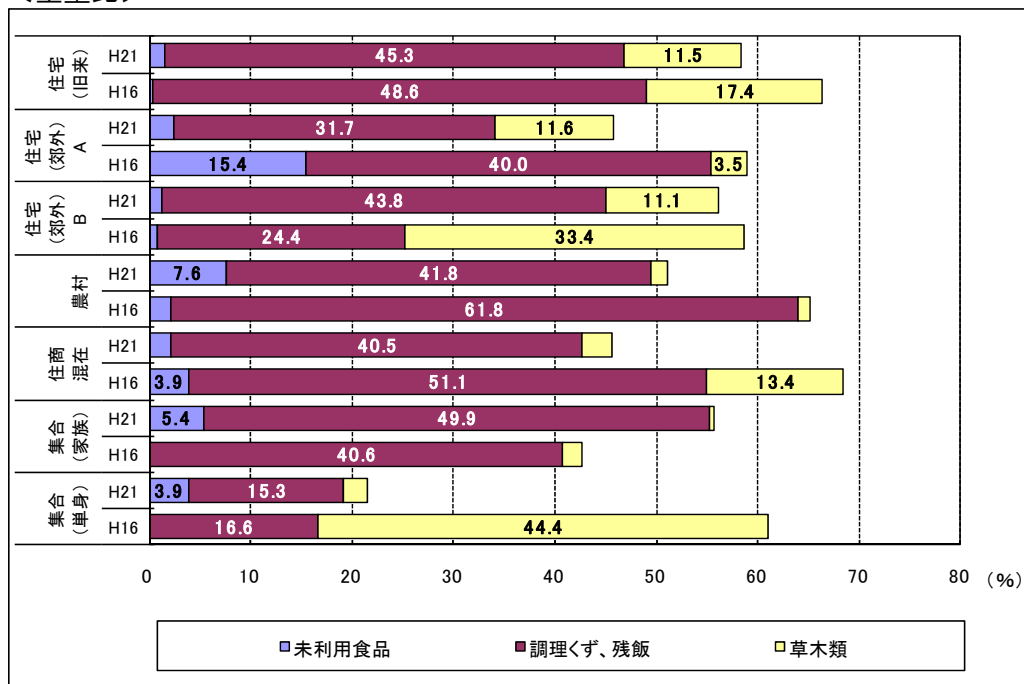
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	0.8	0.3	0.9	0.2	0.9	2.2	—	2.0	0.1	0.1	2.1	3.3	0.4	13.3
調理くず、残飯	4.2	10.6	5.4	18.0	5.7	12.4	9.8	12.8	3.2	10.5	6.3	15.3	1.5	0.5
草木類	0.1	3.0	1.1	4.3	0.3	17.1	0.3	1.2	0.7	0.2	1.2	0.9	4.5	0.2
計	5.2	13.9	7.3	22.5	6.9	31.7	10.1	16.0	3.9	10.8	9.6	19.5	6.5	14.0

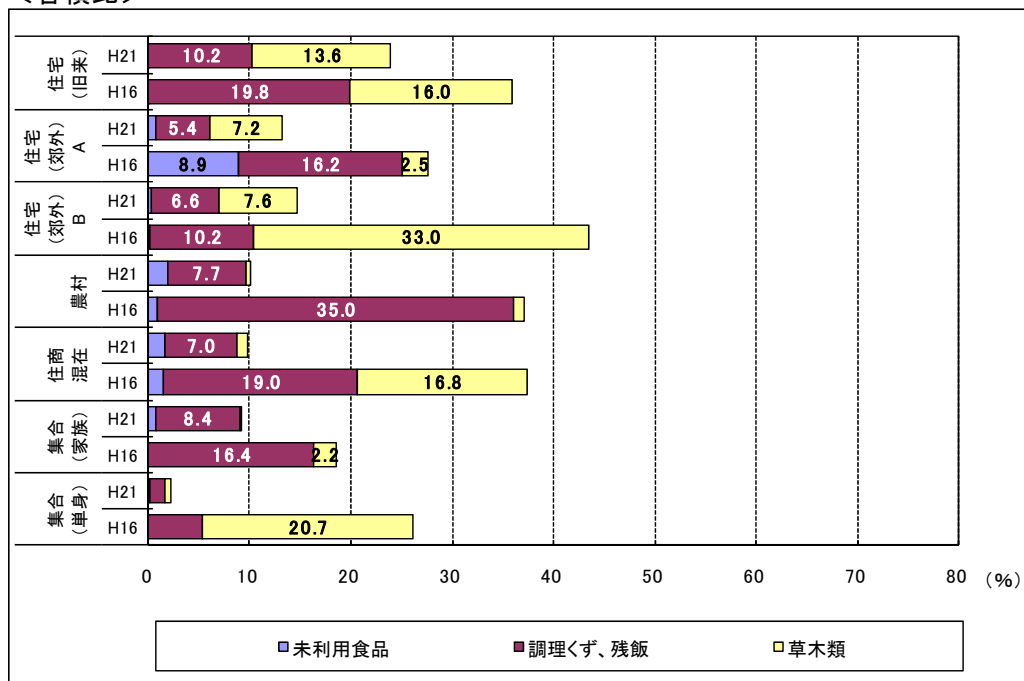
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	1.5	0.4	2.5	15.4	1.2	0.8	7.6	2.1	2.2	3.9	5.4	0.1	3.9	0.0
調理くず、残飯	45.3	48.6	31.7	40.0	43.8	24.4	41.8	61.8	40.5	51.1	49.9	40.6	15.3	16.6
草木類	11.5	17.4	11.6	3.5	11.1	33.4	1.6	1.3	2.9	13.4	0.5	1.9	2.3	44.4
計	58.4	66.4	45.8	58.9	56.1	58.6	51.1	65.2	45.6	68.4	55.7	42.6	21.5	61.0

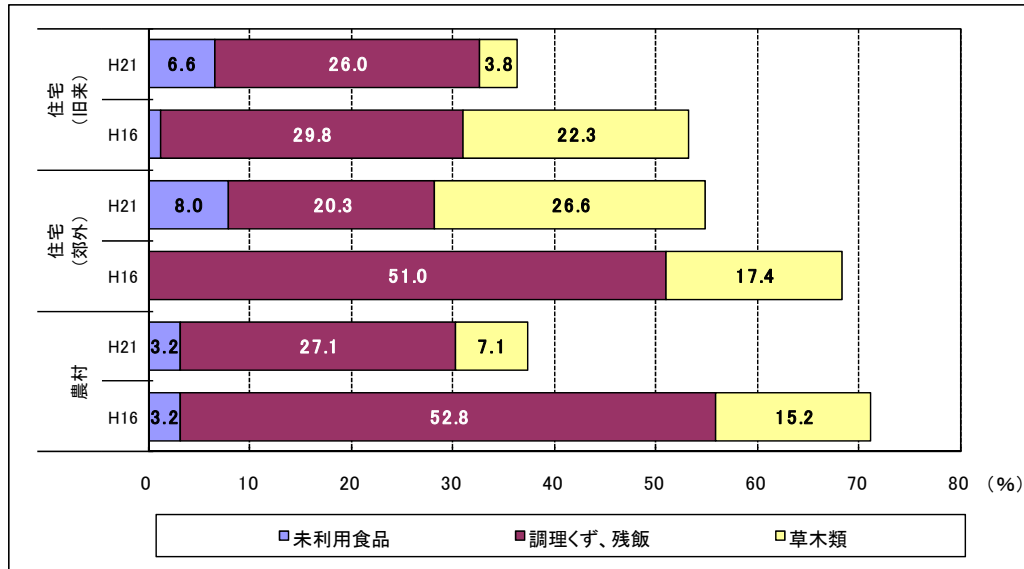
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	0.1	0.1	0.8	8.9	0.4	0.2	1.9	1.0	1.7	1.6	0.7	0.0	0.2	0.0
調理くず、残飯	10.2	19.8	5.4	16.2	6.6	10.2	7.7	35.0	7.0	19.0	8.4	16.4	1.5	5.4
草木類	13.6	16.0	7.2	2.5	7.6	33.0	0.4	1.1	1.1	16.8	0.1	2.2	0.6	20.7
計	23.9	35.9	13.3	27.6	14.7	43.4	10.1	37.1	9.9	37.4	9.2	18.6	2.3	26.1

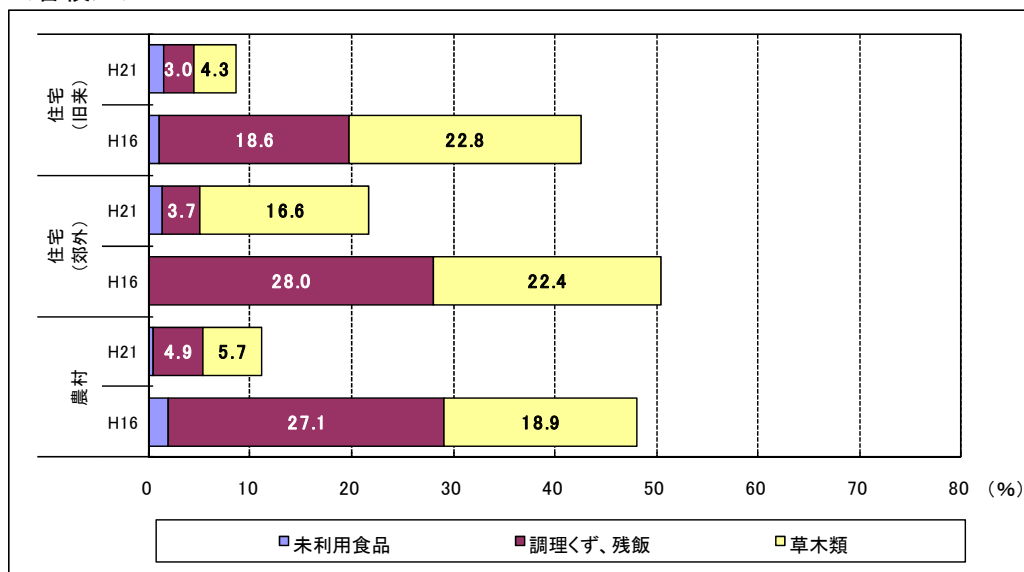
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	6.6	1.2	8.0	—	3.2	3.2
調理くず、残飯	26.0	29.8	20.3	51.0	27.1	52.8
草木類	3.8	22.3	26.6	17.4	7.1	15.2
計	36.5	53.3	54.9	68.4	37.4	71.2

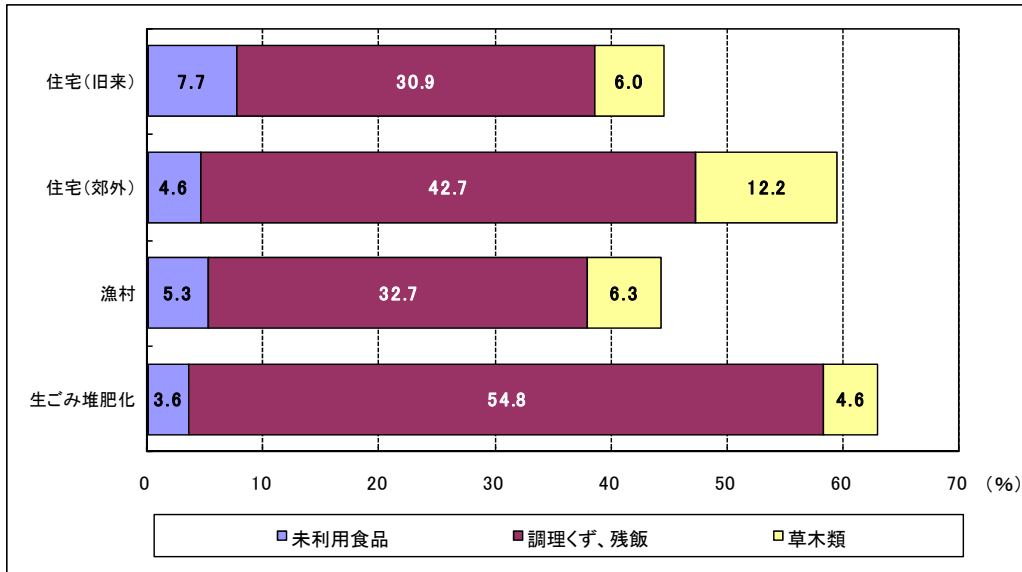
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
未利用食品	1.5	1.1	1.5	—	0.5	2.0
調理くず、残飯	3.0	18.6	3.7	28.0	4.9	27.1
草木類	4.3	22.8	16.6	22.4	5.7	18.9
計	8.7	42.5	21.7	50.4	11.1	48.0

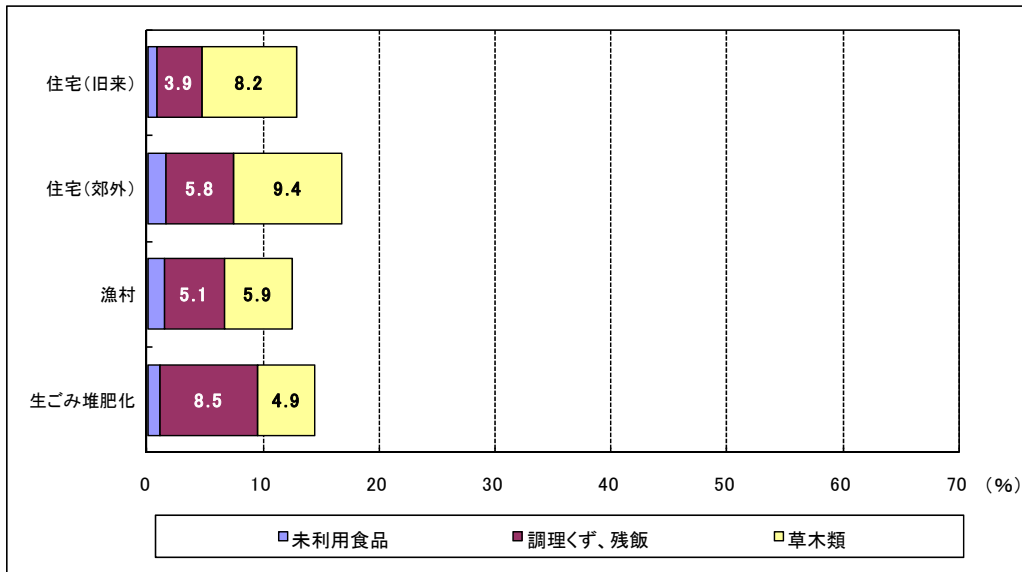
(工) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
未利用食品	7.7	4.6	5.3	3.6
調理くず、残飯	30.9	42.7	32.7	54.8
草木類	6.0	12.2	6.3	4.6
計	44.5	59.5	44.3	63.0

<容積比>

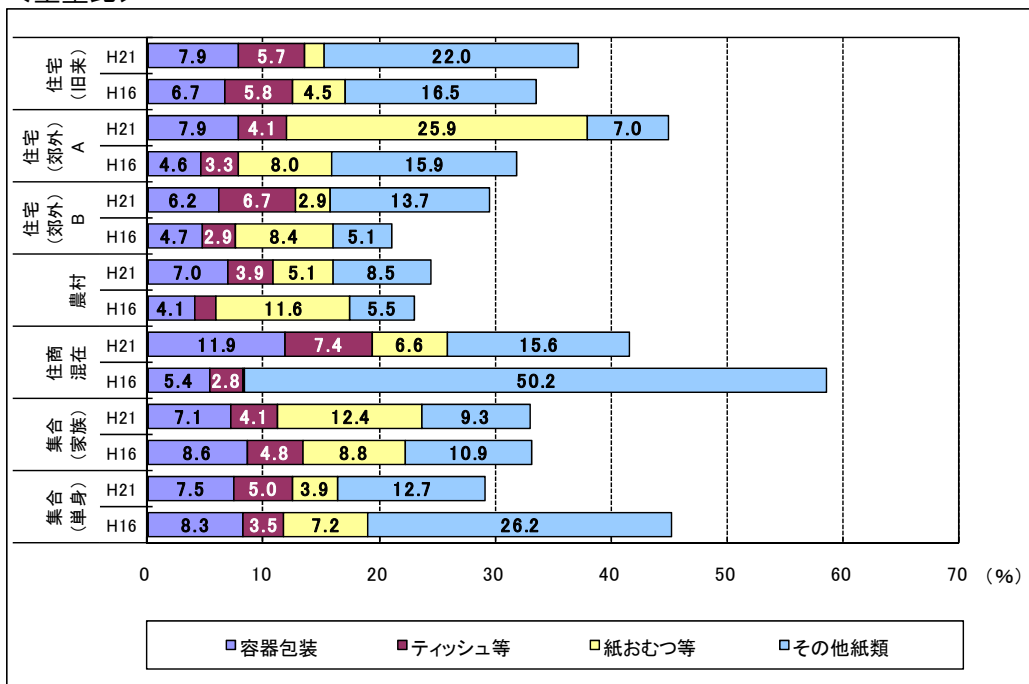


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
未利用食品	0.8	1.7	1.5	1.1
調理くず、残飯	3.9	5.8	5.1	8.5
草木類	8.2	9.4	5.9	4.9
計	12.9	16.8	12.5	14.5

ウ 紙類の組成

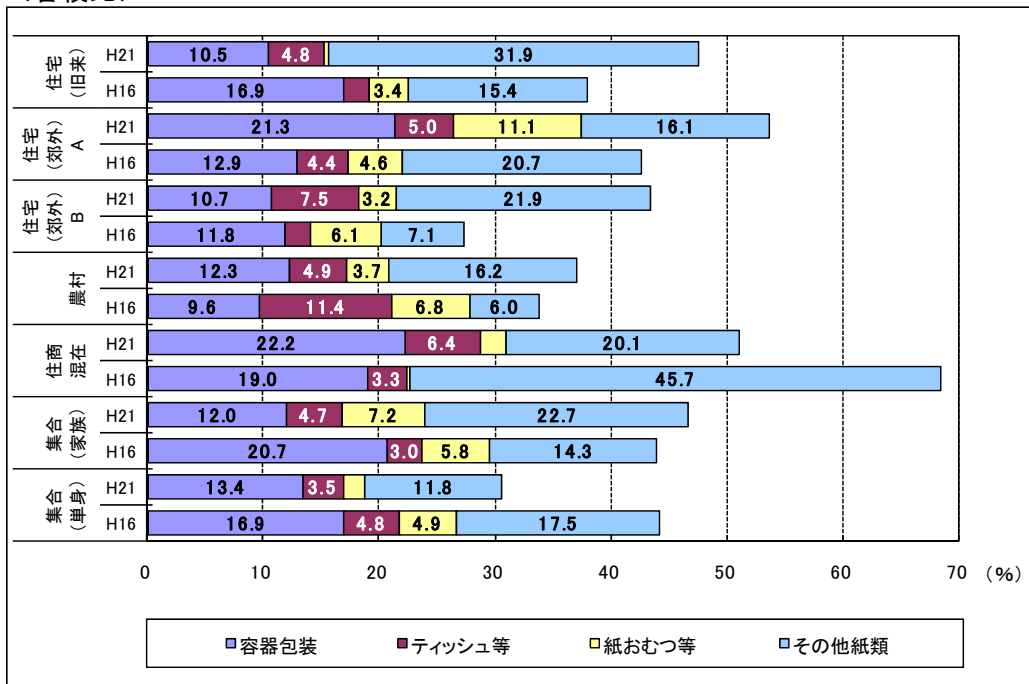
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	7.9	6.7	7.9	4.6	6.2	4.7	7.0	4.1	11.9	5.4	7.1	8.6	7.5	8.3
ティッシュ等	5.7	5.8	4.1	3.3	6.7	2.9	3.9	1.8	7.4	2.8	4.1	4.8	5.0	3.5
紙おむつ等	1.6	4.5	25.9	8.0	2.9	8.4	5.1	11.6	6.6	0.2	12.4	8.8	3.9	7.2
その他紙類	22.0	16.5	7.0	15.9	13.7	5.1	8.5	5.5	15.6	50.2	9.3	10.9	12.7	26.2
計	37.2	33.5	44.9	31.8	29.5	21.1	24.4	23.0	41.5	58.6	32.9	33.1	29.1	45.2

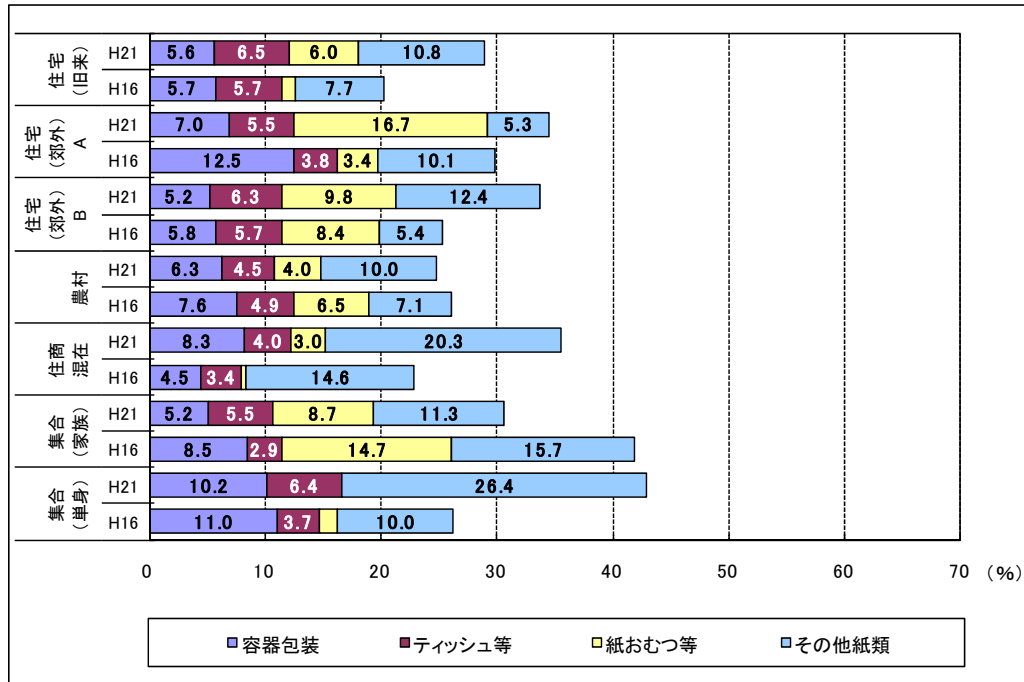
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	10.5	16.9	21.3	12.9	10.7	11.8	12.3	9.6	22.2	19.0	12.0	20.7	13.4	16.9
ティッシュ等	4.8	2.2	5.0	4.4	7.5	2.3	4.9	11.4	6.4	3.3	4.7	3.0	3.5	4.8
紙おむつ等	0.3	3.4	11.1	4.6	3.2	6.1	3.7	6.8	2.2	0.3	7.2	5.8	1.8	4.9
その他紙類	31.9	15.4	16.1	20.7	21.9	7.1	16.2	6.0	20.1	45.7	22.7	14.3	11.8	17.5
計	47.5	37.9	53.6	42.6	43.3	27.3	37.1	33.8	51.0	68.3	46.6	43.8	30.5	44.1

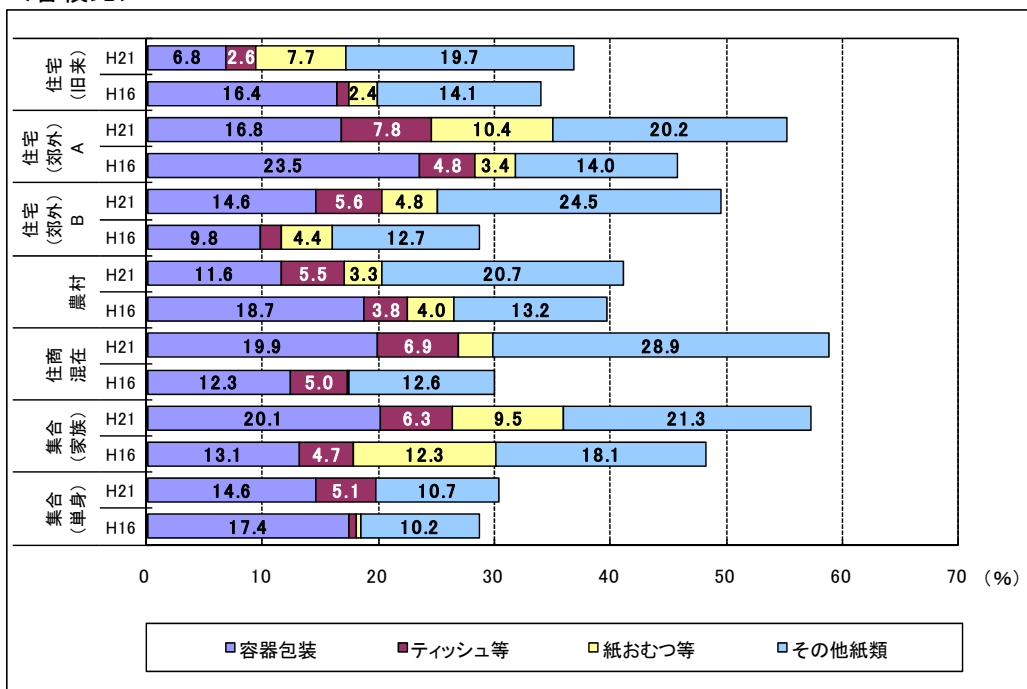
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	5.6	5.7	7.0	12.5	5.2	5.8	6.3	7.6	8.3	4.5	5.2	8.5	10.2	11.0
ティッシュ等	6.5	5.7	5.5	3.8	6.3	5.7	4.5	4.9	4.0	3.4	5.5	2.9	6.4	3.7
紙おむつ等	6.0	1.2	16.7	3.4	9.8	8.4	4.0	6.5	3.0	0.4	8.7	14.7	—	1.5
その他紙類	10.8	7.7	5.3	10.1	12.4	5.4	10.0	7.1	20.3	14.6	11.3	15.7	26.4	10.0
計	28.9	20.3	34.5	29.8	33.7	25.3	24.8	26.1	35.5	22.9	30.6	41.8	42.9	26.2

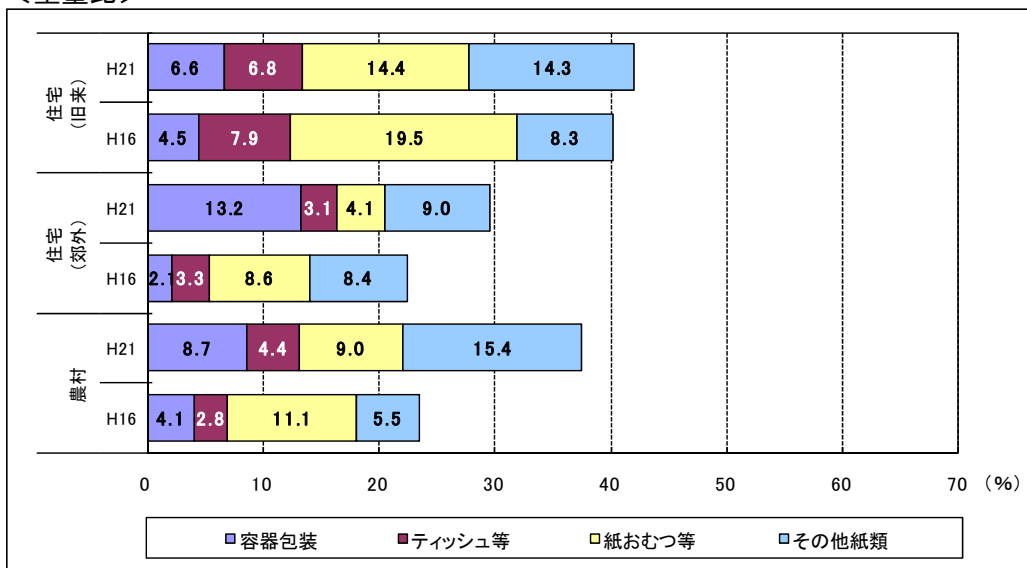
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	6.8	16.4	16.8	23.5	14.6	9.8	11.6	18.7	19.9	12.3	20.1	13.1	14.6	17.4
ティッシュ等	2.6	1.0	7.8	4.8	5.6	1.8	5.5	3.8	6.9	5.0	6.3	4.7	5.1	0.7
紙おむつ等	7.7	2.4	10.4	3.4	4.8	4.4	3.3	4.0	3.1	0.1	9.5	12.3	—	0.3
その他紙類	19.7	14.1	20.2	14.0	24.5	12.7	20.7	13.2	28.9	12.6	21.3	18.1	10.7	10.2
計	36.8	33.9	55.2	45.7	49.5	28.7	41.0	39.7	58.8	30.0	57.2	48.2	30.4	28.6

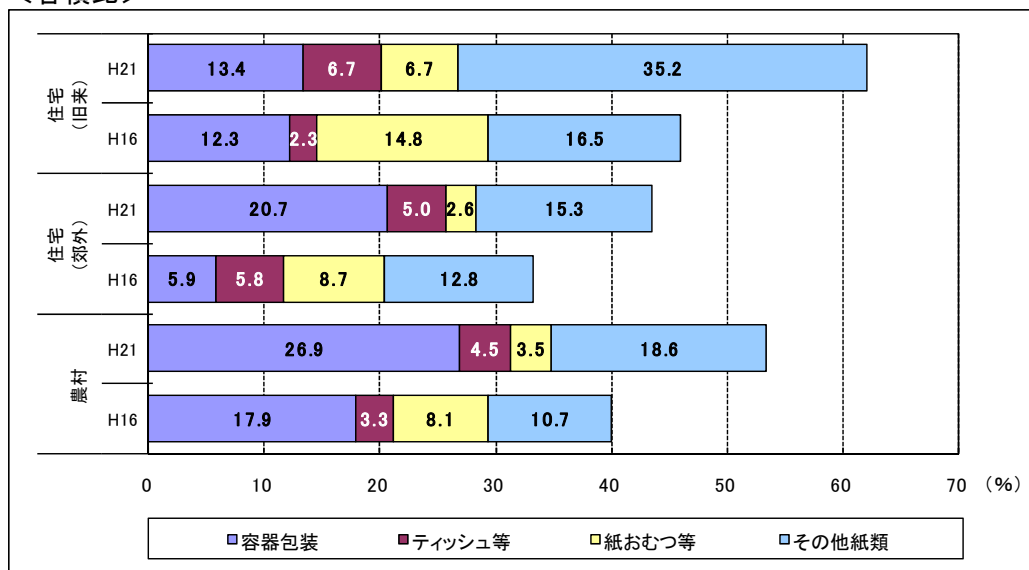
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	6.6	4.5	13.2	2.1	8.7	4.1
ティッシュ等	6.8	7.9	3.1	3.3	4.4	2.8
紙おむつ等	14.4	19.5	4.1	8.6	9.0	11.1
その他紙類	14.3	8.3	9.0	8.4	15.4	5.5
計	42.0	40.2	29.5	22.4	37.4	23.5

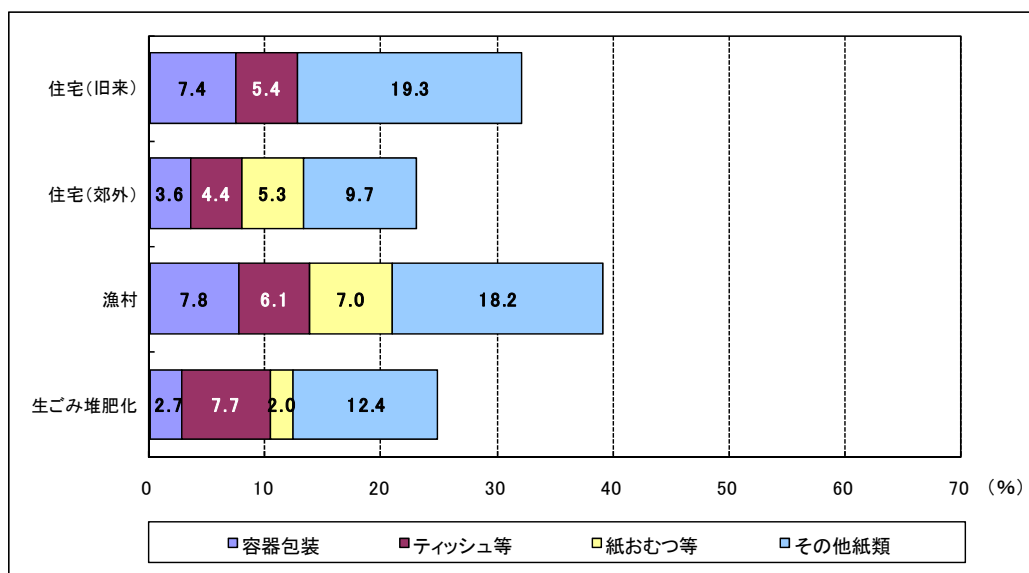
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	13.4	12.3	20.7	5.9	26.9	17.9
ティッシュ等	6.7	2.3	5.0	5.8	4.5	3.3
紙おむつ等	6.7	14.8	2.6	8.7	3.5	8.1
その他紙類	35.2	16.5	15.3	12.8	18.6	10.7
計	62.0	45.9	43.5	33.2	53.4	40.0

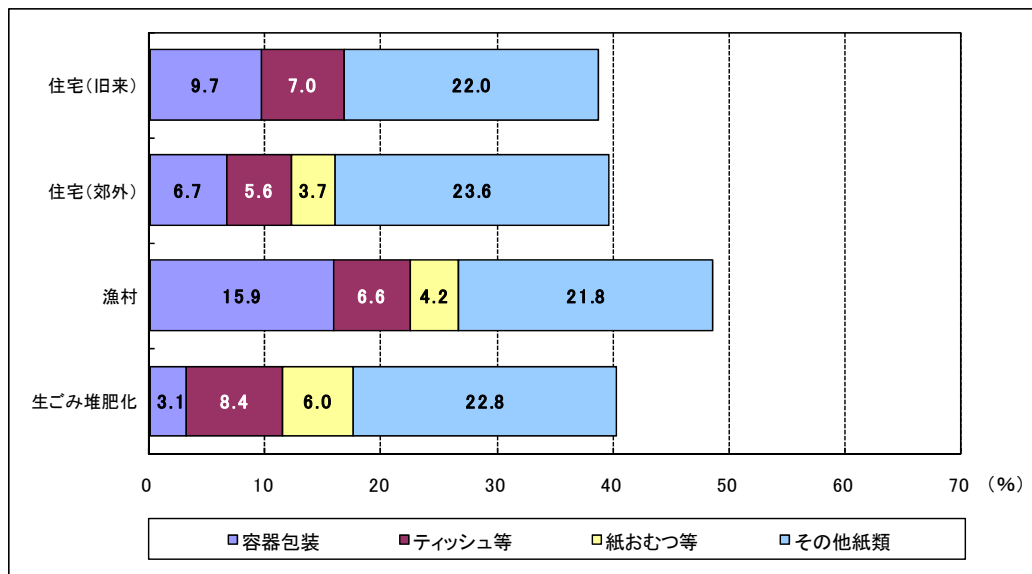
(エ) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	7.4	3.6	7.8	2.7
ティッシュ等	5.4	4.4	6.1	7.7
紙おむつ等	—	5.3	7.0	2.0
その他紙類	19.3	9.7	18.2	12.4
計	32.1	23.1	39.1	24.9

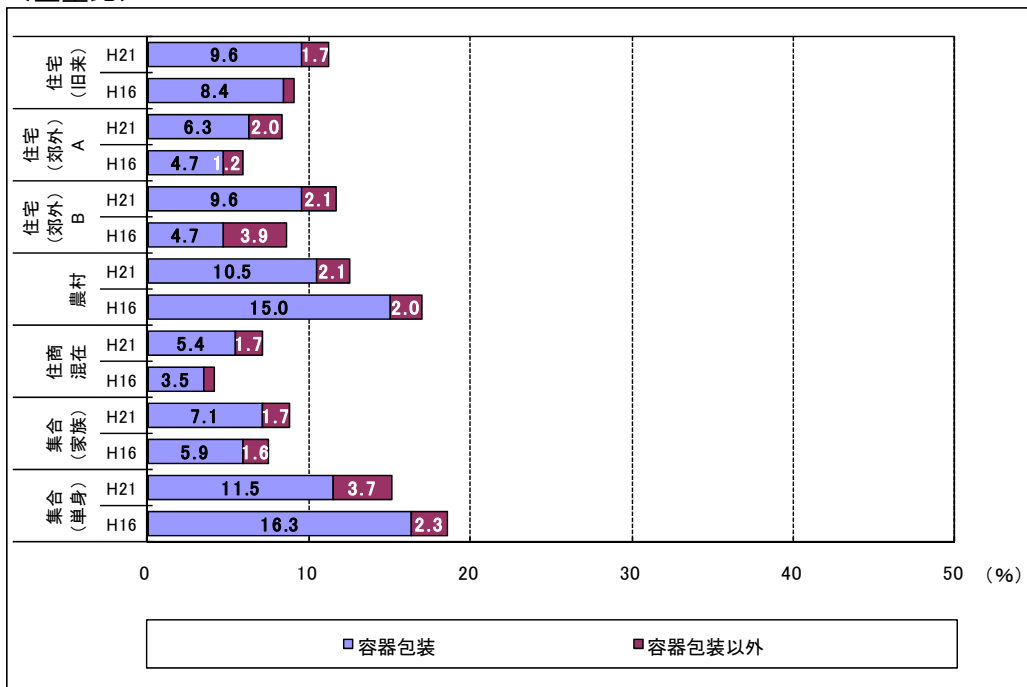
<容積比>



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	9.7	6.7	15.9	3.1
ティッシュ等	7.0	5.6	6.6	8.4
紙おむつ等	—	3.7	4.2	6.0
その他紙類	22.0	23.6	21.8	22.8
計	38.8	39.6	48.5	40.3

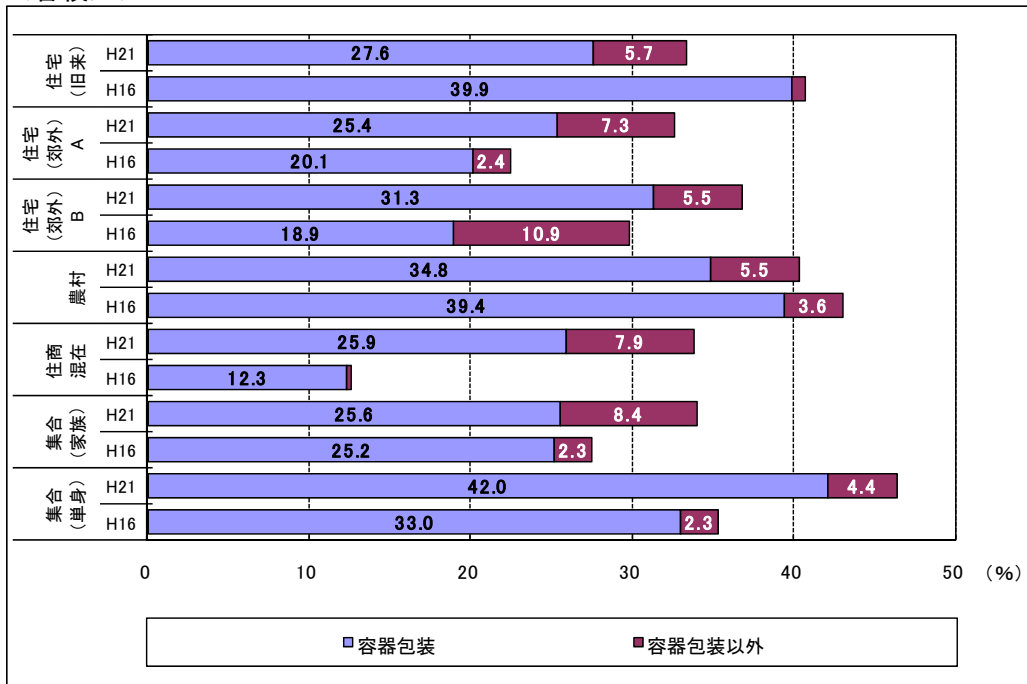
エ プラスチック類の組成
 (ア) 容器包装と容器包装以外
 a 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	9.6	8.4	6.3	4.7	9.6	4.7	10.5	15.0	5.4	3.5	7.1	5.9	11.5	16.3
容器包装以外	1.7	0.7	2.0	1.2	2.1	3.9	2.1	2.0	1.7	0.6	1.7	1.6	3.7	2.3
計	11.2	9.1	8.3	5.9	11.7	8.6	12.5	17.0	7.2	4.1	8.8	7.5	15.1	18.6

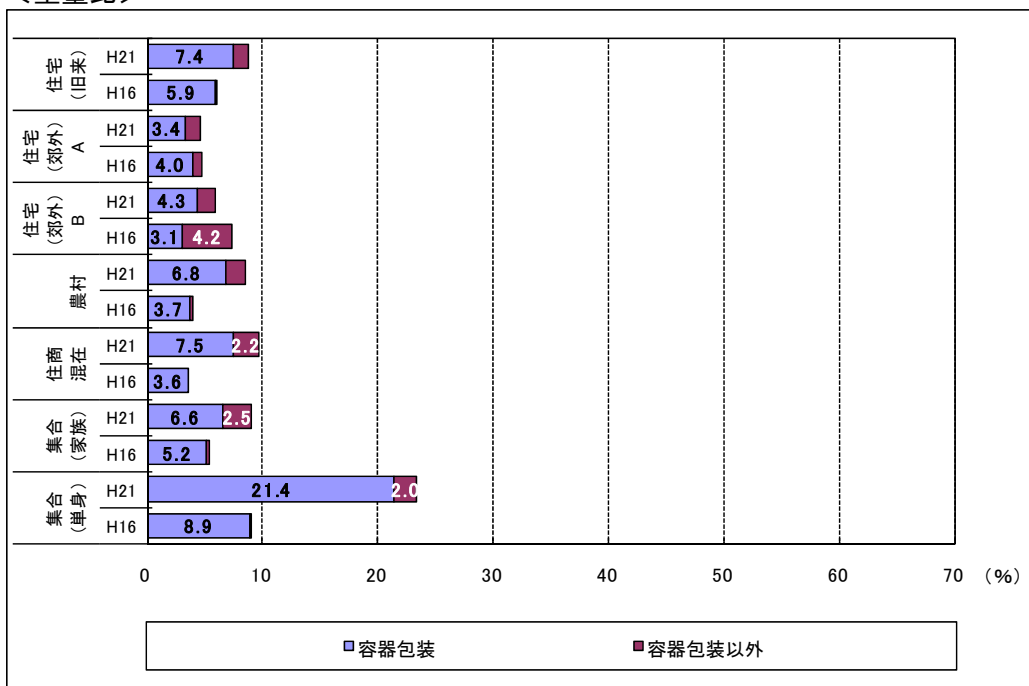
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	27.6	39.9	25.4	20.1	31.3	18.9	34.8	39.4	25.9	12.3	25.6	25.2	42.0	33.0
容器包装以外	5.7	0.8	7.3	2.4	5.5	10.9	5.5	3.6	7.9	0.3	8.4	2.3	4.4	2.3
計	33.3	40.7	32.6	22.5	36.8	29.8	40.4	43.0	33.8	12.6	34.0	27.5	46.4	35.3

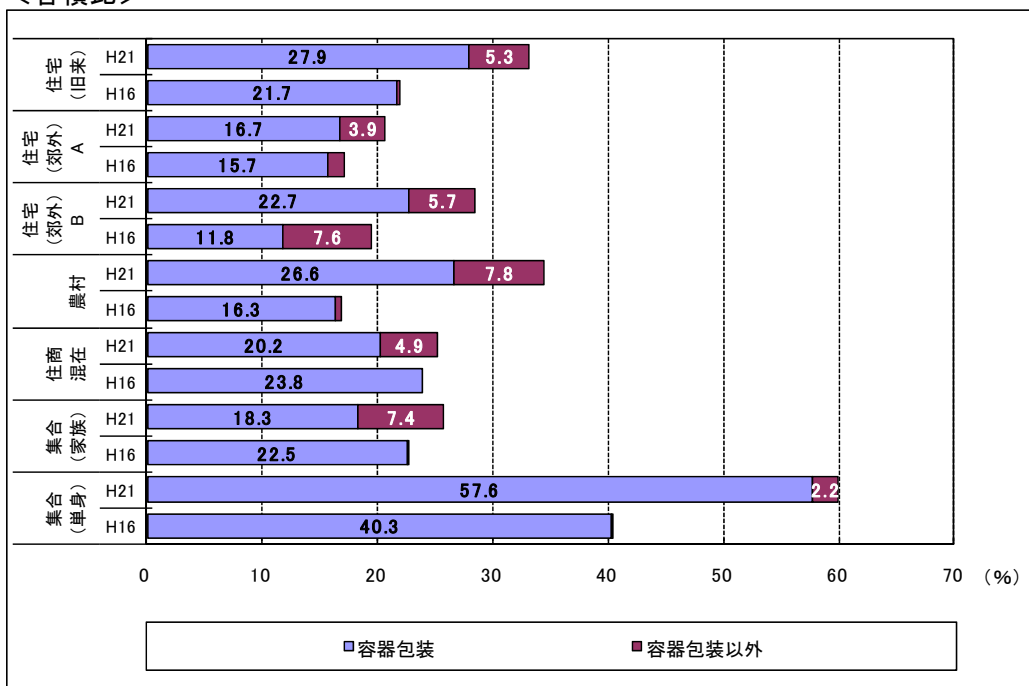
b 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	7.4	5.9	3.4	4.0	4.3	3.1	6.8	3.7	7.5	3.6	6.6	5.2	21.4	8.9
容器包装以外	1.4	0.2	1.3	0.8	1.6	4.2	1.6	0.3	2.2	—	2.5	0.2	2.0	0.2
計	8.8	6.1	4.6	4.8	5.9	7.3	8.5	4.0	9.7	3.6	9.0	5.4	23.4	9.1

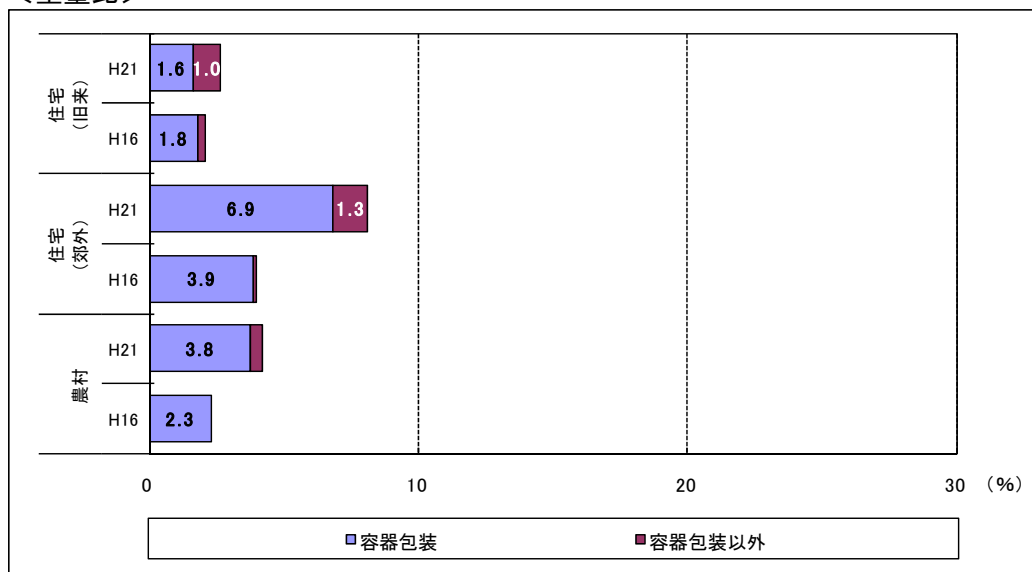
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	27.9	21.7	16.7	15.7	22.7	11.8	26.6	16.3	20.2	23.8	18.3	22.5	57.6	40.3
容器包装以外	5.3	—	3.9	1.4	5.7	7.6	7.8	0.6	4.9	—	7.4	0.1	2.2	0.1
計	33.2	21.9	20.6	17.1	28.4	19.4	34.4	16.9	25.2	23.8	25.7	22.6	59.9	40.4

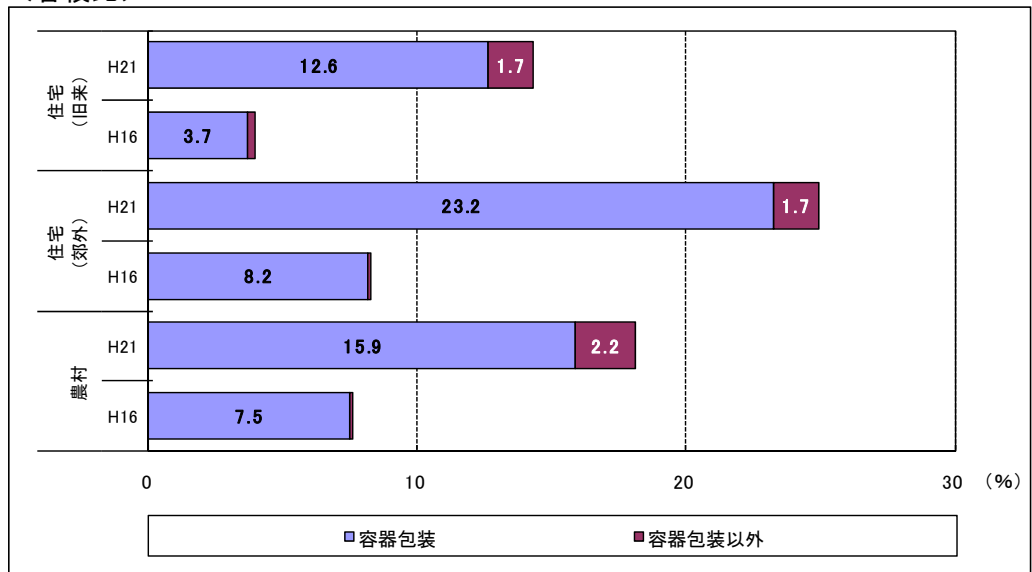
c 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	1.6	1.8	6.9	3.9	3.8	2.3
容器包装以外	1.0	0.3	1.3	0.1	0.4	0.0
計	2.7	2.1	8.1	4.0	4.2	2.3

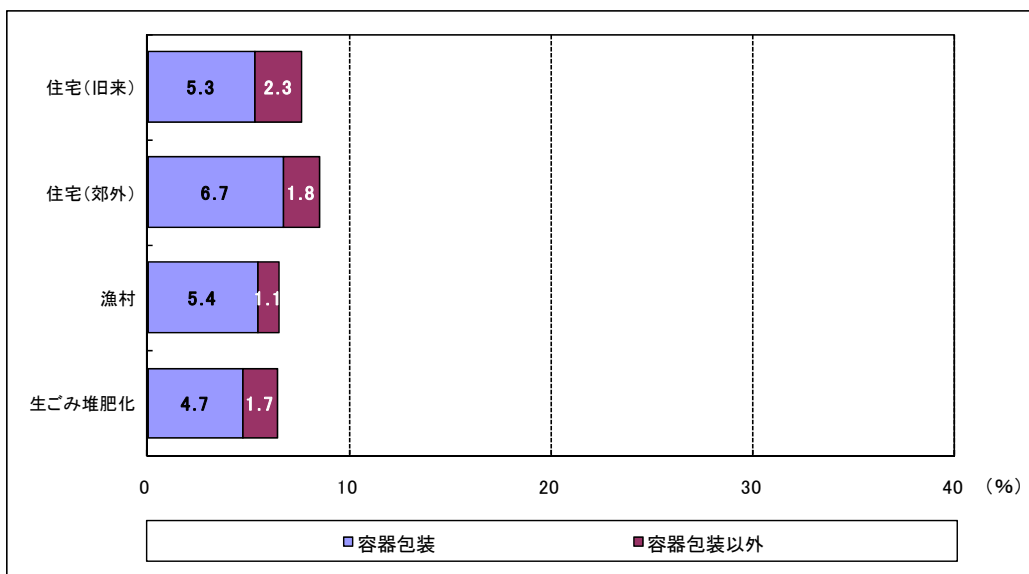
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	12.6	3.7	23.2	8.2	15.9	7.5
容器包装以外	1.7	0.3	1.7	0.1	2.2	0.1
計	14.3	4.0	24.9	8.3	18.1	7.6

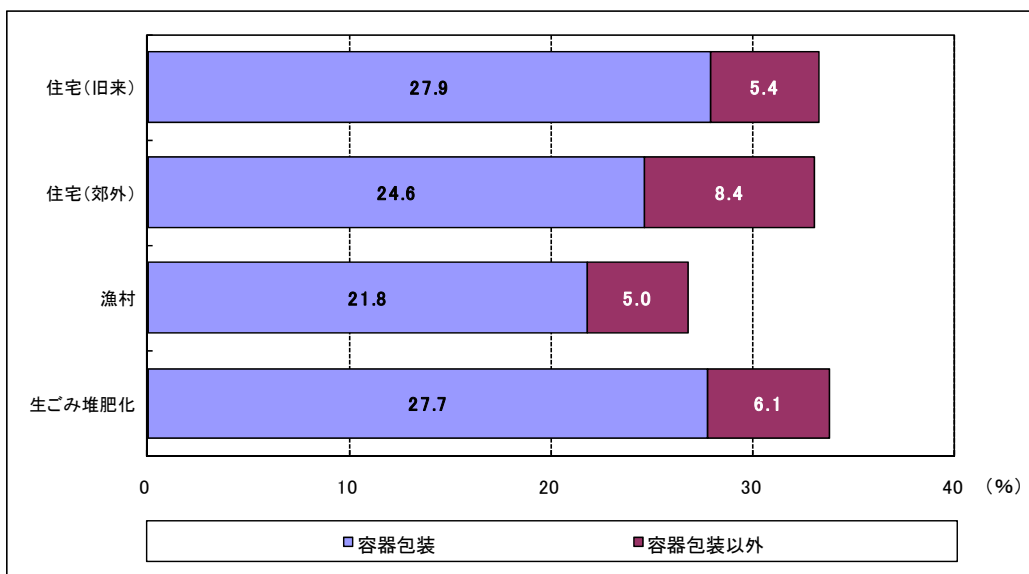
d 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	5.3	6.7	5.4	4.7
容器包装以外	2.3	1.8	1.1	1.7
計	7.7	8.5	6.5	6.4

<容積比>

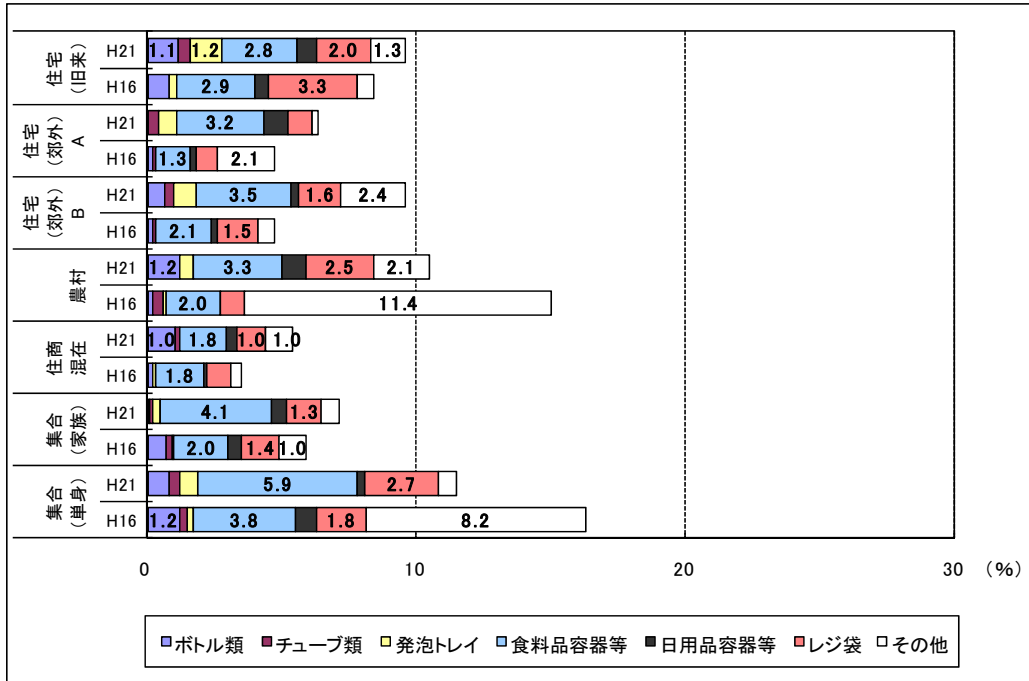


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	27.9	24.6	21.8	27.7
容器包装以外	5.4	8.4	5.0	6.1
計	33.2	33.0	26.8	33.8

(イ) 容器包装の組成

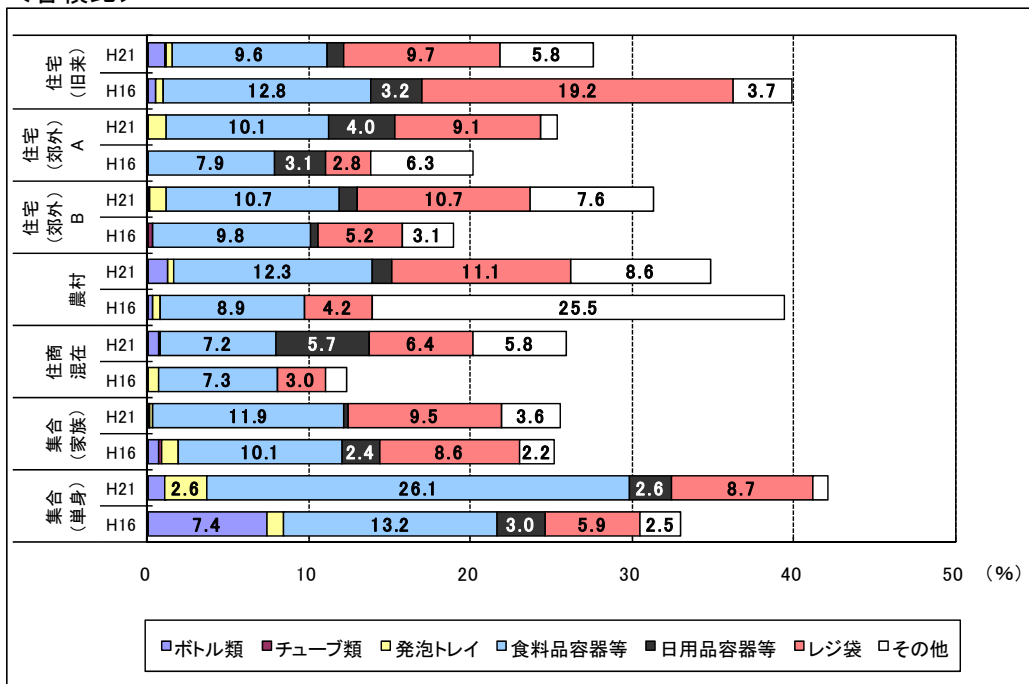
a 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	1.1	0.8	—	0.2	0.7	0.2	1.2	0.2	1.0	0.2	0.1	0.7	0.8	1.2
チューブ類	0.4	—	0.4	0.1	0.3	0.1	—	0.4	0.1	—	0.1	0.2	0.4	0.3
発泡トレイ	1.2	0.3	0.7	0.0	0.8	0.0	0.5	0.1	—	0.1	0.3	0.1	0.7	0.2
食料品容器等	2.8	2.9	3.2	1.3	3.5	2.1	3.3	2.0	1.8	1.8	4.1	2.0	5.9	3.8
日用品容器等	0.7	0.5	0.9	0.2	0.3	0.2	0.9	0.0	0.4	0.1	0.6	0.5	0.3	0.8
レジ袋	2.0	3.3	0.9	0.8	1.6	1.5	2.5	0.9	1.0	0.9	1.3	1.4	2.7	1.8
その他	1.3	0.6	0.2	2.1	2.4	0.6	2.1	11.4	1.0	0.4	0.6	1.0	0.7	8.2
計	9.6	8.4	6.3	4.7	9.6	4.7	10.5	15.0	5.4	3.5	7.1	5.9	11.5	16.3

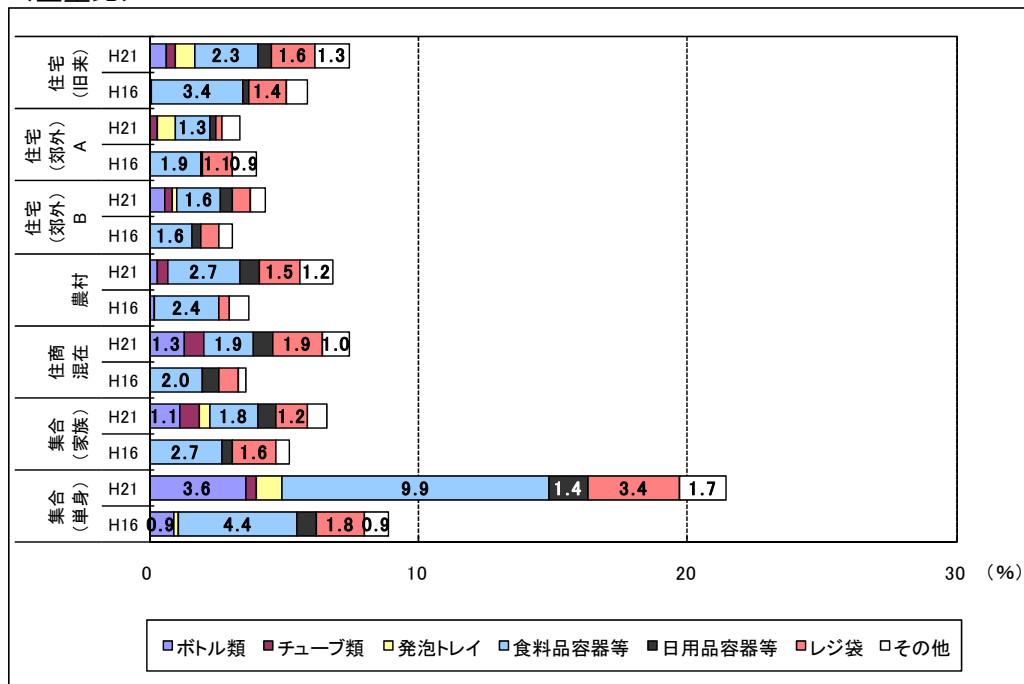
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	1.0	0.5	—	0.0	0.1	0.0	1.2	0.3	0.7	0.0	0.1	0.7	1.0	7.4
チューブ類	0.1	—	0.1	0.0	0.1	0.3	—	0.0	0.0	—	0.1	0.2	0.0	0.0
発泡トレイ	0.4	0.5	1.1	0.0	1.1	0.0	0.4	0.5	—	0.7	0.2	1.0	2.6	1.0
食料品容器等	9.6	12.8	10.1	7.9	10.7	9.8	12.3	8.9	7.2	7.3	11.9	10.1	26.1	13.2
日用品容器等	1.0	3.2	4.0	3.1	1.1	0.5	1.2	0.0	5.7	0.0	0.2	2.4	2.6	3.0
レジ袋	9.7	19.2	9.1	2.8	10.7	5.2	11.1	4.2	6.4	3.0	9.5	8.6	8.7	5.9
その他	5.8	3.7	1.0	6.3	7.6	3.1	8.6	25.5	5.8	1.3	3.6	2.2	0.9	2.5
計	27.6	39.9	25.4	20.1	31.3	18.9	34.8	39.4	25.9	12.3	25.6	25.2	42.0	33.0

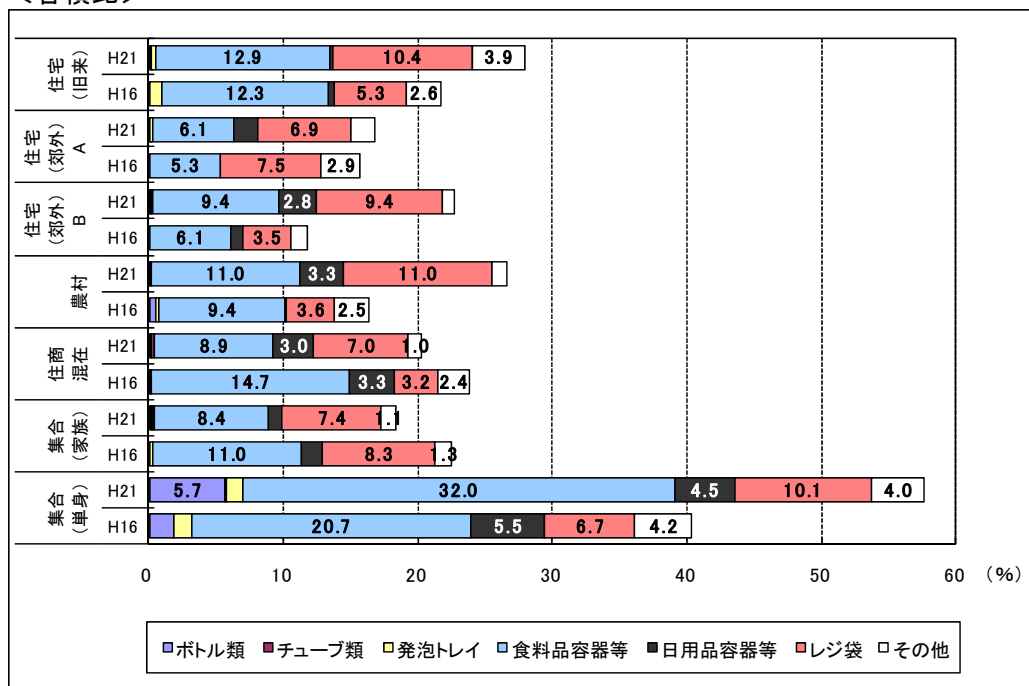
b 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	0.6	—	—	—	0.6	—	0.3	0.2	1.3	—	1.1	—	3.6	0.9
チューブ類	0.4	—	0.3	—	0.3	0.0	0.4	—	0.7	0.0	0.7	—	0.4	—
発泡トレイ	0.7	0.1	0.7	—	0.2	0.0	—	0.0	—	0.0	0.4	0.0	1.0	0.2
食料品容器等	2.3	3.4	1.3	1.9	1.6	1.6	2.7	2.4	1.9	2.0	1.8	2.7	9.9	4.4
日用品容器等	0.5	0.2	0.2	0.1	0.4	0.3	0.7	0.0	0.7	0.6	0.7	0.4	1.4	0.7
レジ袋	1.6	1.4	0.2	1.1	0.7	0.7	1.5	0.4	1.9	0.7	1.2	1.6	3.4	1.8
その他	1.3	0.8	0.7	0.9	0.6	0.5	1.2	0.7	1.0	0.3	0.7	0.5	1.7	0.9
計	7.4	5.9	3.4	4.0	4.3	3.1	6.8	3.7	7.5	3.6	6.6	5.2	21.4	8.9

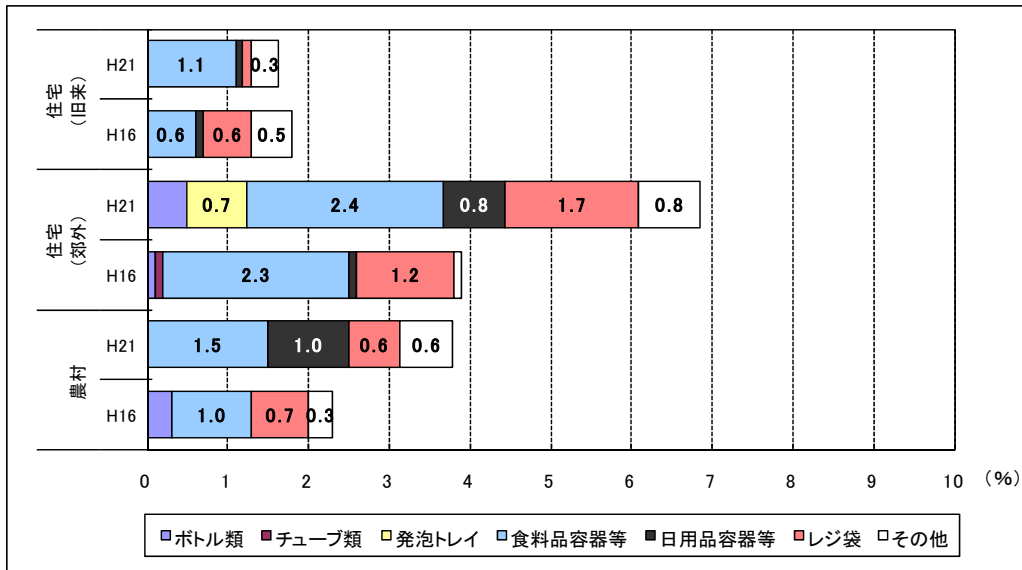
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	0.1	—	—	—	0.1	—	0.1	0.5	0.1	—	0.2	—	5.7	1.8
チューブ類	0.1	—	0.1	—	0.0	0.0	0.1	—	0.2	0.1	0.1	—	0.1	—
発泡トレイ	0.3	1.0	0.2	—	0.1	0.0	—	0.2	—	0.1	0.1	0.3	1.2	1.4
食料品容器等	12.9	12.3	6.1	5.3	9.4	6.1	11.0	9.4	8.9	14.7	8.4	11.0	32.0	20.7
日用品容器等	0.3	0.5	1.7	0.0	2.8	0.9	3.3	0.1	3.0	3.3	1.1	1.6	4.5	5.5
レジ袋	10.4	5.3	6.9	7.5	9.4	3.5	11.0	3.6	7.0	3.2	7.4	8.3	10.1	6.7
その他	3.9	2.6	1.7	2.9	1.0	1.3	1.1	2.5	1.0	2.4	1.1	1.3	4.0	4.2
計	27.9	21.7	16.7	15.7	22.7	11.8	26.6	16.3	20.2	23.8	18.3	22.5	57.6	40.3

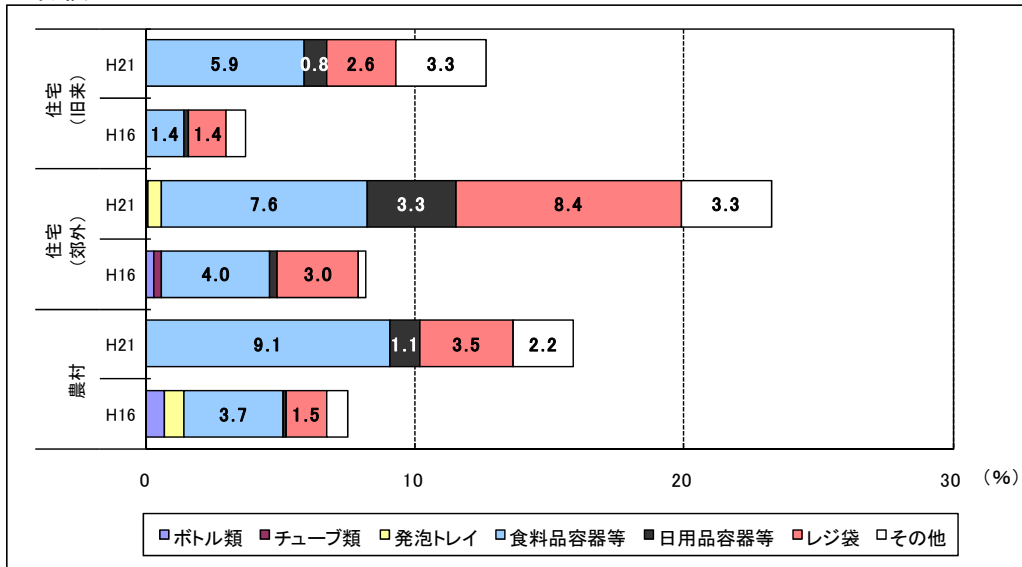
c 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	—	—	0.5	0.1	—	0.3
チューブ類	—	—	—	0.1	—	—
発泡トレイ	—	—	0.7	—	—	0.0
食料品容器等	1.1	0.6	2.4	2.3	1.5	1.0
日用品容器等	0.1	0.1	0.8	0.1	1.0	0.0
レジ袋	0.1	0.6	1.7	1.2	0.6	0.7
その他	0.3	0.5	0.8	0.1	0.6	0.3
計	1.6	1.8	6.9	3.9	3.8	2.3

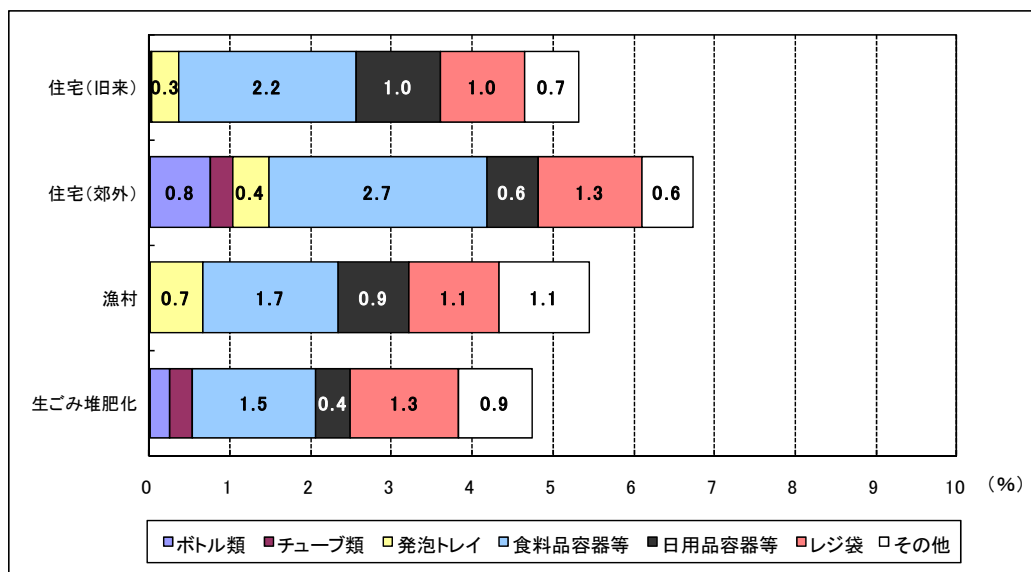
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ボトル類	—	—	0.1	0.3	—	0.7
チューブ類	—	—	—	0.3	—	—
発泡トレイ	—	—	0.5	—	—	0.7
食料品容器等	5.9	1.4	7.6	4.0	9.1	3.7
日用品容器等	0.8	0.2	3.3	0.3	1.1	0.1
レジ袋	2.6	1.4	8.4	3.0	3.5	1.5
その他	3.3	0.7	3.3	0.3	2.2	0.8
計	12.6	3.7	23.2	8.2	15.9	7.5

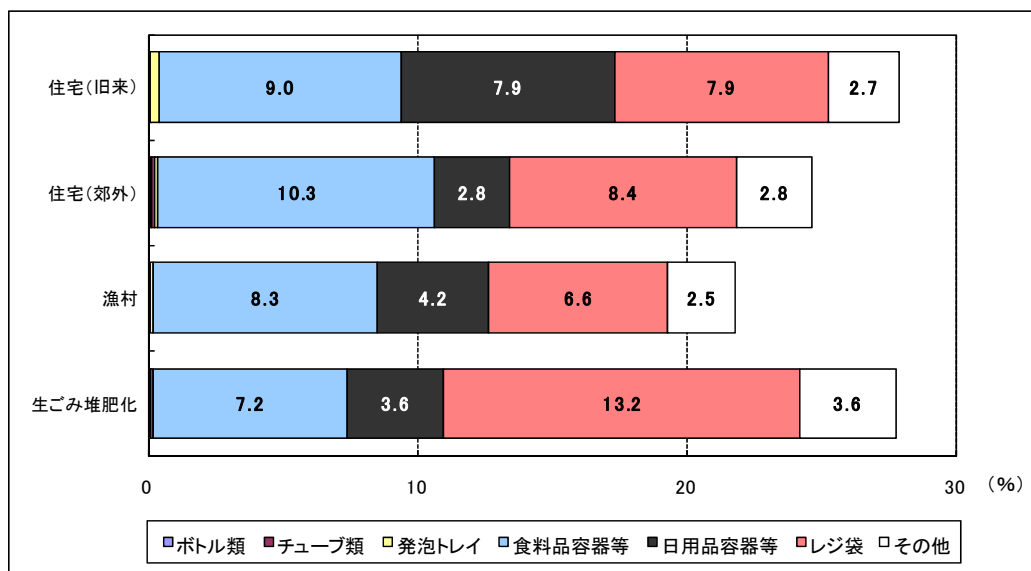
d 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
ボトル類	—	0.8	—	0.3
チューブ類	0.0	0.3	—	0.3
発泡トレイ	0.3	0.4	0.7	—
食料品容器等	2.2	2.7	1.7	1.5
日用品容器等	1.0	0.6	0.9	0.4
レジ袋	1.0	1.3	1.1	1.3
その他	0.7	0.6	1.1	0.9
計	5.3	6.7	5.4	4.7

<容積比>

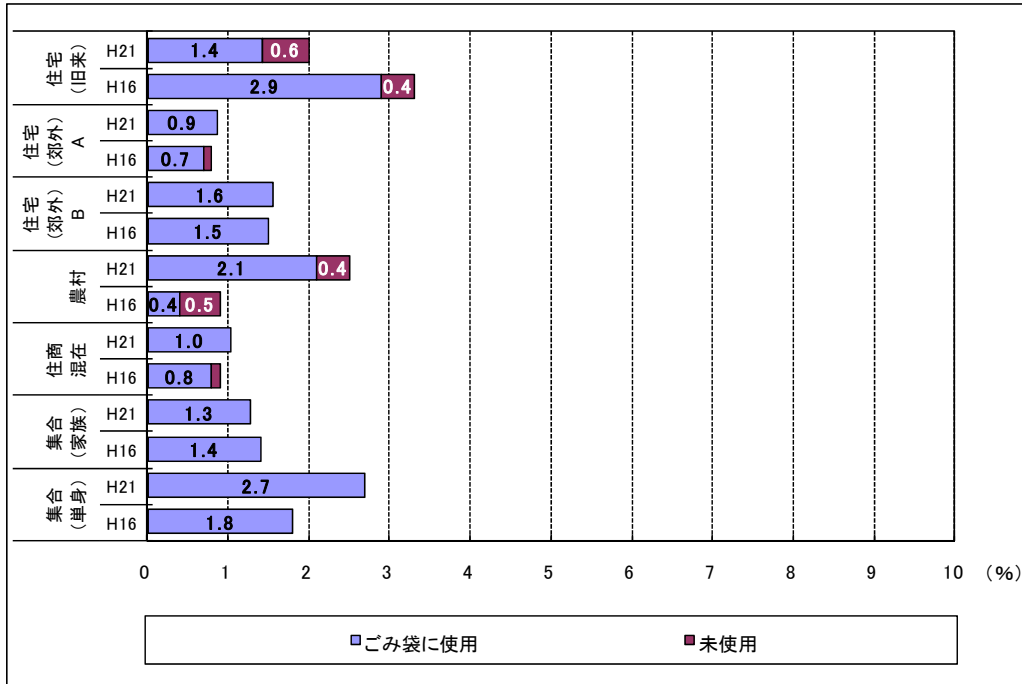


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
ボトル類	—	0.1	—	0.0
チューブ類	0.0	0.1	—	0.1
発泡トレイ	0.4	0.1	0.2	—
食料品容器等	9.0	10.3	8.3	7.2
日用品容器等	7.9	2.8	4.2	3.6
レジ袋	7.9	8.4	6.6	13.2
その他	2.7	2.8	2.5	3.6
計	27.9	24.6	21.8	27.7

(ウ) レジ袋の排出状況

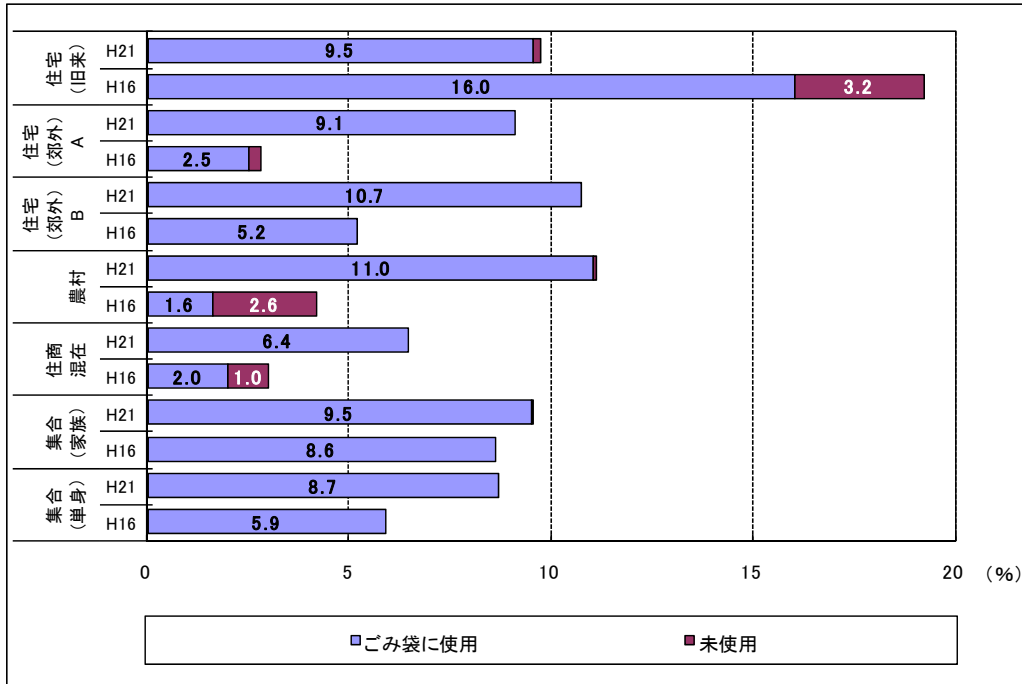
a 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	1.4	2.9	0.9	0.7	1.6	1.5	2.1	0.4	1.0	0.8	1.3	1.4	2.7	1.8
未使用	0.6	0.4	-	0.1	-	-	0.4	0.5	-	0.1	0.0	-	-	-
計	2.0	3.3	0.9	0.8	1.6	1.5	2.5	0.9	1.0	0.9	1.3	1.4	2.7	1.8

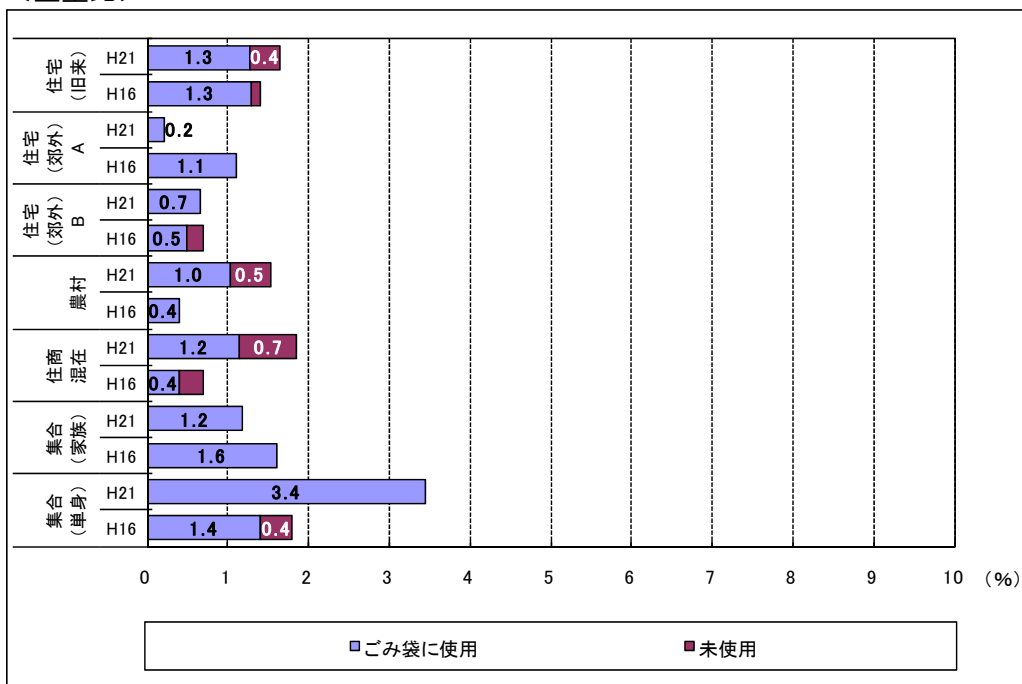
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	9.5	16.0	9.1	2.5	10.7	5.2	11.0	1.6	6.4	2.0	9.5	8.6	8.7	5.9
未使用	0.2	3.2	-	0.3	-	-	0.1	2.6	-	1.0	0.1	-	-	-
計	9.7	19.2	9.1	2.8	10.7	5.2	11.1	4.2	6.4	3.0	9.5	8.6	8.7	5.9

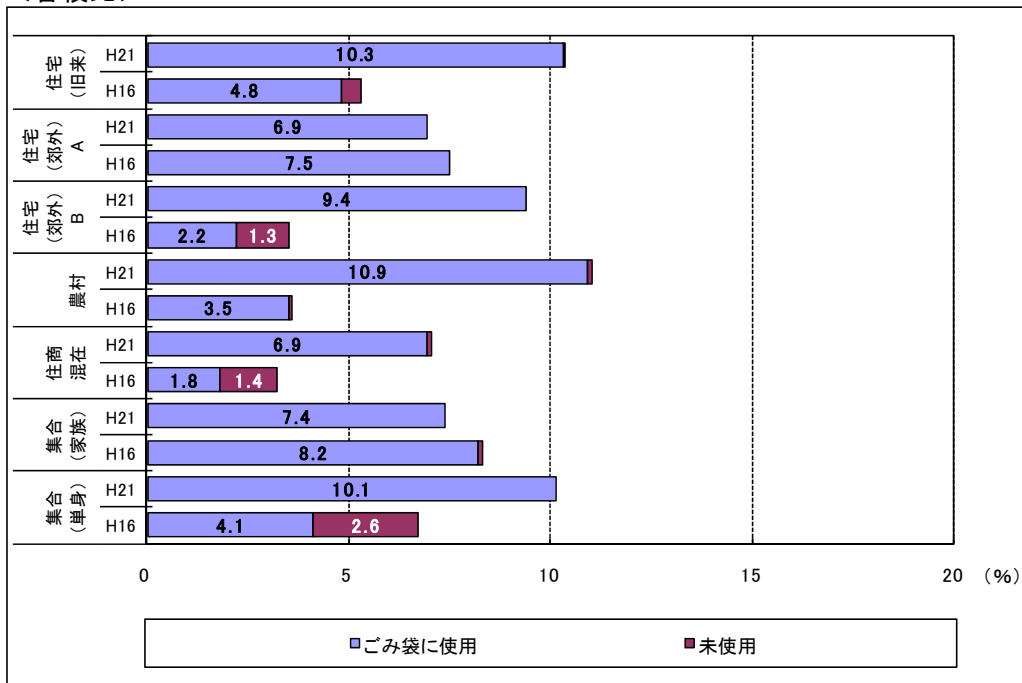
b 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	1.3	1.3	0.2	1.1	0.7	0.5	1.0	0.4	1.2	0.4	1.2	1.6	3.4	1.4
未使用	0.4	0.1	—	—	—	0.2	0.5	0.0	0.7	0.3	—	0.0	—	0.4
計	1.6	1.4	0.2	1.1	0.7	0.7	1.5	0.4	1.9	0.7	1.2	1.6	3.4	1.8

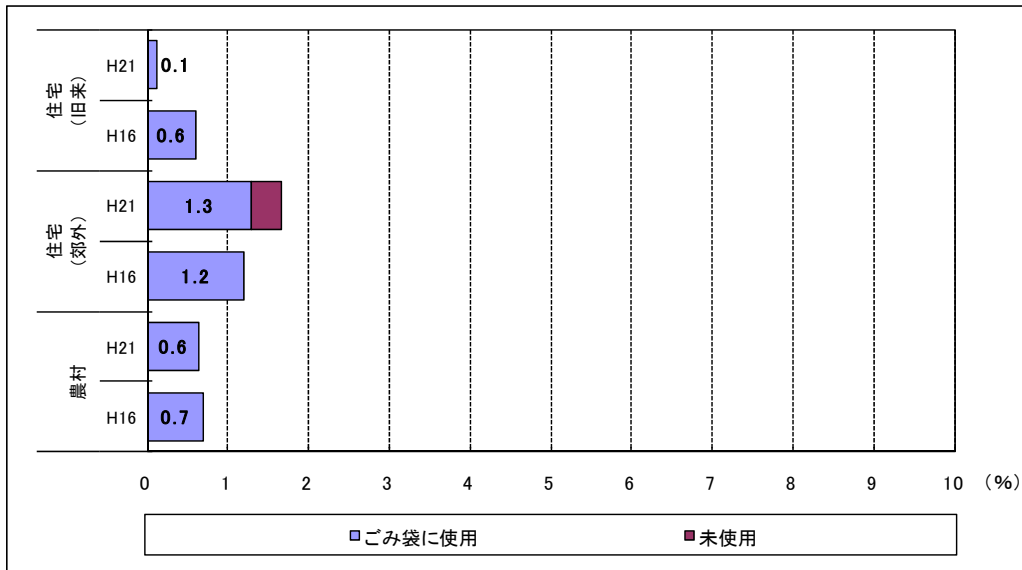
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	10.3	4.8	6.9	7.5	9.4	2.2	10.9	3.5	6.9	1.8	7.4	8.2	10.1	4.1
未使用	0.1	0.5	—	—	—	1.3	0.1	0.1	0.1	1.4	—	0.1	—	2.6
計	10.4	5.3	6.9	7.5	9.4	3.5	11.0	3.6	7.0	3.2	7.4	8.3	10.1	6.7

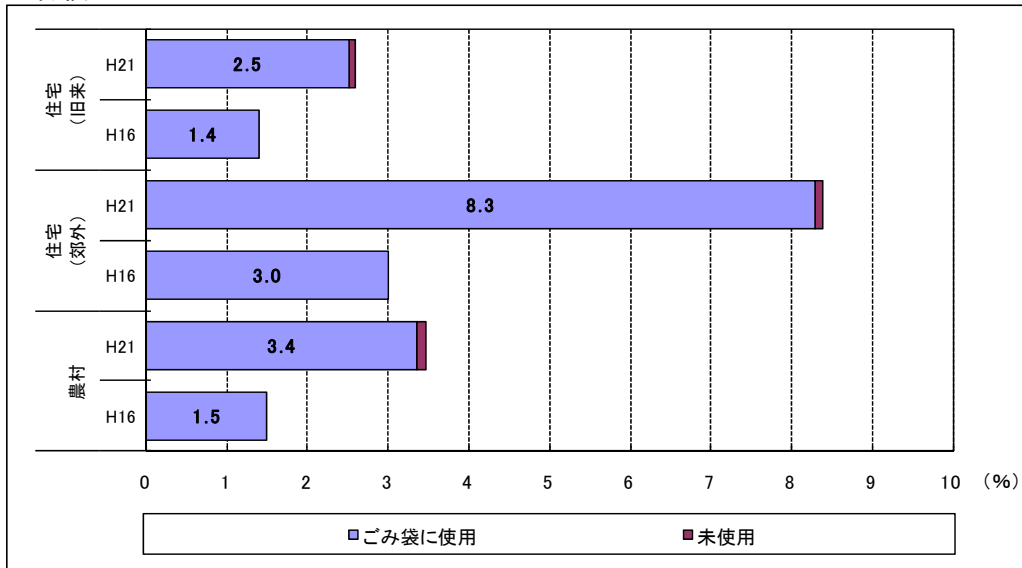
c 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	0.1	0.6	1.3	1.2	0.6	0.7
未使用	0.0	—	0.4	—	0.0	—
計	0.1	0.6	1.7	1.2	0.6	0.7

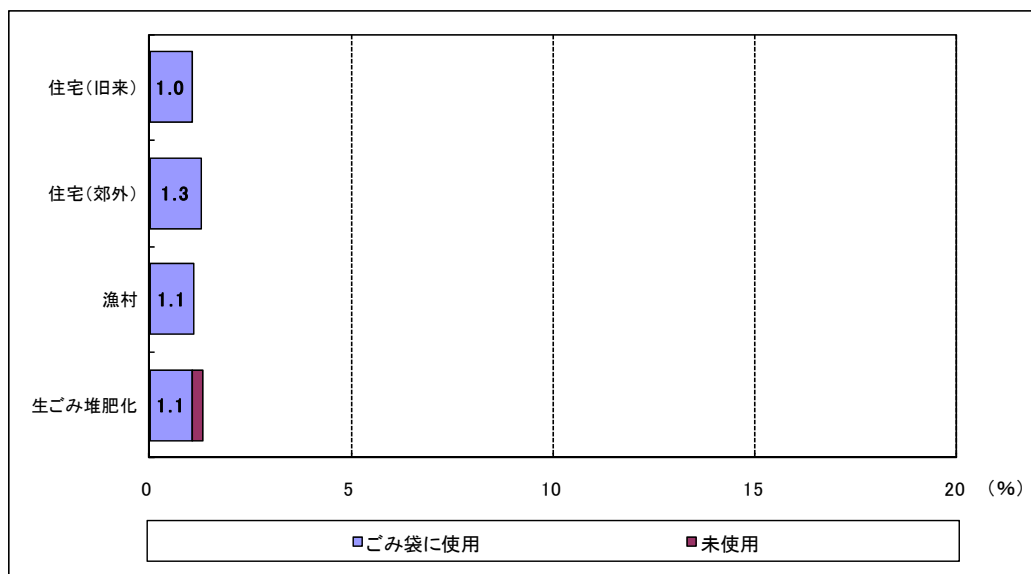
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
ごみ袋に使用	2.5	1.4	8.3	3.0	3.4	1.5
未使用	0.1	—	0.1	—	0.1	—
計	2.6	1.4	8.4	3.0	3.5	1.5

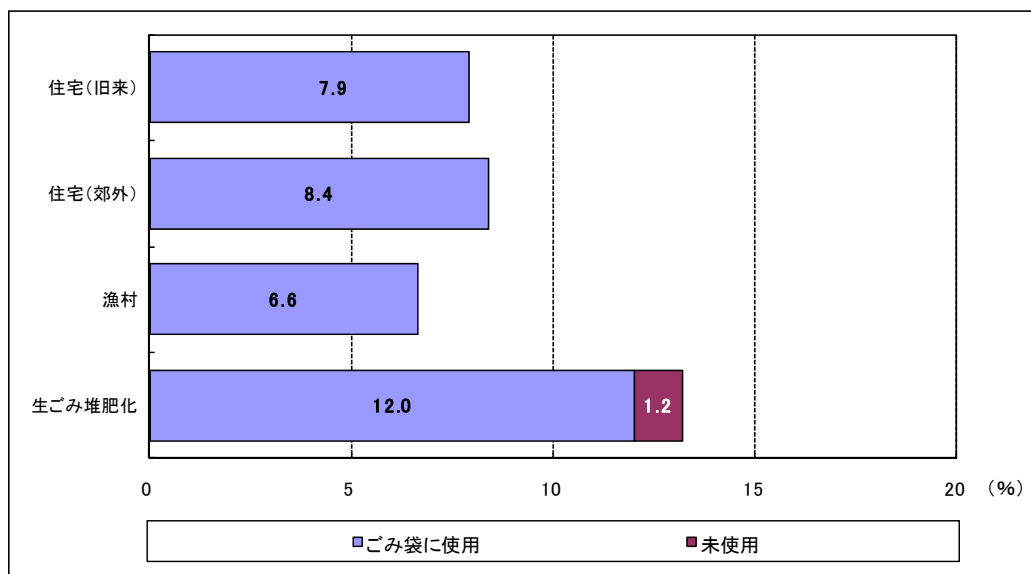
d 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
ごみ袋に使用	1.0	1.3	1.1	1.1
未使用	—	—	—	0.3
計	1.0	1.3	1.1	1.3

<容積比>



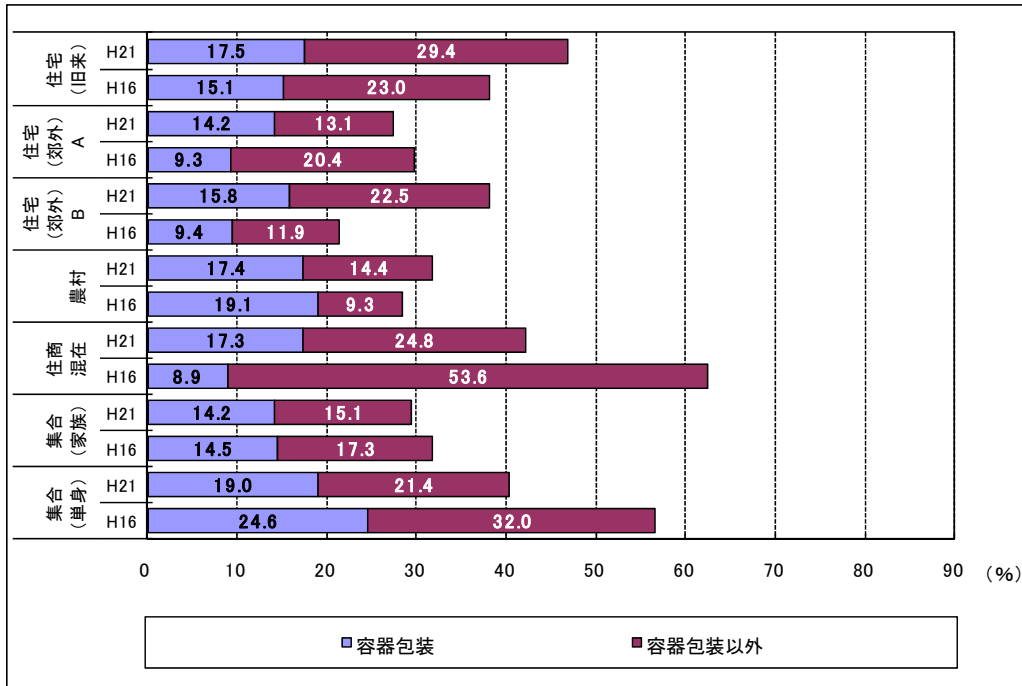
容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
ごみ袋に使用	7.9	8.4	6.6	12.0
未使用	—	—	—	1.2
計	7.9	8.4	6.6	13.2

(2) 可燃ごみに含まれる容器包装

ア 容器包装と容器包装以外

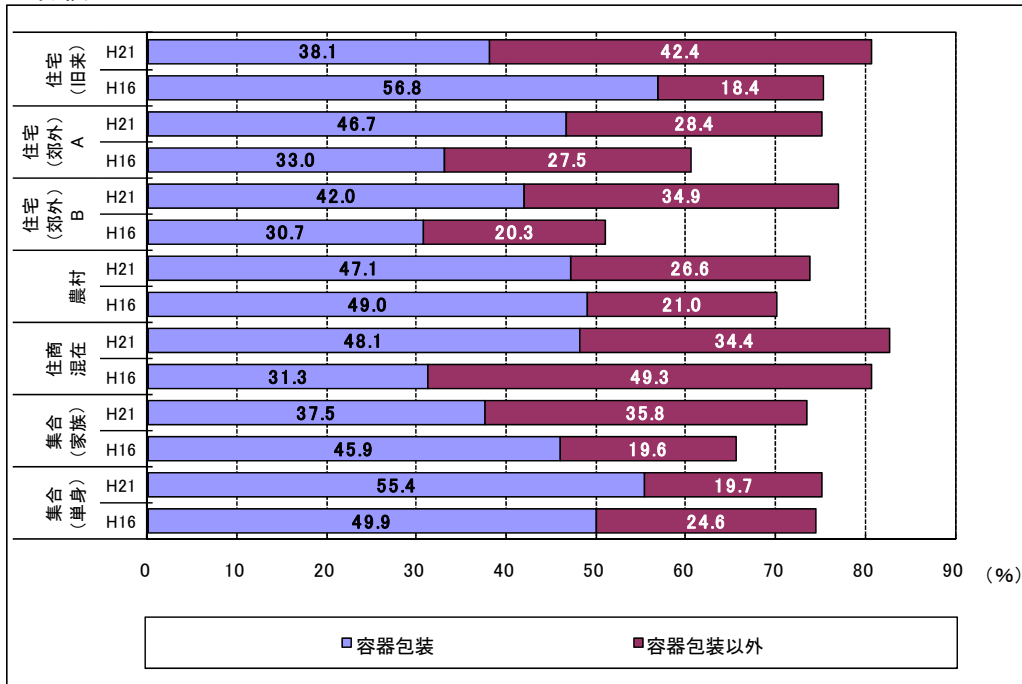
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	17.5	15.1	14.2	9.3	15.8	9.4	17.4	19.1	17.3	8.9	14.2	14.5	19.0	24.6
容器包装以外	29.4	23.0	13.1	20.4	22.5	11.9	14.4	9.3	24.8	53.6	15.1	17.3	21.4	32.0
計	46.8	38.1	27.3	29.7	38.2	21.3	31.8	28.4	42.1	62.5	29.4	31.8	40.3	56.6

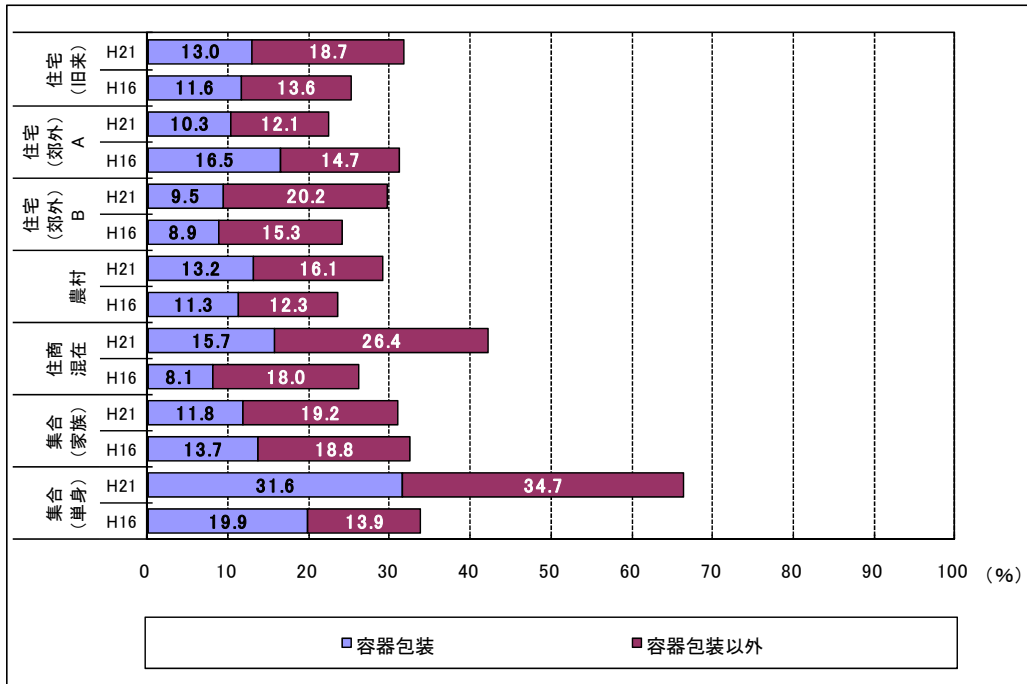
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	38.1	56.8	46.7	33.0	42.0	30.7	47.1	49.0	48.1	31.3	37.5	45.9	55.4	49.9
容器包装以外	42.4	18.4	28.4	27.5	34.9	20.3	26.6	21.0	34.4	49.3	35.8	19.6	19.7	24.6
計	80.5	75.2	75.1	60.5	76.9	51.0	73.7	70.0	82.6	80.6	73.3	65.5	75.1	74.5

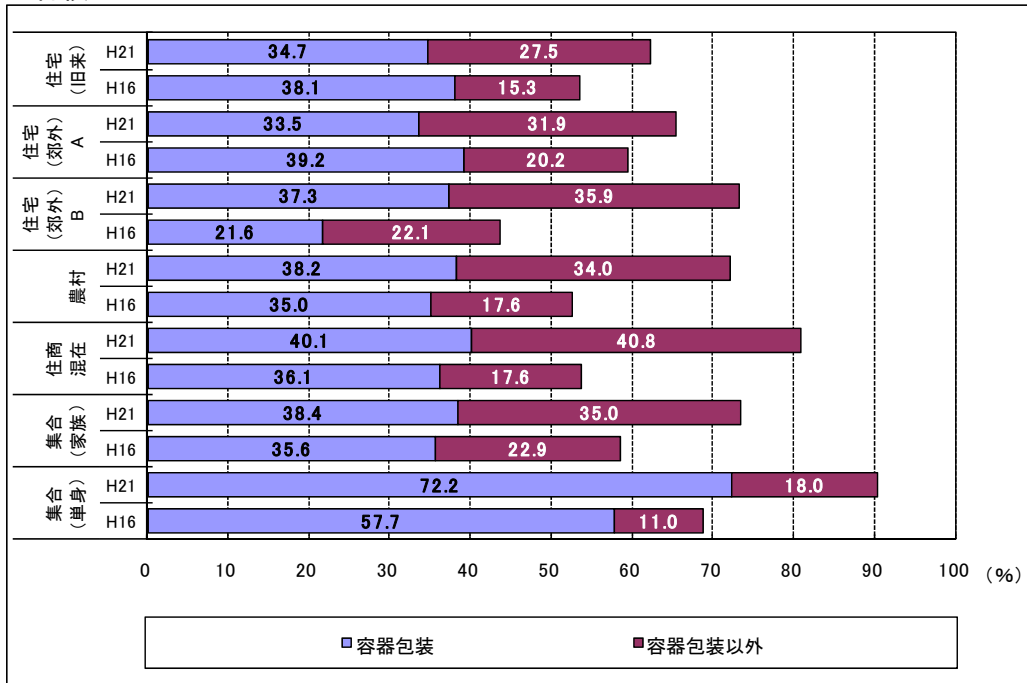
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	13.0	11.6	10.3	16.5	9.5	8.9	13.2	11.3	15.7	8.1	11.8	13.7	31.6	19.9
容器包装以外	18.7	13.6	12.1	14.7	20.2	15.3	16.1	12.3	26.4	18.0	19.2	18.8	34.7	13.9
計	31.7	25.2	22.5	31.2	29.7	24.2	29.2	23.6	42.2	26.1	31.0	32.5	66.3	33.8

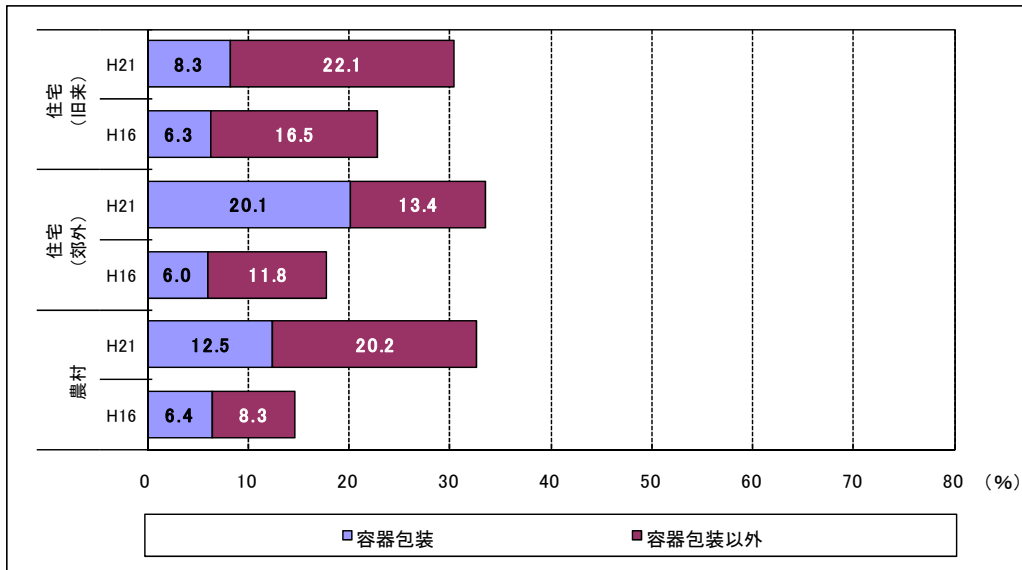
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	34.7	38.1	33.5	39.2	37.3	21.6	38.2	35.0	40.1	36.1	38.4	35.6	72.2	57.7
容器包装以外	27.5	15.3	31.9	20.2	35.9	22.1	34.0	17.6	40.8	17.6	35.0	22.9	18.0	11.0
計	62.2	53.4	65.4	59.4	73.2	43.7	72.1	52.6	80.9	53.7	73.4	58.5	90.2	68.7

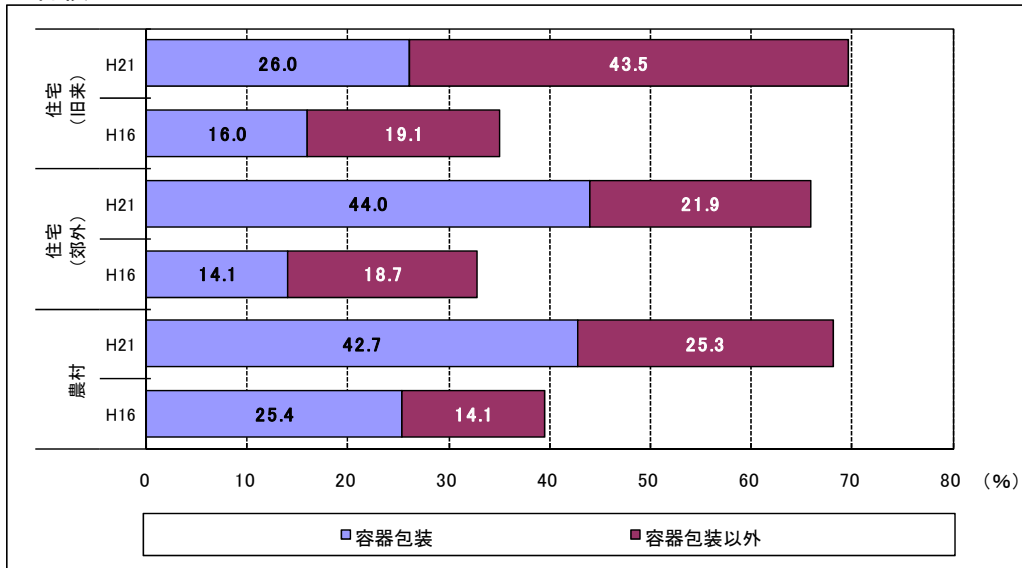
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	8.3	6.3	20.1	6.0	12.5	6.4
容器包装以外	22.1	16.5	13.4	11.8	20.2	8.3
計	30.3	22.8	33.5	17.8	32.7	14.7

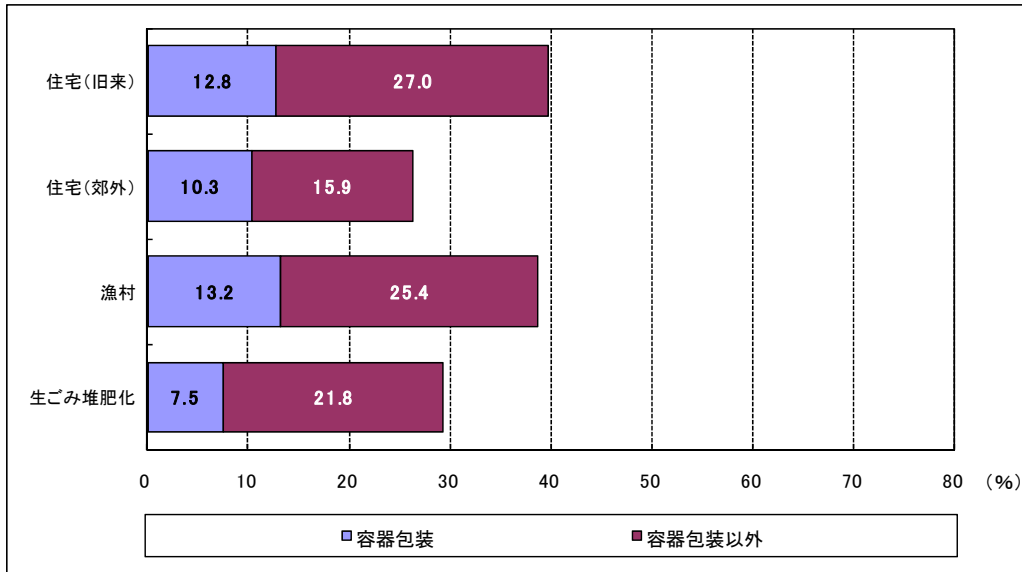
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
容器包装	26.0	16.0	44.0	14.1	42.7	25.4
容器包装以外	43.5	19.1	21.9	18.7	25.3	14.1
計	69.6	35.1	65.9	32.8	68.0	39.5

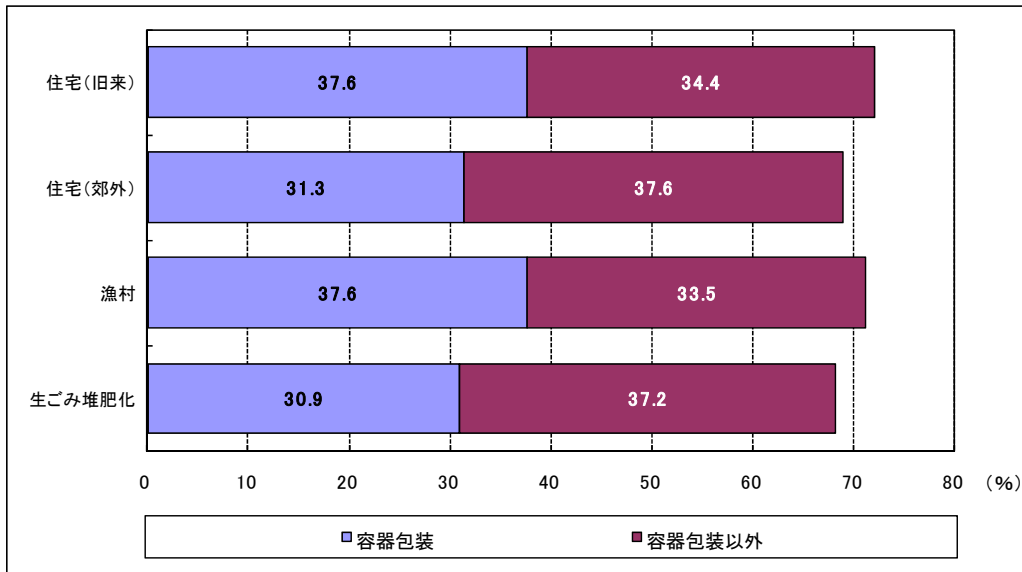
(工) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	12.8	10.3	13.2	7.5
容器包装以外	27.0	15.9	25.4	21.8
計	39.8	26.2	38.6	29.3

<容積比>

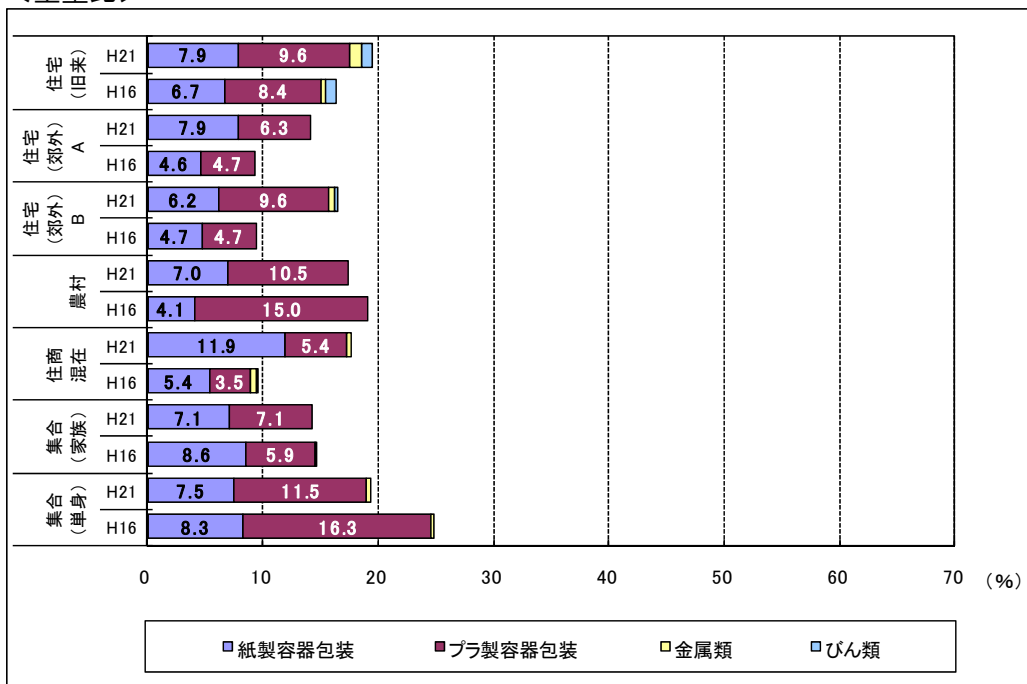


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
容器包装	37.6	31.3	37.6	30.9
容器包装以外	34.4	37.6	33.5	37.2
計	72.0	68.9	71.1	68.1

イ 容器包装の組成

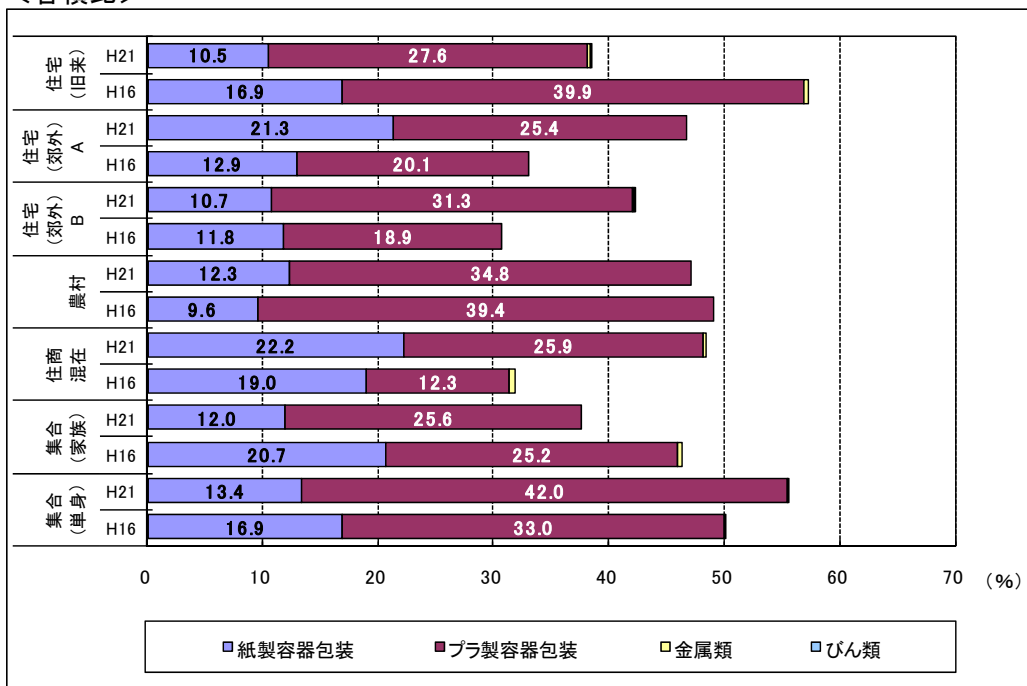
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	7.9	6.7	7.9	4.6	6.2	4.7	7.0	4.1	11.9	5.4	7.1	8.6	7.5	8.3
プラ製容器包装	9.6	8.4	6.3	4.7	9.6	4.7	10.5	15.0	5.4	3.5	7.1	5.9	11.5	16.3
金属類	1.1	0.3	-	-	0.5	-	-	-	0.3	0.5	-	0.1	0.4	0.2
びん類	0.9	0.9	-	-	0.2	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-
計	19.5	16.3	14.2	9.3	16.5	9.4	17.4	19.1	17.6	9.6	14.2	14.6	19.3	24.8

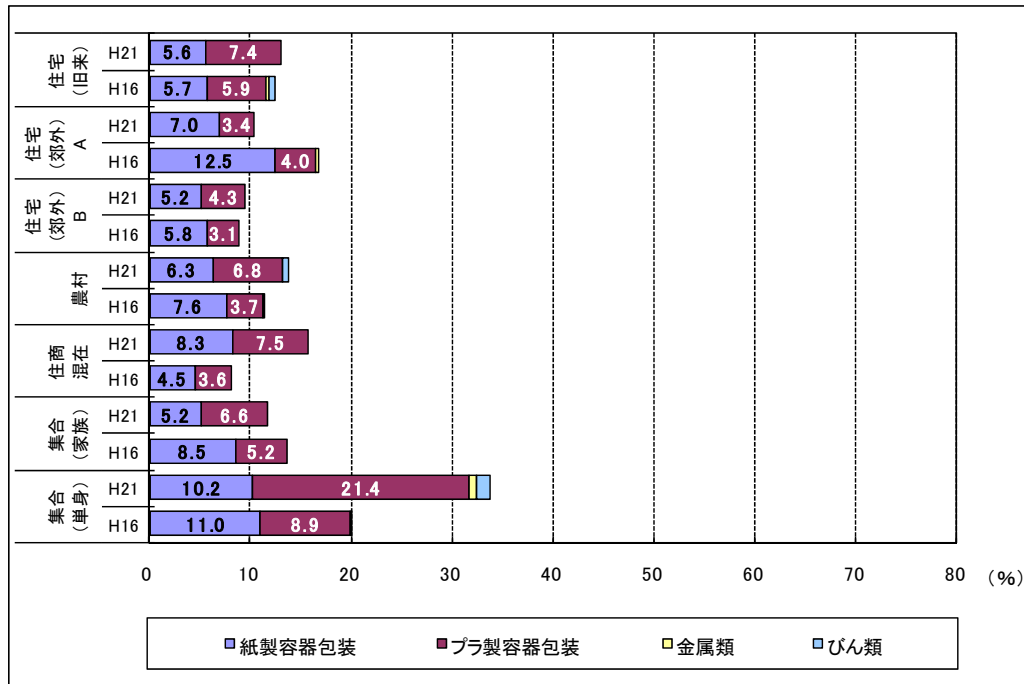
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	10.5	16.9	21.3	12.9	10.7	11.8	12.3	9.6	22.2	19.0	12.0	20.7	13.4	16.9
プラ製容器包装	27.6	39.9	25.4	20.1	31.3	18.9	34.8	39.4	25.9	12.3	25.6	25.2	42.0	33.0
金属類	0.2	0.4	—	—	0.1	—	—	—	0.2	0.5	—	0.4	0.1	0.1
びん類	0.1	0.0	—	—	0.1	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
計	38.4	57.2	46.7	33.0	42.2	30.7	47.1	49.0	48.3	31.8	37.5	46.3	55.5	50.0

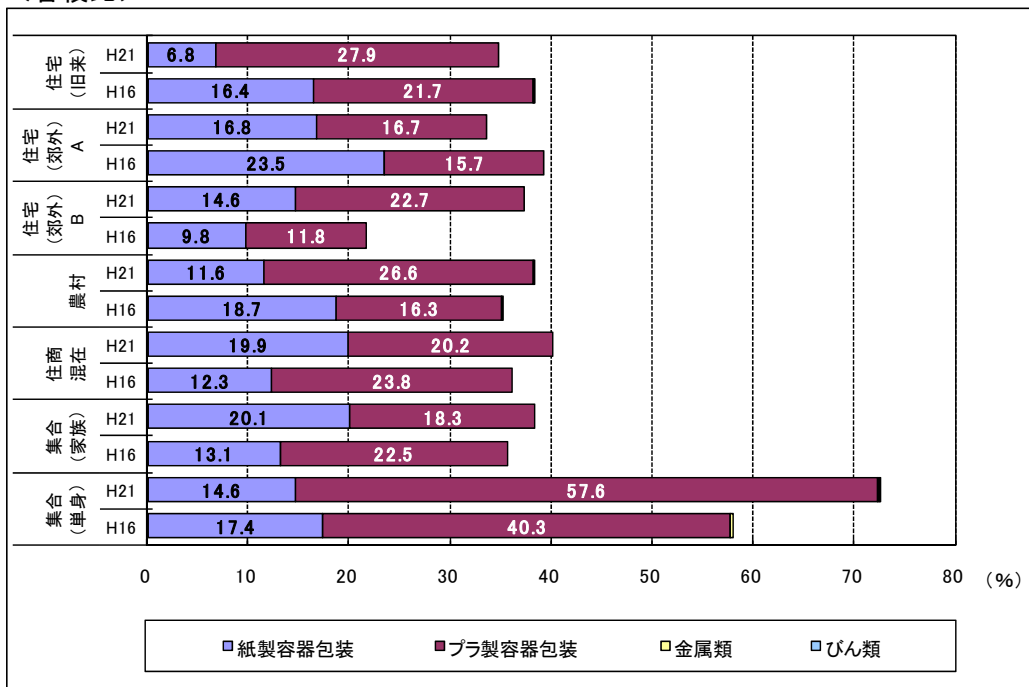
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	5.6	5.7	7.0	12.5	5.2	5.8	6.3	7.6	8.3	4.5	5.2	8.5	10.2	11.0
プラ製容器包装	7.4	5.9	3.4	4.0	4.3	3.1	6.8	3.7	7.5	3.6	6.6	5.2	21.4	8.9
金属類	—	0.2	—	0.2	—	—	—	0.1	—	—	—	—	0.8	0.1
びん類	—	0.7	—	—	—	—	0.6	—	—	—	—	—	1.4	—
計	13.0	12.5	10.3	16.7	9.5	8.9	13.7	11.4	15.7	8.1	11.8	13.7	33.8	20.0

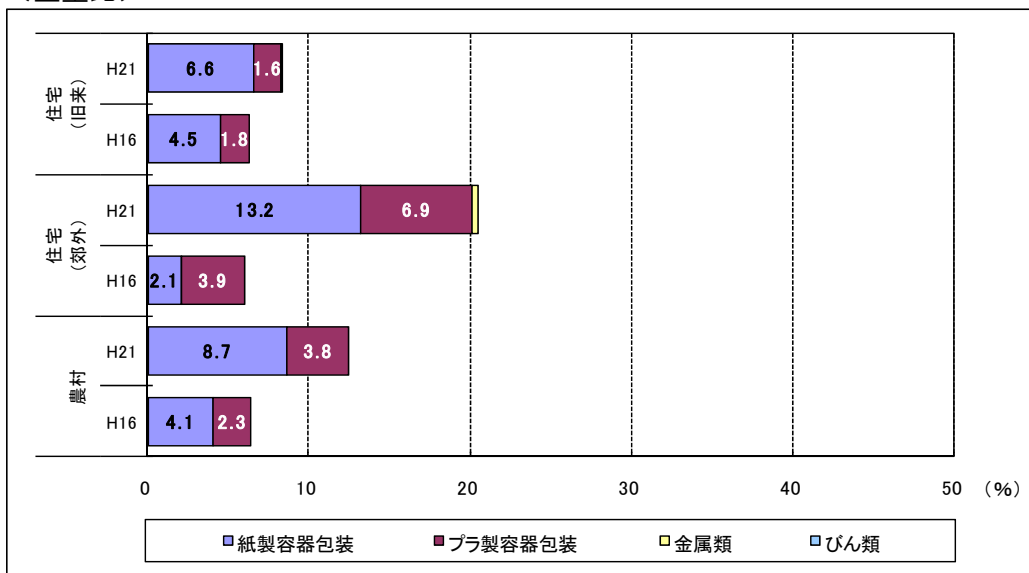
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	6.8	16.4	16.8	23.5	14.6	9.8	11.6	18.7	19.9	12.3	20.1	13.1	14.6	17.4
プラ製容器包装	27.9	21.7	16.7	15.7	22.7	11.8	26.6	16.3	20.2	23.8	18.3	22.5	57.6	40.3
金属類	—	0.1	—	0.0	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.1
びん類	—	0.1	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—
計	34.7	38.3	33.5	39.2	37.3	21.6	38.3	35.1	40.1	36.1	38.4	35.6	72.4	58.0

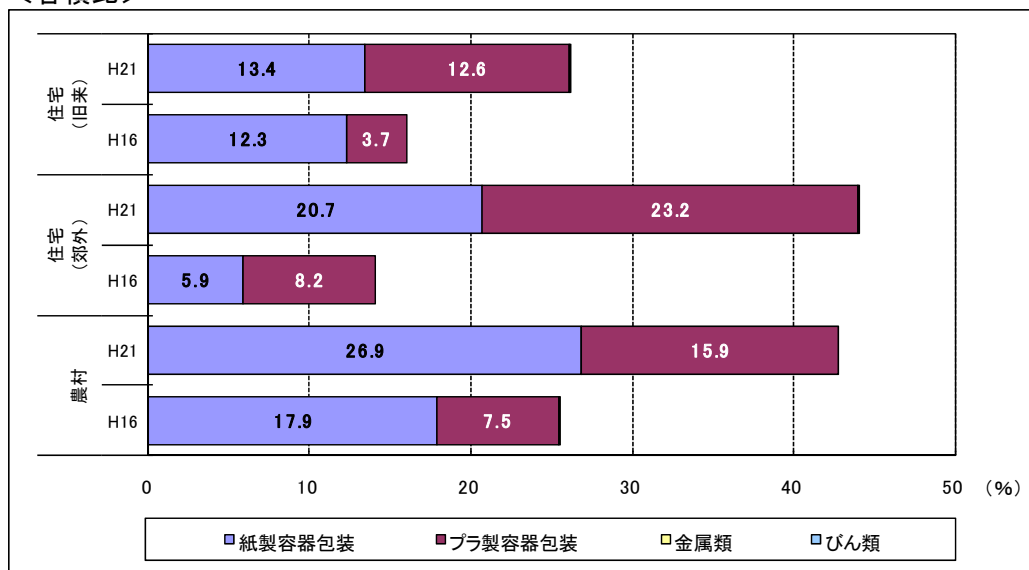
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	6.6	4.5	13.2	2.1	8.7	4.1
プラ製容器包装	1.6	1.8	6.9	3.9	3.8	2.3
金属類	0.0	—	0.4	—	—	0.0
びん類	—	—	—	—	—	—
計	8.3	6.3	20.5	6.0	12.5	6.4

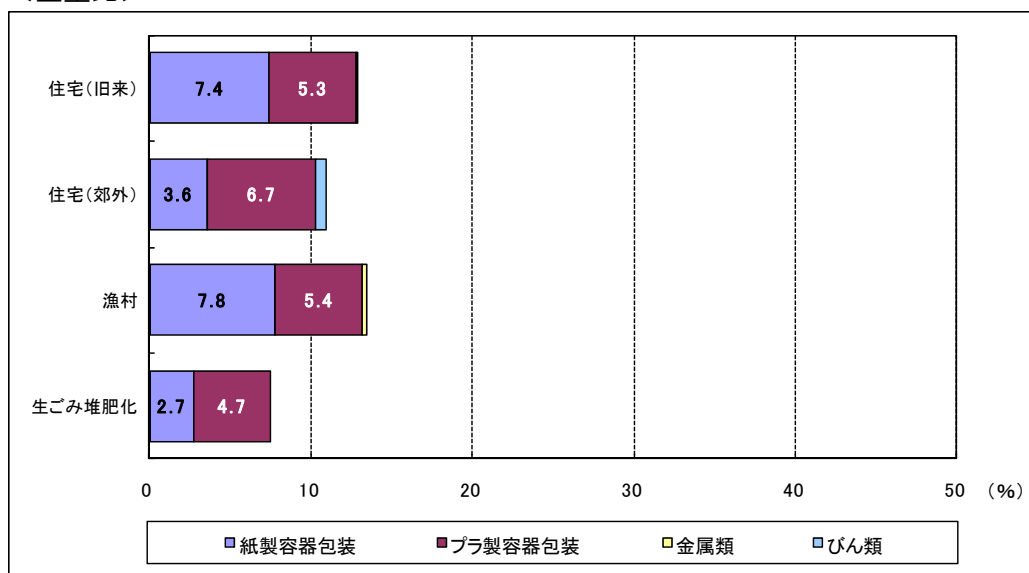
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
紙製容器包装	13.4	12.3	20.7	5.9	26.9	17.9
プラ製容器包装	12.6	3.7	23.2	8.2	15.9	7.5
金属類	0.0	—	0.0	—	—	0.1
びん類	—	—	—	—	—	—
計	26.1	16.0	44.0	14.1	42.7	25.5

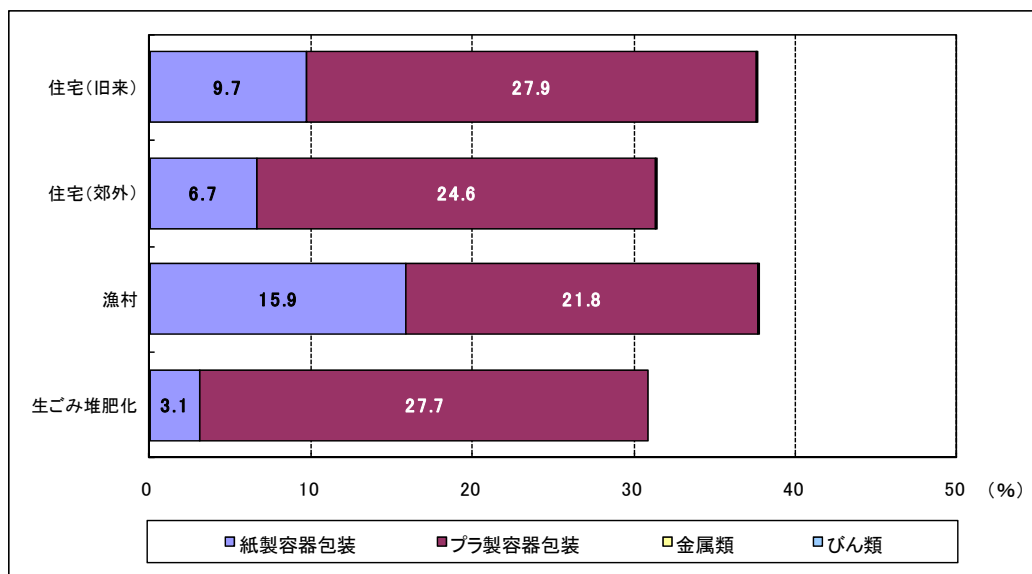
(工) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
紙製容器包装	7.4	3.6	7.8	2.7
プラ製容器包装	5.3	6.7	5.4	4.7
金属類	0.1	—	0.2	—
びん類	—	0.6	—	—
計	12.9	10.9	13.4	7.5

<容積比>

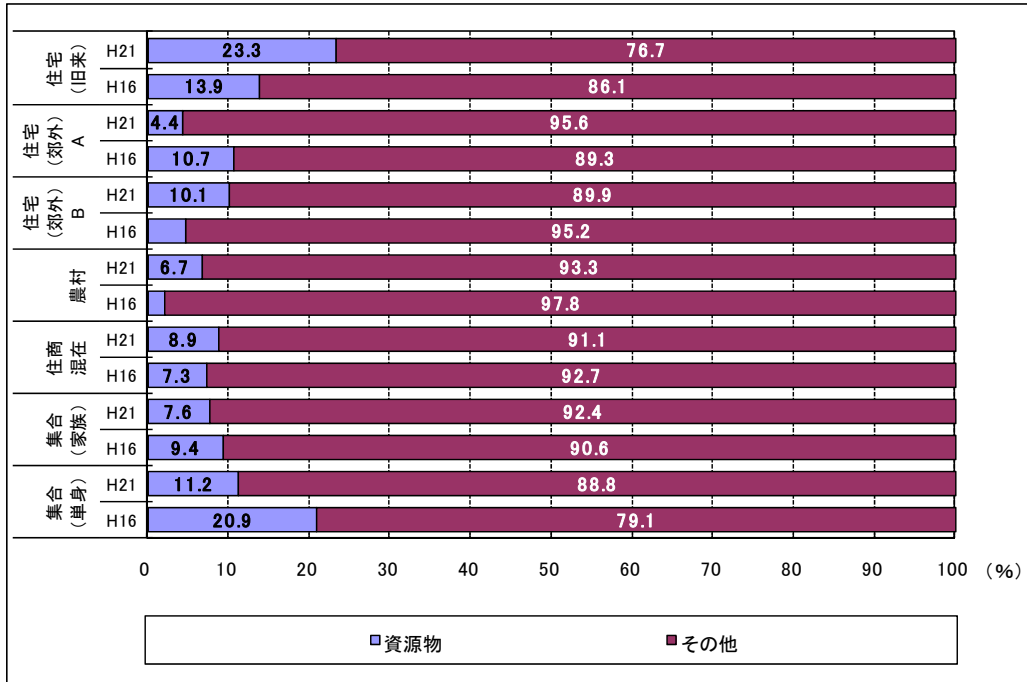


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
紙製容器包装	9.7	6.7	15.9	3.1
プラ製容器包装	27.9	24.6	21.8	27.7
金属類	0.1	—	0.1	—
びん類	—	0.1	—	—
計	37.6	31.4	37.7	30.9

(3) 分別状況

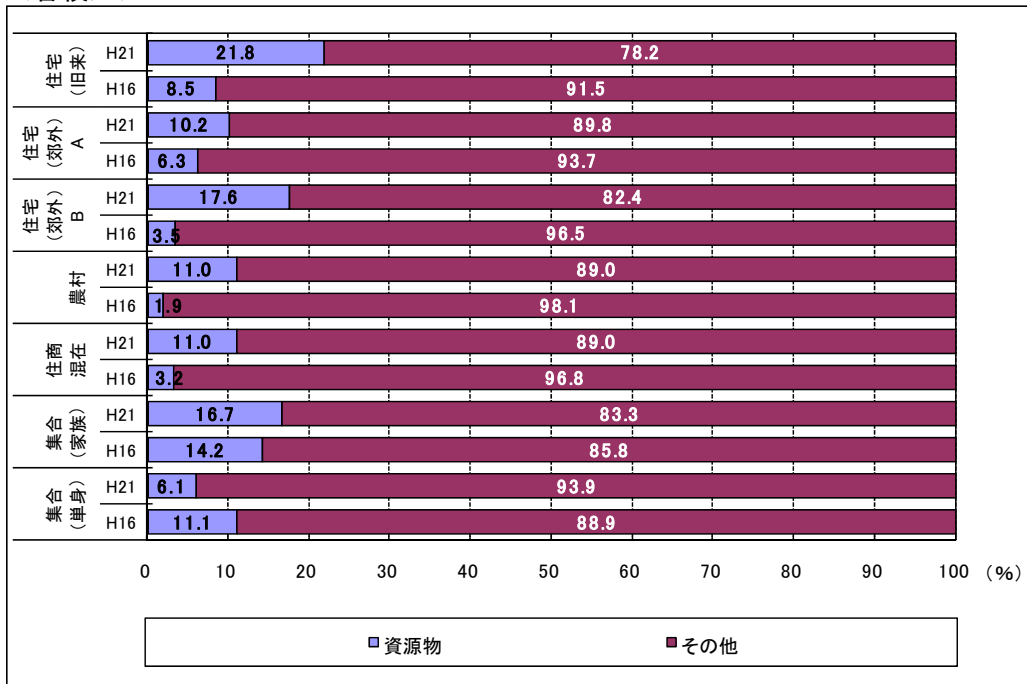
(ア) 伊勢市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	23.3	13.9	4.4	10.7	10.1	4.8	6.7	2.2	8.9	7.3	7.6	9.4	11.2	20.9
その他	76.7	86.1	95.6	89.3	89.9	95.2	93.3	97.8	91.1	92.7	92.4	90.6	88.8	79.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

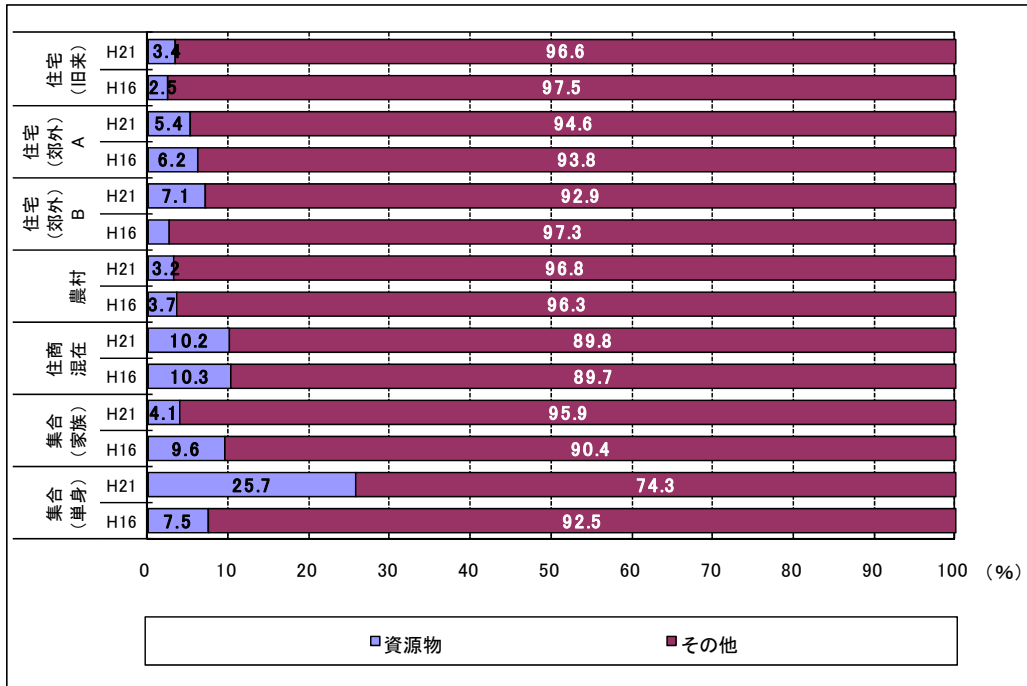
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(単身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	21.8	8.5	10.2	6.3	17.6	3.5	11.0	1.9	11.0	3.2	16.7	14.2	6.1	11.1
その他	78.2	91.5	89.8	93.7	82.4	96.5	89.0	98.1	89.0	96.8	83.3	85.8	93.9	88.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

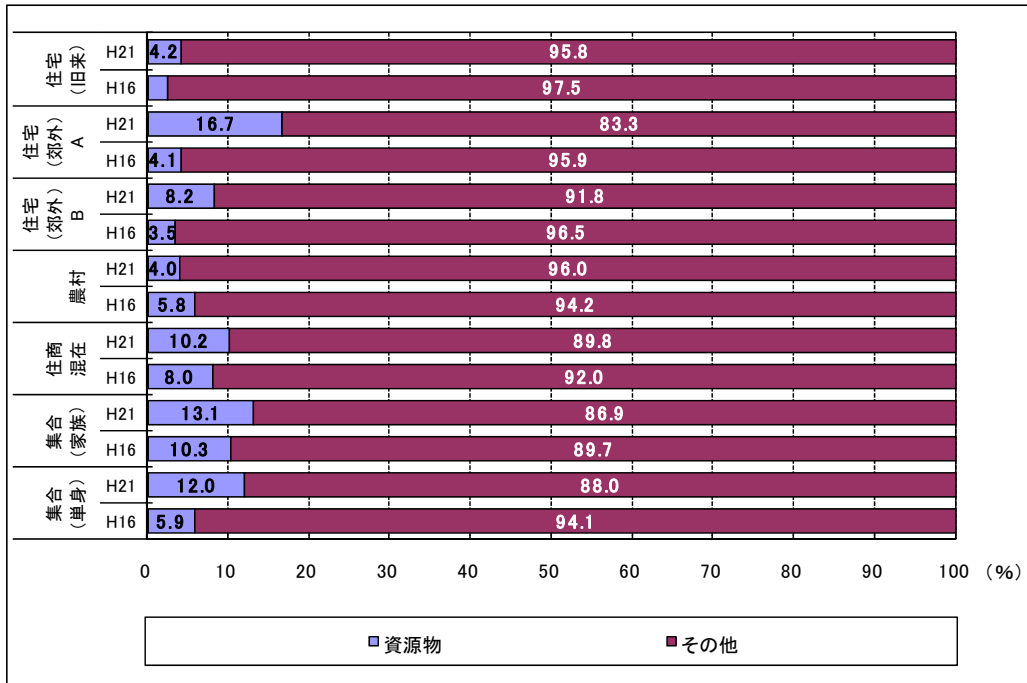
(イ) 名張市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	3.4	2.5	5.4	6.2	7.1	2.7	3.2	3.7	10.2	10.3	4.1	9.6	25.7	7.5
その他	96.6	97.5	94.6	93.8	92.9	97.3	96.8	96.3	89.8	89.7	95.9	90.4	74.3	92.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

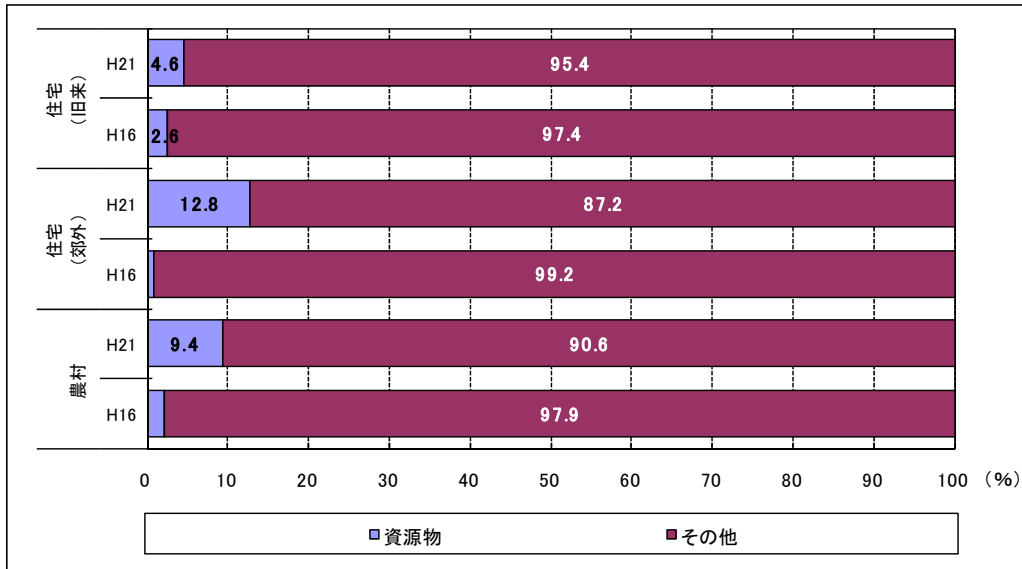
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)A		住宅(郊外)B		農村		住商混在		集合(家族)		集合(单身)	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	4.2	2.5	16.7	4.1	8.2	3.5	4.0	5.8	10.2	8.0	13.1	10.3	12.0	5.9
その他	95.8	97.5	83.3	95.9	91.8	96.5	96.0	94.2	89.8	92.0	86.9	89.7	88.0	94.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

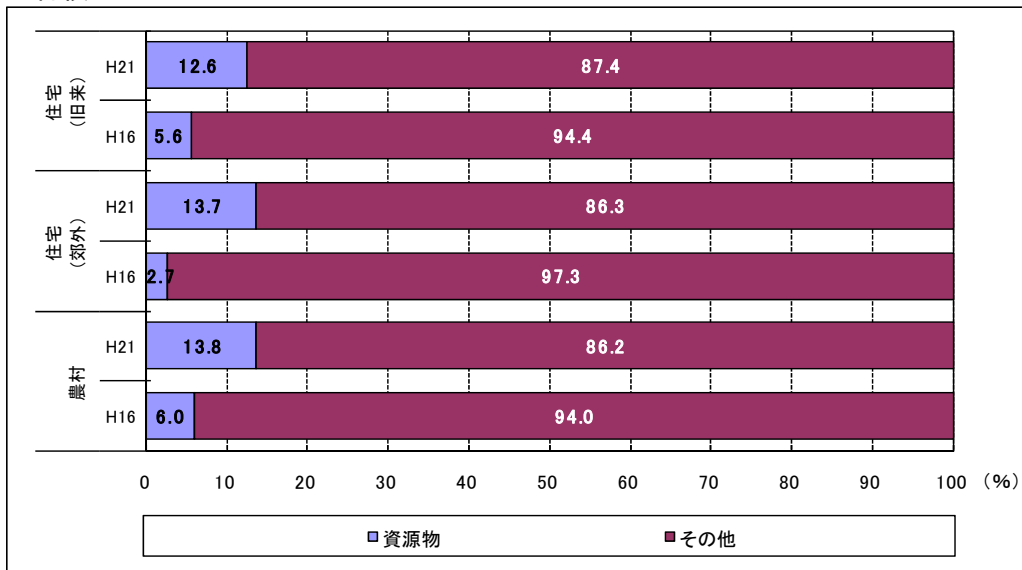
(ウ) 菰野町

<重量比>



重量比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	4.6	2.6	12.8	0.8	9.4	2.1
その他	95.4	97.4	87.2	99.2	90.6	97.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

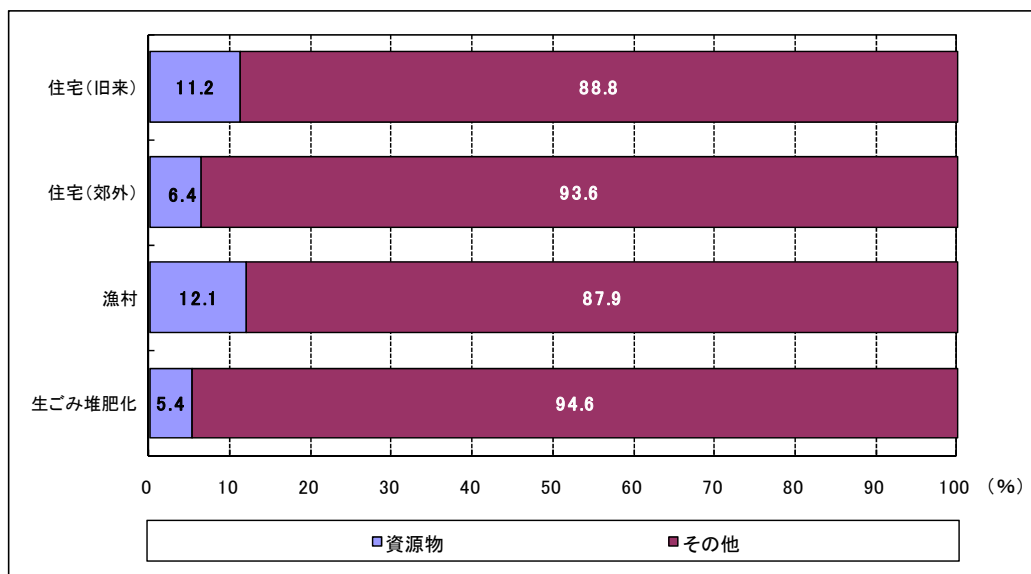
<容積比>



容積比	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
	H21	H16	H21	H16	H21	H16
資源物	12.6	5.6	13.7	2.7	13.8	6.0
その他	87.4	94.4	86.3	97.3	86.2	94.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

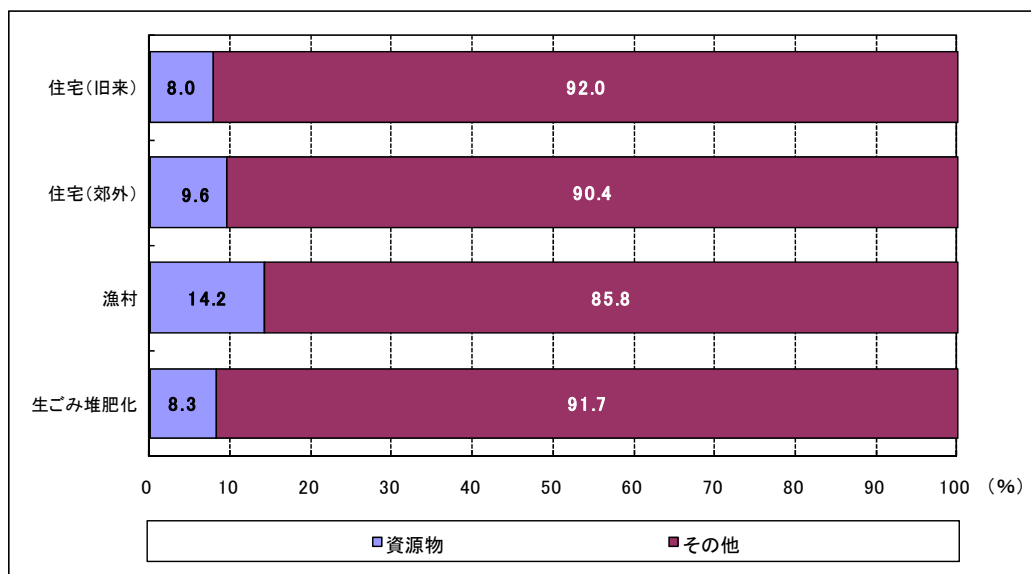
(工) 鳥羽市

<重量比>



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
資源物	11.2	6.4	12.1	5.4
その他	88.8	93.6	87.9	94.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0

<容積比>



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	生ごみ堆肥化
資源物	8.0	9.6	14.2	8.3
その他	92.0	90.4	85.8	91.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0

II. ごみ減量化施策とごみ減量化 の効果の検証

1. 検証の目的

本調査は、平成 22 年度以降のごみ減量化の効果的な取組へつなげるため、毎年度実施しているごみゼロ社会実現プランの進捗状況の点検・評価をさらに深化し、ごみゼロ社会実現プラン推進モデル事業の成果、ごみの有料化などのごみ減量化施策の実施によるごみ減量化効果の検証を行うものであり、検証結果は基礎資料としてごみゼロプランの改訂等の検討に資することを目的とする。

2. 減量化施策の取組状況

(1) 三重県の取組 「ごみゼロ社会実現プラン」

① プラン策定の趣旨

三重県では、これまで「最適生産・最適消費・廃棄ゼロ」を基調とした持続可能な資源循環社会の構築をめざし、ごみの排出抑制、再利用、再生利用や広域処理システムの構築などに対処してきたが、この適正処分を中心とする現在のごみ処理システムは、温暖化ガスや有害物質の排出など環境に対する負荷や、資源の浪費、ごみの収集・運搬、処分に要する費用の確保といった問題を抱えていた。

このことから三重県は「ごみを出さない生活様式」や「ごみが出にくい事業活動」が定着し、ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された不用物は最大限資源として有効利用される「ごみゼロ社会」の実現を目指し、平成 17 年 3 月、住民、事業者、市町村等の協働のもとに、「ごみゼロ社会」実現に向けた長期的なビジョンを示す「ごみゼロ社会実現プラン」（以下「ごみゼロプラン」という。）を策定した。

② ごみゼロプランモデル事業

ごみゼロプランモデル事業とは、ごみゼロプランに掲げる具体的施策をより実効性の高いものとするにより、プラン推進に関する取組の県全域での展開を図るため、他の地域のモデルとなるごみ減量化にむけた実験的・先駆的なシステムの構築に、住民、企業、民間団体、行政など多様な主体の連携・協働によるごみ減量化等の取組に対して補助を行うこととしている。

平成 17 年度より平成 20 年度までの 4 年間に行われたモデル事業は、15 市町で 12 事業行われた。行われた事業を表Ⅱ-1 に示す。

表Ⅱ-1 ごみゼロプランモデル事業

年度	市町	事業名	ねらい、目的
平成17年度	桑名市	市民参画によるごみ処理基本計画づくり	住民参画のプロセスを取り入れた計画づくりをすることでごみ処理基本計画の効果的な策定方法を確立する。
	伊賀市	家庭系ごみ有料化制度の導入検討	・住民のごみへの関心を持ってもらう。 ・住民と行政が共にごみ処理費用の負担のあり方を考える機会をつくる。
	紀宝町	生ごみ堆肥化システムの実証実験	生ごみの再資源化の広域的な展開、継続性の確保に向けてのシステムを構築する。
平成18年度	東員町	市民参画によるごみ処理基本計画づくり	住民参画のプロセスを取り入れた計画づくりをすることでごみ処理基本計画の効果的な策定方法を確立する。
	鳥羽市	リサイクルパーク整備事業	計画段階から住民の意見を取り入れ検討を行い、NPOが運営主体となるリサイクル拠点施設を整備する。
		事業系ごみ減量化手法等検討調査	市と事業者が連携して事業系ごみの減量化の検討を実施する。
平成19年度	伊勢市	レジ袋削減(有料化の導入)検討事業	レジ袋の削減を目指し、市民・事業者・行政が連携して取組を進める。
		埋立ごみ(ガラス・陶磁器くず)の分別収集システム検討事業	最終埋立処分されるごみの削減を目指し、資源ごみの回収・売却も含めて地域住民の手によって主体的・自律的に行われる仕組みを構築する。
	津市	エコパートナー・ネットワーク推進事業	・市民が自発的に環境やごみ減量化について考え、行動することを目指し、市民が運営主体となる活動センターを整備する。 ・活動・情報発信の拠点としてごみゼロ社会をめざす人づくり・ネットワークづくりを図る。
平成20年度	鳥羽市	事業系ごみ(食品廃棄物)再資源化システム検討	一般廃棄物のうち事業所等から発生するごみ量が約5割を占め、1人あたりのごみ排出量も県内市町と比べ多い状況にあるため、生ごみの減量、リサイクルループ(地域循環)の構築をめざす。
	伊賀市 名張市	レジ袋有料化検討事業	・レジ袋の削減を目指し、市民・事業者・行政が連携して取組を進める。 ・2市連携のもと検討する取組
	松阪市 明和町 多気町 大台町 玉城町 大紀町	レジ袋有料化検討事業	・レジ袋の削減を目指し、市民・事業者・行政が連携して取組を進める。 ・ひとつの地域・生活圏である1市5町という全国的にも珍しい広域が一体となり検討・推進を行う。

(2) 県内市町の取組

ごみゼロプランの進捗状況の把握と次年度以降のごみゼロプラン推進の方向を検討する際の基礎資料とするため、市町の取組状況について県が平成21年7月に調査を行った。調査概要を表Ⅱ-2、結果(一部抜粋)を図Ⅱ-1(1)(2)に示す。

表Ⅱ-2 ごみゼロプラン推進に関する市町の取組状況調査概要

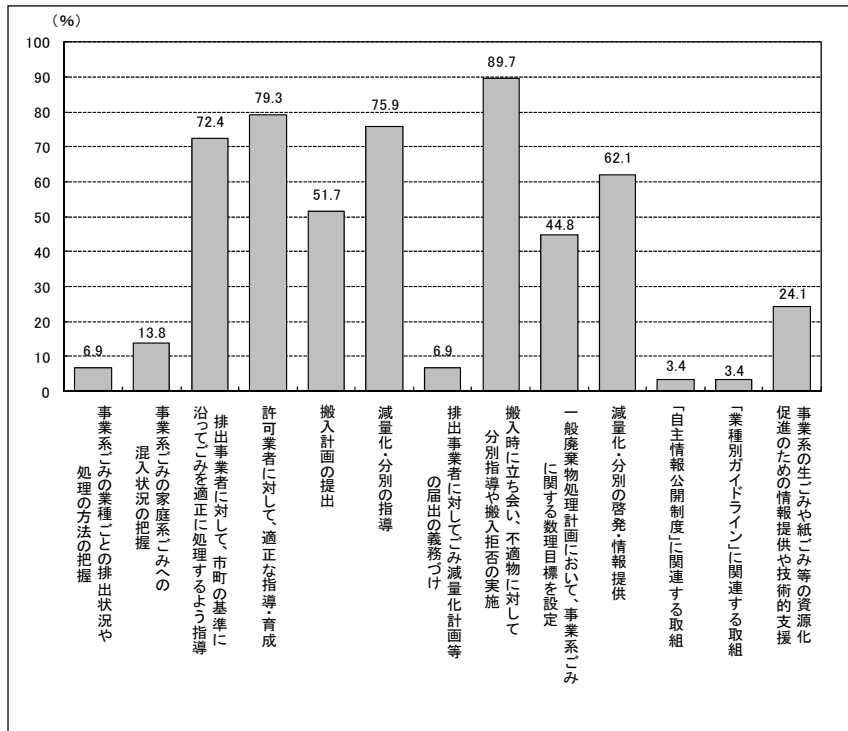
調査対象	県内全29市町
調査方法	メールで調査票を発送、回収。内容については別途ヒアリングを実施。
回収状況	県内全29市町(回収率 100%)

この調査によると、事業系ごみの総合的な減量化の推進では、「搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施」や「許可業者に対して、適正な指導・育成」など、事業者に対しての減量化や適正な処理・処分の指導を実施している市町が多くなっている。

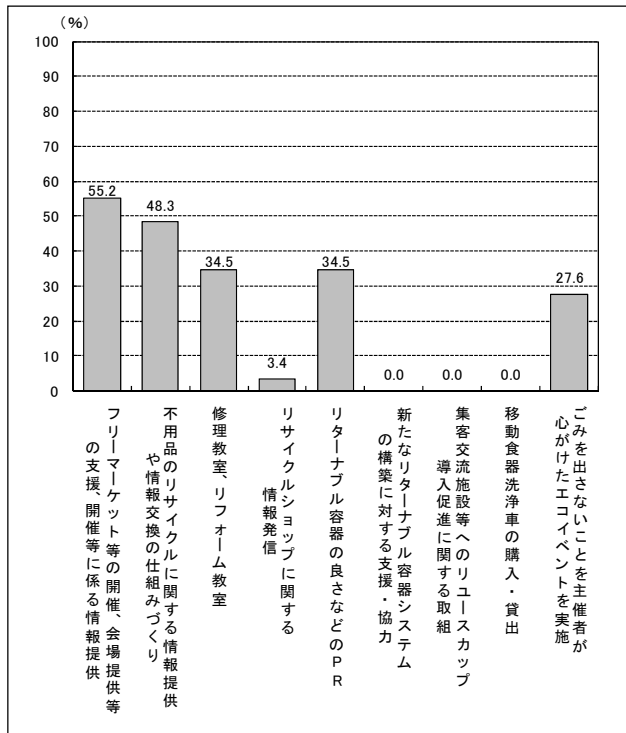
再使用、資源化の取組のなかでは、「家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成」が全市町で実施されている。

また、県民への参画と協働の取組では、伊勢市がレジ袋の有料化を平成19年9月に実施したことをはじめ、その後24市町がレジ袋の有料化を実施しており、「レジ袋のない活動の展開」とともに高い割合となっている。

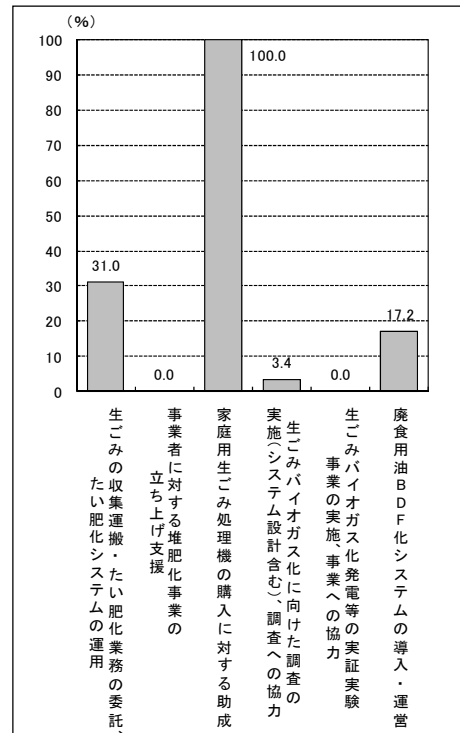
① 事業系ごみの総合的な減量化の推進（ごみゼロプラン基本方向：1）



② リユース（再使用）の推進（基本方向：2）



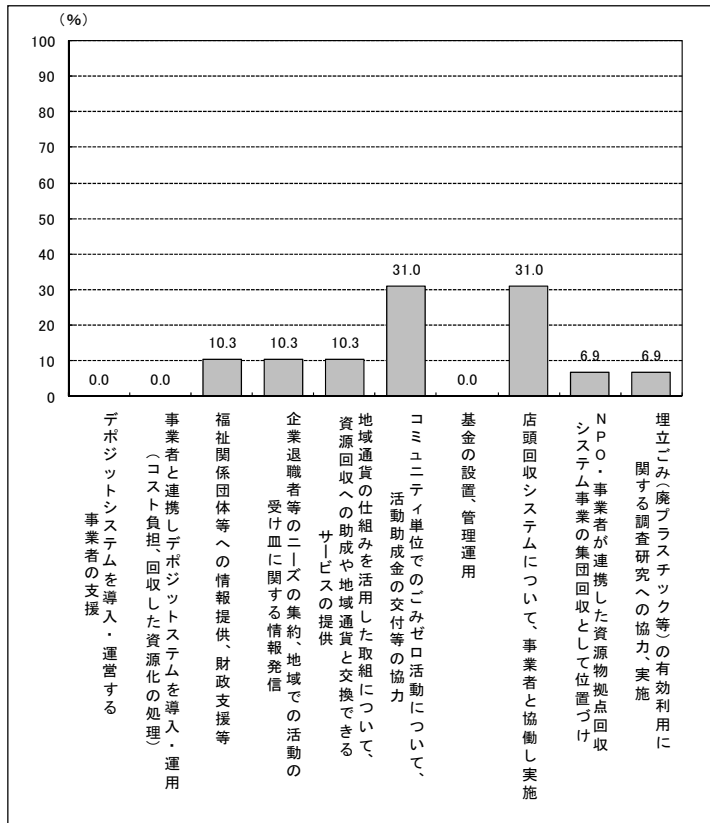
③ 生ごみの再資源化（基本方向：3）



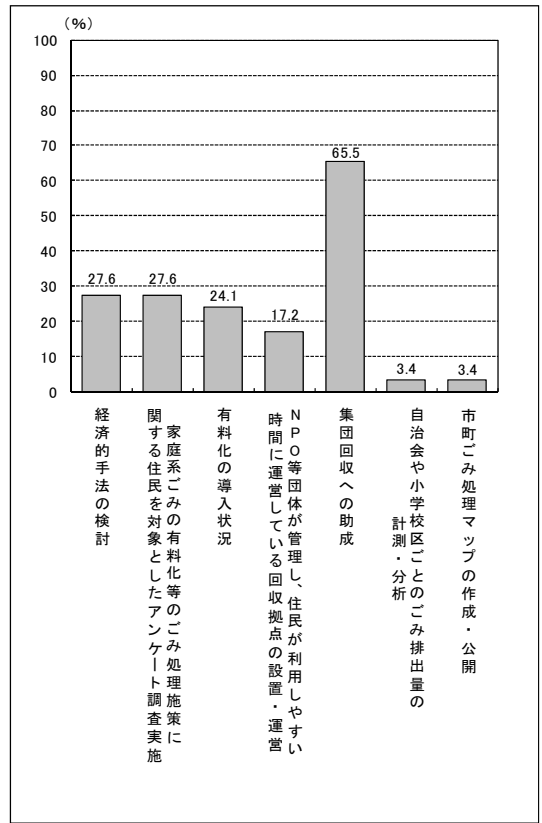
資料：ごみゼロ社会実現プランの進捗状況の第4回点検・評価について（平成21年12月）

図Ⅱ-1(1) 市町の取組状況調査結果

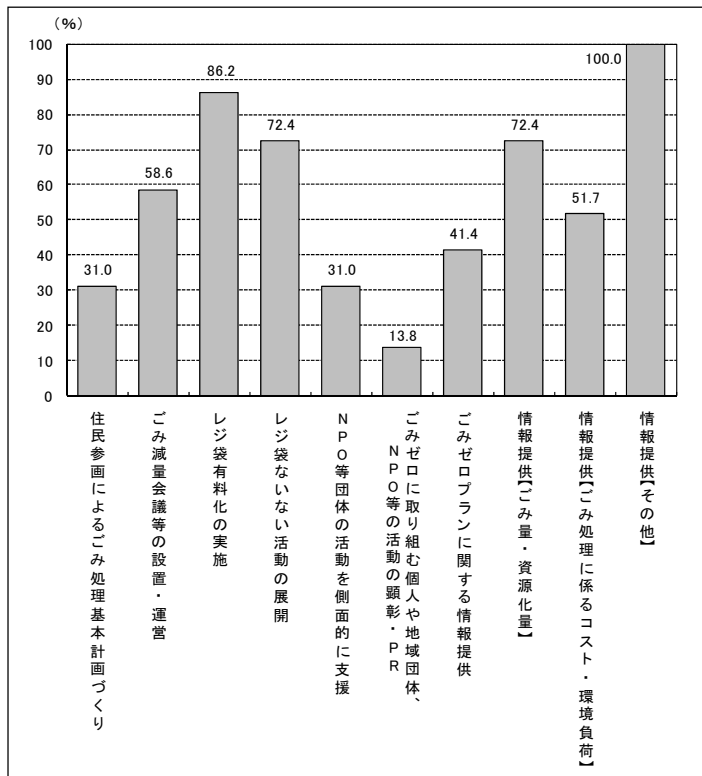
④ 産業・福祉・地域づくりと一体となった
ごみ減量化の推進（基本方向：6）



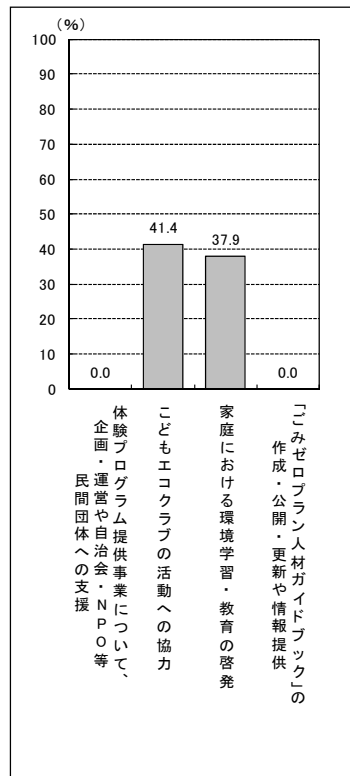
⑤ 公正で効率的なごみ処理システムの
構築（基本方向：7）



⑥ ごみ行政への県民参画と協働の推進（基本方向：8）



⑦ ごみゼロ社会を担うひとづくり・
ネットワークづくり（基本方向：9）



図Ⅱ-1(2) 市町の取組状況調査結果

3. ごみ減量化施策と減量化の効果

(1) 家庭系ごみの有料化

① 有料化市町の状況

ア 県内有料化実施市町の状況

家庭系ごみの有料化²を導入した市町は、平成 21 年度までに 7 市町となっている。有料化の実施市町とその料金を表 II-3 に示す。

現在この 7 市町における料金体系は、ごみの排出量に応じて手数料を支払う方式「排出量単純比例型（均一従量制）」を採用している。

可燃ごみ、不燃ごみを有料化している市町は、桑名市、名張市、鳥羽市、志摩市、木曾岬町で、可燃ごみのみの有料化を導入している市町は、伊賀市、南伊勢町である。また、桑名市、木曾岬町はプラスチックごみ、志摩市は資源ごみに対しても有料としている。

45L 程度の 1 袋あたりの料金が最も高くなっているのは、可燃ごみ、不燃ごみともに名張市で 68 円、次いで志摩市の 50 円である。

収集方法については、県内の実施市町は一部の地区を除いてステーション収集を採用している。

表 II-3 県内市町の有料化実施市町、1 袋あたりの料金

市町名	有料化 実施年月	可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ		プラスチック		収集方法
		袋サイズ	(円/1袋)	袋サイズ	(円/1袋)	袋サイズ	(円/1袋)	袋サイズ	(円/1袋)	
桑名市	平成9年4月	45L程度	15	35L程度	15	—	—	45L程度	15	ステーション収集
		35L程度	15							
名張市	平成20年4月	45L程度	68	45L程度	68	—	—	—	—	ステーション収集、 一部戸別収集 (戸別収集は平成 21年8月より廃止)
		35L程度	45	35L程度	45					
		25L程度	28	25L程度	28					
		15L程度	13	15L程度	13					
		5L程度	6	5L程度	6					
鳥羽市	平成18年10月	90L程度	90	90L程度	90	—	—	—	—	ステーション収集
		45L程度	45	45L程度	45					
		35L程度	30	35L程度	30					
		25L程度	20	25L程度	20					
		15L程度	10	15L程度	10					
志摩市	平成16年10月	45L程度	50	45L程度	50	45L程度	15	—	—	ステーション収集、 一部戸別収集
		25L程度	30	25L程度	30	25L程度	10			
		15L程度	10	15L程度	10	15L程度	5			
伊賀市	平成19年1月	45L程度	20	—	—	—	—	—	—	ステーション収集
		35L程度	15							
		25L程度	10							
木曾岬町	昭和50年4月	45L程度	35	35L程度	35	—	—	35L程度	35	ステーション収集
		35L程度	25							
		25L程度	23							
南伊勢町	平成17年10月	45L程度	30	—	—	—	—	—	—	ステーション収集
		35L程度	20							
		15L程度	10							

注) 志摩市と南伊勢町は市町村合併前に有料化制度を導入していたが、手数料を市町で統一した月日を有料化実施月日とした。
志摩市は、旧阿児町が平成5年4月(導入時料金: 100円/45L)、旧志摩町が平成11年4月(100円/45L)、旧浜島町・磯部町が平成12年4月(浜島町: 100円/45L、磯部町: 22円/45L)、旧大王町が平成14年10月(40円/45L)より行っている。
南伊勢町は、旧南勢町が平成13年4月(導入時料金: 100円/45L)に有料化を導入した。
資料: ごみゼロ社会実現プランの進捗状況の第4回点検・評価について(平成21年12月)、各市町HP(平成22年2月現在)

2 有料化とは、市町村が一般廃棄物処理についての手数料を徴収する行為をさす。このため、手数料を上乗せせずに販売される一定の規格を有するごみ袋(指定袋)の使用を排出者に依頼する場合には、「有料化」に該当しない。

イ 県外有料化実施市町の状況

県外の有料化実施市町の実施概要を表Ⅱ-4に示す。

以下の県外市町は、県内市町と人口規模が同程度で、料金体系が均一従量制、有料化実施年がごく最近であること、またごみ手数料単価に近い市町と比較できることを基準として選定した。

函館市、登別市、日野市の可燃ごみ、不燃ごみともに1袋あたりの料金は40Lで80円、桜井市は45Lで47円、幸手市、泉佐野市の可燃ごみの45L～50Lの1袋あたりの料金は、50円としている。収集方法は、函館市の一部と日野市を除いてステーション収集を採用している。日野市においては、有料化の導入と同時にダストボックス収集から戸別収集に変更している。

表Ⅱ-4 県外の有料化導入市町の実施概要

市町名	有料化実施年月	可燃ごみ		不燃ごみ		人口(人)	料金体系	分別区分	徴収方法	収集方法
		袋サイズ	(円/1袋)	袋サイズ	(円/1袋)					
北海道 函館市	平成14年 4月	40L	80	40L	80	290,572	単純比例型 (均一従量制)	5区分5分別 ・燃やせるごみ:有料 ・燃やせないごみ:有料 ・プラスチック容器包装:無料 ・缶・ビン・ペットボトル:無料 ・粗大ごみ:有料	指定袋、 ごみ処理券	路線収集、 ステーション収集
		30L	60	30L	60					
		20L	40	20L	40					
		10L	20	10L	20					
		5L	10	5L	10					
北海道 登別市	平成12年 4月	40L	80	40L	80	53,514	単純比例型 (均一従量制)	5区分6分別 ・燃やせるごみ:有料 ・燃やせないごみ:有料 ・粗大ごみ:有料 ・資源ごみ:無料 (びん・缶、ペットボトル) ・有害ごみ:無料	指定袋、 ごみ処理券	ステーション収集
		30L	60	30L	60					
		20L	40	20L	40					
		10L	20	10L	20					
埼玉県 幸手市	平成18年 10月	45L相当	50	-	-	53,786	単純比例型 (均一従量制)	6区分14分別 ・燃やせるごみ:有料 ・燃やせないごみ:無料 ・粗大ごみ:無料 ・有害ごみ:無料 ・危険ごみ:無料 ・資源物:無料 (新聞紙、雑誌・雑がみ、段ボール、紙バック、布、びん、かん、ペットボトル、その他プラ)	指定袋	ステーション収集
		30L相当	35							
		15L相当	15							
東京都 日野市	平成12年 10月	40L	80	40L	80	172,409	単純比例型 (均一従量制)	5区分13分別 ・可燃ごみ:有料 ・不燃ごみ:有料 ・粗大ごみ:有料(品目別料金シール) ・有害ごみ:無料 ・資源物:無料 (新聞紙、雑誌・雑誌類、段ボール、牛乳パック類、古着・古布類、びん、缶類、ペットボトル、トレー類)	指定袋	戸別収集
		20L	40	20L	40					
		10L	20	10L	20					
		5L	10	5L	10					
大阪府 泉佐野市	平成18年 4月	50L	50	-	-	101,592	単純比例型 (均一従量制)	3区分12分別 ・可燃ごみ:有料 ・資源ごみ:無料 (容器包装プラスチック、カン・ビン、ペットボトル本体、新聞紙、雑誌・教科書、古着、紙バック、紙箱、紙袋、段ボール) ・粗大ごみ:有料(粗大ごみ処理券)(小さなものは袋で排出)	指定袋	ステーション収集
		20L	20							
		10L	10							
奈良県 桜井市	平成12年 10月	45L	47	45L	47	62,126	単純比例型 (均一従量制)	4区分10分別 ・可燃ごみ:有料 ・不燃ごみ:有料 ・粗大ごみ:有料(粗大ごみ収集利用券) ・資源物:無料 (空き缶・空きビン、ペットボトル、古紙(新聞・ダンボール・雑誌・牛乳パック))	指定袋	ステーション収集
		30L	30	30L	30					
		15L	15	15L	15					

注)6市町とも資源ごみの有料化は実施していない。

資料:各市町HP(平成22年2月現在)、人口は平成19年度一般廃棄物実態調査(環境省)

② 家庭系ごみ排出量の変化

ア 家庭系ごみ全体排出量³

(a) 県内実施市町の状況

有料化実施市町の家庭系ごみ全体排出量の推移を表Ⅱ-7(1)(2)、図Ⅱ-2に示す。

有料化実施前年⁴と有料化実施後⁵を比較すると、1人1日あたりの排出量が最も減量率が高いのは、名張市で101g、次いで伊賀市が70g減少している。その他の市町も27g～65g減少しており、減量効果があったと推察できる。(表Ⅱ-7(1)①参照)また、有料化後の推移をみると、ほとんどの市町で有料化実施1年以降も減少しているため、有料化の効果が継続している。

前年度からの減量をみると、鳥羽市は平成14年度に13.7%と最も減量率が高いが、これは、可燃ごみ、不燃ごみに加えて、「その他プラスチック」と「その他紙」の2つの分別を増やしたことによって減少したとみられる。志摩市と南伊勢町は、市町村合併の前に旧市町で有料化を導入しており、志摩市においては、旧浜島町、磯部町が有料化を導入した平成12年度に9.0%(前年度対比)と最も減量率が大きくなっている。南伊勢町においては、旧南勢町が有料化を実施した平成13年度に12.3%(前年度対比)と最も大きく減少している。(表Ⅱ-7(1)③参照)

(b) 県内の有料化未実施市町との比較

有料化実施市町と比較する際の県内市町は、できる限り実施市町と隣接している市町、もしくは人口規模が同程度の市町を基準として2～3市町を抽出し、その他に県の代表する市として県庁所在地の津市と県内で人口が最も多い四日市市も比較対象市町として選定した。

なお、有料化実施市町と未実施市町の比較をする前に、有料化未実施市町で排出量が大きく変化している時期があるため、想定される要因を表Ⅱ-5に示す。

表Ⅱ-5 有料化未実施市町の排出量変化の要因

市町名	年度	要因
津市	H16	旧津市で容器包装プラスチックの分別収集の開始
	H17	市町村合併により、旧津市の容器包装プラスチックの分別収集が、合併した市町でも分別が統一
伊勢市	H15	指定ごみ袋制度の導入
	H19	ガラス・陶磁器くずの分別収集の開始
尾鷲市	H12	分別区分を4分類から19分類に変更
大紀町	H12	RDF化製造施設が一部稼働したことに伴った分別区分の変更

3 家庭系ごみ全体排出量は、本報告書の家庭系ごみの有料化の効果において、家庭系収集ごみの合計をさす。
(家庭系収集ごみ量＝可燃ごみ＋不燃ごみ＋資源ごみ＋粗大ごみ＋その他ごみ)

4 有料化実施前年とは、有料化を導入した前年度を示す。例えば、平成19年1月に有料化を導入したとすると、有料化実施前年は「平成17年度」となる。

5 有料化実施後とは、有料化を導入した年度を示す。ただし、導入月が年度途中の場合は、導入年度で評価すると、導入前の数カ月分の無料ごみ量も含まれるため、有料化したごみ量が1年を通して把握できる導入次年度を有料化実施後とした。例えば、平成20年4月に有料化を導入した場合は、有料化実施後は「平成20年度」、平成19年1月に導入した場合は、有料化実施後を「平成19年度」とする。

この減少要因を踏まえて有料化実施市町の実施時期と未実施市町の同時期の排出量を対比⁶すると、名張市は、平成 20 年度（速報値。以下同じ）が 16.9%の減少（前年度対比）であり、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。平成 19 年度の伊賀市は 7.8%の減少、鳥羽市は 6.1%の減少であり、ほとんどの未実施市町に比べて減量率が大きい。志摩市は、平成 17 年度が 1.1%の減少で、津市、四日市市に比べると減量率は大きい、伊勢市と比較すると、志摩市の減量率は小さくなっている。これは平成 16 年 10 月に市町村合併によって全市町の料金を統一し、市の人口の 3 割を占める磯部町、大王町で 1 袋あたり 22 円もしくは 40 円が 50 円に値上げをしたが、一方、人口の 7 割を占める旧志摩町、旧阿児町、旧浜島町で 100 円から 50 円に値下げしたことにより、市全体を考慮すると、料金単価が下がり、料金統一後の排出量が小幅な減少にとどまったとみられる。

南伊勢町は、平成 18 年度が 7.3%の減少であり、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。

このことから全般的に有料化実施市町は未実施市町を上回る減少傾向を示しており、経済要因は同等な影響を与えるものとするとその上回った減少分は、有料化によるものとみなすことができる。（表Ⅱ-7(1) ③ 参照）

（c）県外の有料化実施市町との比較

ここで、比較する前に、県内と県外の有料化実施市町の 1L あたりの料金を表Ⅱ-6 に示す。（詳細は P74、75 の表Ⅱ-3、4 参照）

有料化実施前年から実施後の増減をみると、県内市町は 4～17%の減少に対し、県外市町は、12～37%の減少となっている。（表Ⅱ-7(2) 参照）

料金が県外市町と同程度の実施市町を比較すると、名張市は 17%の減少に対し、県外市町（函館市、登別市、日野市）は 24～37%の減少している。また、1L・1 円前後の実施市町を比較すると、県内市町（鳥羽市、志摩市、南伊勢町）が 4～8%の減少に対し、県外市町（幸手市、泉佐野市、桜井市）は 12～23%の減少となっており、県外実施市町よりも県内市町の方が減量率が小さい。

表Ⅱ-6 県内有料化実施市町と県外実施市町の 1 袋あたりの料金

市町名	三重県内						三重県外						
	名張市	伊賀市	鳥羽市	志摩市	南伊勢町	桑名市	函館市	登別市	幸手市	日野市	泉佐野市	桜井市	
可燃ごみ	1袋あたりの料金	68円/45L	20円/45L	45円/45L	50円/45L	30円/45L	15円/45L	80円/40L	80円/40L	50円/45L	80円/40L	50円/50L	47円/45L
	1Lあたりの料金(円)	1.5	0.4	1.0	1.1	0.7	0.3	2.0	2.0	1.1	2.0	1.0	1.0
不燃ごみ	1袋あたりの料金	68円/45L	—	45円/45L	50円/45L	—	15円/45L	80円/40L	80円/40L	—	80円/40L	—	47円/45L
	1Lあたりの料金(円)	1.5	—	1.0	1.1	—	0.3	2.0	2.0	—	2.0	—	1.0

6 各有料化実施市町の特に着目する有料化未実施市町を以下に記す。

- ・名張市、伊賀市 … 津市、四日市市
- ・鳥羽市 … 伊勢市、尾鷲市（同程度の人口）、津市、四日市市
- ・志摩市 … 伊勢市、津市、四日市市
- ・南伊勢町 … 伊勢市、大紀町、尾鷲市（同程度の人口）、津市、四日市市

表Ⅱ-7(1) 有料化実施、未実施市町の家庭系ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	① 家庭系収集ごみ量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	701	693	635	617	593	582	612	615	598	497	396
	伊賀市	H19.1	679	737	744	791	748	752	755	743	685	649	—
	鳥羽市	H18.10	885	866	879	759	698	716	704	689	647	653	—
	志摩市	H16.10	728	662	684	673	692	673	665	667	668	652	—
	南伊勢町	H17.10	1,049	1,009	885	867	838	835	830	770	765	742	—
	桑名市	H9.4	692	728	743	783	739	731	733	747	733	711	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	776	784	794	800	790	770	770	814	757	729	—
	四日市市	未実施	778	799	779	757	762	750	748	744	715	689	—
	伊勢市	未実施	880	890	864	856	773	779	766	776	752	746	—
	尾鷲市	未実施	1,074	902	1,010	1,033	1,076	1,026	1,004	1,007	966	934	—
	大紀町	未実施	742	738	700	703	756	719	728	739	705	690	—
	実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	751	763	819	619	630	621	622	628	620	—
登別市		H12.4	846	533	538	532	536	522	532	535	526	—	—
幸手市		H18.10	828	809	805	800	823	818	838	851	734	—	—
日野市		H12.10	941	867	696	705	700	671	678	674	649	—	—
泉佐野市		H18.4	948	991	911	942	928	899	733	567	514	—	—
桜井市		H12.10	872	813	745	719	725	732	759	770	719	—	—
全国	—	743	750	740	730	723	709	700	691	664	—	—	

市町名	有料化 実施年月	② H11年度を基準とした 家庭系収集ごみ量の1人1日あたり排出量の増減量率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-1.1	-9.5	-12.1	-15.4	-17.1	-12.8	-12.3	-14.8	-29.2	-43.5
	伊賀市	H19.1	—	8.5	9.6	16.5	10.2	10.7	11.2	9.4	0.9	-4.4	—
	鳥羽市	H18.10	—	-2.1	-0.7	-14.3	-21.1	-19.1	-20.4	-22.1	-26.9	-26.2	—
	志摩市	H16.10	—	-9.0	-6.0	-7.6	-5.0	-7.6	-8.6	-8.3	-8.2	-10.4	—
	南伊勢町	H17.10	—	-3.8	-15.7	-17.3	-20.1	-20.4	-20.9	-26.6	-27.1	-29.3	—
	桑名市	H9.4	—	5.2	7.3	13.1	6.7	5.6	5.8	7.9	5.9	2.7	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	1.1	2.4	3.1	1.9	-0.8	-0.7	5.0	-2.4	-6.1	—
	四日市市	未実施	—	2.7	0.2	-2.7	-2.1	-3.6	-3.8	-4.4	-8.1	-11.4	—
	伊勢市	未実施	—	1.1	-1.8	-2.8	-12.1	-11.5	-12.9	-11.9	-14.6	-15.3	—
	尾鷲市	未実施	—	-16.0	-5.9	-3.8	0.2	-4.5	-6.5	-6.2	-10.1	-13.0	—
	大紀町	未実施	—	-0.5	-5.6	-5.3	1.9	-3.0	-1.9	-0.4	-5.0	-7.0	—
	実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	1.6	9.1	-17.6	-16.2	-17.4	-17.2	-16.4	-17.4	—
登別市		H12.4	—	11.7	-29.7	-29.0	-29.7	-29.3	-31.2	-29.8	-29.4	—	—
幸手市		H18.10	—	-2.3	-2.7	-3.3	-0.6	-1.1	1.2	2.7	-11.3	—	—
日野市		H12.10	—	-2.1	-9.8	-27.6	-26.7	-27.2	-30.2	-29.5	-29.9	—	—
泉佐野市		H18.4	—	5.2	9.9	1.1	4.5	2.9	-0.3	-18.8	-37.1	—	—
桜井市		H12.10	—	-6.8	-14.6	-17.5	-16.8	-16.0	-12.9	-11.7	-17.5	—	—
全国	—	—	0.8	-0.4	-1.8	-2.7	-4.7	-5.8	-7.0	-10.7	—	—	

市町名	有料化 実施年月	③ 前年度対比の 家庭系収集ごみ量の1人1日あたり排出量の増減量率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-1.1	-8.4	-2.9	-3.7	-2.0	5.2	0.6	-2.9	-16.9	-20.2
	伊賀市	H19.1	—	8.5	1.0	6.3	-5.4	0.5	0.4	-1.6	-7.8	-5.2	—
	鳥羽市	H18.10	—	-2.1	1.5	-13.7	-8.0	2.6	-1.7	-2.1	-6.1	0.8	—
	志摩市	H16.10	—	-9.0	3.3	-1.7	2.8	-2.7	-1.1	0.3	0.2	-2.4	—
	南伊勢町	H17.10	—	-3.8	-12.3	-2.0	-3.4	-0.4	-0.6	-7.3	-0.6	-3.0	—
	桑名市	H9.4	—	5.2	2.0	5.4	-5.7	-1.1	0.2	2.0	-1.8	-3.0	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	1.1	1.3	0.7	-1.2	-2.6	0.1	5.7	-7.0	-3.8	—
	四日市市	未実施	—	2.7	-2.4	-2.9	0.7	-1.5	-0.2	-0.6	-3.9	-3.5	—
	伊勢市	未実施	—	1.1	-2.9	-0.9	-9.7	0.7	-1.6	1.2	-3.0	-0.8	—
	尾鷲市	未実施	—	-16.0	11.9	2.2	4.2	-4.6	-2.1	0.3	-4.1	-3.3	—
	大紀町	未実施	—	-0.5	-5.1	0.3	7.6	-4.8	1.2	1.5	-4.6	-2.1	—
	実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	1.6	7.4	-24.5	1.8	-1.5	0.2	1.0	-1.2	—
登別市		H12.4	—	-37.0	0.9	-1.0	0.6	-2.7	2.0	0.5	-1.7	—	—
幸手市		H18.10	—	-2.3	-0.4	-0.6	2.8	-0.5	2.4	1.5	-13.7	—	—
日野市		H12.10	—	-7.8	-19.8	1.2	-0.6	-4.2	1.0	-0.6	-3.7	—	—
泉佐野市		H18.4	—	4.5	-8.1	3.4	-1.5	-3.1	-18.5	-22.6	-9.4	—	—
桜井市		H12.10	—	-6.8	-8.4	-3.4	0.8	0.9	3.7	1.4	-6.6	—	—
全国	—	—	0.8	-1.2	-1.4	-0.9	-2.0	-1.2	-1.3	-4.0	—	—	

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

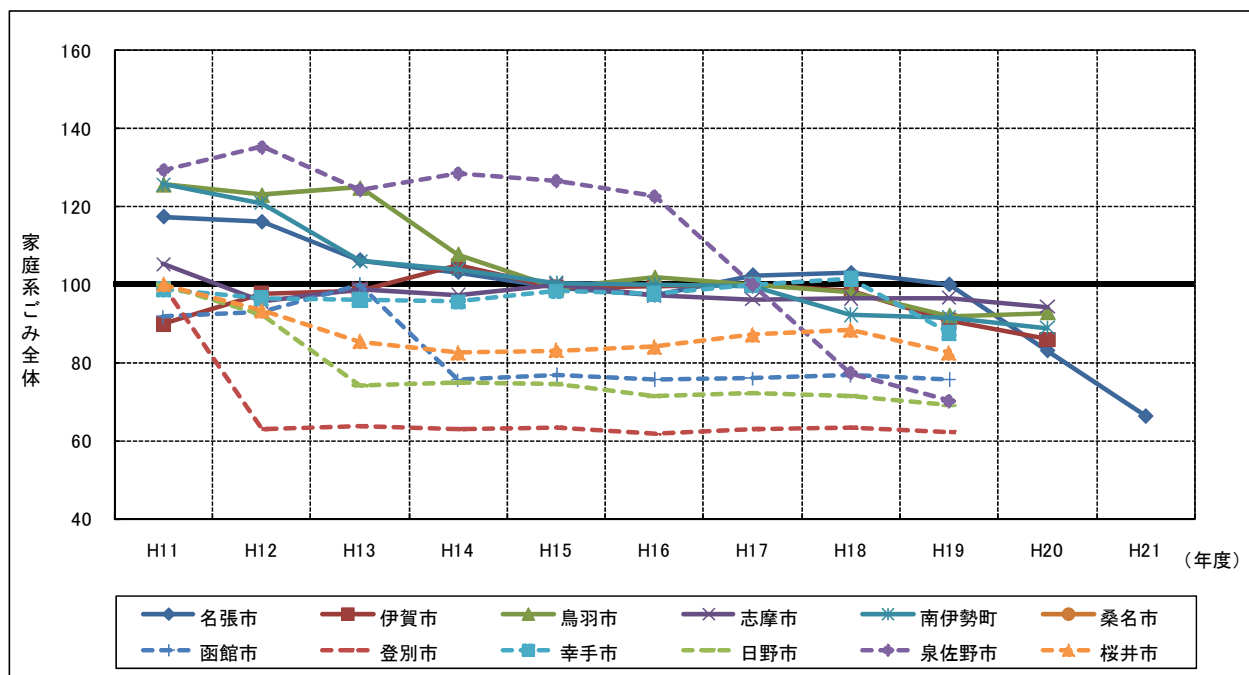
注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

資料：平成11年度～平成19年度：一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度：三重県速報値
平成21年度：伊賀南部衛生組合(平成21年1月末現在)

7 ここでは、10年間を通じた増減変化を明確にするため、平成11年度を基準とした増減量率を示した。

表Ⅱ-7(2) 有料化実施、未実施市町の家庭系ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 家庭系収集ごみ量の1人1日あたり排出量の増減											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
県内 有料化 実施市町	名張市	H20.4	117	116	106	103	99	97	102	103	100	83	66
	伊賀市	H19.1	90	98	99	105	99	100	100	98	91	86	—
	鳥羽市	H18.10	126	123	125	108	99	102	100	98	92	93	—
	志摩市	H16.10	105	96	99	97	100	97	96	96	97	94	—
	南伊勢町	H17.10	126	121	106	104	100	100	99	92	92	89	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県外 有料化 実施市町	函館市	H14.4	92	93	100	76	77	76	76	77	76	—	—
	登別市	H12.4	100	63	64	63	63	62	63	62	—	—	
	幸手市	H18.10	99	97	96	96	98	98	100	102	88	—	—
	日野市	H12.10	100	92	74	75	74	71	72	72	69	—	—
	泉佐野市	H18.4	129	135	124	129	127	123	100	77	70	—	—
	桜井市	H12.10	100	93	85	82	83	84	87	88	82	—	—



図Ⅱ-2 有料化実施市町の家庭系ごみ全体の1人1日あたり排出量推移
(有料化導入前年を100とした場合)

イ 可燃ごみ

(a) 県内実施市町の状況

家庭系の可燃ごみ排出量の推移を表Ⅱ-8(1)(2)、図Ⅱ-3に示す。

有料化実施前年と実施後を比較すると、1人1日あたりの排出量が最も減少しているのは、名張市で82g、次いで南伊勢町が69g減少している。有料化実施後の推移をみると、ほとんどの市町で有料化実施後以降も減少傾向を示している。しかし、志摩市においては、有料化実施年度には減少していたが、1年後には増加し、そのまま横ばいを推移している。(表Ⅱ-8(1)① 参照)

(b) 県内の有料化未実施市町との比較

有料化実施市町の実施時期と未実施市町の同時期の排出量を対比すると、名張市は、平成20年度が18.2%の減少(前年度対比)であり、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。平成19年度の伊賀市は6.5%の減少、鳥羽市は3.7%の減少でほとんどの未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。志摩市は、平成17年度が5.1%の増加で、すべての未実施市町に比べて増加している。しかし、平成11年度以降で、旧5市町が有料化を導入した年度のうち最も減量率が大きい平成12年度を見てみると(旧浜島町、旧磯部町が導入:志摩市全体の人口に対する2市町の人口割合は約3割)、9.0%の減少でほとんどの未実施市町に比べて減少している。南伊勢町は、平成18年度が8.9%の減少で、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。(表Ⅱ-8(1)③ 参照)

このことから全般的に有料化実施市町の減少傾向は未実施市町を上回っており、その上回った減少分は経済要因を除いた有料化によるものとうかがえる。

ただ一部、未実施市町でも実施市町と同時期に大きく減少している時期があるが、それは分別数の増加や指定袋の制度の導入などが影響しているとみられる。

(c) 県外の有料化実施市町との比較

有料化実施前年からの増減をみると、県内市町は7~18%の減少、3%の増加に対し、県外市町は、14~43%の減少となっている。料金が県外市町と同程度の名張市は、減量率も同程度であると確認できる。さらに1L・1円前後の実施市町を比較すると、県内市町(鳥羽市、志摩市、南伊勢町)で9~11%の減少、3%の増加に対し、県外市町(幸手市、泉佐野市、桜井市)は25%の減少となっており、県内市町の方が減量率が小さくなっている。他の市町以上に大きく減少している日野市については、1Lあたりの料金が高いうえ、ダストボックス収集から戸別収集に変更となったことが要因とされる。(表Ⅱ-8(2) 参照)

表Ⅱ-8(1) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系可燃ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	① 家庭系収集(可燃)ごみ量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	595	528	455	432	425	430	463	467	450	368	297
	伊賀市	H19.1	551	576	586	547	520	554	566	565	529	524	—
	鳥羽市	H18.10	746	699	704	654	514	565	540	509	490	501	—
	志摩市	H16.10	539	491	500	472	461	454	476	474	475	475	—
	南伊勢町	H17.10	915	835	698	683	649	632	619	563	564	544	—
	桑名市	H9.4	494	508	517	527	508	459	463	468	457	458	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	572	539	538	528	533	506	514	526	520	511	—
	四日市市	未実施	474	466	458	454	455	457	461	460	443	439	—
	伊勢市	未実施	741	731	695	673	562	573	563	572	559	566	—
	尾鷲市	未実施	884	721	772	785	789	785	767	773	772	756	—
	大紀町	未実施	606	582	630	635	681	653	664	675	639	624	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	573	574	593	455	454	442	489	497	491	—	—
	登別市	H12.4	533	459	465	463	467	454	463	462	455	—	—
	幸手市	H18.10	688	577	577	577	596	593	608	564	457	—	—
	日野市	H12.10	677	551	383	385	378	357	360	357	348	—	—
	泉佐野市	H18.4	841	873	794	818	814	812	659	495	459	—	—
	桜井市	H12.10	687	569	516	494	525	516	516	520	513	—	—
全国	—	498	492	491	480	477	472	480	477	464	—	—	

市町名	有料化 実施年月	② H11年度を基準とした 家庭系収集(可燃)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-11.2	-23.4	-27.4	-28.5	-27.8	-22.1	-21.6	-24.4	-38.2	-50.0
	伊賀市	H19.1	—	4.5	6.3	-0.8	-5.7	0.4	2.8	2.5	-4.1	-4.9	—
	鳥羽市	H18.10	—	-6.2	-5.6	-12.4	-31.0	-24.2	-27.6	-31.7	-34.3	-32.8	—
	志摩市	H16.10	—	-9.0	-7.3	-12.5	-14.5	-15.9	-11.6	-12.0	-11.8	-11.9	—
	南伊勢町	H17.10	—	-8.7	-23.6	-25.4	-29.0	-30.9	-32.4	-38.4	-38.3	-40.5	—
	桑名市	H9.4	—	2.8	4.8	6.7	2.9	-7.0	-6.2	-5.2	-7.4	-7.2	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	-5.7	-5.9	-7.6	-6.7	-11.4	-10.1	-8.0	-9.0	-10.6	—
	四日市市	未実施	—	-1.6	-3.2	-4.0	-3.9	-3.5	-2.7	-2.9	-6.4	-7.3	—
	伊勢市	未実施	—	-1.3	-6.1	-9.1	-24.2	-22.6	-23.9	-22.8	-24.5	-23.6	—
	尾鷲市	未実施	—	-18.4	-12.6	-11.2	-10.8	-11.3	-13.2	-12.6	-12.7	-14.5	—
	大紀町	未実施	—	-4.0	3.9	4.9	12.4	7.8	9.6	11.4	5.5	3.1	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	0.1	3.5	-20.6	-20.9	-22.8	-14.7	-13.3	-14.4	—	—
	登別市	H12.4	—	-13.8	-12.7	-13.1	-12.3	-14.9	-13.1	-13.4	-14.7	—	—
	幸手市	H18.10	—	-16.1	-16.1	-16.2	-13.4	-13.9	-11.6	-18.1	-33.6	—	—
	日野市	H12.10	—	-18.5	-43.3	-43.1	-44.1	-47.2	-46.8	-47.3	-48.5	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	3.7	-5.6	-2.8	-3.2	-3.4	-21.6	-41.1	-45.4	—	—
	桜井市	H12.10	—	-17.1	-24.9	-28.1	-23.6	-24.9	-24.9	-24.4	-25.3	—	—
全国	—	—	-1.4	-1.6	-3.6	-4.4	-5.3	-3.6	-4.3	-6.9	—	—	

市町名	有料化 実施年月	③ 前年度対比の 家庭系収集(可燃)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-11.2	-13.8	-5.2	-1.5	1.0	7.8	0.7	-3.6	-18.2	-19.1
	伊賀市	H19.1	—	4.5	1.7	-6.7	-4.9	6.5	2.3	-0.2	-6.5	-0.9	—
	鳥羽市	H18.10	—	-6.2	0.6	-7.1	-21.3	9.9	-4.6	-5.6	-3.7	2.3	—
	志摩市	H16.10	—	-9.0	1.8	-5.6	-2.3	-1.6	5.1	-0.5	0.3	-0.2	—
	南伊勢町	H17.10	—	-8.7	-16.4	-2.2	-4.9	-2.6	-2.2	-8.9	0.1	-3.5	—
	桑名市	H9.4	—	2.8	1.9	1.9	-3.6	-9.6	0.8	1.1	-2.4	0.3	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	-5.7	-0.2	-1.8	0.9	-5.0	1.5	2.3	-1.1	-1.8	—
	四日市市	未実施	—	-1.6	-1.7	-0.8	0.1	0.5	0.8	-0.2	-3.6	-1.0	—
	伊勢市	未実施	—	-1.3	-4.9	-3.2	-16.5	2.1	-1.7	1.5	-2.2	1.1	—
	尾鷲市	未実施	—	-18.4	7.1	1.6	0.5	-0.6	-2.2	0.7	-0.1	-2.1	—
	大紀町	未実施	—	-4.0	8.3	0.9	7.2	-4.1	1.7	1.7	-5.2	-2.3	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	0.1	3.4	-23.3	-0.3	-2.5	10.6	1.6	-1.3	—	—
	登別市	H12.4	—	-13.8	1.3	-0.5	0.9	-2.9	2.2	-0.4	-1.6	—	—
	幸手市	H18.10	—	-16.1	0.1	-0.1	3.3	-0.5	2.6	-7.3	-19.0	—	—
	日野市	H12.10	—	-18.5	-30.5	0.4	-1.8	-5.5	0.8	-0.8	-2.4	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	3.7	-9.0	3.0	-0.4	-0.3	-18.8	-24.9	-7.3	—	—
	桜井市	H12.10	—	-17.1	-9.4	-4.1	6.2	-1.8	0.0	0.8	-1.2	—	—
全国	—	—	-0.1	-0.2	-2.1	-0.8	-0.9	1.7	-0.8	-2.7	—	—	

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

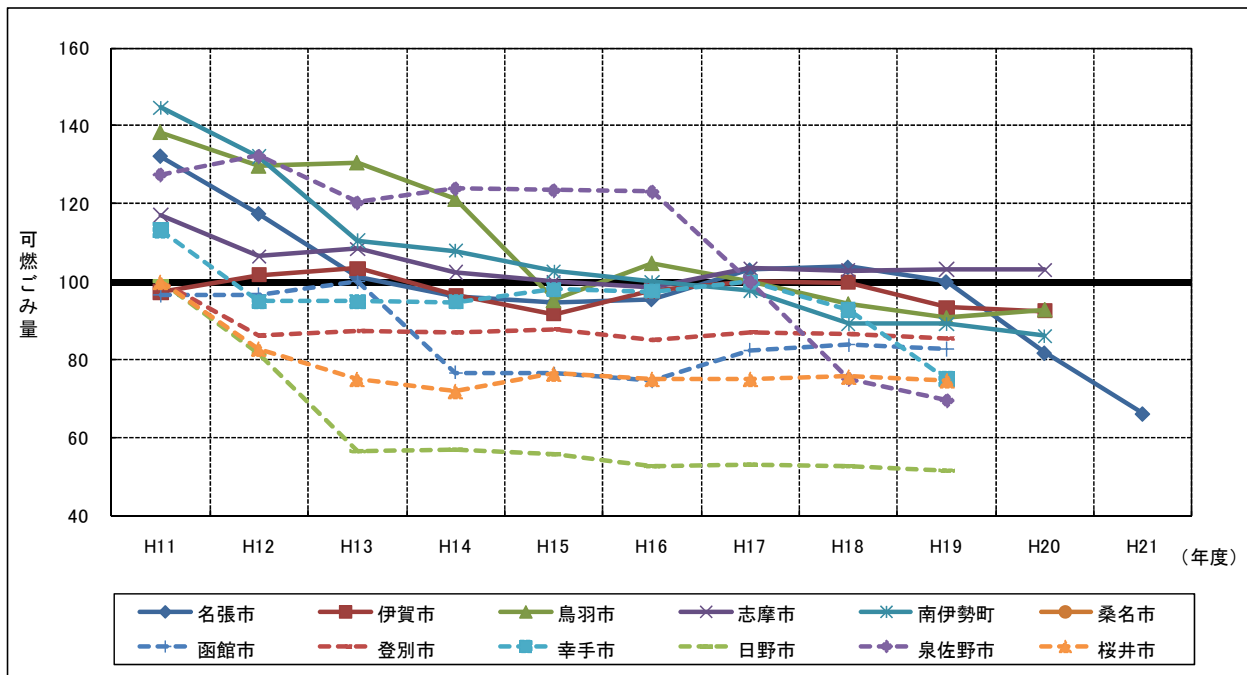
注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

資料: 平成11年度～平成19年度: 一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度: 三重県速報値
平成21年度: 伊賀南部衛生組合(平成21年1月末現在)

表Ⅱ-8(2) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系可燃ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 家庭系収集(可燃)ごみ量の1人1日あたりの増減											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
県内有料化 実施市町	名張市	H20.4	132	117	101	96	95	96	103	104	100	82	66
	伊賀市	H19.1	97	102	103	97	92	98	100	100	93	93	—
	鳥羽市	H18.10	138	130	130	121	95	105	100	94	91	93	—
	志摩市	H16.10	117	107	108	102	100	98	103	103	103	103	—
	南伊勢町	H17.10	145	132	110	108	103	100	98	89	89	86	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県外有料化 実施市町	函館市	H14.4	97	97	100	77	76	75	82	84	83	—	—
	登別市	H12.4	100	86	87	87	88	85	87	87	85	—	—
	幸手市	H18.10	113	95	95	95	98	97	100	93	75	—	—
	日野市	H12.10	100	81	57	57	56	53	53	53	51	—	—
	泉佐野市	H18.4	128	132	120	124	124	123	100	75	70	—	—
	桜井市	H12.10	100	83	75	72	76	75	75	76	75	—	—



図Ⅱ-3 有料化実施市町の家庭系可燃ごみの1人1日あたり排出量推移
(有料化導入前年を100とした場合)

ウ 不燃ごみ

(a) 県内実施市町の状況

家庭系の不燃ごみ排出量の推移を表Ⅱ-9(1)(2)、図Ⅱ-4に示す。

有料化実施前年と実施後の1人1日あたりの排出量を比較すると、名張市が57gと最も減少量が大きく、次いで志摩市が40g減少している。有料化後の推移をみると、不燃ごみでもほとんどの市町で有料化実施後以降も排出量は低くなっている。(表Ⅱ-9(1)

① 参照)

(b) 県内の有料化未実施市町との比較

有料化実施市町の実施時期と未実施市町の同時期の排出量を対比すると、名張市は、平成20年度が72.1%の減少(前年度対比)であり、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。平成19年度の鳥羽市は7.2%の減少で、津市、伊勢市以外の市町に比べて減量率が大きくなっている。志摩市は、平成17年度が21.8%の減少で、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。(表Ⅱ-9(1) ③ 参照)

不燃ごみの有料化を実施していない市町は、伊賀市と南伊勢町があり、伊賀市が平成19年度で72.7%の増加、南伊勢町は平成18年度に18.9%の減少となっている。特に伊賀市については、平成14年より減少傾向にあった中で増加していることから、有料となった可燃ごみが一時的に無料の不燃ごみとして排出されたことと推察できる。また、可燃ごみ同様、一部未実施市町でも実施市町と同時期に大きく減少している時期があるが、それは分別数の増加などが影響しているとみられる。(表Ⅱ-9(1) ③ 参照)

(c) 県外の有料化実施市町との比較

有料化実施前年からの増減をみると、県内市町が4~72%減少、79%の増加しているのに対し、県外市町は14~94%減少している。名張市については、72%の減少で県外市町と同程度もしくはそれ以上に減少している。また、1L・1円前後の実施市町を比較すると、志摩市は40%の減少で、県外市町以上に減少しているが、鳥羽市は7%の減少と県外市町より減量率が小さくなっている。不燃ごみを有料としていない伊賀市と南伊勢町、幸手市において、南伊勢町、幸手市は可燃ごみの有料化実施後に減少しているが、伊賀市で79%増加している。(表Ⅱ-9(2) 参照)

表Ⅱ-9(1) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系不燃ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	① 家庭系収集(不燃)ごみ量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	79	74	71	82	82	78	80	83	79	22	19
	伊賀市	H19.1	12	11	14	13	12	11	10	11	18	17	—
	鳥羽市	H18.10	83	91	98	70	66	60	63	63	59	60	—
	志摩市	H16.10	125	90	93	83	99	75	59	64	61	57	—
	南伊勢町	H17.10	59	54	47	47	46	54	44	46	46	45	—
	桑名市	H9.4	30	31	31	29	31	30	32	35	33	27	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	37	8	42	90	65	32	29	32	29	34	—
	四日市市	未実施	131	141	128	115	121	111	107	109	110	108	—
	伊勢市	未実施	42	38	39	36	33	33	29	25	17	17	—
	尾鷲市	未実施	55	14	29	34	40	29	27	9	9	9	—
	大紀町	未実施	77	50	30	27	19	21	21	21	23	21	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	122	127	162	74	82	83	40	39	42	—	—
	登別市	H12.4	302	17	18	16	15	14	15	16	15	—	—
	幸手市	H18.10	64	46	48	47	47	44	46	46	38	—	—
	日野市	H12.10	186	158	85	88	93	92	94	95	92	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桜井市	H12.10	88	78	76	39	63	53	51	51	48	—	—
全国	—	65	63	58	55	53	52	48	46	41	—	—	

市町名	有料化 実施年月	② H11年度を基準とした 家庭系収集(不燃)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-7.2	-10.2	3.9	3.5	-1.5	0.6	4.8	0.0	-72.1	-75.7
	伊賀市	H19.1	—	-8.1	21.7	8.5	3.8	-10.1	-13.9	-10.7	54.3	41.0	—
	鳥羽市	H18.10	—	9.8	18.0	-16.0	-20.9	-28.1	-24.4	-23.8	-29.3	-28.0	—
	志摩市	H16.10	—	-27.8	-25.4	-33.6	-20.9	-39.7	-52.9	-48.5	-50.8	-54.5	—
	南伊勢町	H17.10	—	-9.0	-20.6	-21.0	-22.8	-22.5	-7.8	-25.3	-21.7	-23.9	—
	桑名市	H9.4	—	1.4	0.2	-3.3	0.4	-2.1	4.3	14.5	8.5	-11.2	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	-78.8	12.1	141.5	74.8	-13.7	-21.9	-13.9	-23.3	-10.0	—
	四日市市	未実施	—	7.4	-2.6	-12.4	-7.9	-15.4	-18.3	-17.3	-16.0	-17.9	—
	伊勢市	未実施	—	-9.5	-8.6	-15.1	-21.5	-21.4	-31.5	-40.6	-60.6	-60.8	—
	尾鷲市	未実施	—	-75.2	-46.5	-37.9	-26.7	-46.5	-50.4	-83.7	-83.2	-83.6	—
	大紀町	未実施	—	-35.3	-61.6	-64.7	-75.6	-72.3	-72.6	-72.5	-70.6	-72.1	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	4.8	33.2	-39.6	-32.7	-31.6	-66.7	-67.5	-65.6	—	—
	登別市	H12.4	—	-94.3	-94.1	-94.9	-95.1	-95.5	-95.1	-94.7	-94.9	—	—
	幸手市	H18.10	—	-27.3	-24.9	-26.7	-25.7	-31.2	-27.6	-28.4	-41.1	—	—
	日野市	H12.10	—	-15.1	-54.6	-52.5	-50.2	-50.4	-49.7	-48.8	-50.4	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桜井市	H12.10	—	-10.9	-13.8	-55.3	-27.8	-39.4	-41.7	-41.7	-44.8	—	—
全国	—	—	-4.2	-10.6	-15.6	-18.6	-20.6	-26.4	-29.8	-37.5	—	—	

市町名	有料化 実施年月	③ 前年度対比の 家庭系収集(不燃)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	-7.2	-3.2	15.7	-0.4	-4.8	2.1	4.2	-4.7	-72.1	-12.6
	伊賀市	H19.1	—	-8.1	32.4	-10.8	-4.4	-13.4	-4.2	3.7	72.7	-8.6	—
	鳥羽市	H18.10	—	9.8	7.5	-28.9	-5.9	-9.1	5.3	0.8	-7.2	1.9	—
	志摩市	H16.10	—	-27.8	3.3	-11.0	19.1	-23.8	-21.8	9.2	-4.5	-7.5	—
	南伊勢町	H17.10	—	-9.0	-12.8	-0.5	-2.2	0.4	19.0	-18.9	4.8	-2.8	—
	桑名市	H9.4	—	1.4	-1.2	-3.6	3.9	-2.5	6.6	9.8	-5.3	-18.1	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	-78.8	427.4	115.5	-27.6	-50.6	-9.5	10.2	-10.9	17.3	—
	四日市市	未実施	—	7.4	-9.3	-10.1	5.1	-8.2	-3.5	1.3	1.5	-2.3	—
	伊勢市	未実施	—	-9.5	1.0	-7.0	-7.6	0.1	-12.8	-13.3	-33.7	-0.4	—
	尾鷲市	未実施	—	-75.2	115.3	16.0	18.1	-27.0	-7.3	-67.1	2.9	-2.1	—
	大紀町	未実施	—	-35.3	-40.6	-8.0	-30.9	13.4	-1.1	0.6	6.8	-5.0	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	4.8	27.1	-54.6	11.3	1.6	-51.3	-2.4	5.9	—	—
	登別市	H12.4	—	-94.3	3.5	-12.5	-3.9	-8.6	9.0	8.2	-5.2	—	—
	幸手市	H18.10	—	-27.3	3.3	-2.3	1.4	-7.5	5.2	-1.1	-17.7	—	—
	日野市	H12.10	—	-15.1	-46.5	4.6	4.9	-0.5	1.4	1.8	-3.1	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桜井市	H12.10	—	-10.9	-3.2	-48.1	61.3	-16.0	-3.8	-0.1	-5.3	—	—
全国	—	—	-4.2	-6.7	-5.6	-3.5	-2.5	-7.3	-4.6	-11.0	—	—	

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

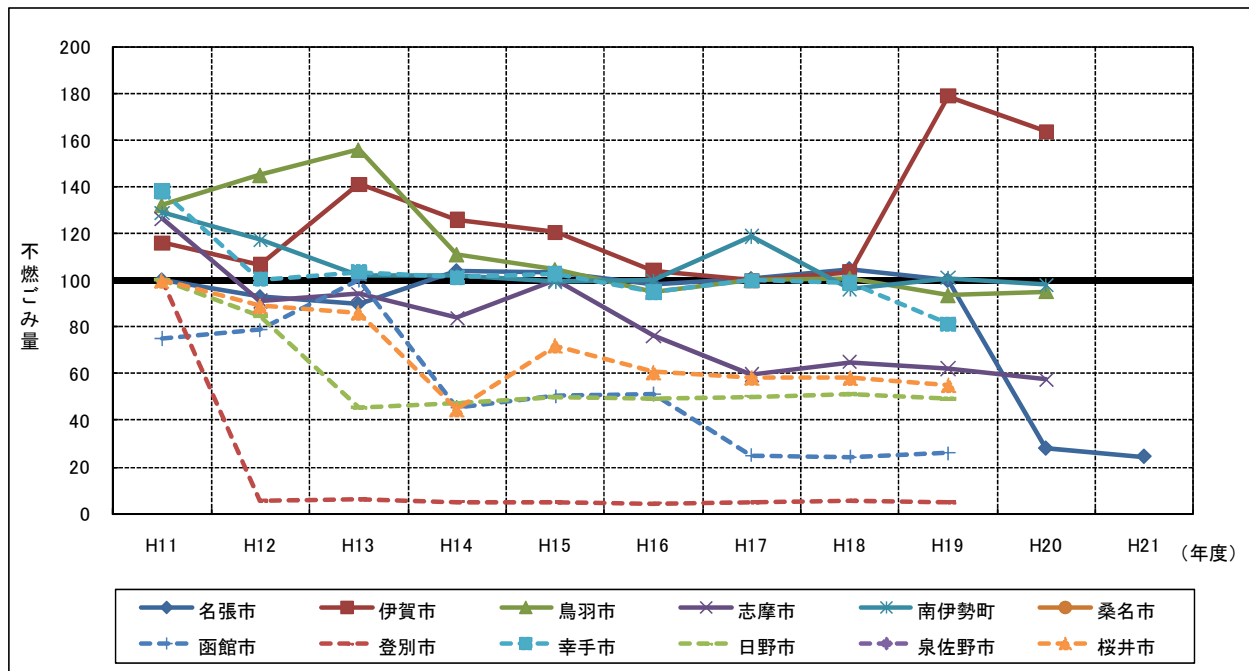
注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

資料: 平成11年度～平成19年度: 一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度: 三重県速報値
平成21年度: 伊賀南部衛生組合(平成21年1月末現在)

表Ⅱ-9(2) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系不燃ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名		有料化 実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 家庭系収集(不燃)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減										
			H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
実施市町	名張市	H20.4	100	93	90	104	104	99	101	105	100	28	24
	伊賀市	H19.1	116	107	141	126	121	104	100	104	179	164	—
	鳥羽市	H18.10	132	145	156	111	105	95	100	101	93	95	—
	志摩市	H16.10	126	91	94	84	100	76	60	65	62	58	—
	南伊勢町	H17.10	129	117	102	102	100	100	119	96	101	98	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施外市町	函館市	H14.4	75	79	100	45	51	51	25	24	26	—	—
	登別市	H12.4	100	6	6	5	5	5	5	5	5	—	—
	幸手市	H18.10	138	100	104	101	103	95	100	99	81	—	—
	日野市	H12.10	100	85	45	48	50	50	50	51	50	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桜井市	H12.10	100	89	86	45	72	61	58	58	55	—	—



図Ⅱ-4 有料化実施市町の家庭系不燃ごみの1人1日あたり排出量推移
(有料化導入前年を100とした場合)

エ 資源ごみ（行政回収）

（a）県内実施市町の状況

家庭系の資源ごみ排出量の推移を表Ⅱ-10(1)(2)、図Ⅱ-5に示す。

資源ごみの有料化を可燃・不燃と同時に行っているのは志摩市のみで、有料化実施前年と実施後の1人1日あたりの排出量を比較すると、3g減少している。有料化実施後の推移は、ほぼ横ばい状況である。資源ごみの有料化はしていないが志摩市以外の有料化実施市町の有料化実施前と実施後を比較すると、可燃・不燃有料化の名張市が40gと最も多く増加し、次いで南伊勢町が5g増加しており、可燃ごみのみ有料化の伊賀市については40g減少している。有料化後の推移をみると、資源ごみでもほとんどの市町で有料化実施後より排出量が低くなっている。（表Ⅱ-10(1) ① 参照）

（b）県内の有料化未実施市町との比較

有料化実施市町の実施時期と未実施市町の同時期の排出量を対比すると、名張市は、平成20年度にその他のすべての有料化実施市町、未実施市町が前年に対して減少している中、70.2%増加している。志摩市は、平成17年度に9.6%の減少で、すべての未実施市町に比べて減量率が大きくなっている。南伊勢町は、平成18年度に3.4%の増加で、ほとんどの市町に比べて増加している。（表Ⅱ-10(1) ③ 参照）

伊賀市は17.7%の減少、鳥羽市は15.6%の減少と、平成19年度にほとんどの未実施市町に比べて減量率が大きく、有料化実施以降も減少しているが、伊賀市では平成19、20年度、鳥羽市は平成19年度に集団回収量が増加しているため、資源は行政回収の資源ごみに排出されるより集団回収に資源が多く排出されているとみられる。（資料編P136、137 参照⁸）

（c）県外の有料化実施市町との比較

有料化実施前年からの増減をみると、県内市町が3~70%増加、2~23%減少しているのに対し、県外市町は0~380%増加している。名張市については、70%の増加で県外市町と同程度増加している。また、1L・1円前後の実施市町を比較すると、南伊勢町で3%と最も大きく増加しているが、可燃ごみまたは不燃ごみの料金単価が同程度の県外市町と比較すると、幸手市は41%の増加、桜井市は166%の増加となっており、県外市町の方が増加していることが確認できる。（表Ⅱ-10(2) 参照）

8 調査対象の市町の中で、名張市と南伊勢町が集団回収の助成を行っておらず、収集される資源ごみの把握ができないため、集団回収を行っている有料化実施市町と比較できない。そのため本調査では、資源ごみ1人1日あたり排出量の大小の比較は詳細には行わず、排出量の推移について検討するものとする。参考として集団回収量の推移は資料編におくこととした。

表Ⅱ-10(1) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系資源ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	① 家庭系収集(資源)ごみ量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	21	68	101	96	79	65	59	57	57	97	74
	伊賀市	H19.1	112	141	138	229	209	187	177	166	137	107	—
	鳥羽市	H18.10	56	56	57	14	99	91	102	117	98	91	—
	志摩市	H16.10	64	80	91	117	132	143	129	128	131	120	—
	南伊勢町	H17.10	63	106	133	130	136	149	148	154	147	143	—
桑名市	H9.4	105	118	133	160	173	213	218	224	221	201	—	
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	106	177	184	154	165	211	209	251	203	179	—
	四日市市	未実施	171	189	192	186	185	182	181	175	161	143	—
	伊勢市	未実施	67	85	111	125	155	151	154	157	155	142	—
	尾鷲市	未実施	34	167	208	214	247	212	210	204	185	162	—
	大紀町	未実施	0	22	34	39	55	43	41	41	39	38	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	44	45	46	82	83	83	87	85	82	—	—
	登別市	H12.4	11	55	53	52	51	50	51	54	53	—	—
	幸手市	H18.10	39	146	152	145	145	149	151	206	214	—	—
	日野市	H12.10	64	139	210	212	211	204	204	201	189	—	—
	泉佐野市	H18.4	63	65	75	80	62	59	49	50	40	—	—
	桜井市	H12.10	41	106	108	88	94	123	123	134	126	—	—
全国	—	65	78	87	90	92	95	102	104	102	—	—	

市町名	有料化 実施年月	② H11年度を基準とした 家庭系収集(資源)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	226.1	386.5	363.9	280.1	212.7	186.5	174.2	175.4	368.8	255.8
	伊賀市	H19.1	—	25.6	23.2	104.0	86.9	66.5	58.3	48.1	22.0	-4.1	—
	鳥羽市	H18.10	—	-1.3	1.9	-74.7	76.7	62.5	80.8	107.0	74.8	62.5	—
	志摩市	H16.10	—	26.1	42.7	84.7	107.1	125.5	103.7	101.9	106.0	88.9	—
	南伊勢町	H17.10	—	68.5	111.3	106.6	115.6	136.2	135.1	143.2	133.2	126.5	—
桑名市	H9.4	—	12.3	26.4	52.1	65.2	103.4	107.8	113.9	110.4	91.7	—	
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	67.2	73.4	45.1	55.6	98.9	96.7	136.3	91.6	68.6	—
	四日市市	未実施	—	10.5	11.7	8.2	8.0	6.2	5.3	2.3	-5.9	-16.7	—
	伊勢市	未実施	—	28.1	66.4	88.4	132.8	126.0	131.4	135.0	132.3	113.7	—
	尾鷲市	未実施	—	399.6	521.8	538.1	636.0	532.9	525.6	510.1	450.9	384.3	—
	大紀町	未実施	—	2,175.5	3,396.0	3,907.5	5,460.5	4,311.3	4,139.6	4,084.1	3,947.6	3,814.9	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	2.4	3.2	85.4	86.4	87.4	96.4	92.1	84.7	—	—
	登別市	H12.4	—	380.1	362.0	353.7	352.2	336.2	349.8	374.2	367.2	—	—
	幸手市	H18.10	—	269	285	267	267	278	284	422	441	—	—
	日野市	H12.10	—	117.1	228.4	232.2	229.9	218.4	218.8	214.5	195.2	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	2.9	18.4	25.9	-2.2	-6.8	-21.7	-21.5	-36.0	—	—
	桜井市	H12.10	—	161.7	166.0	116.0	130.8	202.9	203.1	229.0	210.5	—	—
全国	—	—	19.1	32.1	38.2	40.1	45.2	55.6	58.6	55.7	—	—	

市町名	有料化 実施年月	③ 前年度対比の 家庭系収集(資源)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	226.1	49.2	-4.7	-18.1	-17.7	-8.4	-4.3	0.4	70.2	-24.1
	伊賀市	H19.1	—	25.6	-2.0	65.6	-8.4	-10.9	-4.9	-6.4	-17.7	-21.3	—
	鳥羽市	H18.10	—	-1.3	3.2	-75.2	598.5	-8.1	11.3	14.5	-15.6	-7.0	—
	志摩市	H16.10	—	26.1	13.2	29.5	12.1	8.9	-9.6	-0.9	2.0	-8.3	—
	南伊勢町	H17.10	—	68.5	25.4	-2.2	4.4	9.6	-0.5	3.4	-4.1	-2.9	—
桑名市	H9.4	—	12.3	12.5	20.4	8.6	23.2	2.2	2.9	-1.6	-8.9	—	
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	67.2	3.7	-16.3	7.2	27.8	-1.1	20.1	-18.9	-12.0	—
	四日市市	未実施	—	10.5	1.1	-3.1	-0.2	-1.7	-0.9	-2.8	-8.1	-11.4	—
	伊勢市	未実施	—	28.1	29.9	13.2	23.6	-2.9	2.4	1.5	-1.1	-8.0	—
	尾鷲市	未実施	—	399.6	24.5	2.6	15.3	-14.0	-1.2	-2.5	-9.7	-12.1	—
	大紀町	未実施	—	2,175.5	56.1	15.1	39.7	-21.0	-4.0	-1.3	-3.3	-3.4	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	2.4	0.8	79.5	0.6	0.5	4.8	-2.2	-3.8	—	—
	登別市	H12.4	—	380.1	-3.8	-1.8	-0.3	-3.5	3.1	5.4	-1.5	—	—
	幸手市	H18.10	—	269.0	4.2	-4.6	0.1	2.9	1.6	36.0	3.7	—	—
	日野市	H12.10	—	117.1	51.3	1.1	-0.7	-3.5	0.1	-1.4	-6.1	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	2.9	15.1	6.4	-22.4	-4.6	-16.0	0.3	-18.5	—	—
	桜井市	H12.10	—	161.7	1.6	-18.8	6.8	31.2	0.1	8.5	-5.6	—	—
全国	—	—	19.1	10.9	4.6	1.4	3.7	7.2	1.9	-1.9	—	—	

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

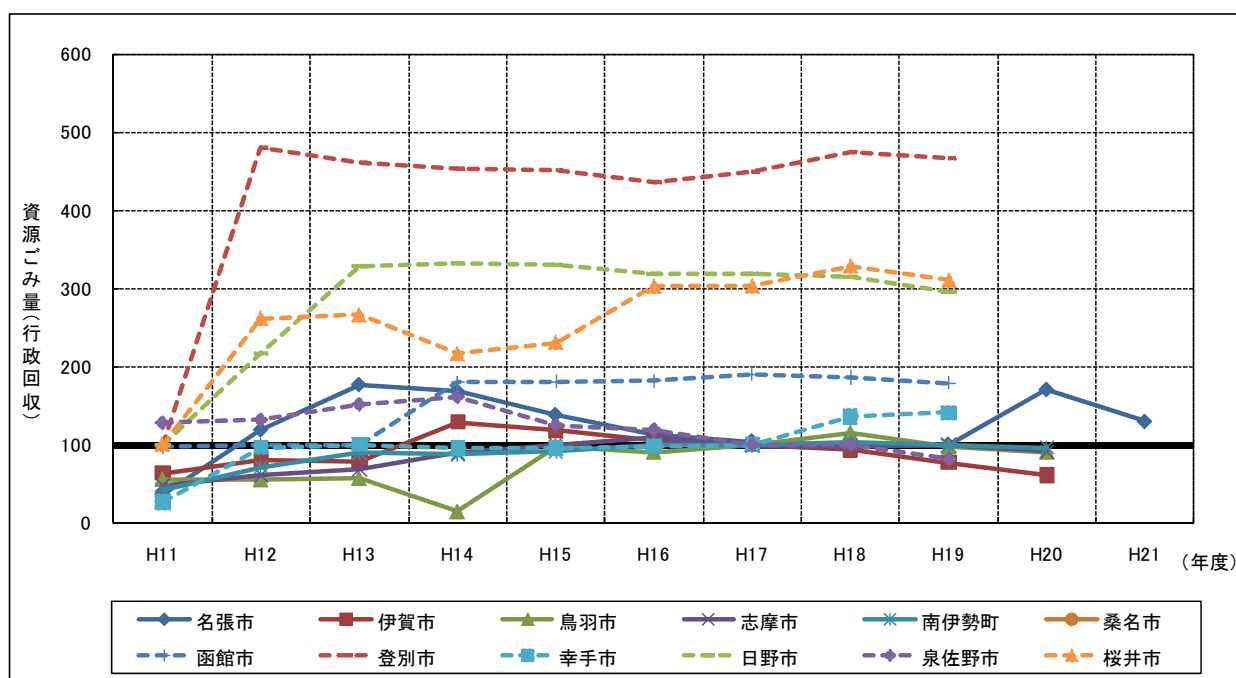
注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

資料：平成11年度～平成19年度：一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度：三重県速報値

平成21年度：伊賀南部衛生組合(平成21年1月末現在)

表Ⅱ-10(2) 有料化実施市町、未実施市町の家庭系資源ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	有料化 実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 家庭系収集(資源)ごみ量の1人1日あたり排出量の増減											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	36	118	177	168	138	114	104	100	100	170	129
	伊賀市	H19.1	63	79	78	129	118	105	100	94	77	61	—
	鳥羽市	H18.10	55	55	56	14	98	90	100	114	97	90	—
	志摩市	H16.10	48	61	69	89	100	109	98	97	99	91	—
	南伊勢町	H17.10	42	71	89	87	91	100	100	103	99	96	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	97	99	100	180	181	181	190	186	179	—	—
	登別市	H12.4	100	480	462	454	452	436	450	474	467	—	—
	幸手市	H18.10	26	96	100	96	96	98	100	136	141	—	—
	日野市	H12.10	100	217	328	332	330	318	319	314	295	—	—
	泉佐野市	H18.4	128	131	151	161	125	119	100	100	82	—	—
	桜井市	H12.10	100	262	266	216	231	303	303	329	310	—	—



図Ⅱ-5 有料化実施市町の家庭系資源ごみの1人1日あたり排出量推移
(有料化導入前年を100とした場合)

オ 各市町別の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの推移

(a) 県内の有料化実施市町、未実施市町

有料化実施時の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの各市町別の推移を図Ⅱ-6(1)(2)(3)に示す。

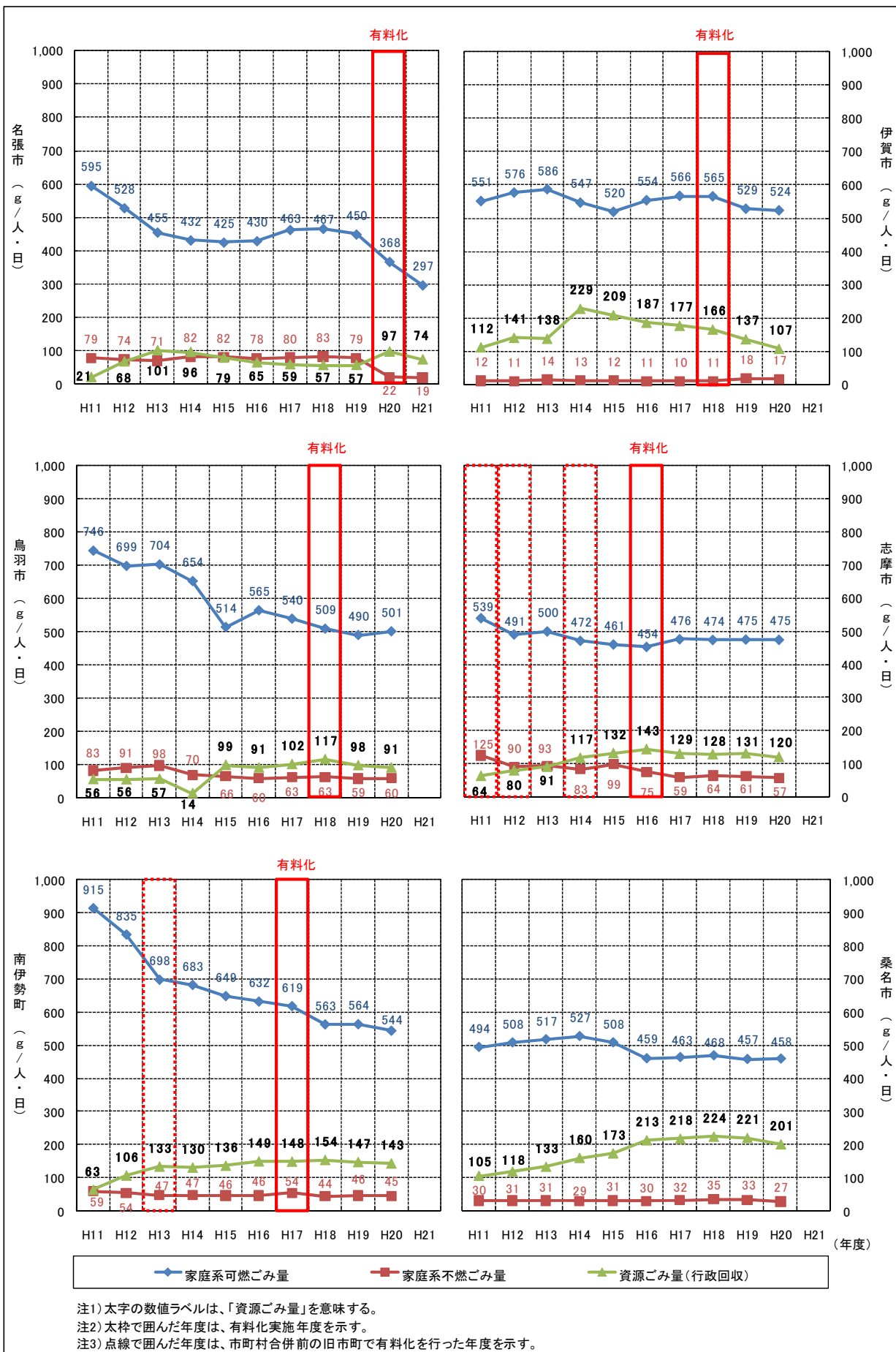
有料化実施市町について、可燃ごみ、不燃ごみが有料、資源ごみが無料の体系をとっている名張市、鳥羽市、志摩市は、ほぼ可燃ごみ、不燃ごみが減少し、資源ごみが増加している。また、伊賀市では、特に有料化実施1年後に有料の可燃ごみが減少、無料の不燃ごみが増加しており、これは、有料・無料という料金体系が影響しているとみられる。

未実施市町については、前述したように各市町で分別数を増加や、指定袋制度の導入などのごみ処理体制の施策を変更したことで排出量が大きく変化している。例えば、伊勢市の平成15年度の可燃ごみが大きく減少した要因は指定ごみ袋制度を導入したことが影響していると推察できる。(P76 表Ⅱ-5 参照)

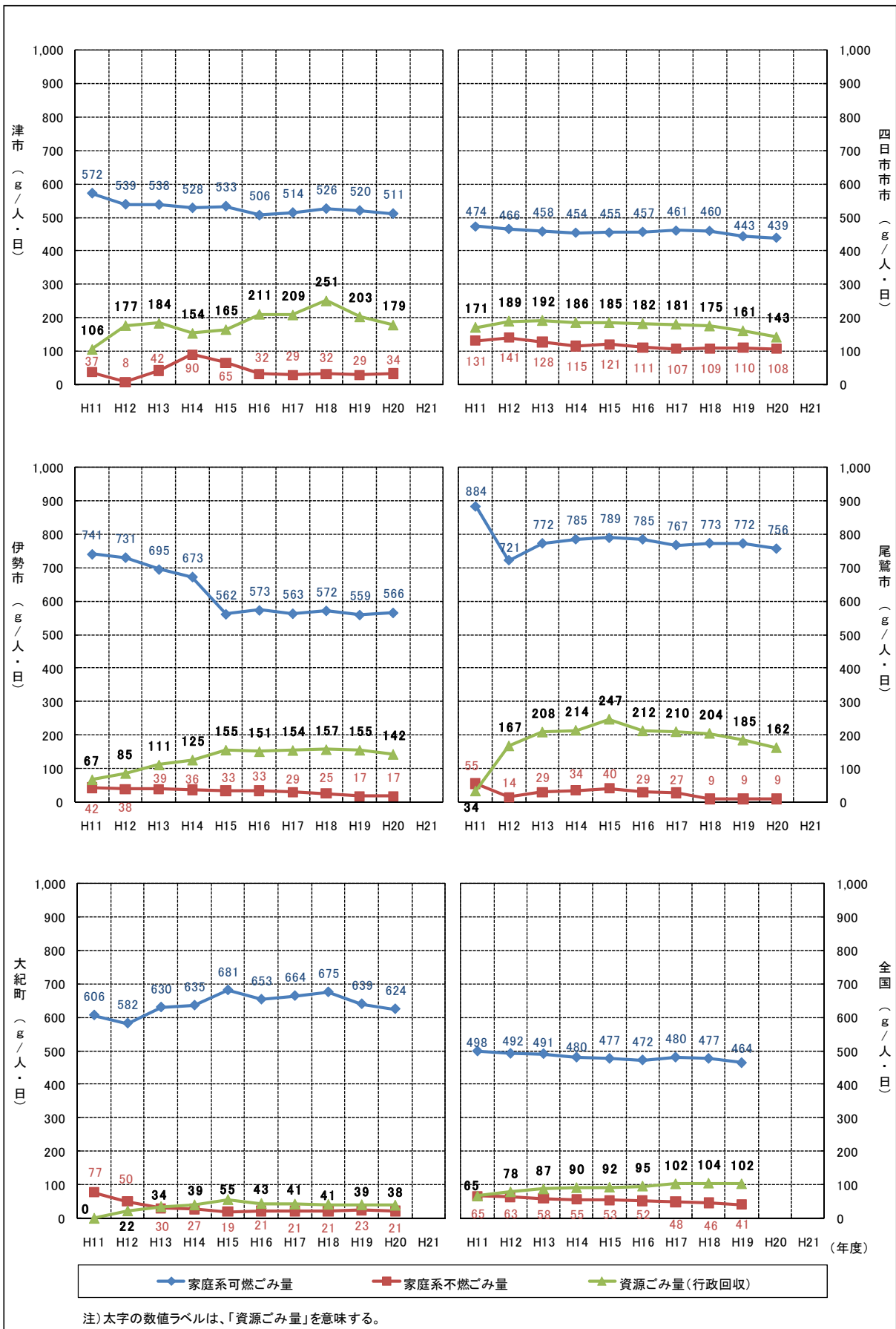
未実施市町の施策変更以外の年度をみると、大きく増減している時期はなく、ここでも経済影響による排出量の大きな減少はないとみられる。

(b) 県外の有料化実施市町との比較

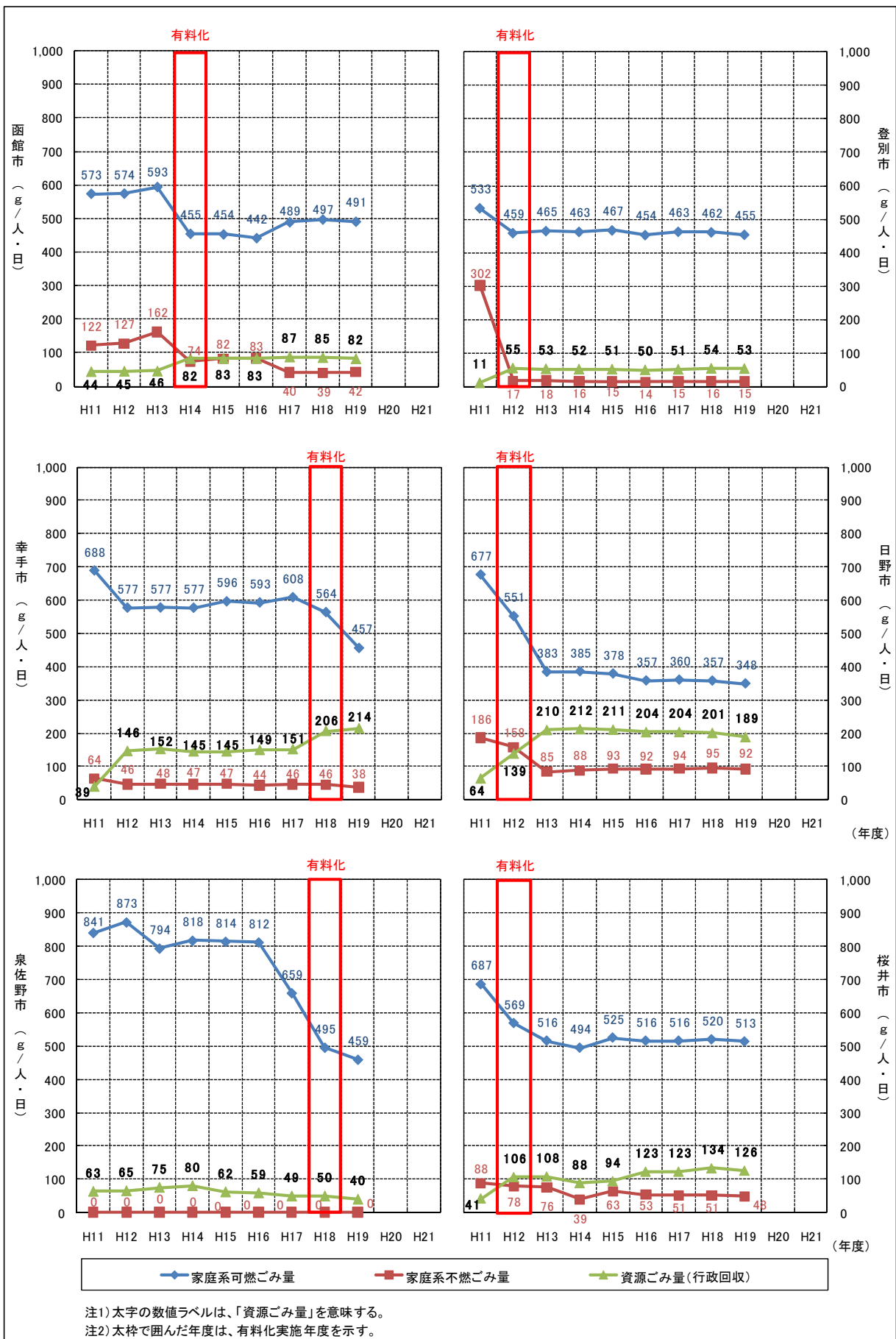
有料化実施時の県外実施市町の排出量についてみると、函館市、登別市、幸手市、日野市、桜井市では、有料化実施時期に県内実施市町と同様に可燃ごみ、不燃ごみが減少し、資源ごみが増加する傾向にある。泉佐野市については、可燃ごみが大きく減少したが、資源ごみが増加傾向にないため、ごみ種間の排出量の増減ではなく、ごみ全体量が減少したことが推察される。



図Ⅱ-6(1) 県内有料化実施市町別家庭系ごみの1人1日あたり排出量推移



図Ⅱ-6(2) 県内有料化未実施市町別家庭系ごみの1人1日あたり排出量推移



図Ⅱ-6(3) 県外有料化実施市町別の家庭系ごみの1人1日あたり排出量推移

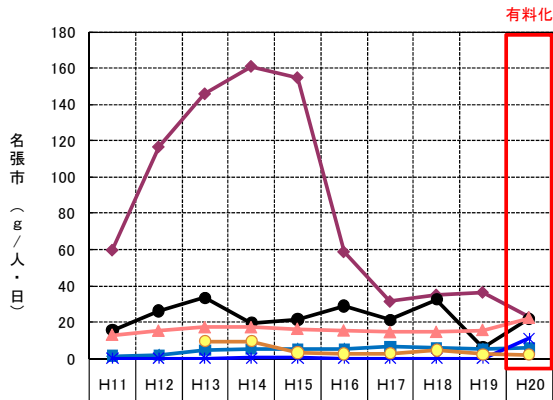
③ 資源回収量の内訳

県内の有料化実施市町の資源回収量⁹の内訳を図Ⅱ-7に示す。(資源回収量の推移を示した表は、資料編 P138、139 参照)

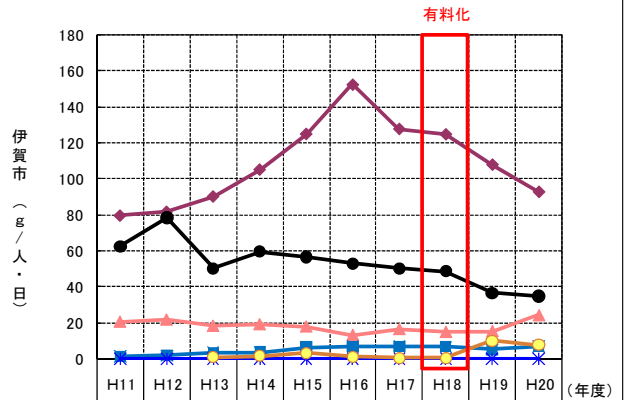
伊賀市は、有料化実施後、割合の多い紙と金属類は減少しているが、布類が増加している。鳥羽市については、有料化実施後、紙類が増加している。ガラス類は有料化実施年度に増加している。志摩市は、有料料金を統一した平成16年度と比べて旧市町の有料化実施後の平成13年度、平成15年度に紙類が増加している。南伊勢町については、有料化実施後に紙類、ガラス類が増加している。名張市の紙類が急激に減少しているが、これは集団回収量の助成が平成15年度に廃止され、民間回収の量が把握できないため、集団回収量の割合の高い紙類が特に影響したものである。よって、名張市の紙類の平成15年度以降の推移は市全体の総回収量ではないため、紙類以外の推移を見てみると、その他の金属類、ガラス類、プラスチック類は、有料化実施時に増加している。

ほとんど市町で紙類の割合が全体の資源回収量の割合を多く占めており、そのため紙類の増減がほぼ資源回収量の推移の増減と一致している。

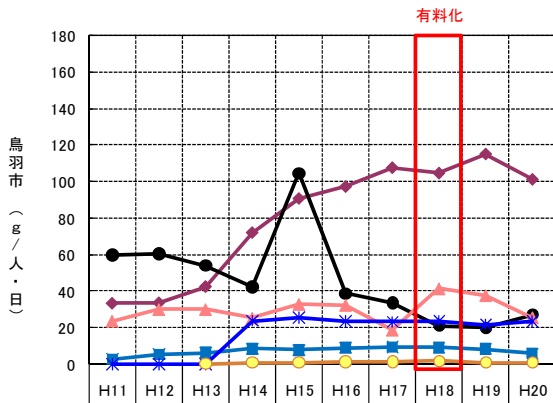
⁹ 資源回収量とは、家庭系収集ごみの「資源ごみ」と「集団回収量」を合わせたものとした。また、本項での資源回収量の内訳は、一般廃棄物実態調査（環境省）の資源化の内訳を使用している。資源化の内訳は、本来中間処理後に資源化された廃棄物等も入るので収集された資源ごみの量と一致しないが、今回は参考として使用した。



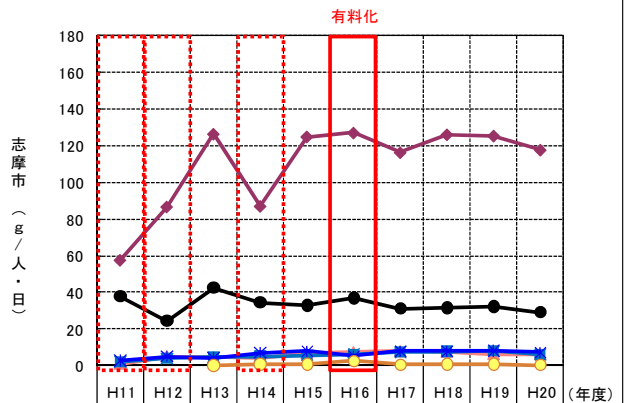
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	59.8	116.6	145.8	160.9	154.7	58.9	31.6	35.2	36.6	22.8
金属類	15.7	26.2	33.4	19.7	21.4	28.9	21.3	32.5	6.2	21.9
ガラス類	13.0	15.3	17.2	17.2	16.3	15.4	14.5	14.6	15.7	22.5
ペットボトル	1.5	2.1	4.8	5.4	5.3	5.2	6.3	5.8	5.3	5.7
プラスチック類	0	0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	11.1
布類	-	-	9.5	9.6	3.2	2.5	2.7	4.6	2.4	2.2



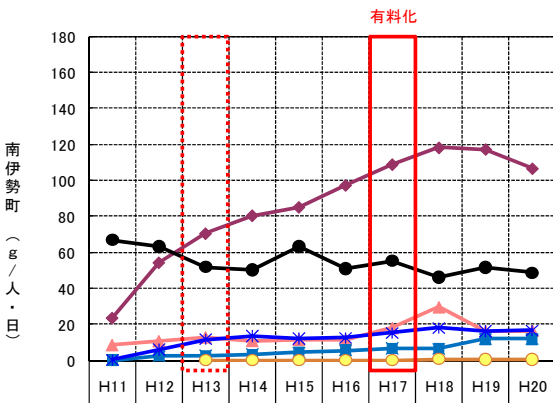
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	79.5	81.6	90.2	105.2	125.1	152.6	127.9	124.9	108.0	92.8
金属類	62.5	78.5	50.2	59.5	56.6	53.0	50.3	48.7	36.6	34.8
ガラス類	20.7	21.9	18.3	19.2	17.9	13.1	16.4	14.8	15.3	24.4
ペットボトル	1.4	1.9	3.5	3.7	6.4	6.8	6.9	6.6	5.1	6.7
プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
布類	-	-	0.9	1.5	3.1	1.2	0.5	0.5	9.9	7.7



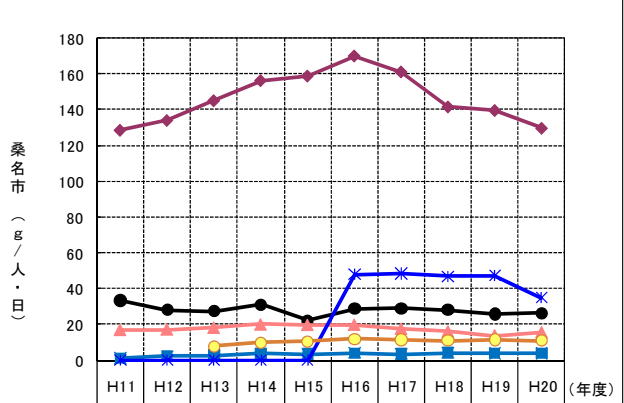
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	33.3	33.6	42.5	72.1	90.8	97.3	107.7	104.7	115.2	101.3
金属類	59.8	60.5	53.9	42.4	104.7	38.7	33.5	21.1	20.0	27.1
ガラス類	23.6	30.0	30.0	25.2	32.8	32.3	18.6	41.4	37.7	25.5
ペットボトル	2.8	5.5	6.3	8.4	7.8	9.0	9.3	9.1	8.3	5.9
プラスチック類	0	0	0	23.7	25.5	23.4	23.3	23.7	21.6	23.6
布類	-	-	0.3	0.8	0.9	1.4	1.4	1.8	0.9	0.9



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	57.6	86.7	126.4	87.0	124.9	127.0	116.3	126.1	125.4	117.7
金属類	37.8	24.5	42.5	34.6	32.9	37.0	31.2	31.7	32.2	29.1
ガラス類	1.0	5.1	4.6	4.4	7.1	7.5	8.0	7.8	6.5	6.5
ペットボトル	2.2	4.0	4.6	5.2	5.7	6.2	7.5	7.8	8.1	6.3
プラスチック類	2.9	5.1	4.3	7.0	8.0	5.3	8.0	8.1	8.3	7.4
布類	-	-	0.2	0.8	0.9	2.6	0.6	0.8	0.8	0.4



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	23.4	54.2	70.4	80.4	85.1	97.3	108.9	118.2	117.3	106.6
金属類	66.8	63.1	51.8	50.3	63.2	51.0	55.2	46.2	51.5	48.7
ガラス類	8.3	10.5	12.7	10.7	11.3	11.3	17.9	29.6	16.0	16.4
ペットボトル	0	2.3	2.4	3.1	4.4	5.5	6.6	6.4	11.8	11.8
プラスチック類	0.3	5.9	11.6	13.5	12.1	12.4	15.3	18.0	16.1	16.5
布類	-	-	0	0	0	0	0	0.7	0.5	0.5



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
紙類	128.7	134.1	145.0	156.1	158.6	169.7	160.9	141.6	139.6	129.8
金属類	33.4	28.1	27.4	31.0	22.1	28.7	29.0	28.0	25.8	26.3
ガラス類	16.9	17.2	18.2	20.0	19.8	19.9	17.6	16.0	13.8	15.6
ペットボトル	1.2	2.3	2.8	3.6	3.5	4.0	3.5	4.1	3.9	3.9
プラスチック類	0	0	0	0	0	47.9	48.5	46.9	47.3	34.9
布類	-	-	7.8	9.9	10.5	11.8	11.4	10.9	11.3	10.9

注1) 太枠で囲んだ年度は、有料化実施年度を示す。
 注2) 点線で囲んだ年度は、市町村合併前の旧市町で有料化を行った年度を示す。

図Ⅱ-7 県内有料化実施市町の資源化量の内訳（1人1日あたり排出量推移）

④ 家庭系ごみの組成変化

資源物の混合率についてみると、今回の組成分析調査と平成16年度実施の組成分析調査結果を表Ⅱ-11、図Ⅱ-8に示す。

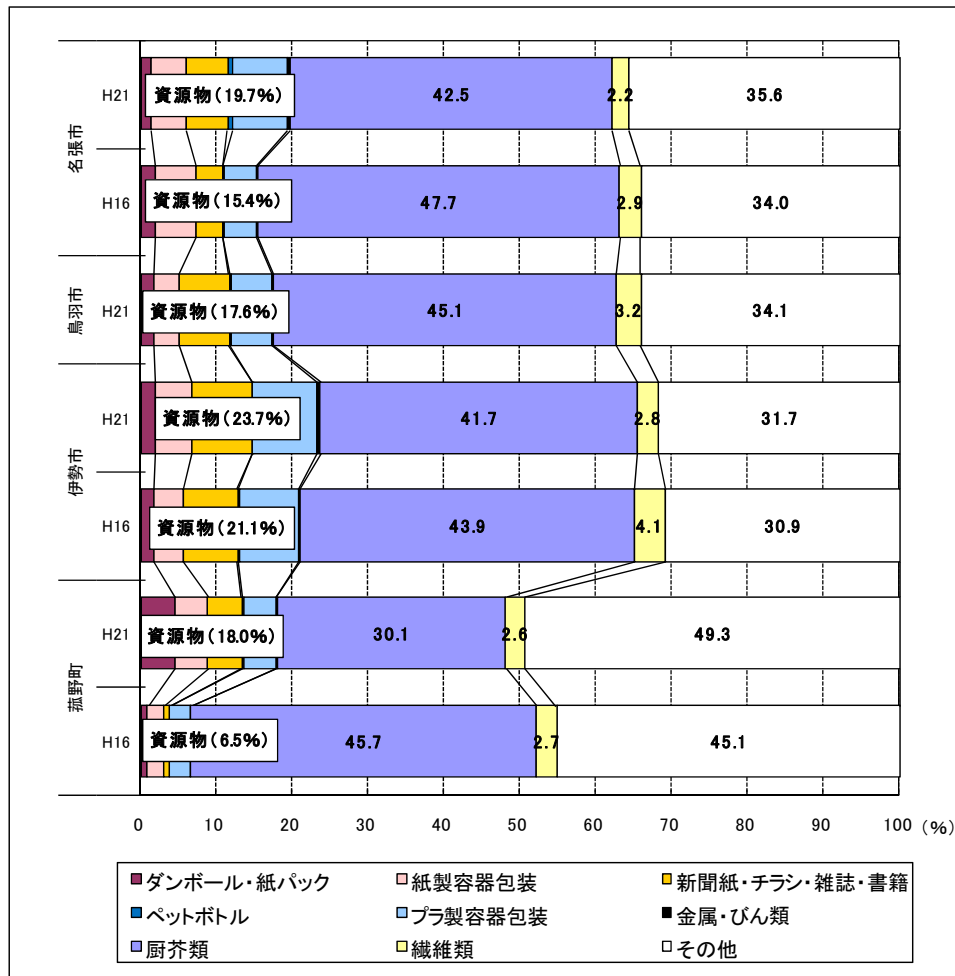
名張市では、有料化実施前の前回組成調査と比較すると、今回の結果は、資源物の混合率が19.7%と前回より4.3%増加しているため、有料化実施による可燃ごみに含まれる資源物の混合率の低下は確認されなかった。有料化実施市町と未実施市町とを比較すると、鳥羽市はほかの3市町よりも混合率が低い割合となっている。

表Ⅱ-11 家庭系ごみの組成分析調査結果（重量比）

分類項目	実施市町						未実施市町					
	名張市			鳥羽市			伊勢市			菟野町		
	H21	H16	増減	H21	H21	H16	増減	H21	H16	増減		
資源物	19.7	15.4	4.3	17.6	23.7	21.1	2.6	18.0	6.5	11.5		
ダンボール・紙パック	1.4	1.9	-0.5	1.8	1.9	1.7	0.2	4.5	0.9	3.6		
紙製容器包装	4.6	5.4	-0.8	3.3	4.9	4.0	0.9	4.3	2.1	2.2		
新聞紙・チラシ・雑誌・書籍	5.6	3.6	2.0	6.7	7.9	7.1	0.8	4.5	0.8	3.7		
ペットボトル	0.6	0.1	0.5	0.2	0.1	0.2	-0.1	0.2	0.0	0.2		
プラ製容器包装	7.2	4.3	2.9	5.4	8.4	7.9	0.5	4.2	2.7	1.5		
金属・びん類	0.4	0.1	0.3	0.3	0.5	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1		
厨芥類	42.5	47.7	-5.2	45.1	41.7	43.9	-2.2	30.1	45.7	-15.6		
繊維類	2.2	2.9	-0.7	3.2	2.8	4.1	-1.3	2.6	2.7	-0.1		
その他	35.6	34.0	1.6	34.1	31.7	30.9	0.8	49.3	45.1	4.2		
計	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0			

注1)「0.0」は、小数第2位以下に数値があるものを表す。

注2) 汚れた紙製容器包装はその他に含まれる。



図Ⅱ-8 家庭系ごみの組成分析調査結果（重量比）

単身世帯地域の今回の組成分析調査と前回調査結果を表Ⅱ-12、図Ⅱ-9に示す。

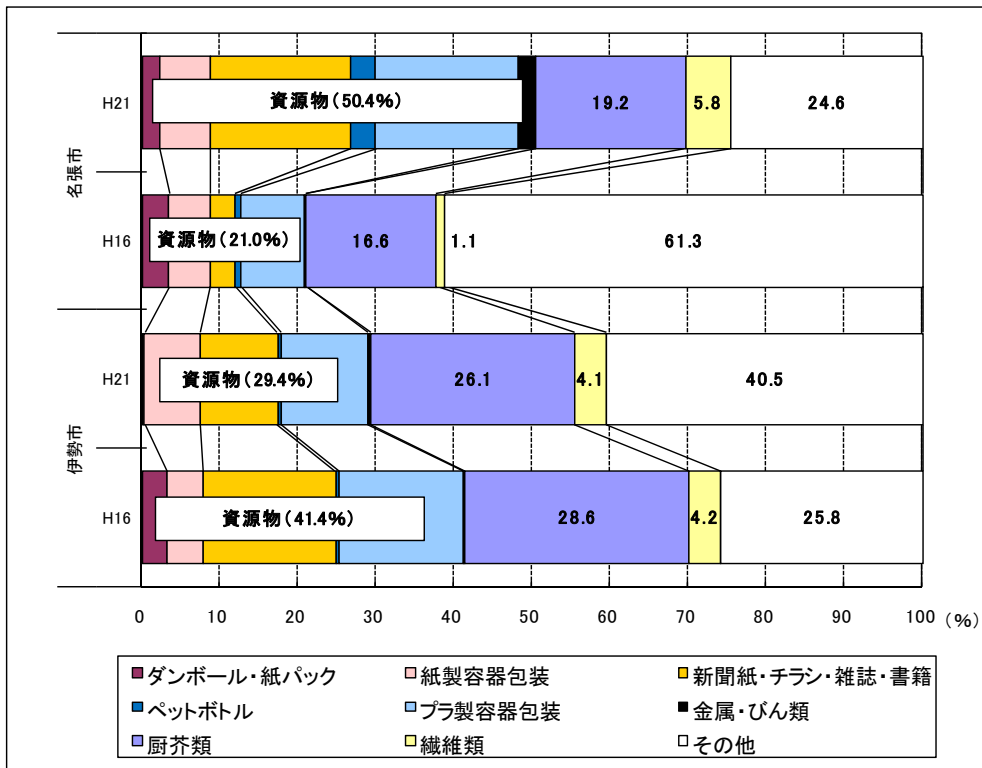
有料化実施市町と未実施市町とを比較してみると、名張市の今回調査の資源物混合率が50.4%、前回調査時が21.0%と3割増加している。また、未実施市町と比較すると、名張市が50.4%に対し、伊勢市は29.4%と有料化実施の名張市の方が多くなっている。このことから「その他」の分類の占める割合が大きく、試料の代表性について留意する必要があるが、市全体の比較と同様に今回の組成調査結果からは有料化に伴う分別精度の向上はうかがえない。

表Ⅱ-12 家庭系ごみの組成分析調査結果・単身世帯地域（重量比）

分類項目	実施市町			未実施市町		
	名張市			伊勢市		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減
資源物	50.4	21.0	29.4	29.4	41.4	-12.0
ダンボール・紙パック	2.3	3.5	-1.2	0.4	3.3	-2.9
紙製容器包装	6.5	5.3	1.2	7.1	4.6	2.5
新聞紙・チラシ・雑誌・書籍	18.0	3.2	14.8	10.1	17.0	-6.9
ペットボトル	3.2	0.7	2.5	0.4	0.4	0.0
プラ製容器包装	18.2	8.2	10.0	11.1	15.9	-4.8
金属・びん類	2.2	0.1	2.1	0.4	0.2	0.2
厨芥類	19.2	16.6	2.6	26.1	28.6	-2.5
繊維類	5.8	1.1	4.7	4.1	4.2	-0.1
その他	24.6	61.3	-36.7	40.5	25.8	14.7
計	100.0	100.0		100.0	100.0	

注1)「0.0」は、小数第2位以下に数値があるものを表す。

注2) 汚れた紙製容器包装はその他に含まれる。



図Ⅱ-9 家庭系ごみの組成分析調査結果・単身世帯地域（重量比）

⑤ 有料化実施前後の変化とごみ袋価格（手数料）との関係

県内市町と県外市町の手数料と有料化を実施する前、実施後の家庭系ごみ全体、可燃ごみ、不燃ごみの減量率の関係を表Ⅱ-13、図Ⅱ-10に示す。

家庭系ごみ全体、可燃ごみ、不燃ごみすべてにおいて、名張市が最も減量率が大きくなっている。また、県外実施市町でも1Lあたりの料金が高い函館市、登別市、日野市で減量率が高くなっている。

このことから、全般的に減量率にばらつきがあるものの、料金が高くなるほど減量率が高くなる傾向がある。（図Ⅱ-10 参照）

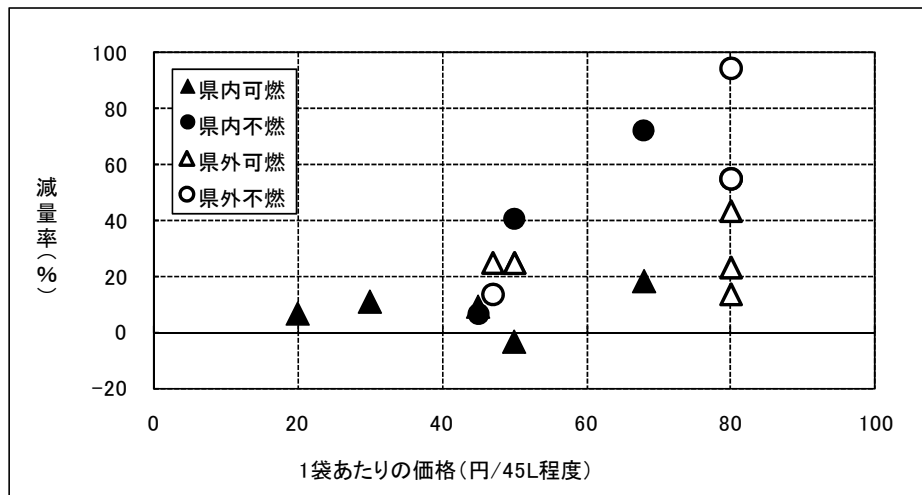
表Ⅱ-13 ごみ袋価格と有料化実施前後の減量率

	市町名	45L程度の料金(円)	1人1日あたり排出量(g/人・日)			
			実施前	実施後	実施前と実施後の減量率(%)	
家庭系ごみ	三重県	名張市	—	598	497	16.9
		伊賀市	—	755	685	9.3
		鳥羽市	—	704	647	8.1
		志摩市	—	692	665	3.8
		南伊勢町	—	835	770	7.8
		桑名市	—	—	—	—
	三重県外	函館市	—	819	619	24.5
		登別市	—	846	533	37.0
		幸手市	—	838	734	12.3
		日野市	—	941	696	26.0
		泉佐野市	—	733	567	22.6
		桜井市	—	872	745	14.6
		可燃ごみ	三重県	名張市	68	450
伊賀市	20			566	529	6.6
鳥羽市	45			540	490	9.1
志摩市	50			461	476	-3.4
南伊勢町	30			632	563	10.9
桑名市	15			—	—	—
三重県外	函館市		80	593	455	23.3
	登別市		80	533	459	13.8
	幸手市		50	608	457	24.9
	日野市		80	677	383	43.3
	泉佐野市		50	659	495	24.9
	桜井市		47	687	516	24.9
	不燃ごみ		三重県	名張市	68	79
伊賀市		—		10	18	—
鳥羽市		45		63	59	6.5
志摩市		50		99	59	40.4
南伊勢町		—		46	44	—
桑名市		15		—	—	—
三重県外		函館市	80	162	74	54.6
		登別市	80	302	17	94.3
		幸手市	—	46	38	—
		日野市	80	186	85	54.6
		泉佐野市	—	—	—	—
		桜井市	47	88	76	13.8

注1) 三重県外は、函館市、登別市、日野市が40Lの料金、泉佐野市は50Lの料金

注2) 1袋あたりの価格は市町村合併のあった市町では、料金変更後の価格を示す。

注3) 名張市は、平成21年1月末現在の排出量を示す。



図Ⅱ－10 ごみ袋価格と家庭系可燃ごみ、不燃ごみの原単位減量率

⑥ 評価と課題

ア 県全市町が有料化実施時の試算¹⁰

県内の5市町が有料化を導入した結果をもとに家庭系ごみ全体、可燃ごみ、不燃ごみの平均減量率¹¹を算出し、県内の全市町がごみの有料化を実施した場合の減量効果を試算した。

県内の有料化実施による減量率を表Ⅱ－14に示す。家庭系ごみ全体については、最も大きく減少した市町で16.9%減少し、可燃ごみは18.2%の減少、不燃ごみは72.1%減少した。5市町を平均すると、家庭系ごみ全体で9.9%減少、可燃ごみで8.2%減少、不燃ごみで41.1%減少となった。この減量率を用いて県の平成14年度実績から県内全市町が有料化を導入した場合の減量効果を表Ⅱ－15、図Ⅱ－11に示す。¹²

平均減量率を用いて県全体の減量可能量を試算すると、家庭系ごみ全体で52,985tの減量が見込まれる。(可燃ごみで29,332t、不燃ごみで19,245t、その他ごみで4,407t)

また、全市町で可燃・不燃ごみの1Lあたりの料金を1.5円とし、家庭系ごみ全体が最大16.9%減量するとした場合(可燃ごみで18.2%、不燃ごみで72.1%)、全体で90,448tの減量が見込まれる(可燃ごみで65,104t、不燃ごみで33,762t)。有料化に伴った分別精度向上による資源物量は8,417tと推定される。

平成14年度実績から県全体で有料化を導入した場合の減量効果と平成20年度実績を比較すると、平成20年度では平成14年度から40,605t減量し、平均減量率を利用した場合の有料化導入時の推定減量は52,985tであるため、県29市町中7市町導入している平成20年度は、全市町で有料化を導入した場合の減量分の76.6%をすでに占めていることになる。さらに最大減量率を利用した場合は、推定減量が90,448tであり、平成14年度からの平成20年度の減量分は推定減量の44.9%を占めている。

10 この試算は、三重県ごみ減量化手法導入可能性調査報告書(平成17年3月)をもとにしたものである。

11 単純平均ではなく、加重平均を使用。加重平均値は、有料化前後の家庭系ごみ全体、可燃ごみ、不燃ごみそれぞれで、市町の排出量を合算し、それを市町の合計人口から1人1日あたりの排出量を算出し、その有料化前と有料化後の1人1日当たりの排出量の差から減量率を算出したもの。

12 平成14年度実績を基準とした算出理由は、ごみゼロプランの基準年が平成14年度であり、短期目標年度を平成22年度に設定していることから、平成20年度が目標期間の経過途中であるため、どの程度目標を達成できているかを把握するためである。

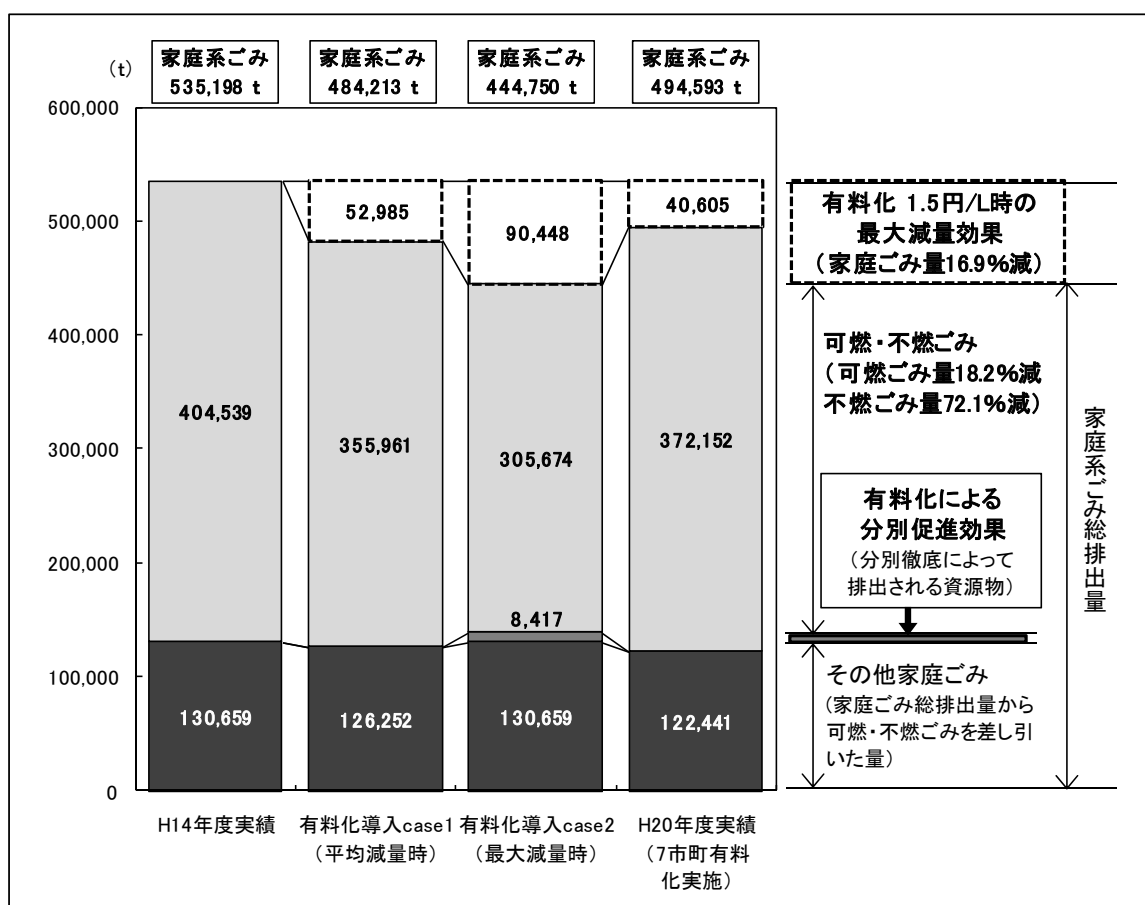
表Ⅱ-14 県内有料化実施市町の原因単位減量率と1Lあたりの料金

	家庭系 ごみ全体	可燃ごみ	不燃ごみ	費用単価(円/L)	
				可燃ごみ	不燃ごみ
各有料化 市町の 減量率 (%)	16.9	18.2	72.1	1.5	1.5
	9.3	6.6	—	0.4	—
	8.1	9.1	6.5	1.0	1.0
	3.8	-3.4	40.4	1.1	1.1
	7.8	10.9	—	0.7	—
加重平均値	9.9	8.2	41.1		
最大値	16.9	18.2	72.1		
最小値	3.8	-3.4	6.5		

表Ⅱ-15 県内全市町が有料化を導入した場合の減量効果

	H14年度 実績	全市町有料化 導入 case1 (平均減量時)		全市町有料化 導入 case2 (最大減量時)		H20年度 実績	H14年度 対比増減量
		有料化に よる減量	有料化に よる減量	有料化に よる減量	有料化に よる減量		
家庭系ごみ総排出量	535,198	482,213	52,985	444,750	90,448	494,593	-40,605
可燃・不燃ごみ計	404,539	355,961	48,578	305,674	98,865	372,152	-32,387
可燃ごみ	357,713	328,381	29,332	292,609	65,104	337,624	-20,089
不燃ごみ	46,826	27,581	19,245	13,064	33,762	34,528	-12,298
可燃・不燃ごみの 分別促進効果	—	—	—	8,417	-8,417	—	—
その他の家庭ごみ	130,659	126,252	4,407	130,659		122,441	-8,218

注)単位は、「t」。



図Ⅱ-11 県内全市町が有料化を導入した場合の減量効果

イ 評価と課題

県内有料化実施市町の家庭系ごみ全体の排出量は、すべての市町で実施前に比べて実施後の排出量が減っており、実施後以降の排出量も有料化実施 1 年後のレベルを維持もしくは、さらに減少している市町もあることから、一定の減量効果があるとみられる。

また、有料化実施市町と未実施市町の同時期の排出量を比較した場合においても、全般的に有料化実施市町の減少傾向は未実施市町を上回っており、有料化によるごみの減量効果であるとうかがえる。

有料化導入以降のごみ量のリバウンドは、各市町のごみ分別によって減少幅が異なるものの概ね有料化前のごみ排出量水準以下を示しており、有料化導入以降から平成 20 年度に至るまでは、ごみの減量効果が維持していると確認できる。

資源ごみなどの再生利用の効果については、資源ごみ（行政回収）から集団回収への排出先移行や、資源ごみのうち重量割合で多くを占める新聞紙、雑紙等の紙類の市場価格による集団回収への影響などの多くの要素が関係しており、一定の評価を見出すことは難しい。

しかし、さらにごみ減量や再生利用を進め、持続させていくためには、ごみ処理の有料化とあわせて、分別収集区分の見直しや集団回収の助成、フリーマーケットの開催支援などの再使用の促進やごみ減量に効果がある施策の併用を検討したり、排出抑制の重要性などについて住民の理解を浸透させるような、ごみ減量に関する広報やホームページなどの情報ネットワークを利用し、継続的に啓発や情報提供などを取組むことが大切であると考えられる。

ごみ処理の導入に伴い懸念される課題として、不適正排出や不法投棄への対応が求められる。これは国や有料化実施市町の情報などを収集しながら、不法投棄場所の管理や地域活動を利用した啓発や指導・監視等の取り組む必要がある。

ごみの有料化については、環境省から公表された「一般廃棄物処理有料化の手引き（平成 19 年 6 月）」においても、一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革などの効果が期待されており、市町の一般廃棄物処理事業を循環型社会に向けて転換していくための施策手段としてのごみ処理有料化の推進が示されている。

今後、ごみ減量に向けて市町では、ごみの排出量などの現状、ごみの分別・ごみ処理施設の整備状況などごみ処理体制のあり方やごみ処理に対する住民理解度などを踏まえながら、市町の実情に応じて、ごみ処理有料化の導入に向けた検討が求められる。

(2) レジ袋の有料化

① レジ袋の有料化の状況

レジ袋の有料化の取組を実施した市町は、平成21年度においては29市町中25市町である。実施市町を表Ⅱ-16に示す。

表Ⅱ-16 レジ袋有料化実施市町

レジ袋有料化 導入時期	市町名	モデル事業 導入検討対象
平成19年9月21日	伊勢市	○
平成20年7月1日	名張市、伊賀市	○
平成20年9月1日	鈴鹿市、亀山市	
平成20年10月1日	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	
平成20年11月11日	松阪市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町	○
平成21年1月23日	鳥羽市、志摩市、南伊勢町	
平成21年2月1日	度会町	
平成21年4月1日	熊野市、御浜町、紀宝町	
平成21年4月1日	津市	
平成21年9月1日	尾鷲市、紀北町	
現在有料化検討市町	四日市市、菟野町、朝日町、川越町	

資料：ごみゼロ社会実現プランの進捗状況の第4回点検・評価について(平成21年12月)

② 家庭系ごみの組成変化

家庭系ごみに含まれるレジ袋の組成分析結果を表Ⅱ-17、図Ⅱ-12に示す。

レジ袋有料化を実施していない市町は現在、四日市市と菟野町、朝日町、川越町があり、組成分析調査結果より菟野町とその他のレジ袋有料化実施市町の家庭系ごみに含まれるレジ袋の割合を比較すると（レジ袋は重量が軽いいため重量計測精度を考慮し、重量比ではなく容積比で比較）、「ごみ袋に使用」「未使用」の合計値については、菟野町が5%、伊勢市、名張市、鳥羽市が8~9%となっており、菟野町が最も低い割合になっている。

しかし、「未使用」に限っていえば、菟野町は0.1%に対し、伊勢市、名張市で0.1%以下、鳥羽市は0.2%となっている。前回組成調査と比較すると、伊勢市、名張市で減少している。

表Ⅱ-17 組成分析調査結果

レジ袋有料化実施状況	実施市町									未実施市町		
	伊勢市			名張市			鳥羽市	菟野町				
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H21	H16	増減		
ごみ袋に使用	1.5	1.3	0.2	1.2	0.9	0.3	1.1	0.8	0.8	0.0		
未使用	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	—	—	0.1		
計	1.7	1.4	0.3	1.4	1.0	0.4	1.2	0.9	0.8	0.1		

容積比(%)	伊勢市			名張市			鳥羽市	菟野町		
	H21	H16	増減	H21	H16	増減	H21	H21	H16	増減
	ごみ袋に使用	9.1	6.0	3.1	8.9	4.6	4.3	8.5	4.9	2.1
未使用	0.0	1.0	-1.0	0.0	0.8	-0.8	0.2	0.1	—	0.1
計	9.1	7.0	2.1	8.9	5.4	3.5	8.7	4.9	2.1	2.8

注)「—」は排出されなかったことを示し、「0.0」は、小数第2位以下に数値があるものを表す。

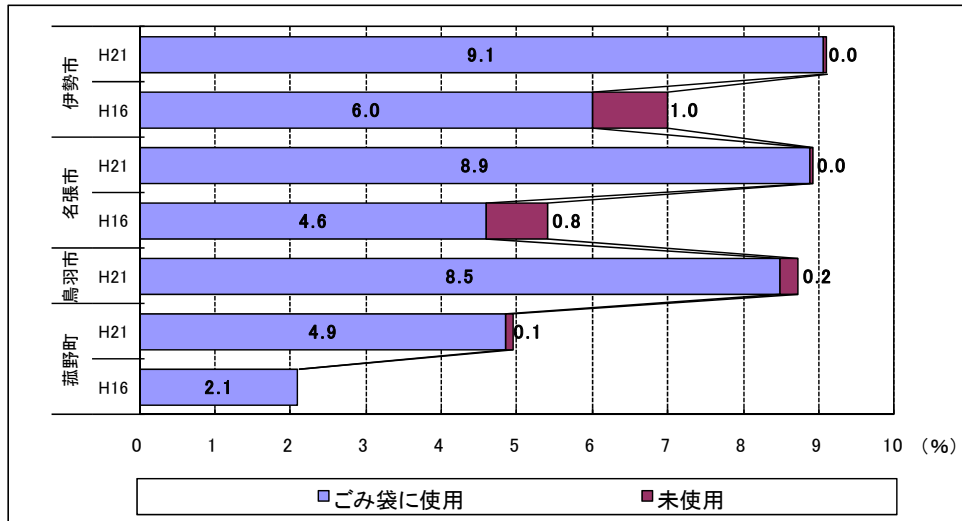


図 II-12 組成分析調査結果

③ 評価と課題

ア レジ袋を排出削減した場合の試算

(a) ごみ排出量の削減効果

組成分析調査結果より、県全体で家庭系可燃ごみに含まれるレジ袋を削減した場合のごみ排出量の減量効果を表 II-18、図 II-13 に示す。

組成分析調査結果によると、可燃ごみに含まれるレジ袋は 4 市町平均で 1.3%含まれていたため、県の平成 20 年度実績からレジ袋の排出量を算出すると 4,389 t となり、この可燃ごみに含まれるレジ袋をすべて削減した場合、家庭系ごみ総排出量は 0.9%の減少が見込まれる。

また、平成 14 年度実績と平成 20 年度を比較すると、平成 20 年度の可燃ごみは 5.6%減少、家庭系ごみ総排出量は 7.6%減少しているが、さらにレジ袋を削減すると、可燃ごみで 6.8%減少、家庭系ごみ総排出量は 8.4%減少すると推定される。

表 II-18 県全体でレジ袋を削減した場合の減量効果

	H14年度 実績 (t)	H20年度 実績 (t)	H14年度 対比増減率 (%)	H20年度 レジ袋 削減時		
				(t)	削減率 (%)	H14年度 対比増減率 (%)
家庭系ごみ総排出量	535,198	494,593	-7.6	490,204	0.9	-8.4
可燃ごみ	357,713	337,624	-5.6	333,235	1.3	-6.8
可燃ごみその他	357,713	333,235	-	333,235	-	-
レジ袋混入量	-	4,389	-	0	1.3	-
その他の家庭ごみ	177,485	156,969	-11.6	156,969	-	-11.6

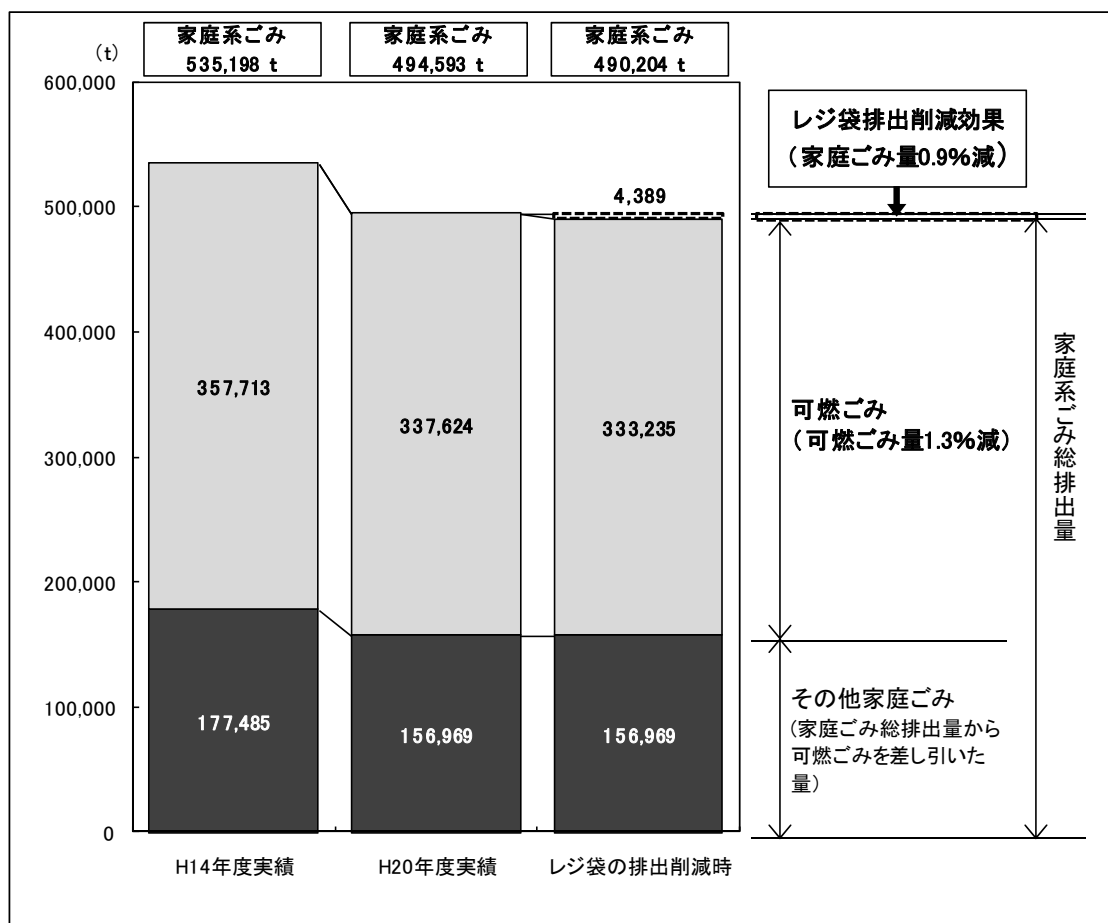


図 II - 13 県内全体でレジ袋を削減した場合の減量効果

(b) CO₂ 排出等の削減効果

現在、廃棄物処理分野においても地球温暖化対策が求められている。

処理における温室効果ガス排出量は、石油製品系の焼却処理に由来するものが多くを占めているため、ごみとして排出されるレジ袋を削減することで、レジ袋の燃焼による二酸化炭素の排出削減やレジ袋の製造に必要な石油使用量の削減につながり、温暖化対策に効果があると期待される。

ここで、分析組成調査結果から、レジ袋の枚数やレジ袋製造に必要な石油量、レジ袋燃焼による二酸化炭素排出量がどの程度削減できるかを試算した。試算のための指標を表 II - 19、レジ袋削減による効果を表 II - 20 に示す。

指標より算出した場合、レジ袋 529 千枚の削減で、レジ袋を燃やした場合に発生する二酸化炭素は、レジ袋製造のための石油 8 千トンとあわせて 27 t 削減できると見込まれる。

また、レジ袋を削減した場合の削減可能な二酸化炭素量は、年間 1,896 本のスギの木が吸収する量に値すると推測した。

表 II - 19 レジ袋削減に係る試算指標

レジ袋の重量	8.3g/枚
レジ袋の製造に必要な石油量	15.3ml/枚(8.3g)
レジ袋1枚あたりのCO ₂ 排出量	50.2g/枚(8.3g)
スギの木が吸収する二酸化炭素量	14kg/本・年

出典:ごみゼロ推進室

表Ⅱ－20 レジ袋削減によるCO₂排出量等の削減効果

削減内容	数量
レジ袋削減量(t)	4,389
レジ袋の削減枚数(枚)	528,795
削減石油量(l)	8,091
CO ₂ 削減排出量(t)	27
CO ₂ を吸収するために必要なスギの木(本)	1,896

イ 評価と課題

レジ袋の減量化効果は、家庭系のごみ組成から可燃ごみに混入しているレジ袋の割合について前回調査から変化があるかを比較したが、有料化実施前の前回組成調査とそれほど変化はなかった。このことからわかるようにレジ袋は、軽量であることから排出量の推移からの評価は難しい。

レジ袋の有料化は「資源を無駄にしない」「ごみを減量する」といった意識啓発の効果があると考えられているため、今後、市民のごみに対する取組や意識がどう変化したかを確認するための意識調査などを行う必要がある。

(3) 生ごみの再資源化

① 生ごみ堆肥化参加世帯、生ごみ処理量の推移

生ごみの再資源化を行っている市町は11市町あり、ごみゼロプランモデル事業では、紀宝町が実施している。また、鳥羽市は、リサイクル施設の整備事業の一環で生ごみの堆肥化を実施している。実施概要を表Ⅱ-21、生ごみの処理量の推移を表Ⅱ-22、図Ⅱ-14に示す。

鳥羽市の参加世帯数は増加しており、それに伴って生ごみ処理量も増加している。紀宝町については、参加世帯数、生ごみ処理量ともに横ばいの状況であるが、現在モデル事業の成果を踏まえて、町全域でのシステム構築に向けた取組が進んでおり、生ごみの堆肥化に関する調査や研究、検討を行っている。また今後、新たな生ごみ処理施設を設置する計画もあり、町全域で生ごみ堆肥化が進むことで生ごみ処理量の増加、堆肥化による再資源化が進むことが期待されている。

表Ⅱ-21 生ごみの再資源化実施市町の実施概要

市町名	生ごみ堆肥化事業開始	生ごみ堆肥化の流れ	人口・世帯数	参加世帯数		
				H18年度	H19年度	H20年度
鳥羽市	H17.5 (試験試行)	①各家庭で生ごみ堆肥ケース「ひなたぼっこ」で一次処理を行う。 (2~3ヶ月)	21,815 人	290	250	380
		②リサイクルパークへ搬入。				
	H19.3 (リサイクルパーク開館)	③リサイクルパークで二次処理を行う。	8,442 世帯			
		④出来上がった堆肥は、一次処理物と交換で各家庭へ配布し再利用。				
紀宝町	H17.9	①各家庭でフタ付きバケツに事前に配布している堆肥と生ごみをサンドイッチしながら保管。	12,100 人	138	139	141
		②週2回、ゴミ集積所に設置した大型バケツに移しかえて収集。	5,195 世帯			
		③回収した生ごみの入った大型バケツを生ごみ堆肥化実験施設へ搬入し生ごみ処理を行う。(一次処理、二次処理)				
		④出来上がった堆肥は、各家庭、給食施設等に配布し再利用。				

資料：人口・世帯は、三重県統計課(平成21年4月1日現在)

参加世帯は、「ごみゼロ社会実現プランの進捗状況(第2回~第4回)」

表Ⅱ-22 家庭系可燃ごみ排出量と生ごみ処理量の推移

市町名	生ごみ堆肥化実施月日	項目	H18年度	H19年度	H20年度
鳥羽市	H17.5	家庭系収集ごみ可燃ごみ(t)	4,232	3,998	4,013
		生ごみ処理量(t)	20	51	95
紀宝町	H17.9	家庭系収集ごみ可燃ごみ(t)	2,766	2,749	2,651
		生ごみ処理量(t)	30	33	33

資料：生ごみ処理量は、「ごみゼロ社会実現プランの進捗状況(第2回~第4回)」

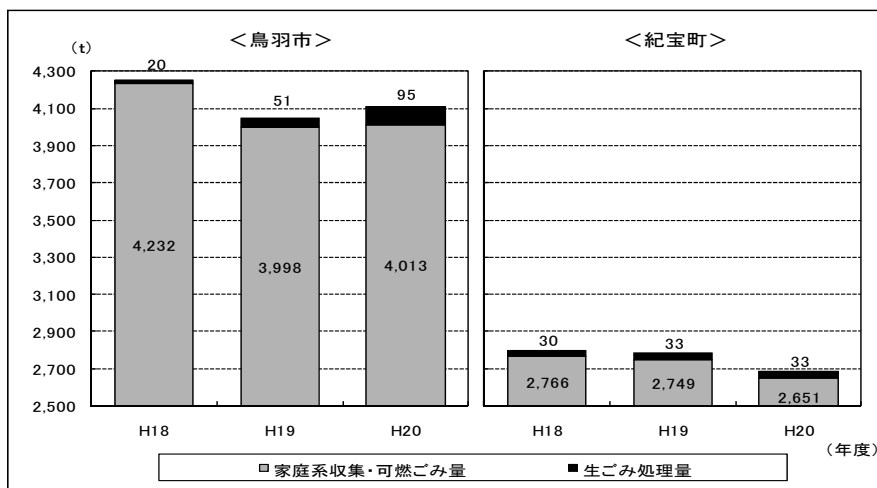


図 II-14 家庭系可燃ごみ排出量とごみ処理量の推移

② 県外の生ごみ堆肥化実施市町との比較

県外の生ごみ堆肥化を行っている市町の実施概要を表 II-23、生ごみの処理量の推移を表 II-24、図 II-15 に示す。

県外の生ごみ堆肥化実施市町と比較すると、参加世帯数については、狭山市が市の 7%、甲賀市は市の約 20%を占めており、県内市町の 3~5%と比べ甲賀市では多くの市民が堆肥化に参加していることが確認できる。生ごみ処理量については、参加世帯数が多いことから生ごみ処理量も多くなっているが、富良野市を除けば、家庭系可燃ごみに対する生ごみ処理量の割合は、県内市町と同様に多い割合を占めるものではない。

また、家庭系の可燃ごみの推移を表 II-25、図 II-16 に示す。

家庭系の可燃ごみの推移をみても、県内、県外市町ともに生ごみ堆肥化実施前後の変化はあまりない。

表 II-23 生ごみの再資源化県外実施市町の実施概要

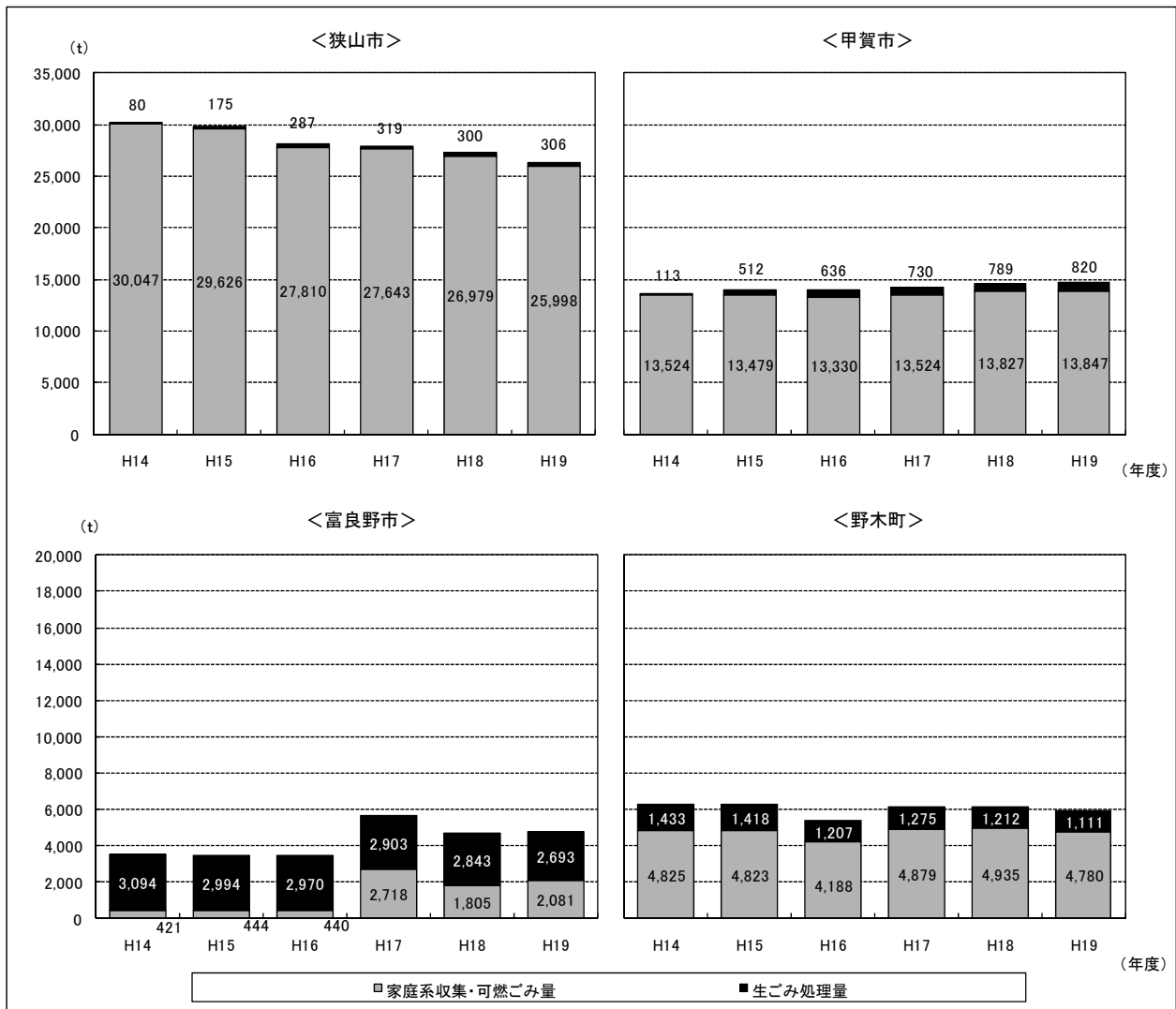
市町名	生ごみ堆肥化事業開始	生ごみ堆肥化の流れ	人口・世帯数	参加世帯数		
				H14年度	H19年度	H20年度
埼玉県狭山市	H14.4	①専用のバケツに生ごみを入れ、バケツのままごみステーションに出す。週1回委託業者がバケツの中身の収集を行う。	158,265人 65,141世帯	250	4,764	4,850
		②堆肥化工場へ運搬、一次処理を行う。				
		③一次処理を行ったものは、肥料・飼料の原料として肥料・飼料メーカーへ運ばれ成分調整(二次処理)など行う。その後、肥料・飼料として全国へ流通。肥料製品のひとつとして狭山市のオリジナルブランドがある。				
滋賀県甲賀市	H14.4 (旧水口町)	①各家庭で用意したフタ付きバケツに市から支給された種堆肥と生ごみをサンドイッチしながら保管。	95,808人	H14	H19.4	H20.11
		②週2回、ごみ集積所にある専用容器に入れて収集。				
	H16.10 (全市)	③堆肥化施設へ運搬、堆肥化を行う。(一次処理、二次処理) ④出来上がった堆肥は、各家庭へ無料配布、町内の農家にも利用。	32,359世帯	560	5,828	6,744
北海道富良野市	S60.4 (本格施行)	①生分解性処理袋(指定袋)を使用し、ごみステーションに出す。市が週2回収集を行う。 ②富良野地区環境衛生センターへ運搬、堆肥化を行う。 ③製品化された堆肥は、一部市民への還元、農業協同組合員に有料で引き取られ、農地に還元される。	24,330人 10,720世帯	市全域		
栃木県野木町	H4.11 (施設竣工)	①よく水切りをした後、新聞紙1~2枚で包み、町指定の生ごみ収集袋(紙袋)に入れ、名前を記入し集積所(ごみステーション)に出す。町が週2回収集を行う。	25,989人 9,362世帯	町全域		
		②資源化センターへ運搬、堆肥化を行う。				
		③堆肥は住民や学校等へ配布されるか、堆肥化センターの水分調整材として利用される。				

資料：各市町HP、野木町の人口・世帯数は、栃木県統計課、狭山市(平成21年4月1日現在)、その他(平成21年3月末日現在)

表Ⅱ-24 県外実施市町の家庭系可燃ごみ排出量と生ごみ処理量の推移

市町名	生ごみ堆肥化 実施月日	項目	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
狭山市	H14.4	家庭系収集ごみ 可燃ごみ(t)	30,047	29,626	27,810	27,643	26,979	25,998
		生ごみ処理量(t)	80	175	287	319	300	306
甲賀市	H14.4 (旧水口町)	家庭系収集ごみ 可燃ごみ(t)	13,524	13,479	13,330	13,524	13,827	13,847
		生ごみ処理量(t)	113	512	636	730	789	820
富良野市	S60.4 (本格施行)	家庭系収集ごみ 可燃ごみ(t)	421	444	440	2,718	1,805	2,081
		生ごみ処理量(t)	3,094	2,994	2,970	2,903	2,843	2,693
野木町	H4.11 (施設竣工)	家庭系収集ごみ 可燃ごみ(t)	4,825	4,823	4,188	4,879	4,935	4,780
		生ごみ処理量(t)	1,433	1,418	1,207	1,275	1,212	1,111

資料：狭山市(市HP)、甲賀市(環境基本計画平成21年6月)、
 富良野市(廃棄物の処理及びリサイクル事業概要 平成21年度)
 野木町(一般廃棄物処理基本計画及びごみ処理施設建設基本構想報告書 平成21年3月)



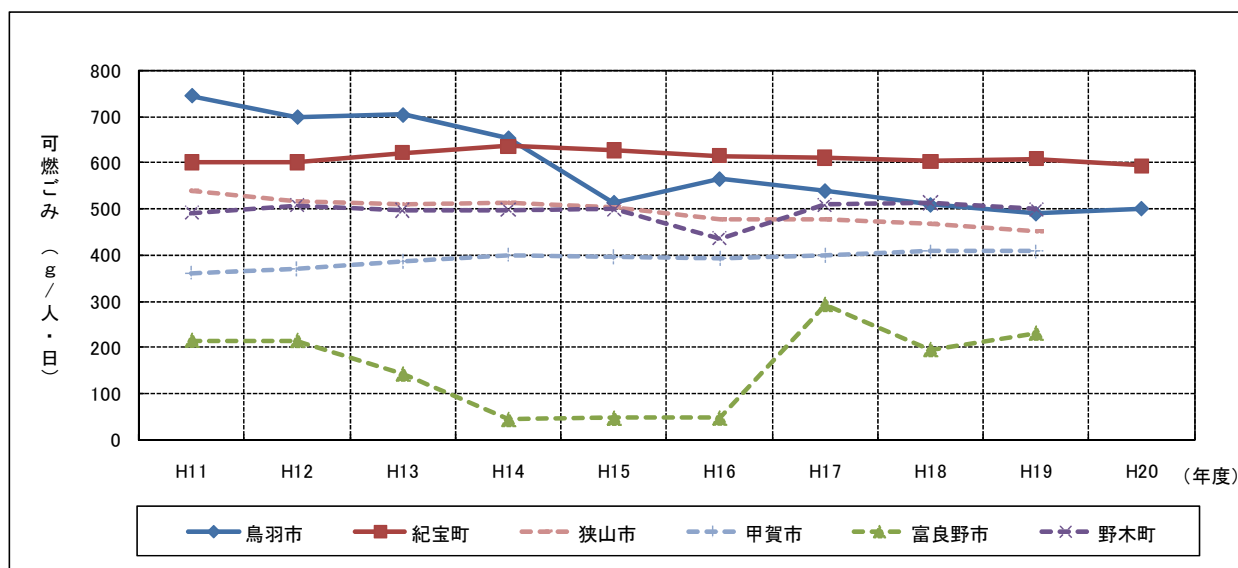
図Ⅱ-15 県外実施市町の家庭系可燃ごみ排出量と生ごみ処理量の推移

表Ⅱ－25 県内、県外実施市町の家庭系可燃ごみの1人1日あたり排出量推移

市町名	生ごみ堆肥化 実施月日	家庭系収集(可燃)ごみ量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)									
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
鳥羽市	H17.5	746	699	704	654	514	565	540	509	490	501
紀宝町	H17.9	601	601	621	635	627	615	611	604	608	594
狭山市	H14.4	538	518	511	513	505	477	478	469	453	—
甲賀市	H14.4	362	370	387	401	397	394	399	408	409	—
富良野市	S60.4	216	216	143	45	48	48	294	196	232	—
野木町	(H4.11)	492	509	497	499	499	436	509	514	499	—

市町名	生ごみ堆肥化 実施月日	H11年度を基準とした 家庭系収集(可燃)ごみ量の増減量率 (%)									
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
鳥羽市	H17.5	—	-6.2	-5.6	-12.4	-31.0	-24.2	-27.6	-31.7	-34.3	-32.8
紀宝町	H17.9	—	0.0	3.3	5.7	4.3	2.3	1.5	0.4	1.2	-1.3
狭山市	H14.4	—	-3.9	-5.1	-4.7	-6.2	-11.3	-11.1	-12.9	-15.9	—
甲賀市	H14.4	—	2.2	6.9	10.6	9.5	8.6	10.2	12.6	12.8	—
富良野市	S60.4	—	-0.1	-33.8	-79.4	-77.9	-77.9	35.9	-9.3	7.1	—
野木町	(H4.11)	—	3.4	1.2	1.5	1.5	-11.2	3.6	4.5	1.6	—

注1) 色づけ部分は、生ごみ堆肥化実施年度を示す。
 注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。
 注3) 富良野市、野木町は平成11年以前より堆肥化を行っているため、参考数値とした。
 資料: H11年度～H19年度: 一般廃棄物実態調査(環境省)、H20年度: 三重県速報値



図Ⅱ－16 県内、県外実施市町の家庭系可燃ごみの1人1日あたり排出量推移

③ 家庭系ごみの組成変化

生ごみ堆肥化を行っている鳥羽市の組成分析結果を表Ⅱ－26、図Ⅱ－17に示す。

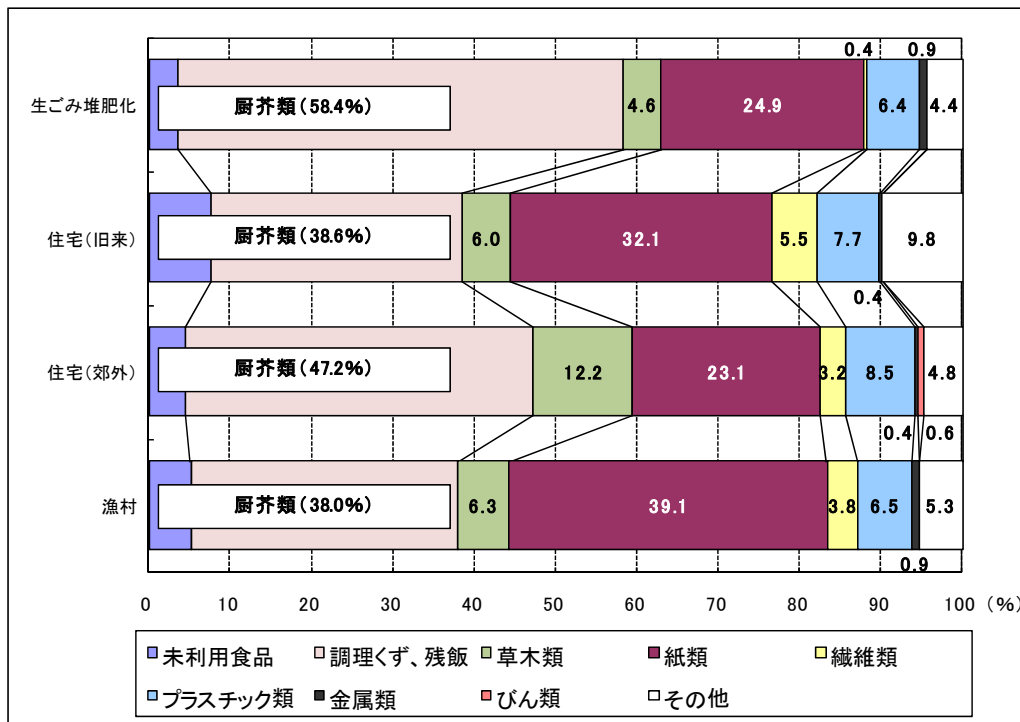
生ごみ堆肥化に参加している世帯が多い地域とその他の地域とを比較すると、堆肥化積極的地域の厨芥類の混入率が58.4%、その他の地域で38～47%となっている。

積極的地域全体の世帯数は142世帯あり、そのうち地域の約2割の25世帯が堆肥化に参加している中で、今回の組成調査では、サンプル収集中にどの程度の参加世帯が含まれているかは確認できなかったため、積極的地域がその他地域よりも厨芥類の割合が少ない結果は確認できなかった。

表Ⅱ-26 鳥羽市の家庭系ごみの組成分析調査結果（重量比）

分類項目	生ごみ堆肥化	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村
厨芥類計	58.4	38.6	47.2	38.0
未利用食品	3.6	7.7	4.6	5.3
調理くず、残飯	54.8	30.9	42.7	32.7
草木類	4.6	6.0	12.2	6.3
紙類	24.9	32.1	23.1	39.1
繊維類	0.4	5.5	3.2	3.8
プラスチック類	6.4	7.7	8.5	6.5
金属類	0.9	0.4	0.4	0.9
びん類	—	—	0.6	—
その他	4.4	9.8	4.8	5.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0

注)「—」は排出されていないことを示す。



図Ⅱ-17 鳥羽市の家庭系ごみの組成分析調査結果（重量比）

④ 評価と課題

ア 生ごみ堆肥化を県全体で実施した場合の試算

組成分析調査結果の家庭系可燃ごみに含まれる厨芥類の割合を用いて、5%または10%の県民が生ごみ堆肥化に協力した場合の家庭系ごみ排出量の占める割合を試算した。

県の平成20年度における家庭系ごみの1人1日あたりの排出量を表Ⅱ-27、可燃ごみに含まれる厨芥類等の組成分析調査結果を表Ⅱ-28に示す。

表Ⅱ-27 県の家庭系ごみの1人1日あたり排出量（平成20年度実績）

種別	家庭系ごみ総排出量	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他
(g/人・日)	725	495	51	125	7	1

表Ⅱ-28 可燃ごみに含まれる厨芥類等の組成分析調査結果

種別・重量比	伊勢市	名張市	菟野町	鳥羽市	4市町平均
未利用食品	4.4	3.6	6.1	5.2	4.8
調理くず、残飯	37.3	38.9	24.0	40.0	35.1
草木類	3.3	5.9	14.1	7.5	7.7
計	45.1	48.4	44.3	52.6	47.6

平成20年度の可燃ごみに含まれる1人1日あたりの調理くず等の排出量は、平成20年度実績の1人1日あたりの可燃ごみ排出量が495g/人・日であり(表Ⅱ-27 参照)、組成分析調査結果の可燃ごみに含まれる調理くず等の割合が35.1%(4市町平均(表Ⅱ-28 参照))であることから、174g/人・日とした。

さらに県総人口を用いて県全体の家庭系ごみに含まれる調理くず等の排出量を算出すると、118,506t/年になる。(表Ⅱ-29 参照) そのうち5%もしくは10%の県民が生ごみ堆肥化を協力するとした場合(今回調査対象とした県内・県外の生ごみ堆肥化実施市町の全世帯に対する参加世帯の平均は8.9% 表Ⅱ-30 参照)、5%の協力時では年間5,925t(平成20年度可燃ごみの1.8%に相当)、10%の協力時では11,851t(平成20年度可燃ごみの3.5%に相当)の生ごみ堆肥化ができると推定される。家庭系ごみ総排出量にすると、5%協力時では1.2%、10%協力時では2.4%に相当し、生ごみの堆肥化が取り組まれることにより資源化率の向上につながると期待できる。(表Ⅱ-31、図Ⅱ-18 参照)

表Ⅱ-29 県全体で生ごみ堆肥化を実施した場合の生ごみ収集量

三重県全体	可燃ごみ	(g/人・日)	495
	可燃ごみに含まれる調理くず量	(g/人・日)	174
	人口	(人)	1,869,669
	可燃ごみに含まれる調理くず量	(t/日)	325
	可燃ごみに含まれる調理くず	(t/年)	118,506
	協力率・5%時の生ごみ収集量	(t/年)	5,925
	協力率・10%の生ごみ収集量	(t/年)	11,851

注)年間日数は365日とした。

資料:可燃ごみ排出量、人口は、平成20年度三重県速報値

表Ⅱ-30 生ごみ堆肥化実施市町の1人1日あたりの生ごみ処理量(参考)

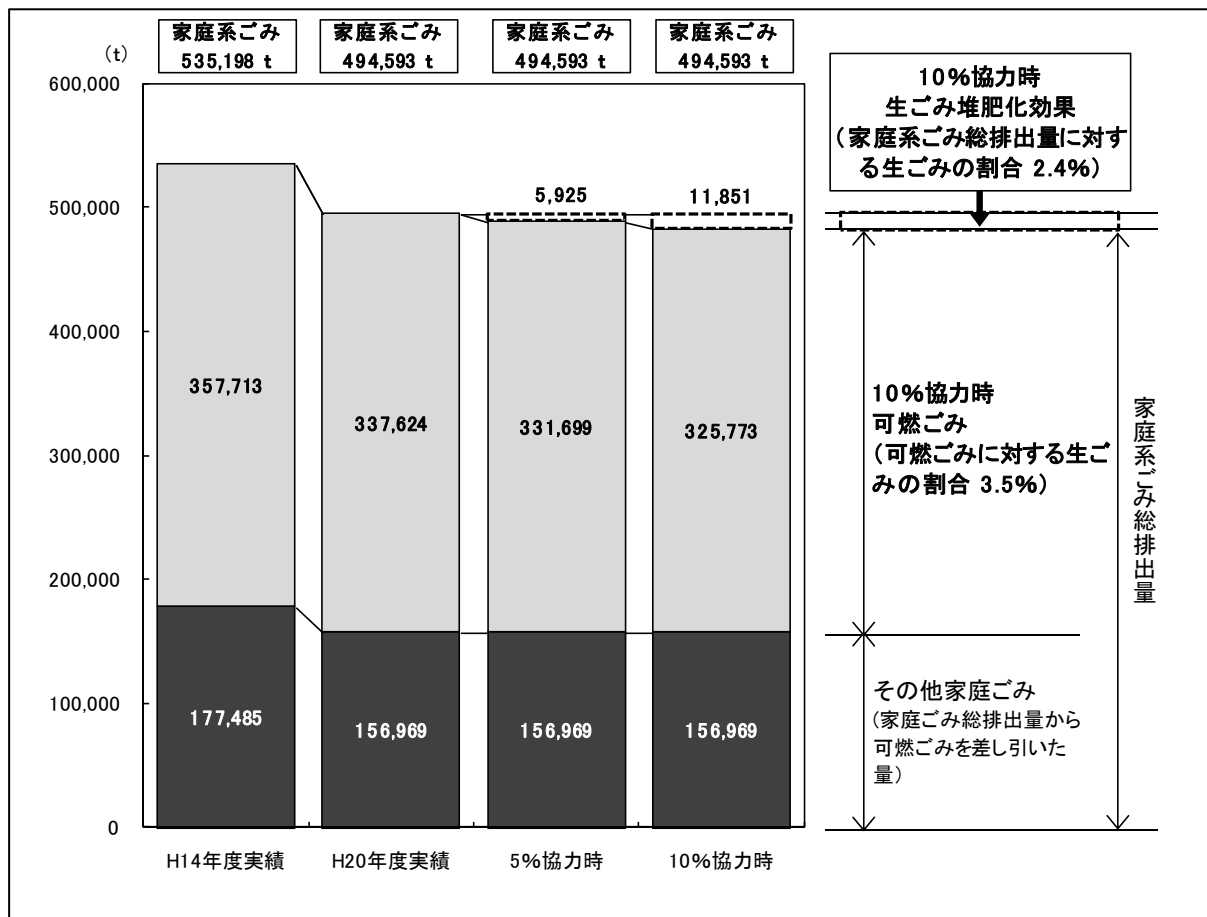
市町名	全世帯数 (世帯)	参加世帯数 (世帯)	参加世帯割合 (%)	生ごみ処理量 (t)	1世帯あたりの生ごみ処理量 (t/世帯・年)	1世帯あたりの生ごみ処理量 (g/世帯・日)	1世帯あたり人員 (人)	1人1日あたり生ごみ処理量 (g/人・日)
鳥羽市	8,442	380	4.5	95	0.25	685	2.79	245
紀宝町	5,195	141	2.7	33	0.23	641	2.43	264
狭山市	65,141	4,850	7.4	360	0.07	203	2.67	76
甲賀市	32,359	6,744	20.8	820	0.12	333	3.11	107
4市町平均した場合	—	—	8.9	327.0	0.17	466	—	173

資料)各市町の全世帯数は、P104表Ⅱ-21、P105の表Ⅱ-23を参照

1世帯あたり人員は、「統計でみる県内市町のすがた(三重県政策部統計室)」(平成22年3月)

表Ⅱ-31 県全体で生ごみ堆肥化を実施した場合の試算

	H14年度実績 (t)	H20年度実績 (t)	H20年度5%協力時 (t)	H20年度対比の生ごみ割合 (%)	H20年度10%協力時 (t)	H20年度対比の生ごみ割合 (%)
家庭系ごみ総排出量	535,198	494,593	494,593	1.2	494,593	2.4
可燃ごみその他	357,713	337,624	331,699	1.8	325,773	3.5
生ごみ堆肥化量	—	—	5,925	—	11,851	—
その他の家庭ごみ	177,485	156,969	156,969	—	156,969	—



図Ⅱ-18 県全体で生ごみ堆肥化を実施した場合の試算

イ 評価と課題

生ごみ堆肥化の参加世帯数が増加している地域もあり、地域住民などの参画や協働によって、家庭系生ごみの再資源化は着実に取組が進んできている。また、堆肥化量の増加により資源化率の向上につながるが見込まれる。

しかし、現状では特定地域内の取組となっており、市町全域や県全域に取組が広がっていないため、今後の課題としては、収集体制の見直しや処理施設の整備などを行い、参加世帯を増やし県全域での活動の拡大をめざしていくなかで、堆肥化施設の処理能力や堆肥化コスト、堆肥物の流通（需要先の確保）、堆肥物の品質保持が継続して好循環出来るかを検討・推進していく必要がある。

4. ごみ減量化施策の事例

(1) 廃食用油の資源化（バイオディーゼル燃料）

① バイオディーゼル燃料とは

菜種油や廃食用油などをメチルエステル化して製造される、ディーゼルエンジン用のバイオ燃料（バイオマス起源の燃料）である。地球温暖化対策が緊急の課題となる中、バイオディーゼル燃料（以下BDFとする。）は、バイオエタノールとならんで、化石燃料の代替燃料として期待されている。

② 県内市町の取組

現在、三重県内でBDF化を行っている市町は5市町あり、その取組概要を表Ⅱ-32に示す。その他に廃食用油を分別回収している市町は名張市があるが、名張市は収集後売却している。

表Ⅱ-32 県内のBDF化実施市町の取組概要

市町名	実施時期	内容等
いなべ市	平成13年 (いなべ市全域は平成19年4月～)	月2回、ごみステーションのポリタンクに入れ収集。 市の藤原廃食用油再生センターでBDF化している。 【回収量】(H18年度) 家庭系:3,635リットル 事業系:3,945リットル
伊勢市	平成21年4月(市全域)	拠点回収ステーションに市民が持ち込み、回収容器に油を投入。 廃食用油を処理業者にて回収、精製し再利用。 公衆浴場の重油の代替燃料として使用する。
伊賀市	平成19年(市全域)	環境にやさしい農業推進プロジェクト(通称・伊賀市菜の花プロジェクト)として始まる。 3か月に1回、指定場所の回収容器に入れ収集。 バイオディーゼル燃料の小型プラントで精製し利用。農業機械等に利用する。 (青山地区は衛生組合の処理となるため除外。)
熊野市	平成16年9月 (旧熊野市全域で実施)	2か月に1回、特定のごみステーションに設置された回収容器に入れて収集。(旧紀和町では拠点回収)リサイクル会社に処理委託しBDF化。 必要量を購入し、市のごみ処理施設の作業車や収集車の軽油に代わる燃料として使用している。 【回収量】(H20年度) 4.17t
紀北町	平成13年	月1回、資源ごみステーションに設置された回収容器に入れて収集。廃食用油再生燃料化装置でBDF化。資源ごみ収集等の燃料として使用されている。

資料:各市町HP

③ 県外市町実施の事例（京都市）

京都市では、自治体の中でも最大規模を誇る京都市廃食用油燃料化施設(平成16年6月稼動)において、バイオディーゼル燃料に精製している。軽油の代わりにバイオディーゼル燃料を使って市バスやごみ収集車を走らせることで、京都市全体で年間4,000トンの二酸化炭素削減効果があり、温暖化の防止に貢献している。この取組は、家庭で使われた使用済みてんぷら油を回収することで成り立っており、平成20年度には年間約18万リットルの使用済みてんぷら油が集められている。また、京都市では京都市廃食用油燃料化施設で生産しているバイオディーゼル燃料の愛称を募集し、応募作品から「みやこ・めぐるオイル」という愛称がつけられている。京都市のBDF化事業の概要を表Ⅱ-33、廃食用油の循環システムを図Ⅱ-19に示す。

表Ⅱ-33 京都市のBDF化事業概要

実施時期	平成8年10月(市全域は平成9年11月～)
事業概要	<p>平成8年10月から廃食用油をバイオディーゼル燃料(メチルエステル化)に転換し、空き缶・空きびん収集車等の燃料として利用する実験を行った。</p> <p>平成9年11月からは、廃食用油から生成した環境にやさしいバイオディーゼル燃料をごみ収集車約220台に利用するとともに、平成12年4月からは、一部の市バス約80台の燃料(20%混合)としての使用を開始し、現在、年間約150万リットルのバイオディーゼル燃料を使用している。</p> <p>一方、平成9年8月からは、市内8か所のモデル地域で家庭系の廃食用油のモデル回収を開始し、順次回収拠点を拡大してきている。現在、市内約800拠点において、年間約13万リットルを回収し、バイオディーゼル燃料の原料として再生利用している。</p> <p>今後は、地域における先進的な資源循環システムの確立に向けて、廃食用油の回収拠点の拡大や、新型車両にも適用できるバイオディーゼル燃料の安定供給を図るため、平成16年6月から日量5,000リットルの燃料化プラントを稼動している。</p>

資料:京都市HP(平成21年8月現在)



出典:京都市 HP(京都市情報館)

図Ⅱ-19 京都市における廃食用油の循環システム¹³

13 図にあるマスコットは、ごみを捨てる前にもう一度リサイクルできないか考えて、ごみを減らしていこうという願いが込められてつくられた「めぐるくん」という京都市のマスコット。

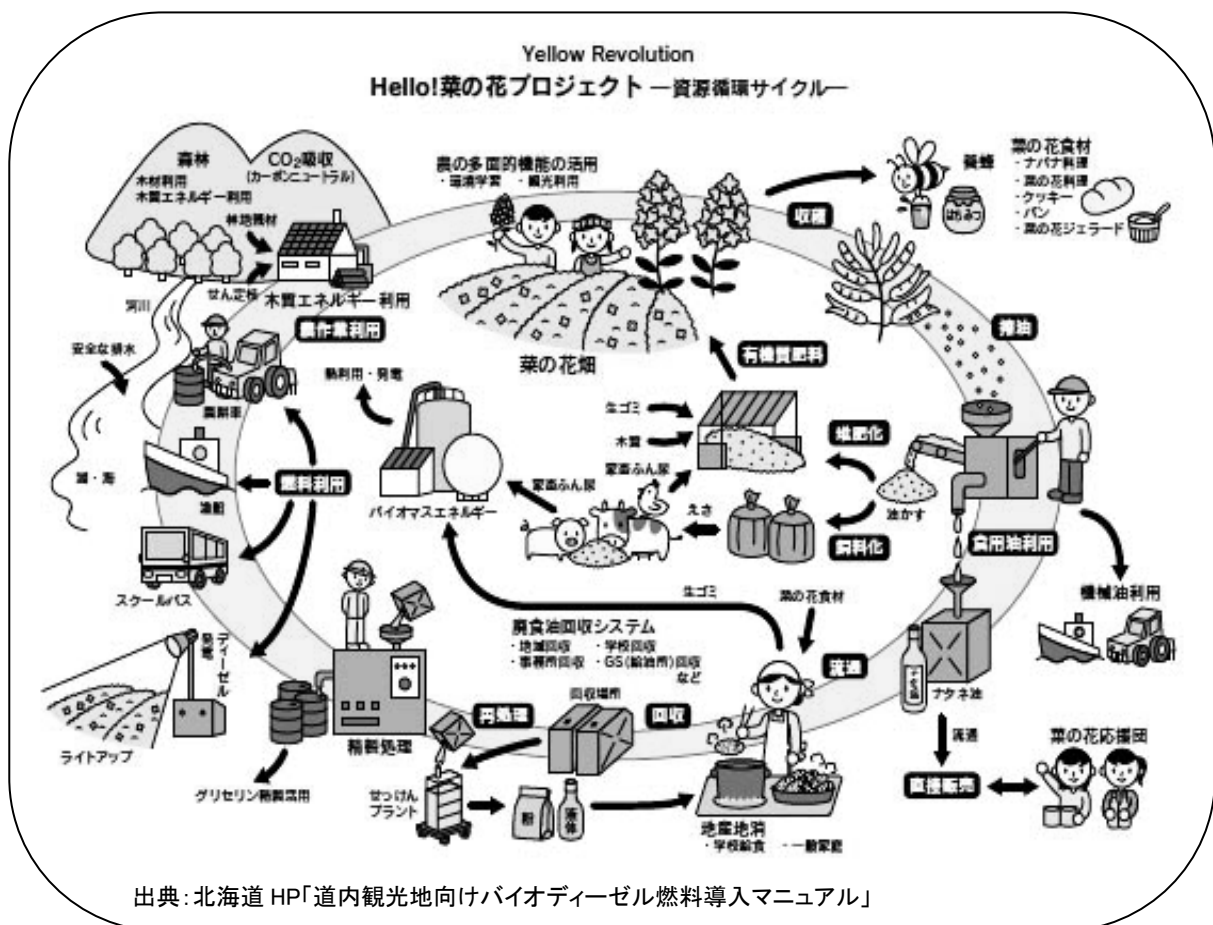
④ 菜の花プロジェクトネットワーク

菜の花プロジェクトネットワークは、地域におけるバイオマスエネルギーに注目しながら、産・官・学・民のパートナーシップにより、資源循環社会地域モデルづくりを広げ、地域自立の循環型社会形成の推進を図ることを目的に活動している。

この背景には、琵琶湖に大規模な赤潮が発生したことで、家庭から出る生活雑排水の問題を重視した消費者が中心になり、合成洗剤に代えて「せっけん」を使おうという運動が拡大し、そして「せっけん運動」と並行するように、家庭から出る廃食用油の回収が県下に広がっていった。しかし、廃食用油を資源として有効活用するためには、せっけんへのリサイクルとは別の廃食用油の新しいリサイクルの仕組みをつくり出すことが、大きな課題になってきた中で、滋賀県愛東町が始めた「菜の花プロジェクト」によって従来の廃食用油の回収・リサイクル事業に広がりを見せるようになった。

菜の花プロジェクトは、転作田に菜の花を植え、なたねを収穫・搾油してなたね油にし、そのなたね油は家庭での料理や学校給食に使い、搾油時に出た油かすは肥料や飼料として使う。廃食用油は回収し、せっけんやBDFにリサイクルする。せっけんやBDFは地域で利活用するというように資源循環のサイクルができたものである。

菜の花プロジェクトの資源循環サイクルを図Ⅱ-20、愛東町（現東近江市）の取組概要を表Ⅱ-34、図Ⅱ-21に示す。

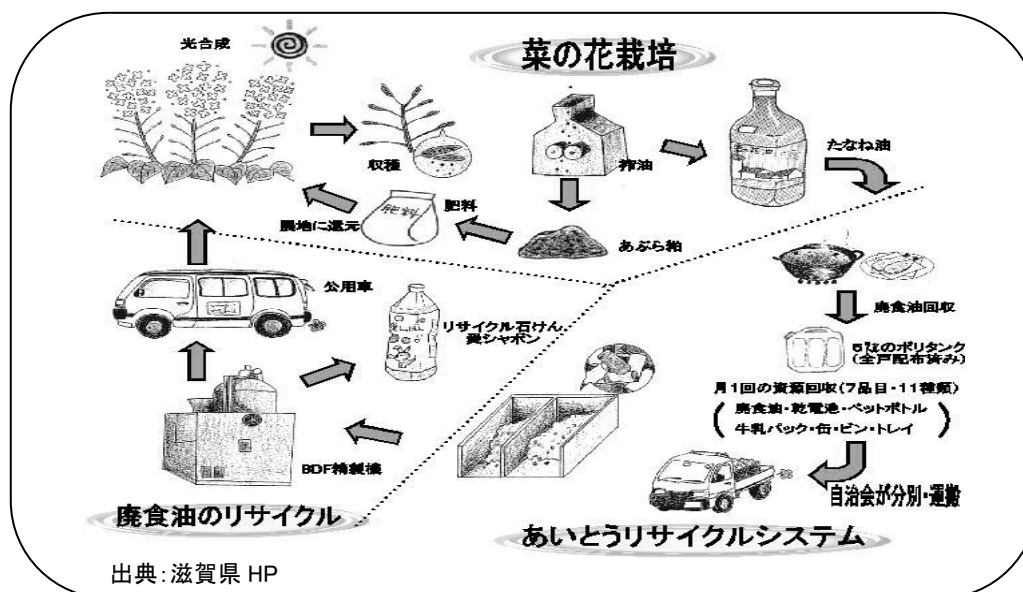


図Ⅱ-20 菜の花プロジェクトの資源循環サイクル

表Ⅱ-34 東近江市菜の花エコプロジェクトの取組概要

実施時期	昭和56年(廃食用油の回収)、平成10年(あいとう菜の花プロジェクトの開始)
取組概要	<p>【廃食用油回収】 市内の家庭及び学校給食から回収。一部地域ではごみステーションの専用容器に入れて出す。また自治会やガソリンスタンド、まちづくり団体、学校活動、企業等で回収を行っている。2008年度は32,300リットルの回収。</p> <p>【燃料化】 精製プラントでBDFに製造。その他に市民団体が粉せっけんに利用。</p> <p>【BDF利用】 ちよこつとバス、公用車、農耕機、発電機等に利用。</p> <p>【菜種栽培、収穫・搾取】 市内の営農組合や農事組合法人、認定農家取り組み、2009年は栽培面積が18ヘクタール。NPOが収穫作業、搾油して販売。搾油された菜種油は菜の花館や道の駅で販売。その他に市内の学校給食に供給。</p>

資料: 菜の花プロジェクトネットワークHP



出典: 滋賀県 HP

図Ⅱ-21 あいとうリサイクルシステム

(2) 生ごみの資源化利用 (バイオガス)

国内において生産・利用されているバイオガスには、取組事例の多数ある下水処理場等での汚泥消化に伴うバイオガス、食品工場等における廃水処理や廃棄物処理プロセスから得られるバイオガス、家畜ふん尿処理から得られるバイオガスに加えて、一部で事例のある生ごみ処理によるバイオガスがある。

生ごみバイオガス化は、生ごみをメタン発酵させてバイオガス(メタン、二酸化炭素)を取り出し、電力や熱に変換して有効利用するものである。堆肥化手法に比較して、異物混入による品質低下や需要先の確保といった問題が生じないことから期待されている。

県内で生ごみ由来によるバイオガスを行っている市町はないが、伊勢市ではバイオガス化に向けた調査(伊勢市バイオマス¹⁴調査)の実施を行い、これから実施に向けた準備を行っている状況である。また名張市では、需要と供給のバランスを図って地域内での利活用を基本とし、生ゴミ・動植物性残さ・草木ゴミ、下水汚泥・し尿系汚泥などのバイオガス化のほか、

14 バイオマスとは、もともと生物(bio)の量(mass)のことであるが、今日では再生可能な、生物由来の有機性エネルギーや資源(化石燃料は除く)をいうことが多い。基本的には草食動物の排泄物を含め1年から数十年で再生産できる植物体を起源とするものを指す。エネルギーになるバイオマスの種類としては、木材、海藻、生ゴミ、紙、動物の死骸・糞尿、プランクトンなどの有機物がある。バイオマスエネルギーはCO₂の発生が少ない自然エネルギーで、古来から薪や炭のように原始的な形で利用されてきたが、今日では新たな各種技術による活用が可能になり、化石燃料に代わるエネルギー源として期待されている。

堆肥化、バイオエタノール化、エマルジョン燃料化、ペレット燃料化などによるエネルギー化や、木質系バイオマスのマテリアル利用により環境産業の創造を目指すバイオスタウン構想¹⁵を公表し、現在、バイオガス化に向けて準備が進んでいる。

県外で実施している市町の取組概要を表Ⅱ-35、図Ⅱ-22に示す。

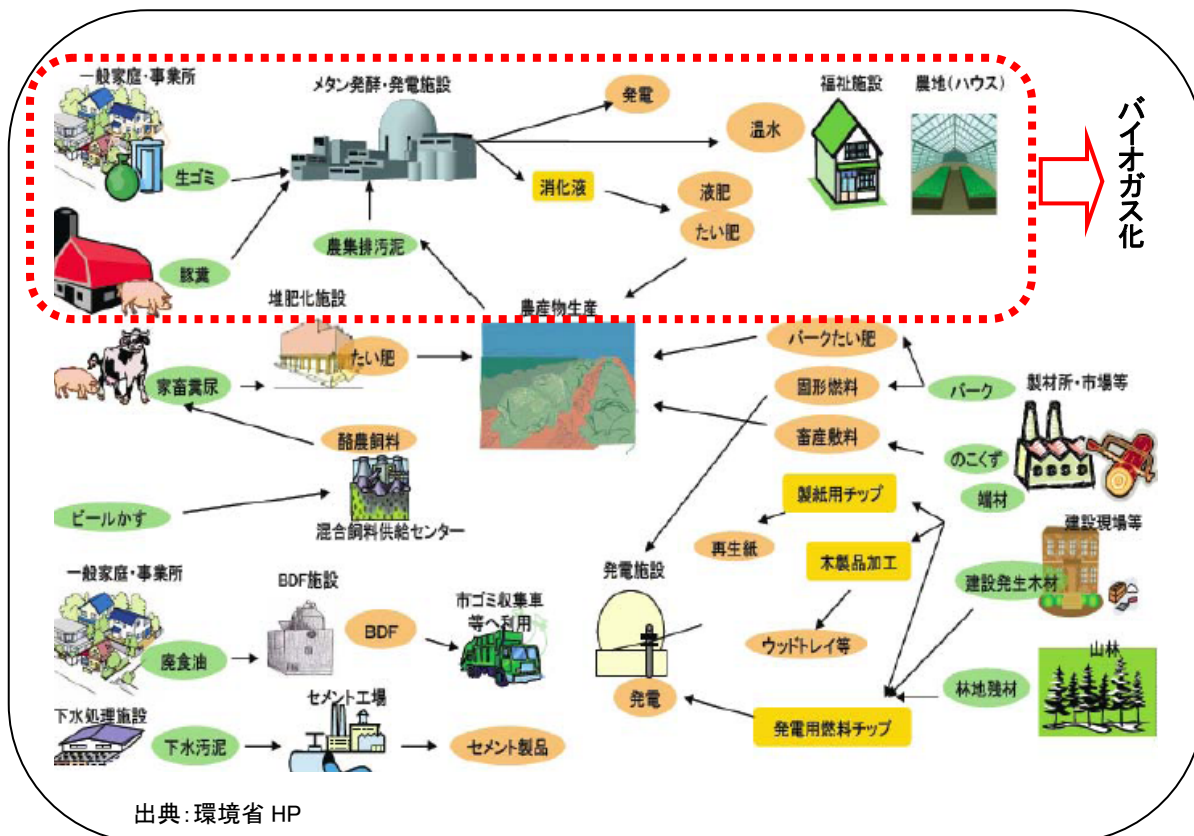
表Ⅱ-35 県外の生ごみバイオガス化実施市町の取組概要

実施市町		実施時期	内容等
北海道 砂川地区保健衛生組合	砂川市、歌志内市、浦臼町、奈井江町、上砂川町	平成15年4月	【エネルギー利用】 施設での利用及び余剰電力は売電 【処理残渣利用】 分別残渣：焼却 発酵残渣：土壌改良材利用 【処理実績】(H17年度) 処理量(搬入量)：3,633t バイオガス回収量：590,723Nm ³ 発電量：753,469kWh 電気使用量：895,697kWh 資源化量：土壌改良材 47t
北海道 北空知衛生センター組合	深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町	平成15年4月	週2回、生ごみ専用有料指定袋に入れ生ごみステーションへ出し収集。それぞれの地域でメタン発酵によるエネルギー回収をしている。 【エネルギー利用】 施設での利用及び余剰電力は売電 【処理残渣利用】 分別残渣：焼却、埋立 発酵残渣：脱水後焼却 (汚泥再生処理センターで焼却処理) 【処理実績】(H17年度) 処理量(搬入量)：3,283t バイオガス回収量：351,736Nm ³ 発電量：482,153kWh 電気使用量：862,481kWh
北海道 中空知衛生施設組合	滝川市、芦別市、赤平市、新十津川町、雨竜町	平成15年4月	【エネルギー利用】 施設での利用及び余剰電力は売電 【処理残渣利用】 分別残渣：焼却、埋立 発酵残渣：堆肥化利用 【処理実績】(H16年度) 処理量(搬入量)：8,352t バイオガス回収量：974,527Nm ³ 発電量：1,617,115kWh 電気使用量：2,223,450kWh 資源化量：堆肥化 388t
大分県日田市		平成18年4月	半透明または透明の袋(指定袋ではない)に入れステーションへ出し収集。 生ごみ、豚糞尿などの有機物をメタン発酵処理をして、発生したバイオガスで発電を行う。 【エネルギー利用】 施設での利用及び余剰電力は売電 【処理残渣利用】 発酵残渣：消化液の一部は、加熱殺菌処理後液肥利用、固形分は、堆肥化 【搬入量】(H18年度) 生ごみ(家庭系・事業系含む)：4,783t 豚ふん尿：8,078t、農業集落排水汚泥：1,166t 焼酎カス：679t 【発電量】(H18年度) 1日あたり3,127kWh(年間平均) (施設運転に必要な電力量：1日あたり5,059kWh) 売電量：18,564kWh

資料：空知支庁HP、各市町HP、メタンガス化(生ごみメタン)施設整備マニュアル(環境省 平成20年1月)、日田市HP

15 バイオスタウンとは、地域内の幅広い関係者が連携しながら、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築されているか、今後構築が見込まれる地域のこと。

県内では、伊賀市もバイオスタウン構想を公表している。



図Ⅱ-22 日田市のバイオマスタウン構想の概要

(3) 剪定枝等の資源化

県内で剪定枝等のごみ収集をし、資源化を行っている市町はないが、いなべ市では一部地区の粗大ごみ処理場及びリサイクルセンターで回収された剪定枝・刈草を市の堆肥施設で堆肥化を行っている。

県外で資源化を行っている市町の取組概要を表Ⅱ-36に示す。

表Ⅱ-36 県外の剪定枝等の資源化実施市町の取組概要

実施市町	実施時期	内容等
東京都町田市	平成20年5月	月2回、ごみステーションで収集。 町田市剪定枝資源化センターに運搬、チップ化・発酵・熟成を経て、土壌改良材(たい肥)にしている。 堆肥は販売をして供給している。 実施以前も旧施設で資源化は行っていたが、搬入だけの受け入れで収集は行っていなかった。 【処理量】収集量:778t、持ち込み量:1,303t(H20年度)
岐阜県各務原市	平成20年4月	家庭系の剪定枝等は、月1~2回、拠点回収にて回収または北清掃センターにて一時ストックし民間資源化施設に搬入、事業系の緑ごみは直接民間資源化施設に搬入する。処理は、堆肥化、またはチップ化し製紙メーカーの燃料代替として利用。 【処理量】堆肥化:330t、チップ化:2,005t(H20年度)

資料:各市町HP、環境省HP

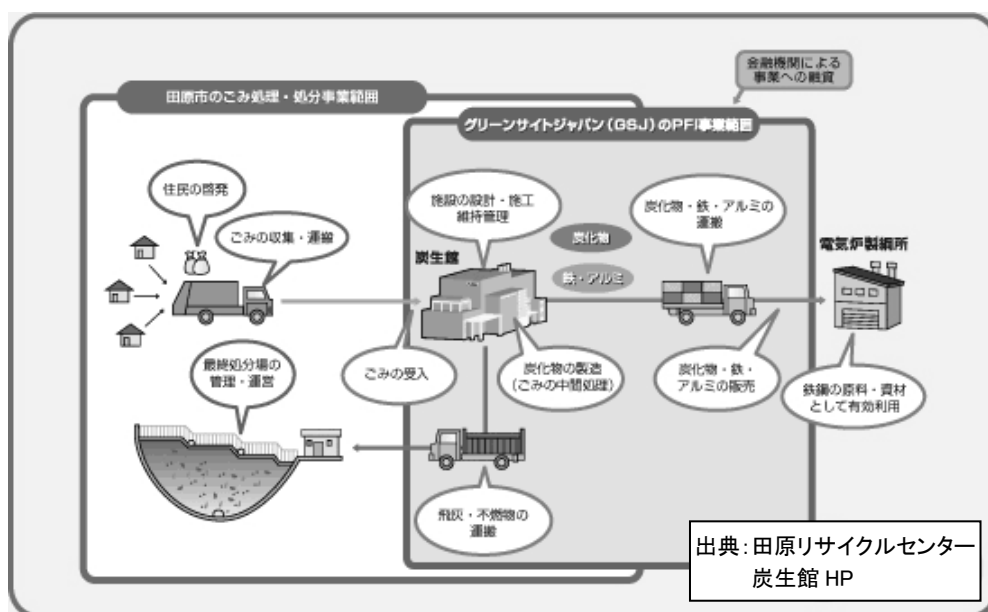
(4) 一般廃棄物（可燃ごみ）の資源化（炭化）

一般廃棄物のうち可燃ごみを炭化処理する施設が愛知県田原市にある。平成17年4月1日から稼働し、この施設は、特定事業者がPFI方式¹⁶により運営・管理を行っている施設で、可燃ごみから製造する炭化物や有価金属は愛知県内の企業にて有効活用できる販売網を構築している。また、施設的设计・施工、環境管理、炭化物利用の各業務は、出資会社を中心となりそれぞれ専門分野を担当することで、事業運営を円滑に行っている。事業概要を表Ⅱ-37、ごみ処理事業（炭化）の流れを図Ⅱ-23に示す。

表Ⅱ-37 田原市の炭化処理の事業概要

稼働時期	平成17年4月
事業概要	住民の出すもやせるごみを収集、田原リサイクルセンターへ運搬する。ごみを炭化処理後の炭化物、鉄・アルミを販売、電気炉製鋼所で鉄鉱の原料・資材として利用される。
施設概要	処理方式: 流動床式炭化炉方式 処理能力: 60t/日 炭化物利用方法: 電気炉製鋼用コークス代替品、電気炉製鋼用保温材代替品

資料: 田原リサイクルセンター 炭生館HP



図Ⅱ-23 PFI手法の採用によるごみ処理事業（炭化）の流れ

16 PFI方式とは、地方自治体等が公共サービスを住民に提供するための方法のひとつ。地方自治体は民間が出資・設立した「特別目的会社」とパートナーシップを構築して、民間が公共サービスの一部を地方自治体に代わって提供する。特別目的会社は、民間の資金、経営ノウハウ及び技術力を活用し、事業資金の調達から始まり、公共施設等の建設、維持管理、運営等の業務を創意工夫して実施する。

PFI方式の導入により、「事業コストの削減」や「より質の高い公共サービスの提供」が期待できる。

資料編

資料1. 家庭ごみ組成分析調査結果

(1) ① 伊勢市(住宅地域(旧来)、住宅地域(郊外))

単位: (%)

対象地域区分				住宅地域(旧来)						住宅地域(郊外)A						住宅地域(郊外)B						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	3.1	0.8	0.8	0.3	-15.1	-8.7	43.1	7.3	56.5	22.5	-13.4	-15.2	45.3	6.9	61.3	31.7	-16.0	-24.8	
		調理くず、残飯	2	30.0	4.2	46.8	10.6	-16.8	-6.4	35.6	5.4	52.3	18.0	-16.7	-12.6	39.3	5.7	37.5	12.4	1.8	-6.7	
	草木類	剪定枝	3			1.2	2.4	-1.2	-2.4	1.0	1.0	2.5	4.3	-1.5	-3.3	1.0	0.1	18.1	16.3	-17.1	-16.2	
		使い捨て用品	4	0.7	0.0	0.3	0.3	0.4	-0.4	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	1.0	0.1	0.1	0.0	0.9	0.1	
		その他	5	0.4	0.0	0.3	0.3	0.1	-0.3							0.7	0.1	0.8	0.8	-0.1	-0.7	
紙類				37.2	47.5	33.5	37.9	3.7	9.6	44.9	53.6	31.8	42.6	13.1	11.0	29.5	43.3	21.1	27.3	8.4	16.0	
容器包装	ダンボール	ダンボール	6	2.1	1.9	0.1	0.0	2.0	1.9	0.8	1.0	0.2	0.3	0.6	0.7	1.0	2.1	0.5	0.6	0.5	1.5	
		紙パック	7	1.0	1.0	0.7	2.2	0.3	-1.2	0.4	0.1	0.2	0.7	0.2	-0.6	1.0	1.1	1.0	1.8	0.0	-0.7	
		食料品容器	8	1.5	2.9	3.5	7.4	-2.0	-4.5	1.7	4.0	1.9	5.1	-0.2	-1.1	2.4	4.3	1.5	3.9	0.9	0.4	
		日用品容器	9	0.9	1.9	1.7	3.8	-0.8	-1.9	1.8	6.1	1.9	5.8	-0.1	0.3	0.8	2.1	1.1	3.1	-0.3	-1.0	
		その他容器包装	10	0.8	1.9	0.5	3.2	0.3	-1.3	1.6	6.1	0.3	1.0	1.3	5.1	0.8	1.1	0.5	2.1	0.3	-1.0	
		容器包装(汚れのひどいもの)	11	1.6	1.0	0.2	0.3	1.4	0.7	1.6	4.0	0.1	0.0	1.5	4.0			0.1	0.3	-0.1	-0.3	
	容器包装以外	新聞紙	12	9.9	9.5	1.9	0.7	8.0	8.8	0.4	3.0	1.1	0.7	-0.7	2.3	2.1	7.5	0.4	0.3	1.7	7.2	
		チラシ	13	6.3	8.6	5.9	3.1	0.4	5.5	2.8	6.1	2.7	2.0	0.1	4.1	1.9	5.4	0.5	0.3	1.4	5.1	
		雑誌	14	1.5	0.5	4.0	1.9	-2.5	-1.4				2.4	1.2	-2.4	-1.2	1.0	0.2	2.3	0.5	-1.3	-0.3
		書籍	15										4.1	1.4	-4.1	-1.4	2.4	1.1			2.4	1.1
		OA用紙	16			0.3	0.0	-0.3	0.0	0.3	1.0	0.5	0.4	-0.2	0.6	0.8	3.2	0.1	0.0	0.7	3.2	
		OA用紙(シュレッダー後)	17	0.9	1.0			0.9	1.0													
		雑紙	18	1.5	3.8	0.6	0.3	0.9	3.5	1.7	4.0	1.2	2.0	0.5	2.0	2.4	1.1	0.2	0.3	2.2	0.8	
汚れた新聞、チラシ	19	1.5	7.6	1.9	6.5	-0.4	1.1	0.9	1.0	2.0	6.1	-1.1	-5.1	1.7	3.2	1.0	3.4	0.7	-0.2			
使い捨て用品(ティッシュ等)	20	5.7	4.8	5.8	2.2	-0.1	2.6	4.1	5.0	3.3	4.4	0.8	0.6	6.7	7.5	2.9	2.3	3.8	5.2			
その他紙類	21	0.4	1.0	1.9	2.9	-1.5	-1.9	0.9	1.0	1.9	6.9	-1.0	-5.9	1.3	0.2	0.6	2.3	0.7	-2.1			
紙おむつ等	22	0.9	0.3	4.2	2.4	-3.3	-2.1	25.2	10.1	7.9	4.6	17.3	5.5	1.7	2.1	7.9	4.7	-6.2	-2.6			
生理用品	23	0.7	0.0	0.3	1.0	0.4	-1.0	0.8	1.0	0.1	0.0	0.7	1.0	1.2	1.1	0.5	1.4	0.7	-0.3			
繊維類				1.7	1.0	2.5	2.2	-0.8	-1.2	1.7	1.0	2.9	3.1	-1.2	-2.1	4.9	7.5	5.9	5.7	-1.0	1.8	
衣類等	衣類等	24	0.7	0.0			0.7	0.0							1.7	1.1	0.9	0.4	0.8	0.7		
	その他繊維類	25	0.9	1.0	2.5	2.2	-1.6	-1.2	1.7	1.0	2.9	3.1	-1.2	-2.1	3.1	6.4	5.0	5.3	-1.9	1.1		
プラスチック類				11.2	33.3	9.1	40.7	2.1	-7.4	8.3	32.6	5.9	22.5	2.4	10.1	11.7	36.8	8.6	29.8	3.1	7.0	
容器包装	ペットボトル	26	0.4	0.1	0.1	0.2	0.3	-0.1									0.1	0.0	-0.1	0.0		
	その他のボトル	27	0.7	1.0	0.7	0.3	0.0	0.7				0.2	0.0	-0.2	0.0	0.7	0.1	0.1	0.0	0.6	0.1	
	チューブ類	28	0.4	0.1			0.4	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2	-0.2		
	白色トレイ	29	0.5	0.2	0.2	0.5	0.3	-0.3	0.4	1.0			0.4	1.0	0.8	1.1	0.0	0.0	0.8	1.1		
	色付きトレイ	30	0.7	0.2	0.1	0.0	0.6	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1			0.0	0.0	0.0	0.0		
	持ち帰り弁当の容器	31	0.4	0.1			0.4	0.1			0.1	0.7	-0.1	-0.7			0.5	3.1	-0.5	-3.1		
	食料品の容器・袋	32	2.4	9.5	2.9	12.8	-0.5	-3.3	3.2	10.1	1.2	7.2	2.0	2.9	3.5	10.7	1.6	6.7	1.9	4.0		
	日用品の容器・袋	33	0.7	1.0	0.5	3.2	0.2	-2.2	0.9	4.0	0.2	3.1	0.7	0.9	0.3	1.1	0.2	0.5	0.1	0.6		
	レジ袋(中身なし)	34	0.6	0.2	0.4	3.2	0.2	-3.0				0.1	0.3	-0.1	-0.3							
	レジ袋(中身あり)	35	1.4	9.5	2.9	16.0	-1.5	-6.5	0.9	9.1	0.7	2.5	0.2	6.6	1.6	10.7	1.5	5.2	0.1	5.5		
	その他プラスチック	36	0.4	0.0	0.0	0.2	0.4	-0.2	0.4	0.0	0.1	0.0	-0.1	0.0	0.5	0.1	0.1	0.0	0.4	0.1		
	その他プラスチック	37	0.9	5.7	0.6	3.5	0.3	2.2	0.2	1.0	2.0	6.3	-1.8	-5.3	1.9	7.5	0.5	3.1	1.4	4.4		
	容器包装以外	使い捨て用品	38	0.9	4.8			0.9	4.8	1.1	7.1			1.1	7.1	0.7	5.4	0.0	0.0	0.7	5.4	
その他プラスチック用品	39	0.8	1.0	0.7	0.8	0.1	0.2	0.9	0.2	1.2	2.4	-0.3	-2.2	1.3	0.2	3.9	10.9	-2.6	-10.7			
金属類				2.0	0.3	0.5	0.7	1.5	-0.4	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	-0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.4	-0.2	
容器	アルミ缶	40	0.6	0.1			0.6	0.1														
	スチール缶	41	0.6	0.1	0.1	0.0	0.5	0.1							0.5	0.1				0.5	0.1	
	その他金属容器	42			0.2	0.4	-0.2	-0.4														
	容器以外	43	0.9	0.1	0.2	0.3	0.7	-0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	-0.1			0.1	0.3	-0.1	-0.3		
びん類				0.9	0.1	0.9	0.0	0.0	0.1							0.2	0.1			0.2	0.1	
リターナブルびん	リターナブルびん	44																				
	無色雑びん	45	0.9	0.1			0.9	0.1							0.2	0.1			0.2	0.1		
	茶色雑びん	46			0.9	0.0	-0.9	0.0														
	その他色雑びん	47																				
飲料用以外のびん	48																					
その他				12.7	12.6	4.1	4.6	8.6	8.0	1.5	5.3	2.7	9.0	-1.2	-3.7	8.0	5.3	3.0	5.2	5.0	0.1	
ごみ袋(外袋)	指定袋	49	1.3	10.7			1.3	10.7	0.7	5.0	0.8	5.1	-0.1	-0.1	0.6	2.9	1.2	3.8	-0.6	-0.9		
	市販の袋(透明、半透明)	50			1.0	3.2	-1.0	-3.2														
	レジ袋	51			0.0	0.0	0.0	0.0														
	その他	52																				
その他	ゴム・皮革類	53	0.3	0.0			0.3	0.0	0.3	0.1	0.5	0.2	-0.2	-0.1			1.3	0.9	-1.3	-0.9		
	ガラス・陶磁器くず	54																				
	土砂・残土・灰	55	2.1	0.2	2.0	0.4	0.1	-0.2														
	ペット砂(樹脂製等)	56																				
	ペット砂(紙製等)	57	2.7	0.2			2.7	0.2														
	蛍光灯	58																				
	電池	59													0.6	0.1			0.6	0.1		
	体温計・温度計	60																				
	危険物	61																				
	医療廃棄物	62																0.1	0.0	-0.1	0.0	
	製品廃棄物	63																				
	その他	64	6.3	1.4	1.1	1.0	5.2	0.4	0.6	0.2	1.4	3.7	-0.8	-3.5	6.8	2.3	0.4	0.5	6.4	1.8		
ごみ袋(内袋)	指定袋	65																				
合計				100.0	100.0	100.0	100.0															

(1) ② 伊勢市（農村地域、住商業地域、集合住宅地域（家族世帯））

単位：(%)

対象地域区分				農村地域						商住混合地域						集合住宅(家族世帯)						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1																			
		調理くず、残飯	2	53.6	9.8	44.9	12.8	8.7	-3.0	42.5	3.2	29.7	10.5	12.8	-7.3	35.5	6.3	47.5	15.3	-12.0	-9.0	
	草木類	剪定枝	3	0.7	0.1	0.9	1.0	-0.2	-0.9	0.5	0.4			0.5	0.4			0.3	0.7	-0.3	-0.7	
		使い捨て用品	4	0.9	0.1	0.1	0.2	0.8	-0.1	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	-0.1	
		その他	5	0.6	0.1	0.1	0.0	0.5	0.1			0.3	0.1	-0.3	-0.1	2.8	1.2	0.1	0.0	2.7	1.2	
紙類	容器包装	ダンボール	6	1.5	2.5	0.5	0.3	1.0	2.2	1.0	2.1	0.9	0.1	0.1	2.0	0.6	0.1	2.0	7.2	-1.4	-7.1	
		紙バック	7	1.5	2.5	0.8	0.5	0.7	2.0	0.3	0.7	0.8	1.0	-0.5	-0.3	0.9	1.2	0.9	2.7	0.0	-1.5	
		食料品容器	8	1.0	1.2	1.5	4.9	-0.5	-3.7	3.5	7.2	1.7	6.5	1.8	0.7	1.7	3.6	2.4	4.8	-0.7	-1.2	
		日用品容器	9	1.5	2.5	0.8	3.3	0.7	-0.8	2.8	3.6	1.1	1.6	1.7	2.0	1.6	2.4	2.4	3.8	-0.8	-1.4	
		その他容器包装	10	0.7	2.5	0.4	0.3	0.3	2.2	1.7	6.4	0.8	9.8	0.9	-3.4	0.9	3.6	0.7	1.5	0.2	2.1	
		容器包装(汚れのひどいもの)	11	0.7	1.2	0.1	0.3	0.6	0.9	2.5	2.1	0.1	0.0	2.4	2.1	1.4	1.2	0.2	0.7	1.2	0.5	
	容器包装以外	新聞紙	12	0.7	1.2			0.7	1.2	1.9	2.9	0.2	0.0	1.7	2.9	1.4	4.7	0.4	0.3	1.0	4.4	
		チラシ	13	1.5	3.7	0.4	0.7	1.1	3.0	5.0	5.0	3.2	1.6	1.8	3.4	4.1	9.5	3.2	2.3	0.9	7.2	
		雑誌	14	1.5	1.2	0.4	0.2	1.1	1.0			1.4	0.0	-1.4	0.0	0.6	1.2	2.2	0.6	-1.6	0.6	
		書籍	15							0.4	0.1			0.4	0.1							
		OA用紙	16	0.7	0.2			0.7	0.2	0.7	1.4	8.6	3.3	-7.9	-1.9			0.4	0.5	-0.4	-0.5	
		OA用紙(シュレッダー後)	17									33.6	28.1	-33.6	-28.1	0.3	0.1			0.3	0.1	
		雑紙	18	1.2	2.5	0.1	0.2	1.1	2.3	1.7	3.6	0.9	1.3	0.8	2.3	1.0	4.7	1.1	1.7	-0.1	3.0	
	汚れた新聞、チラシ	19	2.1	6.1	4.1	3.3	-2.0	2.8	3.9	5.7	1.0	6.5	2.9	-0.8	1.0	1.2	1.7	4.8	-0.7	-3.6		
	使い捨て用品(ティッシュ等)	20	3.9	4.9	1.8	11.4	2.1	-6.5	7.4	6.4	2.8	3.3	4.6	3.1	4.1	4.7	4.8	3.0	-0.7	1.7		
	その他紙類	21	0.7	1.2	0.5	1.6	0.2	-0.4	2.1	1.4	1.3	4.9	0.8	-3.5	0.9	1.2	1.9	4.1	-1.0	-2.9		
	紙おむつ等	紙おむつ	22	5.1	3.7	11.5	6.8	-6.4	-3.1	6.0	2.1			6.0	2.1	12.1	7.1	8.3	5.1	3.8	2.0	
生理用品		23			0.1	0.0	-0.1	0.0	0.5	0.1	0.2	0.3	0.3	-0.2	0.3	0.1	0.5	0.7	-0.2	-0.6		
繊維類	衣類等	24							3.2	3.6	0.2	0.1	3.0	3.5	0.4	0.1	3.9	3.4	-3.5	-3.3		
	その他繊維類	25	3.4	3.7	3.4	1.3	0.0	2.4	0.2	0.1	4.4	4.9	-4.2	-4.8	0.9	1.2	1.0	1.5	-0.1	-0.3		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	26			0.1	0.2	-0.1	-0.2			0.1	0.0	-0.1	0.0			0.6	0.7	-0.6	-0.7	
		その他のボトル	27	1.2	1.2	0.1	0.1	1.1	1.1	1.0	0.7	0.1	0.0	0.9	0.7	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	
		チューブ類	28			0.4	0.0	-0.4	0.0	0.1	0.0			0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	-0.1	-0.1	
		白色トレイ	29	0.3	0.1	0.1	0.5	0.2	-0.4			0.0	0.2	0.0	-0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	-0.2	
		色付きトレイ	30	0.3	0.2			0.3	0.2			0.1	0.5	-0.1	-0.5	0.3	0.1	0.1	0.7	0.2	-0.6	
		持ち帰り弁当の容器	31			0.1	0.7	-0.1	-0.7	0.0	0.1	0.2	0.7	-0.2	-0.6			0.0	0.3	0.0	-0.3	
		食料品の容器・袋	32	3.3	12.3	1.9	8.2	1.4	4.1	1.7	7.2	1.6	6.6	0.1	0.6	4.1	11.9	2.0	9.8	2.1	2.1	
		日用品の容器・袋	33	0.9	1.2	0.0	0.0	0.9	1.2	0.4	5.7	0.1	0.0	0.3	5.7	0.6	0.2	0.5	2.4	0.1	-2.2	
		レジ袋(中身なし)	34	0.4	0.1	0.5	2.6	-0.1	-2.5			0.1	1.0	-0.1	-1.0	0.0	0.1			0.0	0.1	
		レジ袋(中身あり)	35	2.1	11.0	0.4	1.6	1.7	9.4	1.0	6.4	0.8	2.0	0.2	4.4	1.3	9.5	1.4	8.6	-0.1	0.9	
		その他プラスチック	36	0.4	0.1	1.1	13.1	-0.7	-13.0	0.0	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	
		その他プラスチック	37	1.6	8.6	10.3	12.4	-8.7	-3.8	1.0	5.7	0.3	1.3	0.7	4.4	0.3	3.6	0.9	2.2	-0.6	1.4	
		容器包装以外	使い捨て用品	38	1.0	4.9			1.0	4.9	1.0	7.2			1.0	7.2	1.4	8.3			1.4	8.3
	その他プラスチック用品	39	1.0	0.6	2.0	3.6	-1.0	-3.0	0.7	0.7	0.6	0.3	0.1	0.4	0.3	0.1	1.6	2.3	-1.3	-2.2		
金属類	容器	アルミ缶	40							0.3	0.1			0.3	0.1							
		スチール缶	41							0.0	0.1	0.5	0.5	-0.5	-0.4							
		その他金属容器	42															0.1	0.4	-0.1	-0.4	
	容器以外	43	0.9	0.1	0.1	0.0	0.8	0.1	0.3	0.1			0.3	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1		
びん類	リターナブルびん	無色雑びん	44									0.2	0.0	-0.2	0.0							
		茶色雑びん	45																			
		その他色雑びん	46									0.2	0.0	-0.2	0.0							
		飲料用以外のびん	47																			
		飲料用以外のびん	48																			
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	49	0.7	6.1	1.4	4.9	-0.7	1.2	0.9	7.2	0.8	2.5	0.1	4.7	0.7	8.0	0.7	3.0	0.0	5.0	
		市販の袋(透明、半透明)	50																			
		レジ袋	51																			
		その他	52																			
	その他	ゴム・皮革類	53	1.5	2.5	1.7	0.7	-0.2	1.8	0.0	0.0			0.0	0.0	0.9	0.1	0.2	0.2	0.7	-0.1	
		ガラス・陶磁器くず	54															0.5	0.4	-0.5	-0.4	
		土砂・残土・灰	55																			
		ペット砂(樹脂製等)	56																			
		ペット砂(紙製等)	57																			
		蛍光管	58													0.9	0.1			0.9	0.1	
		電池	59																			
		体温計・温度計	60																			
		危険物	61																			
		医療廃棄物	62			0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0							
		製品廃棄物	63																			
その他	64	0.7	0.1	0.9	0.3	-0.2	-0.2	2.5	0.1	0.7	0.3	1.8	-0.2	2.3	0.2	1.0	0.3	1.3	-0.1			
ごみ袋(内袋)	指定袋	65																				
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(1) ③ 伊勢市（集合住宅地域（単身世帯）、市平均）

単位：(%)

対象地域区分				集合住宅(単身世帯)						伊勢市7地域平均						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	4.6	0.4	24.6	13.3	-20.0	-12.9	4.4	0.7	5.7	2.8	-1.3	-2.1	
		調理くず、残飯	2	21.5	1.5	4.0	0.5	17.5	1.0	37.3	4.8	38.2	11.7	-0.9	-6.9	
	草木類	剪定枝	3	13.6	4.4	0.0	0.0	13.6	4.4	2.1	0.9	3.6	4.1	-1.5	-3.2	
		使い捨て用品	4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.6	0.1	0.2	0.1	0.4	0.0	
		その他	5			0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.5	0.0	
紙類	容器包装	ダンボール	6	0.0	0.0	2.6	3.9	-2.6	-3.9	1.0	1.4	1.0	1.7	0.0	-0.3	
		紙パック	7	0.4	0.3	0.7	1.9	-0.3	-1.6	0.8	0.9	0.7	1.5	0.1	-0.6	
		食料品容器	8	2.8	3.5	2.1	3.8	0.7	-0.3	2.0	4.0	2.0	5.3	0.0	-1.3	
		日用品容器	9	2.2	2.6	2.0	4.2	0.2	-1.6	1.6	3.1	1.5	3.6	0.1	-0.5	
		その他容器包装	10	2.2	7.0	0.5	2.3	1.7	4.7	1.2	4.3	0.5	2.9	0.7	1.4	
		容器包装(汚れのひどいもの)	11			0.4	0.8	-0.4	-0.8	1.2	1.4	0.1	0.3	1.1	1.1	
		容器包装以外	新聞紙	12	1.1	0.3	2.6	1.0	-1.5	-0.7	2.6	4.1	0.8	0.4	1.8	3.7
			チラシ	13	3.2	2.6	7.4	1.7	-4.2	0.9	3.6	5.7	3.1	1.6	0.5	4.1
			雑誌	14	2.8	1.7	7.0	1.9	-4.2	-0.2	1.0	0.7	2.6	0.9	-1.6	-0.2
			書籍	15	3.0	0.3			3.0	0.3	0.7	0.2	0.6	0.2	0.1	0.0
			OA用紙	16	0.4	1.7	0.8	0.8	-0.4	0.9	0.4	1.1	1.6	0.7	-1.2	0.4
	OA用紙(シュレッダー後)		17							0.2	0.2	5.1	3.9	-4.9	-3.7	
	雑紙		18	1.2	2.6	3.4	4.3	-2.2	-1.7	1.5	3.2	1.0	1.3	0.5	1.9	
	汚れた新聞、チラシ		19	0.4	1.7	3.9	4.8	-3.5	-3.1	1.6	3.9	2.2	5.0	-0.6	-1.1	
	使い捨て用品(ティッシュ等)		20	5.0	3.5	3.5	4.8	1.5	-1.3	5.2	5.3	3.5	4.4	1.7	0.9	
	その他紙類		21	0.8	0.9	1.1	3.0	-0.3	-2.1	1.0	1.0	1.3	3.6	-0.3	-2.6	
	紙おむつ等	紙おむつ	22	3.6	1.7	7.0	4.7	-3.4	-3.0	8.0	3.7	6.8	4.0	1.2	-0.3	
		生理用品	23	0.4	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	0.5	0.3	0.3	0.6	0.2	-0.3	
	繊維類			4.1	5.2	4.2	2.9	-0.1	2.3	2.8	3.4	4.1	3.7	-1.3	-0.3	
		衣類等	24	2.8	3.5	4.1	2.9	-1.3	0.6	1.2	1.4	1.3	0.9	-0.1	0.5	
		その他繊維類	25	1.3	1.7	0.1	0.0	1.2	1.7	1.7	2.0	2.8	2.8	-1.1	-0.8	
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	26	0.4	0.9	0.4	0.6	0.0	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	0.0
			その他のボトル	27	0.4	0.2	0.8	6.8	-0.4	-6.6	0.6	0.5	0.3	0.9	0.3	-0.4
チューブ類			28	0.4	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.1	
白色トレイ			29	0.3	0.9	0.1	0.8	0.2	0.1	0.3	0.5	0.0	0.3	0.3	0.2	
色付きトレイ			30	0.4	1.7	0.1	0.2	0.3	1.5	0.3	0.4	0.0	0.2	0.3	0.2	
持ち帰り弁当の容器			31	1.4	8.7	0.3	0.8	1.1	7.9	0.2	1.4	0.2	1.0	0.0	0.4	
食料品の容器・袋			32	4.5	17.4	3.5	12.4	1.0	5.0	3.2	11.1	2.1	9.0	1.1	2.1	
日用品の容器・袋			33	0.3	2.6	0.8	3.0	-0.5	-0.4	0.6	2.5	0.3	1.7	0.3	0.8	
レジ袋(中身なし)			34							0.2	0.0	0.1	1.0	0.1	-1.0	
レジ袋(中身あり)			35	2.7	8.7	1.8	5.9	0.9	2.8	1.5	9.1	1.3	6.0	0.2	3.1	
その他プラスチック容器			36	0.3	0.0	7.5	0.2	-7.2	-0.2	0.3	0.0	1.1	1.9	-0.8	-1.9	
その他プラスチック			37	0.4	0.9	0.7	2.3	-0.3	-1.4	0.9	4.6	2.4	4.4	-1.5	0.2	
容器包装以外			38	0.5	2.6	0.1	0.0	0.4	2.6	1.0	5.7	0.0	0.0	1.0	5.7	
その他プラスチック用品			39	3.2	1.7	2.2	2.3	1.0	-0.6	1.1	0.7	1.8	3.5	-0.7	-2.8	
金属類		容器	アルミ缶	40	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
	スチール缶		41							0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	-0.1	
	その他金属容器		42			0.1	0.1	-0.1	-0.1			0.0	0.1	0.0	-0.1	
	容器以外	43	1.6	0.9	0.0	0.0	1.6	0.9	0.6	0.2	0.1	0.1	0.5	0.1		
	びん類		リターナブルびん	44							0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
無色雑びん			45							0.2	0.0			0.2	0.0	
茶色雑びん			46									0.1	0.0	-0.1	0.0	
その他色雑びん			47													
飲料用以外のびん			48													
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	49	1.5	8.2	1.0	3.0	0.5	5.2	0.9	7.0	1.1	3.2	-0.2	3.8	
		市販の袋(透明、半透明)	50				0.0	0.0	0.0			0.1	0.5	-0.1	-0.5	
		レジ袋	51	0.1	0.0			0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他	52													
	その他	ゴム・皮革類	53	0.4	0.1	0.9	0.4	-0.5	-0.3	0.5	0.3	0.7	0.3	-0.2	0.0	
		ガラス・陶磁器くず	54	3.6	0.4			3.6	0.4	0.4	0.1			0.4	0.1	
		土砂・残土・灰	55							0.3	0.0	0.3	0.1	0.0	-0.1	
		ペット砂(樹脂製等)	56													
		ペット砂(紙製等)	57							0.4	0.0			0.4	0.0	
		蛍光管	58							0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
		電池	59							0.1	0.0			0.1	0.0	
		体温計・温度計	60													
		危険物	61													
		医療廃棄物	62			0.3	0.0	-0.3	0.0			0.1	0.0	-0.1	0.0	
		製品廃棄物	63													
		その他	64	4.1	1.7	0.8	0.2	3.3	1.5	3.3	0.9	0.8	0.9	2.5	0.0	
		ごみ袋(内袋)	指定袋	65												
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0				

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(2) ① 名張市（住宅地域（旧来）、住宅地域（郊外））

単位：(%)

対象地域区分				住宅地域(旧来)						住宅地域(郊外)A						住宅地域(郊外)B					
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)	
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	1.5	0.1	0.4	0.1	1.1	0.0	2.5	0.8	15.4	8.9	-12.9	-8.1	1.2	0.4	0.8	0.2	0.4	0.2
		調理くず、残飯	2	45.3	10.2	48.6	19.8	-3.3	-9.6	31.7	5.4	40.0	16.2	-8.3	-10.8	43.8	6.6	24.4	10.2	19.4	-3.6
	草木類	剪定枝	3	10.7	12.9	17.2	15.8	-6.5	-2.9	11.3	6.9	3.2	2.5	8.1	4.4	10.1	7.5	33.4	33.0	-23.3	-25.5
		使い捨て用品	4	0.5	0.6	0.0	0.1	0.5	0.5	0.3	0.3	0.1	0.0	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
		その他	5	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0			0.2	0.0	-0.2	0.0	0.7	0.1			0.7	0.1
紙類				28.9	36.8	20.3	33.9	8.6	2.9	34.5	55.2	29.8	45.7	4.7	9.5	33.7	49.5	25.3	28.7	8.4	20.8
容器包装	ダンボール	6								0.2	0.3	3.6	4.1	-3.4	-3.8	0.7	0.5	1.9	2.6	-1.2	-2.1
	紙パック	7	0.4	0.4	0.3	0.5	0.1	-0.1	1.6	3.5			1.6	3.5	0.7	0.9	0.1	0.0	0.6	0.9	
	食料品容器	8	1.3	1.3	2.5	7.3	-1.2	-6.0	1.6	4.3	3.4	4.8	-1.8	-0.5	1.1	2.8	0.9	0.9	0.2	1.9	
	日用品容器	9	1.9	2.6	0.6	1.0	1.3	1.6	2.6	6.9	2.4	3.8	0.2	3.1	1.1	2.8	2.0	3.9	-0.9	-1.1	
	その他容器包装	10	0.9	1.3	0.5	1.5	0.4	-0.2	0.7	1.7	2.4	7.4	-1.7	-5.7	1.2	7.5	0.3	1.1	0.9	6.4	
	容器包装(汚れのひどいもの)	11	1.1	1.3	1.8	6.1	-0.7	-4.8	0.3	0.0	0.7	3.4	-0.4	-3.4	0.4	0.1	0.6	1.3	-0.2	-1.2	
	容器包装以外	新聞紙	12	1.8	2.6	0.8	0.7	1.0	1.9	2.1	8.7	0.5	0.0	1.6	8.7	0.7	2.8	0.5	0.5	0.2	2.3
		チラシ	13	1.3	1.3	0.7	0.7	0.6	0.6	1.2	3.5	0.8	0.0	0.4	3.5	2.0	2.8			2.0	2.8
		雑誌	14			0.5	0.5	-0.5	-0.5	0.3	0.9	1.1	0.0	-0.8	0.9	1.6	0.9	0.2	0.4	1.4	0.5
		書籍	15													0.9	0.2			0.9	0.2
		OA用紙	16	0.5	0.4	0.4	0.5	0.1	-0.1	0.4	1.7			0.4	1.7	1.0	3.7	0.5	0.5	0.5	3.2
		OA用紙(シュレッダー後)	17	1.8	6.4			1.8	6.4									0.1	0.5	-0.1	-0.5
		雑誌	18	1.3	1.3	1.6	1.0	-0.3	0.3	0.7	3.5	2.9	4.8	-2.2	-1.3	2.7	4.7	0.3	1.3	2.4	3.4
		汚れた新聞、チラシ	19	3.0	6.4	1.2	6.1	1.8	0.3	0.2	0.3	2.5	4.9	-2.3	-4.6	2.7	7.5	0.9	5.1	1.8	2.4
使い捨て用品(ティッシュ等)	20	6.5	2.6	5.7	1.0	0.8	1.6	5.5	7.8	3.8	4.8	1.7	3.0	6.3	5.6	5.7	1.8	0.6	3.8		
その他紙類	21	1.1	1.3	2.5	4.6	-1.4	-3.3	0.4	1.7	2.3	4.3	-1.9	-2.6	0.7	1.9	2.9	4.4	-2.2	-2.5		
紙おむつ	22	6.0	7.7	0.4	0.5	5.6	7.2	16.2	8.7	3.4	3.4	12.8	5.3	9.4	4.7	8.3	4.1	1.1	0.6		
生理用品	23			0.8	1.9	-0.8	-1.9	0.4	1.7			0.4	1.7	0.4	0.1	0.1	0.3	0.3	-0.2		
繊維類				1.4	0.4	0.1	0.1	1.3	0.3	0.9	0.3	3.8	1.7	-2.9	-1.4	1.6	1.0	7.6	5.5	-6.0	-4.5
衣類等		24	0.8	0.3	0.1	0.0	0.7	0.3	0.4	0.2	3.6	1.5	-3.2	-1.3	0.3	0.0	7.6	5.5	-7.3	-5.5	
	その他繊維類	25	0.6	0.1	0.0	0.1	0.6	0.0	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	1.2	0.9			1.2	0.9	
プラスチック類				8.8	33.2	6.1	21.9	2.7	11.3	4.6	20.6	4.8	17.1	-0.2	3.5	5.9	28.4	7.3	19.4	-1.4	9.0
容器包装	ペットボトル	26													0.6	0.1			0.6	0.1	
	その他のボトル	27	0.6	0.1			0.6	0.1											0.6	0.1	
	チューブ類	28	0.4	0.1			0.4	0.1	0.3	0.1			0.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	
	白色トレイ	29	0.4	0.1	0.1	1.0	0.3	-0.9	0.3	0.1			0.3	0.1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	色付きトレイ	30	0.4	0.3			0.4	0.3	0.3	0.1			0.3	0.1	0.2	0.1			0.2	0.1	
	持ち帰り弁当の容器	31	0.5	1.3	0.1	1.0	0.4	0.3			0.1	0.0	-0.1	0.0		0.0	0.4	0.0	-0.4		
	食料品の容器・袋	32	1.8	11.6	3.3	11.3	-1.5	0.3	1.3	6.1	1.8	5.3	-0.5	0.8	1.6	9.4	1.6	5.7	0.0	3.7	
	日用品の容器・袋	33	0.5	0.3	0.2	0.5	0.3	-0.2	0.2	1.7	0.1	0.0	0.1	1.7	0.4	2.8	0.3	0.9	0.1	1.9	
	レジ袋(中身なし)	34	0.4	0.1	0.1	0.5	0.3	-0.4								0.2	1.3	-0.2	-1.3		
	レジ袋(中身あり)	35	1.3	10.3	1.3	4.8	0.0	5.5	0.2	6.9	1.1	7.5	-0.9	-0.6	0.7	9.4	0.5	2.2	0.2	7.2	
	その他プラスチック	36	0.4	0.0	0.2	0.1	0.2	-0.1							0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	
	その他プラスチック	37	0.9	3.9	0.6	2.5	0.3	1.4	0.7	1.7	0.9	2.9	-0.2	-1.2	0.2	0.9	0.4	1.3	-0.2	-0.4	
	容器包装以外	使い捨て用品	38	0.9	5.1	0.0	0.1	0.9	5.0	1.0	3.5			1.0	3.5	1.2	5.6			1.2	5.6
	その他プラスチック用品	39	0.5	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.2	0.4	0.8	1.4	-0.6	-1.0	0.3	0.1	4.2	7.6	-3.9	-7.5	
金属類				0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.7	0.5	-0.5	-0.2	0.4	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2
容器	アルミ缶	40																			
	スチール缶	41																			
	その他金属容器	42			0.2	0.1	-0.2	-0.1			0.2	0.0	-0.2	0.0							
	容器以外	43	0.5	0.3	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.3	0.5	0.5	-0.3	-0.2	0.4	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2	
びん類						0.7	0.1	-0.7	-0.1												
リターナブルびん		44																			
	無色雑びん	45																			
	茶色雑びん	46																			
	その他色雑びん	47																			
	飲料用以外のびん	48			0.7	0.1	-0.7	-0.1													
その他				2.1	5.5	6.1	7.9	-4.0	-2.4	14.0	10.3	2.0	7.4	12.0	2.9	2.4	6.2	1.1	3.0	1.3	3.2
ごみ袋(外袋)	指定袋	49	1.1	4.8			1.1	4.8	0.4	4.2			0.4	4.2	0.5	5.3			0.5	5.3	
	市販の袋(透明、半透明)	50			0.8	2.0	-0.8	-2.0			0.6	6.2	-0.6	-6.2		0.5	2.9	-0.5	-2.9		
	レジ袋	51			0.3	1.3	-0.3	-1.3			0.2	0.2	-0.2	-0.2		0.0	0.1	0.0	-0.1		
	その他	52																			
その他	ゴム・皮革類	53																			
	ガラス・陶磁器くず	54																			
	土砂・残土・灰	55																			
	ペット砂(樹脂製等)	56																			
	ペット砂(紙製等)	57																			
	蛍光灯	58									0.1	0.0	-0.1	0.0							
	電池	59																			
	体温計・温度計	60																			
	危険物	61																			
	医療廃棄物	62			0.2	0.1	-0.2	-0.1			0.1	0.0	-0.1	0.0		0.3	0.0	-0.3	0.0		
	製品廃棄物	63																			
	その他	64	0.9	0.6	4.8	4.5	-3.9	-3.9	13.6	6.1	1.0	1.0	12.6	5.1	1.8	0.9	0.3	0.0	1.5	0.9	
ごみ袋(内袋)	指定袋	65	0.1	0.0			0.1	0.0													
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0		

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(2) ② 名張市（農村地域、住商業地域、集合住宅地域（家族世帯））

単位：(%)

対象地域区分				農村地域						商住混合地域						集合住宅(家族世帯)						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	7.6	1.9	2.1	1.0	5.5	0.9	2.2	1.7	3.9	1.6	-1.7	0.1	5.4	0.7	0.1	0.0	5.3	0.7	
		調理くず、残飯	2	41.8	7.7	61.8	35.0	-20.0	-27.3	40.5	7.0	51.1	19.0	-10.6	-12.0	49.9	8.4	40.6	16.4	9.3	-8.0	
	草木類	剪定枝	3	0.6	0.3			0.6	0.3	1.6	1.0	12.7	15.1	-11.1	-14.1			1.6	1.8	-1.6	-1.8	
		使い捨て用品	4	0.4	0.1	1.0	1.0	-0.6	-0.9	0.6	0.0	0.6	1.6	0.0	-1.6	0.5	0.1				0.5	0.1
		その他	5	0.6	0.1	0.3	0.1	0.3	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	0.6	0.0			0.3	0.4	-0.3	-0.4	
紙類				24.8	41.0	26.1	39.7	-1.3	1.3	35.5	58.8	22.9	30.0	12.6	28.8	30.6	57.2	41.8	48.2	-11.2	9.0	
容器包装	ダンボール	6	0.6	0.1	0.1	0.1	0.5	0.0	1.1	3.0	0.2	0.1	0.9	2.9	0.5	0.1	1.3	2.3	-0.8	-2.2		
	紙パック	7	0.6	0.5	1.2	3.8	-0.6	-3.3	0.7	0.1	0.5	1.9	0.2	-1.8	0.7	10.5	0.9	1.8	-0.2	8.7		
	食料品容器	8	1.1	2.2	3.4	8.5	-2.3	-6.3	1.7	3.0	1.8	4.9	-0.1	-1.9	1.7	5.3	1.9	2.9	-0.2	2.4		
	日用品容器	9	1.9	3.3	1.7	2.8	0.2	0.5	1.3	3.0	0.5	1.6	0.8	1.4	1.3	2.1	3.2	2.6	-1.9	-0.5		
	その他容器包装	10	1.1	4.4	0.8	2.1	0.3	2.3	2.3	9.9	1.5	3.7	0.8	6.2	1.1	2.1	0.5	1.2	0.6	0.9		
	容器包装(汚れのひどいもの)	11	1.0	1.1	0.4	1.4	0.6	-0.3	1.3	1.0	0.0	0.1	1.3	0.9			0.7	2.3	-0.7	-2.3		
	容器包装以外	新聞紙	12			0.6	0.5	-0.6	-0.5	1.0	1.0	1.3	1.0	-0.3	0.0			4.9	4.6	-4.9	-4.6	
		チラシ	13	1.4	3.3	0.2	0.1	1.2	3.2	2.6	4.9	2.1	1.6	0.5	3.3	1.2	2.1	2.5	1.6	-1.3	0.5	
		雑誌	14			1.3	0.7	-1.3	-0.7	0.7	0.1	0.2	0.1	0.5	0.0	1.3	0.3	0.0	0.0	1.3	0.3	
		書籍	15							3.5	1.0	6.0	3.3	-2.5	-2.3							
		OA用紙	16	0.9	3.3	0.2	0.1	0.7	3.2	2.6	7.9			2.6	7.9	1.3	4.2	0.8	0.4	0.5	3.8	
		OA用紙(シュレッダー後)	17	2.3	5.5			2.3	5.5	0.7	1.0			0.7	1.0	0.6	1.1	0.4	0.3	0.2	0.8	
		雑紙	18	2.7	4.4	1.0	1.4	1.7	3.0	6.0	8.9	0.1	0.1	5.9	8.8	2.6	4.2	0.8	1.2	1.8	3.0	
		汚れた新聞、チラシ	19	1.9	3.3	2.4	7.6	-0.5	-4.3	1.1	2.0	3.6	4.1	-2.5	-2.1	3.2	7.4	4.4	5.3	-1.2	2.1	
		使い捨て用品(ティッシュ等)	20	4.5	5.5	4.9	3.8	-0.4	1.7	4.0	6.9	3.4	5.0	0.6	1.9	5.5	6.3	2.9	4.7	2.6	1.6	
その他紙類	21	0.8	1.1	1.4	2.8	-0.6	-1.7	2.2	2.1	1.3	2.4	0.9	-0.3	1.2	2.1	1.9	4.7	-0.7	-2.6			
紙おむつ等	紙おむつ	22	3.1	2.2	6.1	2.8	-3.0	-0.6	2.3	3.0			2.3	3.0	7.4	6.3	14.5	11.9	-7.1	-5.6		
	生理用品	23	0.9	1.1	0.4	1.2	0.5	-0.1	0.7	0.1	0.4	0.1	0.3	0.0	1.3	3.2	0.2	0.4	1.1	2.8		
繊維類				3.3	5.6	2.1	0.6	1.2	5.0	1.4	0.2	2.6	2.4	-1.2	-2.2	2.0	0.6	1.4	2.4	0.6	-1.8	
衣類等		24	0.6	0.1	1.8	0.5	-1.2	-0.4	0.7	0.1	2.6	2.4	-1.9	-2.3	0.7	0.3	1.1	1.2	-0.4	-0.9		
	その他繊維類	25	2.7	5.5	0.3	0.1	2.4	5.4	0.7	0.1			0.7	0.1	1.3	0.3	0.3	1.2	1.0	-0.9		
プラスチック類				8.5	34.4	4.0	16.9	4.5	17.5	9.7	25.2	3.6	23.8	6.1	1.4	9.0	25.7	5.4	22.6	3.6	3.1	
容器包装	ペットボトル	26			0.2	0.5	-0.2	-0.5	0.6	0.1			0.6	0.1	0.5	0.1			0.5	0.1		
	その他のボトル	27	0.3	0.1			0.3	0.1	0.7	0.0			0.7	0.0	0.7	0.1			0.7	0.1		
	チューブ類	28	0.4	0.1			0.4	0.1	0.7	0.2	0.0	0.1	0.7	0.1	0.7	0.1			0.7	0.1		
	白色トレイ	29			0.0	0.1	0.0	-0.1									0.0	0.3	0.0	-0.3		
	色付きトレイ	30			0.0	0.1	0.0	-0.1			0.0	0.1	0.0	-0.1	0.4	0.1			0.4	0.1		
	持ち帰り弁当の容器	31	0.4	0.1	0.1	0.5	0.3	-0.4			0.7	9.0	-0.7	-9.0								
	食料品の容器・袋	32	2.3	10.9	2.3	8.9	0.0	2.0	1.9	8.9	1.3	5.7	0.6	3.2	1.8	8.4	2.7	11.0	-0.9	-2.6		
	日用品の容器・袋	33	0.7	3.3	0.0	0.1	0.7	3.2	0.7	3.0	0.6	3.3	0.1	-0.3	0.7	1.1	0.4	1.6	0.3	-0.5		
	レジ袋(中身なし)	34	0.5	0.1	0.0	0.1	0.5	0.0	0.7	0.1	0.3	1.4	0.4	-1.3			0.0	0.1	0.0	-0.1		
	レジ袋(中身あり)	35	1.0	10.9	0.4	3.5	0.6	7.4	1.2	6.9	0.4	1.8	0.8	5.1	1.2	7.4	1.6	8.2	-0.4	-0.8		
	その他プラスチック	36	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.1									0.0	0.1	0.0	-0.1		
	その他プラスチック	37	0.9	1.1	0.6	2.4	0.3	-1.3	1.0	1.0	0.3	2.4	0.7	-1.4	0.7	1.1	0.5	1.2	0.2	-0.1		
	容器包装以外	使い捨て用品	38	1.0	7.6			1.0	7.6	1.2	4.0			1.2	4.0	1.2	6.3			1.2	6.3	
		その他プラスチック用品	39	0.6	0.1	0.3	0.6	0.3	-0.5	1.0	1.0			1.0	1.0	1.3	1.1	0.2	0.1	1.1	1.0	
	金属類				0.6	0.2	0.3	0.2	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.1	0.6	-0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.4	0.0
容器	アルミ缶	40																				
	スチール缶	41																				
	その他金属容器	42			0.1	0.1	-0.1	-0.1														
	容器以外	43	0.6	0.2	0.2	0.1	0.4	0.1	0.6	0.0	0.0	0.1	0.6	-0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.4	0.0		
びん類				0.6	0.1			0.6	0.1													
リターナブルびん		44																				
	無色雑びん	45																				
	茶色雑びん	46	0.6	0.1			0.6	0.1														
	その他色雑びん	47																				
	飲料用以外のびん	48																				
その他				11.3	8.6	2.3	5.5	9.0	3.1	7.2	5.9	2.5	6.3	4.7	-0.4	2.2	7.3	8.7	8.1	-6.5	-0.8	
ごみ袋(外袋)	指定袋	49	0.8	4.1			0.8	4.1	0.5	3.7			0.5	3.7	0.8	7.1			0.8	7.1		
	市販の袋(透明、半透明)	50			0.7	2.8	-0.7	-2.8			0.3	2.0	-0.3	-2.0			0.7	3.6	-0.7	-3.6		
	レジ袋	51			0.4	1.7	-0.4	-1.7			0.0	0.1	0.0	-0.1			0.1	0.7	-0.1	-0.7		
	その他	52																				
その他	ゴム・皮革類	53	1.5	1.1			1.5	1.1	1.0	0.0			1.0	0.0			0.2	0.2	-0.2	-0.2		
	ガラス・陶磁器くず	54							1.9	0.2			1.9	0.2								
	土砂・残土・灰	55																				
	ペット砂(樹脂製等)	56																				
	ペット砂(紙製等)	57	1.5	0.2			1.5	0.2														
	蛍光灯	58																				
	電池	59																				
	体温計・温度計	60															0.1	0.1	-0.1	-0.1		
	危険物	61																				
	医療廃棄物	62			0.0	0.1	0.0	-0.1			0.0	0.1	0.0	-0.1								
	製品廃棄物	63																				
	その他	64	7.4	2.2	1.2	0.9	6.2	1.3	3.8	2.0	2.2	4.1	1.6	-2.1	1.4	0.2	7.6	3.5	-6.2	-3.3		
ごみ袋(内袋)	指定袋	65	0.1	1.0			0.1	1.0														
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0				

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す

(2) ③ 名張市（集合住宅地域（単身世帯）、市平均）

単位：(%)

対象地域区分				集合住宅(単身世帯)						名張市7地域平均						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	3.9	0.2	0.0	0.0	3.9	0.2	3.6	0.8	3.9	2.0	-0.3	-1.2	
		調理くず、残飯	2	15.3	1.5	16.6	5.4	-1.3	-3.9	38.9	6.0	43.8	17.7	-4.9	-11.7	
	草木類	剪定枝	3	0.8	0.3	44.0	20.6	-43.2	-20.3	5.0	3.6	11.6	12.4	-6.6	-8.8	
		使い捨て用品	4	1.4	0.3	0.4	0.1	1.0	0.2	0.6	0.2	0.4	0.4	0.2	-0.2	
		その他	5							0.3	0.0	0.2	0.1	0.1	-0.1	
紙類	容器包装	ダンボール	6	42.9	30.4	26.2	28.6	16.7	1.8	32.6	45.8	28.1	37.0	4.5	8.8	
		紙パック	7	2.0	1.7			2.0	1.7	0.9	2.5	0.5	1.2	0.4	1.3	
		食料品容器	8	2.6	3.9	0.9	1.4	1.7	2.5	1.6	3.4	2.4	4.2	-0.8	-0.8	
		日用品容器	9	2.6	3.9	2.6	2.8	0.0	1.1	1.8	3.7	1.9	2.9	-0.1	0.8	
		その他容器包装	10	1.3	3.4	1.8	4.1	-0.5	-0.7	1.2	4.3	1.1	3.1	0.1	1.2	
		容器包装(汚れのひどいもの)	11	1.4	1.1	2.2	5.5	-0.8	-4.4	0.8	0.7	0.7	2.6	0.1	-1.9	
		容器包装以外	新聞紙	12							0.8	2.1	1.3	1.0	-0.5	1.1
			チラシ	13	2.9	2.2			2.9	2.2	1.8	2.9	0.9	0.5	0.9	2.4
			雑誌	14	15.1	1.7	3.2	0.3	11.9	1.4	2.3	0.7	0.8	0.3	1.5	0.4
			書籍	15							0.6	0.2	0.6	0.3	0.0	-0.1
			OA用紙	16	2.0	1.7	0.2	0.1	1.8	1.6	1.2	3.2	0.3	0.2	0.9	3.0
	OA用紙(シュレッダー後)		17							0.8	1.6	0.1	0.1	0.7	1.5	
	雑紙		18	2.3	1.7	1.8	0.1	0.5	1.6	2.6	3.9	1.2	1.6	1.4	2.3	
	汚れた新聞、チラシ		19	2.3	1.7	2.8	5.6	-0.5	-3.9	2.0	3.7	2.5	5.8	-0.5	-2.1	
	使い捨て用品(ティッシュ等)		20	6.4	5.1	3.7	0.7	2.7	4.4	5.5	5.7	4.4	3.2	1.1	2.5	
	その他紙類		21	1.7	1.7	2.0	4.1	-0.3	-2.4	1.1	1.7	2.0	3.9	-0.9	-2.2	
	紙おむつ等	22								6.5	4.2	5.6	3.6	0.9	0.6	
	生理用品	23			1.5	0.3	-1.5	-0.3	0.6	0.8	0.4	0.5	0.2	0.3		
	繊維類	衣類等		24	5.5	2.8	1.1	0.3	4.4	2.5	1.2	0.8	2.7	1.9	-1.5	-1.1
			その他繊維類	25	0.3	0.0			0.3	0.0	1.1	0.9	0.2	0.2	0.9	0.7
				25												
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	26	3.2	5.6	0.7	1.7	2.5	3.9	0.6	1.3	0.1	0.3	0.5	1.0
			その他のボトル	27	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.4	0.1
チューブ類			28	0.4	0.1			0.4	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0	0.5	0.1	
白色トレイ			29	0.4	0.1	0.2	1.4	0.2	-1.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	-0.3	
色付きトレイ			30	0.6	1.1			0.6	1.1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	
持ち帰り弁当の容器			31	2.4	9.6	1.7	6.9	0.7	2.7	0.4	2.4	0.2	2.0	0.2	0.4	
食料品の容器・袋			32	7.5	22.5	2.7	13.8	4.8	8.7	2.4	12.1	2.1	8.6	0.3	3.5	
日用品の容器・袋			33	1.4	4.5	0.7	5.5	0.7	-1.0	0.6	2.6	0.3	1.5	0.3	1.1	
レジ袋(中身なし)			34			0.4	2.6	-0.4	-2.6	0.2	0.0	0.1	0.8	0.1	-0.8	
レジ袋(中身あり)			35	3.4	10.1	1.4	4.1	2.0	6.0	1.2	8.9	0.9	4.6	0.3	4.3	
その他プラスチック			36	0.6	0.1	0.2	0.1	0.4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	-0.1	
その他プラスチック			37	1.1	3.9	0.7	4.1	0.4	-0.2	0.8	2.1	0.6	2.3	0.2	-0.2	
容器包装以外			38	0.6	0.6	0.2	0.1	0.4	0.5	1.0	4.2	0.0	0.0	1.0	4.2	
その他プラスチック用品			39	1.4	1.7			1.4	1.7	0.8	0.8	0.9	1.8	-0.1	-1.0	
金属類	容器	アルミ缶	40			0.1	0.3	-0.1	-0.3			0.0	0.0	0.0	0.0	
		スチール缶	41	0.8	0.1			0.8	0.1	0.1	0.0			0.1	0.0	
		その他金属容器	42									0.1	0.0	-0.1	0.0	
		容器以外	43	0.6	0.2	0.2	0.1	0.4	0.1	0.5	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	
	びん類		1.4	0.1			1.4	0.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0		
その他	リターナブルびん	リターナブルびん	44													
		無色雑びん	45													
		茶色雑びん	46	1.4	0.1			1.4	0.1	0.3	0.0			0.3	0.0	
		その他色雑びん	47													
		飲料用以外のびん	48									0.1	0.0	-0.1	0.0	
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	49	1.1	4.2			1.1	4.2	0.7	4.7			0.7	4.7	
		市販の袋(透明、半透明)	50			1.1	2.4	-1.1	-2.4			0.6	3.3	-0.6	-3.3	
		レジ袋	51			0.3	1.7	-0.3	-1.7			0.2	0.8	-0.2	-0.8	
		その他	52													
	その他	ゴム・皮革類	53	0.3	0.0			0.3	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.4	0.1	
		ガラス・陶磁器くず	54													
		土砂・残土・灰	55							0.3	0.0			0.3	0.0	
		ペット砂(樹脂製等)	56													
		ペット砂(紙製等)	57							0.2	0.0			0.2	0.0	
		蛍光管	58									0.0	0.0	0.0	0.0	
		電池	59									0.0	0.0	0.0	0.0	
		体温計・温度計	60													
		危険物	61													
		医療廃棄物	62									0.1	0.0	-0.1	0.0	
		製品廃棄物	63													
		その他	64	2.3	0.1	0.9	0.1	1.4	0.0	4.6	1.7	2.5	1.7	2.1	0.0	
		ごみ袋(内袋)	指定袋	65							0.0	0.1			0.0	0.1
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(3) ① 菰野町 (住宅地域 (旧来)、住宅地域 (郊外)、農村地域)

単位: (%)

対象地域区分				住宅地域(旧来)						住宅地域(郊外)						農村地域						
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	6.6	1.5	1.2	1.1	5.4	0.4	8.0	1.5			8.0	1.5	3.2	0.5	3.2	2.0	0.0	-1.5	
		調理くず、残飯	2	26.0	3.0	29.8	18.6	-3.8	-15.6	20.3	3.7	51.0	28.0	-30.7	-24.3	27.1	4.9	52.8	27.1	-25.7	-22.2	
	草木類	剪定枝	3	3.8	4.2	20.3	21.5	-16.5	-17.3	6.5	8.3	17.2	22.1	-10.7	-13.8	3.7	4.5	14.8	17.5	-11.1	-13.0	
		使い捨て用品	4	0.0	0.0	0.1	0.2	-0.1	-0.2	0.8	0.8	0.2	0.3	0.6	0.5	1.0	0.1	0.3	0.7	0.7	-0.6	
		その他	5	0.0	0.0	1.9	1.1	-1.9	-1.1	19.3	7.5			19.3	7.5	2.4	1.1	0.1	0.7	2.3	0.4	
紙類				42.0	62.0	40.2	45.9	1.8	16.1	29.5	43.5	22.4	33.2	7.1	10.3	37.4	53.4	23.5	40.0	13.9	13.4	
容器包装	ダンボール	ダンボール	6	0.4	0.8	0.4	0.5	0.0	0.3	3.9	4.1	0.1	0.1	3.8	4.0	1.3	4.5	0.2	0.2	1.1	4.3	
		紙パック	7	1.1	0.8	0.7	2.8	0.4	-2.0	4.4	4.1	0.6	2.3	3.8	1.8	1.0	2.2	0.8	4.9	0.2	-2.7	
		食料品容器	8	1.2	2.5	0.7	1.7	0.5	0.8	1.5	2.5	0.5	1.5	1.0	1.0	1.0	2.2	0.4	2.0	0.6	0.2	
		日用品容器	9	1.9	2.5	1.0	1.7	0.9	0.8	1.3	2.5	0.6	1.0	0.7	1.5	2.0	4.5	1.2	3.9	0.8	0.6	
		その他容器包装	10	1.9	5.9	1.0	2.8	0.9	3.1	1.3	6.6	0.2	0.5	1.1	6.1	1.0	3.4	0.8	3.6	0.2	-0.2	
		容器包装(汚れのひどいもの)	11	0.2	0.8	0.7	2.8	-0.5	-2.0	0.8	0.8	0.1	0.5	0.7	0.3	2.4	10.1	0.7	3.3	1.7	6.8	
		容器包装以外	新聞紙	12	0.3	1.7	0.1	0.3	0.2	1.4	1.3	2.5			1.3	2.5	1.3	1.1	0.6	0.5	0.7	0.6
			チラシ	13	1.9	7.5	1.3	1.7	0.6	5.8	1.0	2.5			1.0	2.5	3.4	4.5	0.5	0.3	2.9	4.2
			雑誌	14	0.8	0.8	0.1	0.3	0.7	0.5	1.3	0.3			1.3	0.3	1.0	0.3			1.0	0.3
			書籍	15	0.2	0.8			0.2	0.8							1.3	1.1			1.3	1.1
			OA用紙	16	1.9	6.7	0.2	0.6	1.7	6.1	1.0	1.7			1.0	1.7	1.7	3.4			1.7	3.4
	OA用紙(シュレッダー後)		17													1.0	0.3				1.0	0.3
	雑誌		18	2.6	1.7	1.8	1.7	0.8	0.0	1.3	3.3	1.5	2.8	-0.2	0.5	2.4	2.2	0.1	0.1	2.3	2.1	
	汚れた新聞、チラシ	19	2.6	7.5	1.6	6.8	1.0	0.7	2.3	4.1	3.2	4.9	-0.9	-0.8	1.0	1.1	1.9	5.2	-0.9	-4.1		
	使い捨て用品(ティッシュ等)	20	6.8	6.7	7.9	2.3	-1.1	4.4	3.1	5.0	3.3	5.8	-0.2	-0.8	4.4	4.5	2.8	3.3	1.6	1.2		
	その他紙類	21	4.1	8.4	3.2	5.1	0.9	3.3	0.8	0.8	3.7	5.1	-2.9	-4.3	2.4	4.5	2.4	4.6	0.0	-0.1		
	紙おむつ等	紙おむつ	22	12.5	5.9	19.1	14.3	-6.6	-8.4	3.9	2.5	7.9	7.7	-4.0	-5.2	7.8	3.4	11.1	7.8	-3.3	-4.4	
		生理用品	23	1.9	0.8	0.4	0.5	1.5	0.3	0.2	0.1	0.7	1.0	-0.5	-0.9	1.2	0.1	0.0	0.3	1.2	-0.2	
繊維類				2.6	2.5	2.6	2.5	0.0	0.0	1.8	1.7	4.2	5.7	-2.4	-4.0	3.5	3.4	1.0	1.5	2.5	1.9	
衣類等	衣類等	24	1.9	1.7	2.6	2.5	-0.7	-0.8	0.8	0.8	3.1	4.9	-2.3	-4.1	2.0	2.2	1.0	1.5	1.0	0.7		
	その他繊維類	25	0.7	0.8			0.7	0.8	1.0	0.8	1.1	0.8	-0.1	0.0	1.5	1.1			1.5	1.1		
プラスチック類				2.7	14.3	2.1	4.0	0.6	10.3	8.1	24.9	4.0	8.3	4.1	16.6	4.2	18.1	2.3	7.6	1.9	10.5	
容器包装	ペットボトル	26							0.5	0.1	0.1	0.3	0.4	-0.2								
	その他のボトル	27															0.3	0.7	-0.3	-0.7		
	チューブ類	28										0.1	0.3	-0.1	-0.3							
	白色トレイ	29							0.4	0.2			0.4	0.2			0.0	0.7	0.0	-0.7		
	色付きトレイ	30							0.4	0.3			0.4	0.3								
	持ち帰り弁当の容器	31							0.4	0.2	0.6	1.4	-0.2	-1.2	0.0	0.1	0.2	1.3	-0.2	-1.2		
	食料品の容器・袋	32	1.1	5.9	0.6	1.4	0.5	4.5	2.1	7.5	1.7	2.6	0.4	4.9	1.5	9.0	0.8	2.4	0.7	6.6		
	日用品の容器・袋	33	0.1	0.8	0.1	0.2	0.0	0.6	0.8	3.3	0.1	0.3	0.7	3.0	1.0	1.1	0.0	0.1	1.0	1.0		
	レジ袋(中身なし)	34	0.0	0.1			0.0	0.1	0.4	0.1			0.4	0.1	0.0	0.1			0.0	0.1		
	レジ袋(中身あり)	35	0.1	2.5	0.6	1.4	-0.5	1.1	1.3	8.3	1.2	3.0	0.1	5.3	0.6	3.4	0.7	1.5	-0.1	1.9		
	その他プラスチック容器	36			0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0			0.0	0.0			0.0	0.1	0.0	-0.1		
	その他プラスチック	37	0.3	3.3	0.4	0.6	-0.1	2.7	0.8	3.3	0.1	0.3	0.7	3.0	0.6	2.2	0.3	0.7	0.3	1.5		
	容器包装以外	使い捨て用品	38	0.1	0.8	0.1	0.1	0.0	0.7	0.9	1.7			0.9	1.7	0.0	1.1			0.1	0.0	1.0
その他プラスチック用品		39	0.9	0.8	0.2	0.2	0.7	0.6	0.4	0.0	0.1	0.1	0.3	-0.1	0.4	1.1			0.4	1.1		
金属類				0.0	0.1	0.1	0.1	-0.1	0.0	1.1	0.1	0.0	0.1	1.1	0.0			0.0	0.1	0.0	-0.1	
容器	アルミ缶	40	0.0	0.0			0.0	0.0														
	スチール缶	41							0.4	0.0			0.4	0.0								
	その他金属容器	42															0.0	0.1	0.0	-0.1		
容器以外				0.0	0.0	0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.8	0.1		0.1	0.8	0.0							
びん類	リターナブルびん	リターナブルびん	44																			
		無色雑びん	45																			
		茶色雑びん	46																			
		その他色雑びん	47																			
		飲料用以外のびん	48																			
その他				16.2	12.4	1.7	5.0	14.5	7.4	4.5	8.0	1.0	2.3	3.5	5.7	17.5	14.0	2.0	2.8	15.5	11.2	
ごみ袋(外袋)	指定袋	49	1.1	5.2	0.8	2.7	0.3	2.5	0.6	4.1	0.5	1.1	0.1	3.0	0.7	4.5	0.2	0.7	0.5	3.8		
	市販の袋(透明、半透明)	50															0.3	0.8	-0.3	-0.8		
	レジ袋	51	0.6	4.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.1	0.8	0.1	0.4	0.0	0.4	0.2	2.8	0.0	0.1	0.2	2.7		
	その他	52	0.1	0.4	0.2	1.0	-0.1	-0.6	0.3	2.1	0.2	0.6	0.1	1.5								
	その他	ゴム・皮革類	53			0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.8	0.1	0.1	0.0	0.7	0.1	4.4	2.2			4.4	2.2	
		ガラス・陶磁器くず	54																			
		土砂・残土・灰	55																			
		ペット砂(樹脂製等)	56							1.2	0.1			1.2	0.1							
		ペット砂(紙製等)	57																			
		蛍光管	58																			
		電池	59															0.6	0.5	-0.6	-0.5	
		体温計・温度計	60																			
		危険物	61																			
医療廃棄物		62			0.1	0.1	-0.1	-0.1														
製品廃棄物	63																					
その他	64	14.5	2.8	0.2	0.1	14.3	2.7	1.5	0.8	0.1	0.2	1.4	0.6	12.2	4.5	0.9	0.7	11.3	3.8			
ごみ袋(内袋)	指定袋	65																				
合計				100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			100.0	100.0	100.0	100.0			

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(3) ② 菰野町 (町平均)

単位: (%)

対象地域区分				菰野町3地域平均					
調査年				H21(今回)		H16(前回)		増減(今回-前回)	
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	6.1	1.2	1.4	1.0	4.7	0.2
		調理くず、残飯	2	24.0	3.8	44.3	24.6	-20.3	-20.8
	草木類	剪定枝	3	4.9	5.8	17.5	20.5	-12.6	-14.7
		使い捨て用品	4	0.6	0.3	0.2	0.3	0.4	0.0
		その他	5	8.6	3.1	0.7	0.6	7.9	2.5
紙類				35.5	52.9	28.8	39.5	6.7	13.4
容器包装	ダンボール	ダンボール	6	2.1	3.0	0.2	0.2	1.9	2.8
		紙パック	7	2.4	2.4	0.7	3.2	1.7	-0.8
		食料品容器	8	1.3	2.4	0.6	1.7	0.7	0.7
		日用品容器	9	1.7	3.0	0.9	2.1	0.8	0.9
		その他容器包装	10	1.4	5.5	0.6	2.2	0.8	3.3
		容器包装(汚れのひどいもの)	11	1.1	3.3	0.5	2.1	0.6	1.2
	容器包装以外	新聞紙	12	1.0	1.8	0.2	0.2	0.8	1.6
		チラシ	13	2.0	4.9	0.6	0.7	1.4	4.2
		雑誌	14	1.0	0.5	0.0	0.1	1.0	0.4
		書籍	15	0.5	0.6	0.0	0.0	0.5	0.6
		OA用紙	16	1.5	3.9	0.1	0.2	1.4	3.7
		OA用紙(シュレッダー後)	17	0.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1
		雑紙	18	2.0	2.4	1.2	1.6	0.8	0.8
		汚れた新聞、チラシ	19	2.0	4.6	2.2	5.6	-0.2	-1.0
紙おむつ等	使い捨て用品(ティッシュ等)	20	4.5	5.5	4.7	3.8	-0.2	1.7	
	その他紙類	21	2.2	4.6	3.1	5.0	-0.9	-0.4	
繊維類				2.6	2.4	2.7	3.4	-0.1	-1.0
衣類等	衣類等	24	1.5	1.5	2.3	3.1	-0.8	-1.6	
	その他繊維類	25	1.1	0.9	0.4	0.3	0.7	0.6	
プラスチック類				5.4	19.2	2.8	6.6	2.6	12.6
容器包装	ペットボトル	ペットボトル	26	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	-0.1
		その他のボトル	27			0.1	0.2	-0.1	-0.2
		チューブ類	28			0.0	0.1	0.0	-0.1
		白色トレイ	29	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	-0.1
		色付きトレイ	30	0.1	0.1			0.1	0.1
		持ち帰り弁当の容器	31	0.1	0.1	0.3	0.9	-0.2	-0.8
		食料品の容器・袋	32	1.6	7.3	1.1	2.2	0.5	5.1
		日用品の容器・袋	33	0.6	1.8	0.1	0.2	0.5	1.6
		レジ袋(中身なし)	34	0.1	0.1			0.1	0.1
		レジ袋(中身あり)	35	0.8	4.9	0.8	2.1	0.0	2.8
		その他プラスチック容器	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他プラスチック	37	0.6	3.0	0.3	0.5	0.3	2.5
		容器包装以外	使い捨て用品	38	0.4	1.2	0.0	0.0	0.4
	その他プラスチック用品		39	0.5	0.6	0.1	0.1	0.4	0.5
金属類				0.5	0.1	0.1	0.1	0.4	0.0
容器	アルミ缶	アルミ缶	40	0.0	0.0			0.0	0.0
		スチール缶	41	0.1	0.0			0.1	0.0
		その他金属容器	42			0.0	0.0	0.0	0.0
	容器以外	43	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.1	
びん類									
リターナブルびん	リターナブルびん	リターナブルびん	44						
		無色雑びん	45						
		茶色雑びん	46						
		その他色雑びん	47						
飲料用以外のびん				48					
その他				11.9	11.2	1.5	3.4	10.4	7.8
ごみ袋(外袋)	指定袋	指定袋	49	0.8	4.6	0.4	1.6	0.4	3.0
		市販の袋(透明、半透明)	50			0.1	0.2	-0.1	-0.2
		レジ袋	51	0.3	2.5	0.2	0.5	0.1	2.0
		その他	52	0.1	0.9	0.2	0.6	-0.1	0.3
	その他	ゴム・皮革類	53	1.7	0.6	0.1	0.0	1.6	0.6
		ガラス・陶磁器くず	54						
		土砂・残土・灰	55						
		ペット砂(樹脂製等)	56	0.5	0.0			0.5	0.0
		ペット砂(紙製等)	57						
		蛍光灯	58						
		電池	59			0.2	0.2	-0.2	-0.2
		体温計・温度計	60						
		危険物	61						
		医療廃棄物	62			0.0	0.0	0.0	0.0
		製品廃棄物	63						
		その他	64	8.5	2.5	0.3	0.3	8.2	2.2
ごみ袋(内袋)				65					
合計				100.0	100.0	100.0	100.0		

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
 注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

(4) 鳥羽市（住宅地域（旧来）、住宅地域（郊外）、漁村地域、
生ごみ堆肥化積極的地域、市平均）

単位：（％）

対象地域区分				住宅地域（旧来）		住宅地域（郊外）		漁村地域		生ごみ堆肥化積極的地域		鳥羽市4地域平均		
調査年				H21		H21		H21		H21		H21		
大分類	中分類	細分類	No.	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1	7.7	0.8	4.6	1.7	5.3	1.5	3.6	1.1	5.2	1.2	
		調理くず、残飯	2	30.9	3.9	42.7	5.8	32.7	5.1	54.8	8.5	40.0	5.6	
	草木類	剪定枝	3	2.5	3.5	10.7	9.3	2.5	1.7	3.4	4.8	4.9	4.7	
		使い捨て用品	4	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.6	0.0	
		その他	5	3.0	4.7			3.8	4.2	0.6	0.1	1.9	2.4	
紙類				32.1	38.8	23.1	39.6	39.1	48.5	24.9	40.3	30.2	42.1	
容器包装	ダンボール	ダンボール	6	1.0	0.9	0.2	0.1	1.9	2.5	0.4	0.0	1.0	1.0	
		紙パック	7	1.0	0.9	1.2	1.9	0.7	1.7	0.3	0.1	0.8	1.2	
		食料品容器	8	2.5	2.6	1.2	2.8	1.5	2.5	1.0	2.4	1.5	2.6	
		日用品容器	9	1.6	1.8	0.8	1.9	1.1	1.7	0.4	0.2	1.0	1.5	
		その他容器包装	10	0.9	2.6			1.9	7.5	0.3	0.2	0.8	2.9	
		容器包装（汚れのひどいもの）	11	0.5	0.9	0.2	0.0	0.6	0.1	0.3	0.1	0.4	0.3	
		容器包装以外	新聞紙	12	1.0	0.9	1.3	3.7	1.8	1.7	0.9	0.6	1.3	1.8
			チラシ	13	5.7	4.4	1.0	2.8	4.7	7.5	3.4	7.2	3.6	5.4
			雑誌	14	2.3	0.9	1.3	0.9	2.7	0.8	0.3	0.4	1.7	0.8
			書籍	15										
	OA用紙		16	1.0	1.8	0.8	3.7	0.6	0.2	0.2	0.2	0.6	1.5	
	OA用紙（シュレッダー後）		17			0.3	0.3					0.1	0.1	
	雑紙		18	3.4	4.4	1.8	5.6	2.0	3.3	0.4	1.2	1.9	3.8	
	紙おむつ等	汚れた新聞、チラシ	19	5.4	8.8	2.8	5.6	5.6	7.5	6.6	12.0	5.0	8.2	
		使い捨て用品（ティッシュ等）	20	5.4	7.0	4.4	5.6	6.1	6.6	7.7	8.4	5.9	6.8	
		その他紙類	21	0.5	0.9	0.5	0.9	0.7	0.8	0.5	1.2	0.6	0.9	
		紙おむつ	22			4.4	1.9	7.0	4.2	1.7	4.8	3.8	2.6	
生理用品		23			0.9	1.9	0.0	0.0	0.3	1.2	0.3	0.7		
繊維類				5.5	5.3	3.2	2.8	3.8	3.3	0.4	1.2	3.2	3.3	
衣類等	衣類等	24	2.4	2.6	2.9	2.8	2.7	2.5			2.1	2.1		
	その他繊維類	25	3.1	2.6	0.2	0.0	1.1	0.8	0.4	1.2	1.1	1.2		
プラスチック類				7.7	33.2	8.5	33.0	6.5	26.8	6.4	33.8	7.3	31.5	
容器包装	ペットボトル	ペットボトル	26			0.8	0.1					0.2	0.0	
		その他のボトル	27							0.3	0.0	0.1	0.0	
		チューブ類	28	0.0	0.0	0.3	0.1			0.3	0.1	0.1	0.1	
		白色トレイ	29	0.3	0.3	0.2	0.0	0.7	0.1			0.3	0.1	
		色付きトレイ	30	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1			0.1	0.1	
		持ち帰り弁当の容器	31	0.3	0.2	0.2	0.9					0.1	0.3	
		食料品の容器・袋	32	1.9	8.8	2.5	9.3	1.7	8.3	1.5	7.2	1.9	8.5	
		日用品の容器・袋	33	1.0	7.9	0.6	2.8	0.9	4.2	0.4	3.6	0.7	4.7	
		レジ袋（中身なし）	34							0.3	1.2	0.1	0.2	
		レジ袋（中身あり）	35	1.0	7.9	1.3	8.4	1.1	6.6	1.1	12.0	1.1	8.5	
		その他プラ容器	36	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0	0.0	
		その他プラ包装	37	0.7	2.6	0.6	2.8	1.1	2.5	0.9	3.6	0.9	2.8	
		容器包装以外	38	2.1	5.3	1.2	7.5	0.9	5.0	1.4	6.0	1.3	5.9	
	その他プラスチック用品	39	0.3	0.1	0.6	0.9	0.2	0.0	0.3	0.1	0.4	0.3		
金属類				0.4	0.1	0.4	0.1	0.9	0.9	0.1	0.6	0.3		
容器	アルミ缶	40												
	スチール缶	41	0.0	0.0			0.2	0.1			0.1	0.0		
	その他金属容器	42	0.1	0.0			0.0	0.0			0.0	0.0		
容器以外	43	0.2	0.0	0.4	0.1	0.7	0.8	0.9	0.1	0.6	0.3			
びん類						0.6	0.1					0.2	0.0	
リターナブルびん	リターナブルびん	44												
	無色雑びん	45												
	茶色雑びん	46			0.6	0.1					0.2	0.0		
	その他色雑びん	47												
	飲料用以外のびん	48												
その他				9.8	9.7	4.8	7.5	5.3	8.0	4.4	10.1	5.9	8.7	
ごみ袋（外袋）	指定袋	指定袋	49	1.3	7.7	0.6	4.7	0.7	5.6	0.7	7.6	0.8	6.3	
		市販の袋（透明、半透明）	50											
		レジ袋	51											
		その他	52											
	その他	ゴム・皮革類	53			0.3	0.0	0.0	0.4			0.1	0.1	
		ガラス・陶磁器くず	54	0.4	0.0							0.1	0.0	
		土砂・残土・灰	55											
		ペット砂（樹脂製等）	56											
		ペット砂（紙製等）	57					1.1	0.8			0.3	0.2	
		蛍光管	58											
		電池	59					0.0	0.0			0.0	0.0	
		体温計・温度計	60											
		危険物	61											
医療廃棄物	62													
製品廃棄物	63													
その他	64	8.1	1.8	3.9	2.8	3.5	1.1	3.7	2.5	4.5	2.0			
ごみ袋（内袋）	指定袋	65	0.1	0.1							0.0	0.0		
合計				100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

注1) 数値は、小数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。
注2) 空欄は全く排出されなかったことを示し、「0.0」は小数第2位以下の数値を示す。

資料2. 三重県のごみ量実績

(1) ごみ総排出量

三重県の総排出量、1人1日あたりのごみ排出量の推移を表-1、図-1に示す。

三重県のごみ総排出量は、平成14年度の817千トンに対して、平成19年度は748千トンで8.4%の減少、平成20年度は710千トンで13%減少している。

1人1日あたりのごみ排出量は、平成14年度が1,201gに対して、平成19年度は1,093g、平成20年度は1,041gとなっている。

ごみ総排出量と1人1日あたりのごみ排出量ともに平成16年度までは横ばいの状況であったが、平成17年度から大きく減少している。

表-1 三重県の総排出量推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
総排出量(t)	816,560	808,386	801,925	774,590	765,595	747,832	710,263
H14対比増減量(t)	—	-8,174	-14,635	-41,970	-50,965	-68,728	-106,297
H14対比増減量率(%)	—	-1.0	-1.8	-5.1	-6.2	-8.4	-13.0
1人1日あたり排出量(g/人・日)	1,201	1,183	1,176	1,137	1,123	1,093	1,041

資料：平成11年度から平成19年度：一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度：三重県速報値(以下同じ)

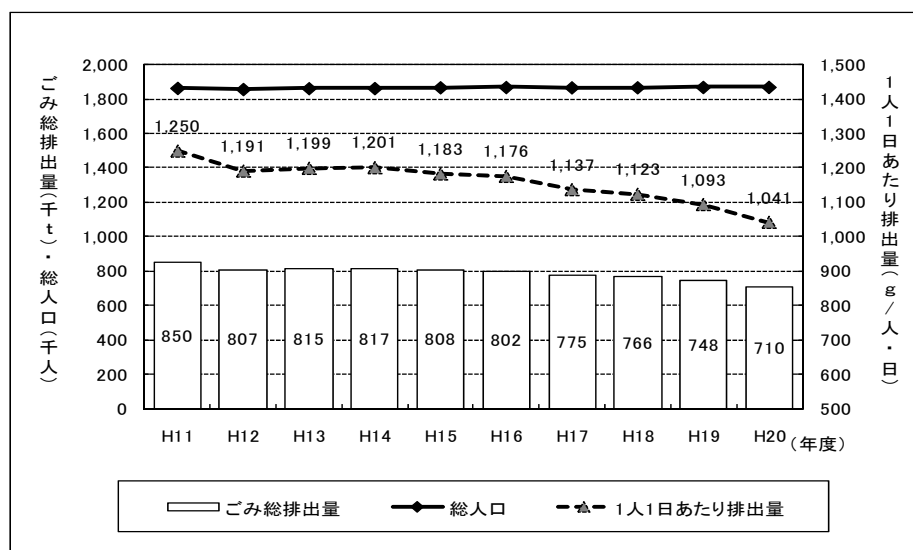


図-1 三重県の総排出量の推移

●全国実績との比較

全国の総排出量、1人1日あたりのごみ排出量の推移を表-2、1人1日あたりの排出量の比較を図-2に示す。

全国と比較すると、三重県のごみ総排出量の減少率は全国の減少率より大きくなっている。また、1人1日あたりの排出量は、平成19年度までの実績では、三重県は常に全国平均を上回っている。

表-2 全国の総排出量推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
総排出量(t)	54,198,537	54,270,523	53,376,262	52,719,809	52,023,812	50,816,391	—
H14対比増減量(t)	—	71,986	-822,275	-1,478,728	-2,174,725	-3,382,146	—
H14対比増減量率(%)	—	0.1	-1.5	-2.7	-4.0	-6.2	—
1人1日あたり排出量 (g/人・日)	1,167	1,163	1,146	1,131	1,115	1,089	—

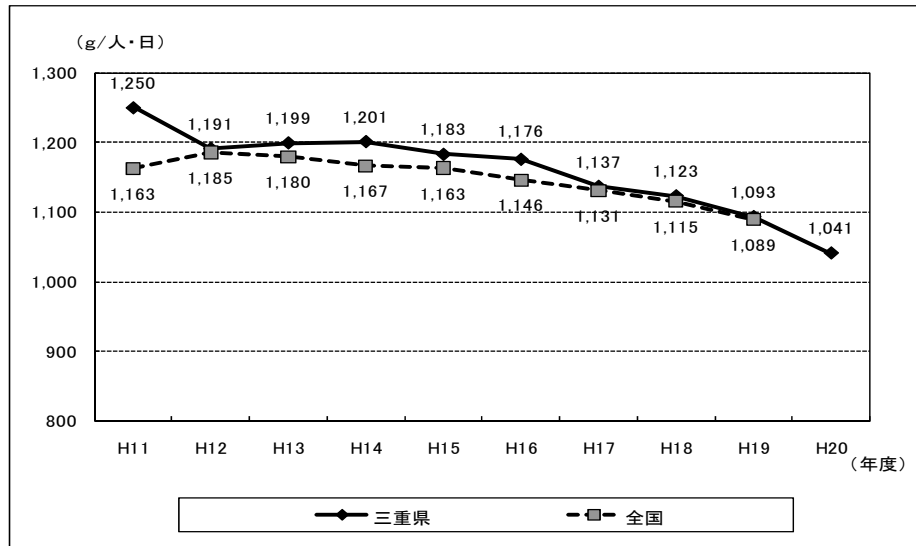


図-2 三重県と全国の1人1日あたり排出量の比較

(2) 家庭系、事業系ごみの排出量

三重県の家庭系ごみ、事業系ごみの排出量の推移を表-3、図-3に示す。

家庭系ごみについては、排出量が平成14年度の565千トン（うち集団回収量が30千トン）に対して、平成19年度は539千トン（うち集団回収量が25千トン）で4.6%の減少、平成20年度は522千トン（うち集団回収量が27千トン）で7.6%減少している。

家庭系ごみの1人1日あたりのごみ排出量は、平成14年度の831gに対して、平成19年度が788g、平成20年度が765gとなっている。

事業系ごみについては、排出量が平成14年度の252千トンに対して、平成19年度は209千トンで17%の減少、平成20年度は188千トンで25%減少している。

事業系ごみの1人1日あたりのごみ排出量は、平成14年度の370gに対して、平成19年度が306g、平成20年度が276gとなっている。

家庭系、事業系ともに平成14年度より減少しているが、家庭系では平成19年度、事業系は、平成16年度より大きく減少している。

表-3 三重県のごみ排出量の推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
家庭系ごみ計(t)	564,827	562,582	574,016	556,585	556,233	538,845	521,982
家庭系ごみ(t)	535,198	532,533	545,377	531,717	531,070	514,185	494,593
集団回収量(t)	29,629	30,049	28,639	24,868	25,163	24,660	27,389
H14対比増減量(t)	—	-2,245	9,189	-8,242	-8,594	-25,982	-42,845
H14対比増減率(%)	—	-0.4	1.6	-1.5	-1.5	-4.6	-7.6
1人1日あたり排出量(g/人・日)	831	823	842	817	816	788	765
事業系ごみ(t)	251,733	245,804	227,909	218,005	209,362	208,987	188,281
H14対比増減量(t)	—	-5,929	-23,824	-33,728	-42,371	-42,746	-63,452
H14対比増減率(%)	—	-2.4	-9.5	-13.4	-16.8	-17.0	-25.2
1人1日あたり排出量(g/人・日)	370	360	334	320	307	306	276

注)増減量、増減率、家庭系ごみの1人1日あたり排出量は集団回収量を含む。

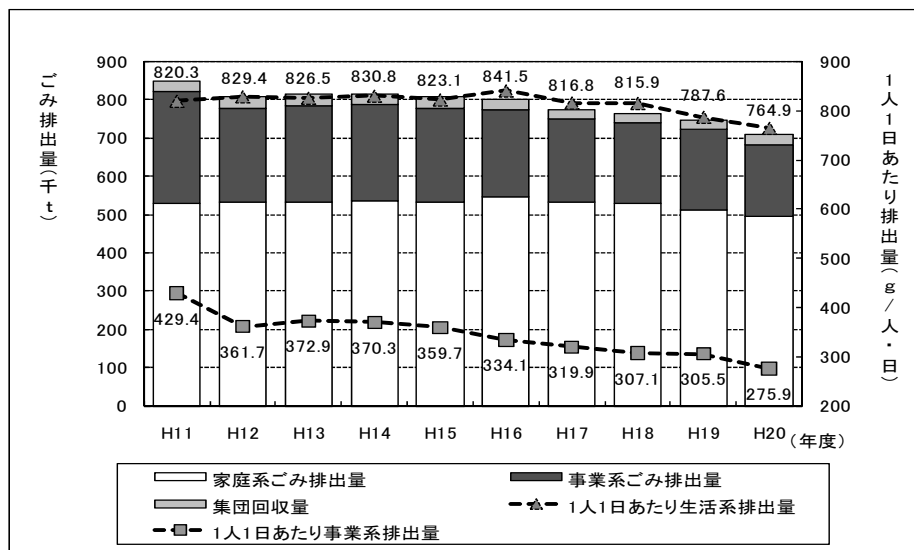


図-3 三重県のごみ排出量の推移

●全国実績との比較

全国のごみ排出量の推移を表-4、1人1日あたりのごみ排出量の比較を図-4(1)(2)に示す。

全国と比較すると、家庭系ごみは平成15、19年度、事業系ごみは平成16、17、18年度に全国の減少率を上回っている。

また、1人1日あたりのごみ排出量は、家庭系ごみは全国平均を常に上回っているが、事業系ごみについては平成15年度より全国平均を下回っている。

県の事業系ごみが減少傾向を示す要因としては、事業系ごみに関係するとされる就業労働人口や事業所数の変動が国と同程度に推移する中で、県内市町による事業系ごみ処理手数料の値上げ、リサイクル法施行における資源化の促進、事業者自らの発生抑制の取組等がごみ排出の削減につながっているものと推測される。

表-4 全国の家庭系ごみ、事業系ごみの排出量推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
家庭系ごみ計(t)	37,117,503	37,320,252	36,838,274	36,470,673	36,219,795	35,724,470	—
家庭系ごみ(t)	34,310,918	34,491,249	33,919,026	33,474,245	33,161,476	32,675,064	—
集団回収量(t)	2,806,585	2,829,003	2,919,248	2,996,428	3,058,319	3,049,406	—
H14対比増減量(t)	—	202,749	-279,229	-646,830	-897,708	-1,393,033	—
H14対比増減量率(%)	—	0.5	-0.8	-1.7	-2.4	-3.8	—
1人1日あたり排出量(g/人・日)	799	800	791	782	777	766	—
事業系ごみ(t)	17,081,034	16,950,271	16,537,988	16,249,136	15,804,017	15,091,921	—
H14対比増減量(t)	—	-130,763	-543,046	-831,898	-1,277,017	-1,989,113	—
H14対比増減量率(%)	—	-0.8	-3.2	-4.9	-7.5	-11.6	—
1人1日あたり排出量(g/人・日)	368	363	355	349	339	323	—

注)増減量、増減量率、家庭系ごみの1人1日あたり排出量は集団回収量を含む。

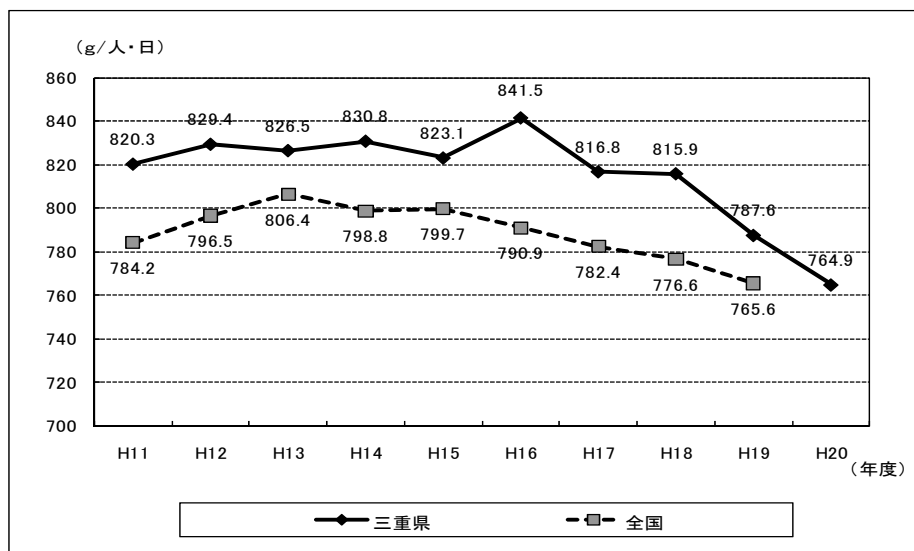


図-4(1) 三重県と全国の1人1日あたり排出量の比較 (家庭系)

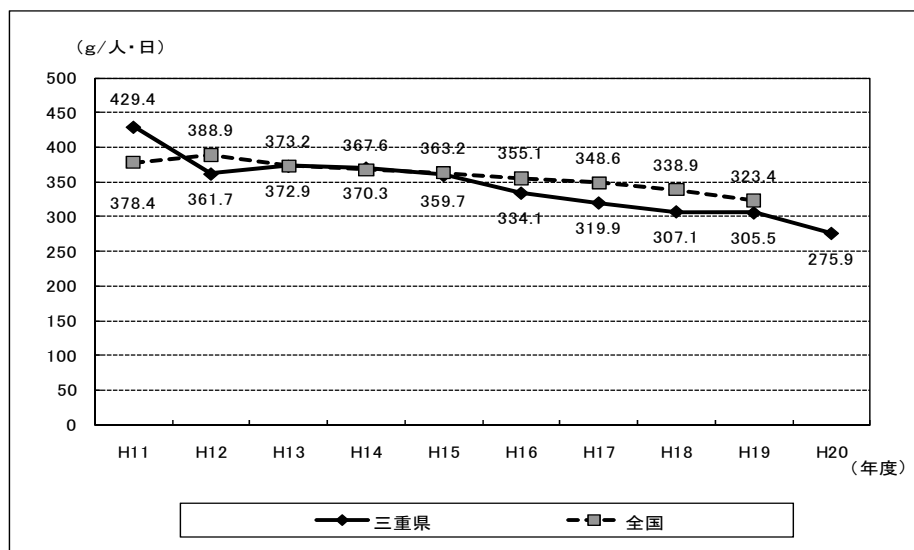


図-4(2) 三重県と全国の1人1日あたり排出量の比較 (事業系)

(3) 資源回収量（家庭系）

三重県の資源回収量の推移を表-5、図-5に示す。

資源回収量は、平成14年度の127千トンに対して、平成19年度は121千トンで4.6%の減少、平成20年度は113千トンで11.1%の減少となっている。平成18年度までは増加傾向にあったが、平成19年度より減少している。

内訳をみると、家庭系収集の資源ごみが平成18年度まで増加していたが、平成19年度より減少している。集団回収量は平成17年度に減少しているがほぼ横ばいの状況となっている。このことから、平成19年度からの減少は、家庭系収集の資源ごみの減少が大きく影響していることがわかる。

表-5 三重県の資源回収量推移（家庭系）

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
資源回収量(t)	126,680	132,125	135,608	130,283	134,146	120,842	112,559
家庭系資源ごみ(t)	97,051	102,076	106,969	105,415	108,983	96,182	85,170
集団回収量(t)	29,629	30,049	28,639	24,868	25,163	24,660	27,389
H14対比増減量(t)	—	5,445	8,928	3,603	7,466	-5,838	-14,121
H14対比増減量率(%)	—	4.3	7.0	2.8	5.9	-4.6	-11.1

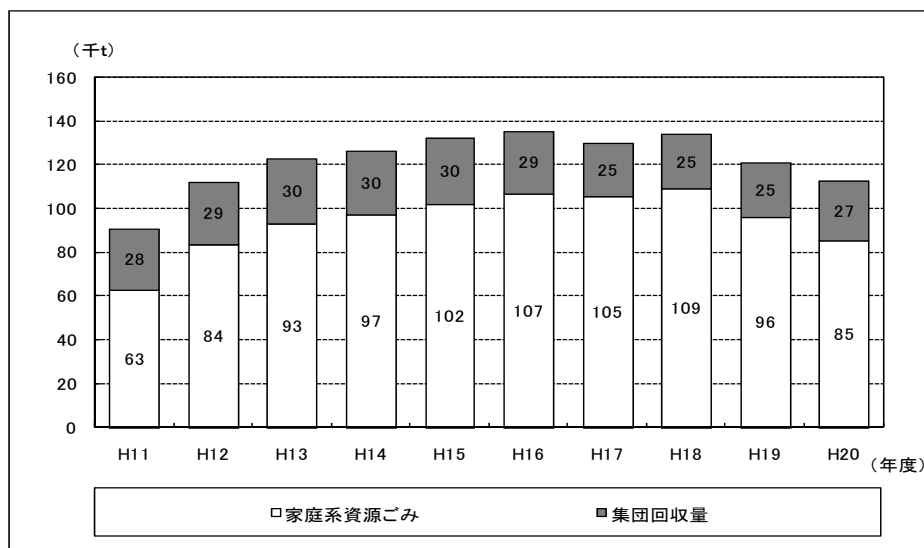


図-5 三重県の資源回収量推移（家庭系）

●全国実績との比較

全国の資源回収量の推移を表-6に示す。

全国と比較すると、三重県は、平成14年度に対して平成19年度、平成20年度に減少しているが、全国は平成14年度に対して平成15年度から平成19年度まで増加しており、平成19年度は、11.4%の増加となっている。内訳をみると、家庭系収集の資源ごみ、集団回収ともに全国では増加傾向にある。

表-6 全国の資源回収量推移（家庭系）

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
資源回収量(t)	7,009,829	7,109,844	7,347,858	7,745,727	7,902,119	7,805,450	—
家庭系資源ごみ(t)	4,203,244	4,280,841	4,428,610	4,749,299	4,843,800	4,756,044	—
集団回収量(t)	2,806,585	2,829,003	2,919,248	2,996,428	3,058,319	3,049,406	—
H14対比増減量(t)	—	100,015	338,029	735,898	892,290	795,621	—
H14対比増減量率(%)	—	1.4	4.8	10.5	12.7	11.4	—

(4) 資源化量、最終処分量

三重県の資源化量、最終処分量の推移を表-7、図-6に示す。

資源化量は、平成14年度の183千トンに対して、平成19年度は233千トンで27.2%増加、平成20年度は218千トンで19.2%の増加となっているが、資源化量、資源化率¹⁷ともに平成19年度からは前年に対して減少傾向になっている。

最終処分量は、平成14年度の151千トンに対して、平成19年度は84千トンで44.8%減少、平成20年度は70千トンで53.6%の減少となっている。最終処分量、最終処分率¹⁸ともに平成14年度より減少している。

表-7 三重県の資源化量、最終処分量推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
資源化量(t)	183,305	229,597	228,092	238,484	243,623	233,108	218,428
H14対比増減量(t)	—	46,292	44,787	55,179	60,318	49,803	35,123
H14対比増減量率(%)	—	25.3	24.4	30.1	32.9	27.2	19.2
資源化率(%)	22.4	28.4	28.4	30.8	31.8	31.2	30.8
最終処分量(t)	151,386	124,105	122,077	96,697	83,051	83,640	70,272
H14対比増減量(t)	—	-27,281	-29,309	-54,689	-68,335	-67,746	-81,114
H14対比増減量率(%)	—	-18.0	-19.4	-36.1	-45.1	-44.8	-53.6
最終処分率(%)	19.2	15.9	15.8	12.9	11.2	11.6	10.3

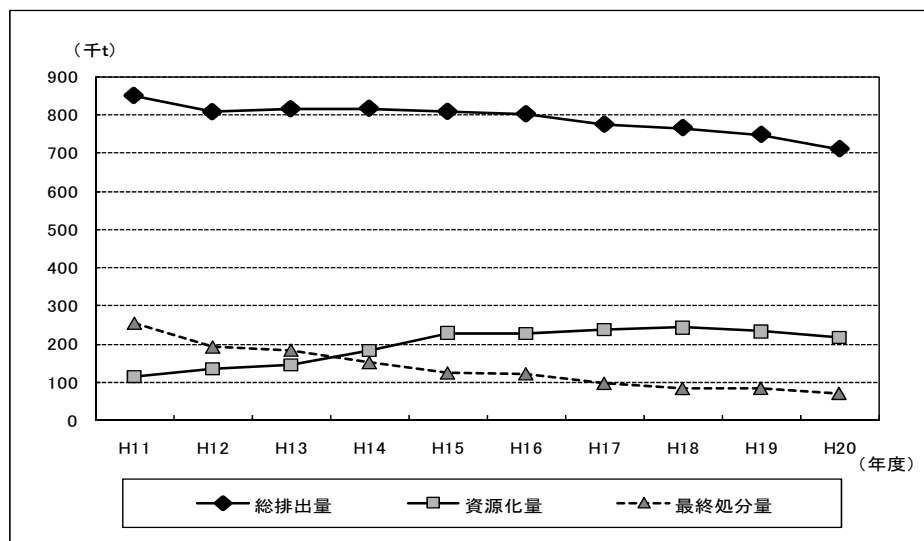


図-6 三重県の資源化量、最終処分量推移

三重県の資源化の内訳の推移を表-8、図-7に示す。

平成14年度までは、紙類の割合が5割を占めていたが、平成20年度には4割ほどになっている。近年は、プラスチック類や固形燃料(RDF)などを含めたその他が増加している。

17 資源化率=資源化量/総排出量×100

18 最終処分率=最終処分量/(家庭系ごみ+事業系ごみ)×100

(「ごみゼロプラン社会実現プランの進捗状況の点検・評価についての資料」のごみ処理フローと同様にした)

表-8 三重県の資源化の内訳推移

	H14年度	割合 (%)	H15年度	割合 (%)	H16年度	割合 (%)	H17年度	割合 (%)	H18年度	割合 (%)	H19年度	割合 (%)	H20年度	割合 (%)
資源化量(t)	183,305	100.0	229,597	100.0	228,092	100.0	238,484	100.0	243,623	100.0	233,108	100.0	218,428	100.0
紙類	89,798	49.0	95,647	41.7	94,660	41.5	89,209	37.4	89,815	36.9	83,872	36.0	76,307	34.9
金属類	25,186	13.7	24,886	10.8	23,978	10.5	21,196	8.9	20,927	8.6	17,054	7.3	16,282	7.5
ガラス類	13,181	7.2	12,555	5.5	11,487	5.0	11,087	4.6	10,969	4.5	10,635	4.6	10,859	5.0
ペットボトル	2,933	1.6	2,833	1.2	3,035	1.3	3,213	1.3	3,482	1.4	3,433	1.5	3,434	1.6
プラスチック類	1,822	1.0	2,252	1.0	9,994	4.4	10,108	4.2	12,298	5.0	10,262	4.4	9,225	4.2
布類	5,138	2.8	5,189	2.3	5,339	2.3	6,005	2.5	5,562	2.3	5,816	2.5	5,542	2.5
肥料、飼料	—	—	—	—	—	—	920	0.4	965	0.4	1,345	0.6	824	0.4
廃食用油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85	0.0	59	0.0
その他	45,247	24.7	86,235	37.6	79,599	34.9	96,746	40.6	99,605	40.9	100,606	43.2	95,896	43.9

注)その他には、「溶融スラグ」、「固形燃料(RDF, RPF)」、「燃料(固形燃料を除く)」、「焼却灰・飛灰のセメント原料化」、「セメント工場への直接投入」、「飛灰の山元還元」、「その他」を含む。

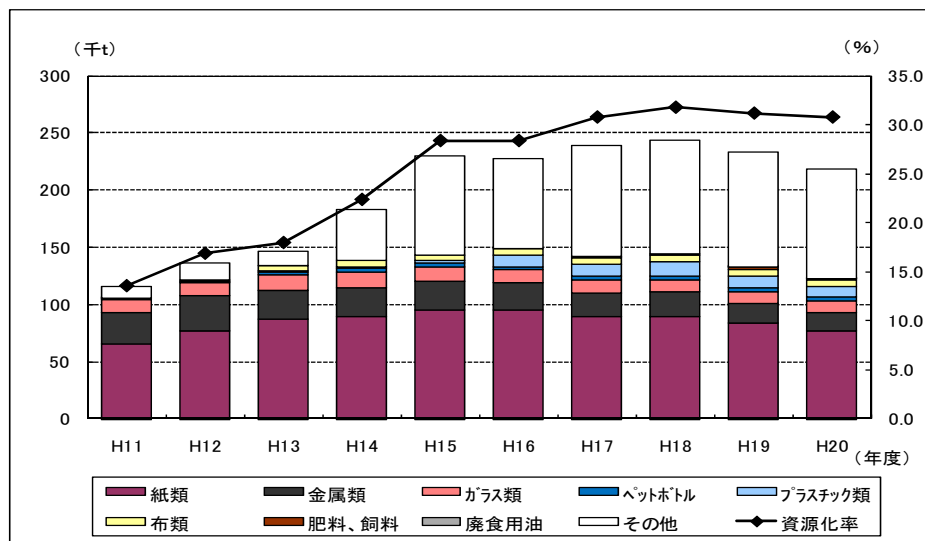


図-7 三重県の資源化の内訳推移

●全国実績との比較

全国の資源化量、最終処分量の推移を表-9、図-8、資源化量の内訳の推移を表-10、図-9に示す。

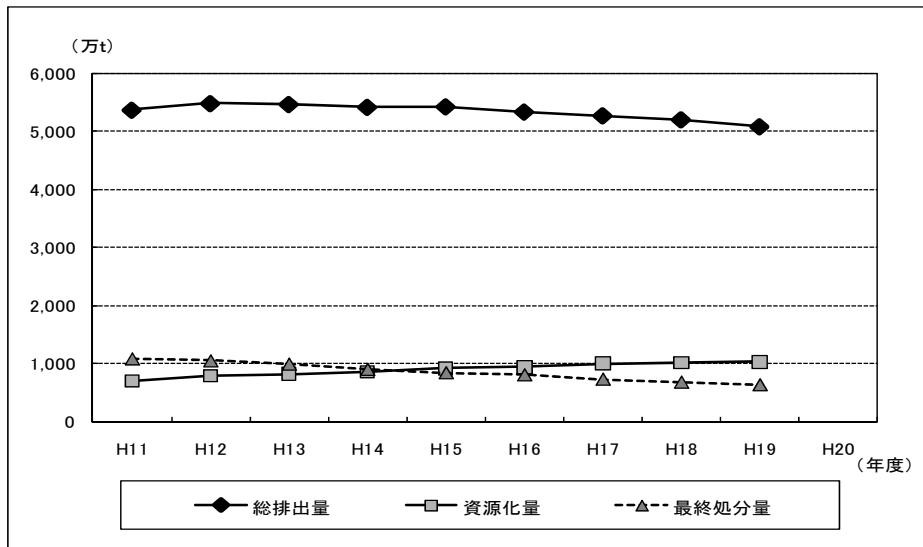
全国と比較すると、資源化量は、三重県が平成19年度から前年に対して減少していたが、全国は平成14年度から平成19年度まで増加しており、平成19年度は、平成14年度に対して20.3%の増加となっている。

最終処分量は、三重県同様に全国も減少している。三重県が平成19年度に44.8%減少(平成14年度対比)しているのに対して、全国は29.7%の減少(平成14年度対比)と三重県の方が大きく減少している。

内訳をみると、全国は紙類の割合が平成19年度まで5割以上を占め、三重県より紙の割合が大きくなっている。

表－9 全国の資源化量、最終処分量推移

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
資源化量(t)	8,637,605	9,157,346	9,399,908	10,025,516	10,203,511	10,304,869	—
H14対比増減量(t)	—	519,741	762,303	1,387,911	1,565,906	1,667,264	—
H14対比増減率(%)	—	6.0	8.8	16.1	18.1	19.3	—
資源化率(%)	15.9	16.9	17.6	19.0	19.6	20.3	—
最終処分量(t)	9,029,997	8,451,882	8,093,104	7,328,271	6,809,071	6,349,596	—
H14対比増減量(t)	—	-578,115	-936,893	-1,701,726	-2,220,926	-2,680,401	—
H14対比増減率(%)	—	-6.4	-10.4	-18.8	-24.6	-29.7	—
最終処分率(%)	17.6	16.4	16.0	14.7	13.9	13.3	—



図－8 全国の資源化量、最終処分量推移

表－10 全国の資源化の内訳推移

	H14年度		H15年度		H16年度		H17年度		H18年度		H19年度		H20年度	
	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)	資源化量(t)	割合(%)
資源化量(t)	8,637,605	100.0	9,157,346	100.0	9,399,908	100.0	10,025,516	100.0	10,203,511	100.0	10,304,869	100.0	—	—
紙類	4,831,172	55.9	4,855,588	53.0	4,998,744	53.2	5,198,638	51.9	5,350,457	52.4	5,252,769	51.0	—	—
金属類	1,373,137	15.9	1,358,632	14.8	1,310,608	13.9	1,220,900	12.2	1,179,841	11.6	1,060,930	10.3	—	—
ガラス類	928,216	10.7	918,320	10.0	892,559	9.5	880,568	8.8	880,135	8.6	851,286	8.3	—	—
ペットボトル	189,578	2.2	211,452	2.3	240,533	2.6	258,840	2.6	268,579	2.6	287,831	2.8	—	—
プラスチック類	331,523	3.8	429,113	4.7	510,328	5.4	640,457	6.4	643,241	6.3	667,926	6.5	—	—
布類	151,050	1.7	161,922	1.8	166,310	1.8	172,733	1.7	182,564	1.8	182,361	1.8	—	—
肥料、飼料	—	—	—	—	—	—	34,273	0.3	54,007	0.5	89,407	0.9	—	—
廃食用油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,867	0.1	—	—
その他	832,929	9.6	1,222,319	13.3	1,280,826	13.6	1,619,107	16.1	1,644,687	16.1	1,904,493	18.5	—	—

注)その他には、「溶融スラグ」、「固形燃料(RDF, RPF)」、「燃料(固形燃料を除く)」、「焼却灰・飛灰のセメント原料化」、「セメント工場への直接投入」、「飛灰の山元還元」、「その他」を含む。

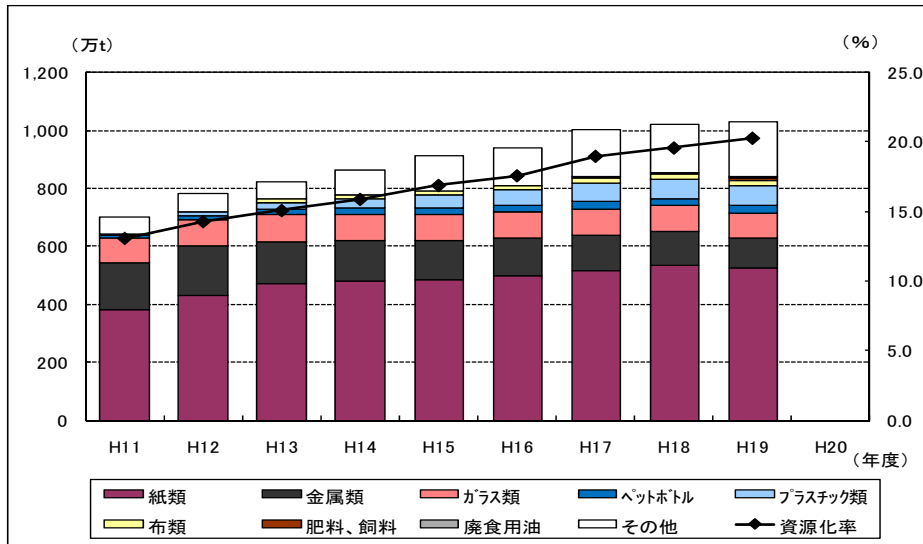


図-9 全国の資源化の内訳推移

資料3. ごみ減量化施策と減量化の効果

(1) 家庭系ごみの有料化・集団回収量

① 有料化実施市町と未実施市町の家庭系ごみ（集団回収量）の1人1日あたりの排出量推移(1)

市町名	有料化実施年月	① 集団回収量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	63	77	86	107	109	25	4	0	0	0	—
	伊賀市	H19.1	13	10	9	8	10	40	24	31	34	43	—
	鳥羽市	H18.10	22	18	28	54	67	75	85	81	93	80	—
	志摩市	H16.10	13	13	10	9	10	8	4	11	15	15	—
	南伊勢町	H17.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	桑名市	H9.4	55	51	49	38	33	35	26	0	0	0	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	50	54	54	50	49	47	43	47	42	40	—
	四日市市	未実施	39	41	44	43	47	50	51	53	52	51	—
	伊勢市	未実施	73	71	68	59	54	55	55	56	57	59	—
	尾鷲市	未実施	51	33	14	5	5	6	5	5	6	7	—
	大紀町	未実施	5	7	14	20	29	30	31	33	34	32	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	36	36	40	70	81	86	93	94	94	—	—
	登別市	H12.4	16	46	68	79	77	89	88	89	92	—	—
	幸手市	H18.10	0	46	46	40	40	37	40	39	36	—	—
	日野市	H12.10	46	46	41	37	36	33	31	28	27	—	—
	泉佐野市	H18.4	37	35	18	0	0	0	0	15	18	—	—
	桜井市	H12.10	48	94	50	43	48	44	46	45	42	—	—
	全国	—	56	60	61	60	61	63	64	66	65	—	—

市町名	有料化実施年月	② H11年度を基準とした 集団回収量の1人1日あたり排出量の増減率率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	22.6	37.2	71.0	74.0	-59.7	-93.5	—	—	—	—
	伊賀市	H19.1	—	-19.1	-31.5	-39.8	-24.0	217.8	91.0	143.4	168.2	237.7	—
	鳥羽市	H18.10	—	-18.9	26.4	141.4	200.8	234.4	280.1	262.6	318.3	258.5	—
	志摩市	H16.10	—	-1.8	-23.0	-28.0	-21.3	-38.0	-71.0	-15.1	12.4	14.9	—
	南伊勢町	H17.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桑名市	H9.4	—	-6.9	-10.5	-30.3	-39.2	-36.5	-52.3	—	—	—	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	9.2	9.6	0.6	-0.4	-5.2	-13.5	-5.9	-16.1	-19.0	—
	四日市市	未実施	—	4.1	10.5	10.3	18.5	26.2	30.3	35.4	32.8	28.9	—
	伊勢市	未実施	—	-3.1	-7.4	-19.5	-26.7	-25.4	-24.8	-22.7	-22.1	-19.4	—
	尾鷲市	未実施	—	-36.0	-73.1	-90.4	-89.9	-88.5	-89.3	-89.8	-87.7	-86.6	—
	大紀町	未実施	—	38.7	175.6	291.5	479.9	487.2	523.2	544.5	577.0	532.6	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	0.6	10.5	97.1	127.2	140.7	159.9	162.8	162.8	—	—
	登別市	H12.4	—	186.7	325.5	394.7	388.2	458.6	453.0	462.0	479.4	—	—
	幸手市	H18.10	—	4,514	4,483	3,913	3,948	3,621	3,895	3,836	3,527	—	—
	日野市	H12.10	—	-0.2	-11.6	-19.7	-23.1	-29.5	-31.9	-38.9	-40.5	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	-3.6	-51.3	—	—	—	—	-58.1	-49.5	—	—
	桜井市	H12.10	—	97.9	5.4	-10.2	0.3	-7.8	-4.4	-6.3	-11.8	—	—
	全国	—	—	6.0	8.5	7.1	7.5	11.2	14.0	16.3	15.9	—	—

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

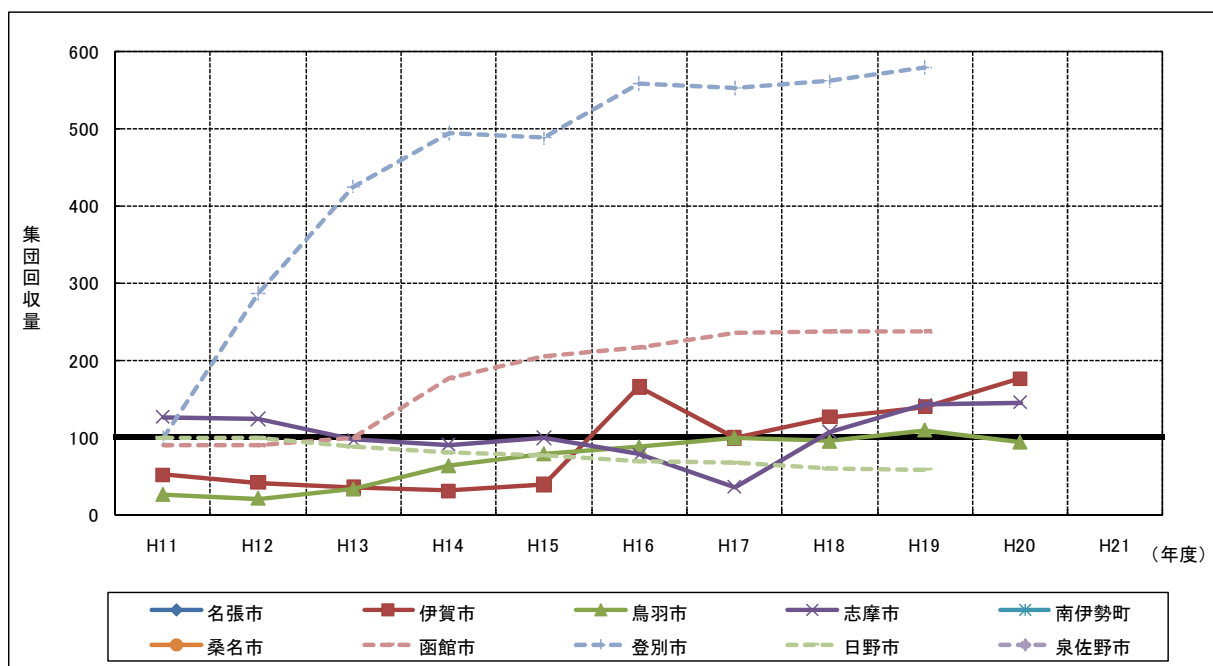
資料：平成11年度～平成19年度：一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度：三重県速報値

② 有料化実施市町と未実施市町の家庭系ごみ（集団回収量）の1人1日あたりの排出量推移(2)

市町名	有料化実施年月	③ 前年度対比の 集団回収量の1人1日あたり排出量の増減量率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
県内有料化 実施市町	名張市	H20.4	—	22.6	11.9	24.6	1.8	-76.8	-83.8	—	—	—	—
	伊賀市	H19.1	—	-19.1	-15.3	-12.1	26.2	318.5	-39.9	27.4	10.2	25.9	—
	鳥羽市	H18.10	—	-18.9	55.8	91.0	24.6	11.2	13.7	-4.6	15.4	-14.3	—
	志摩市	H16.10	—	-1.8	-21.6	-6.5	9.4	-21.2	-53.3	193.3	32.3	2.2	—
	南伊勢町	H17.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桑名市	H9.4	—	-6.9	-3.9	-22.2	-12.7	4.5	-25.0	—	—	—	—
県外有料化 未実施市町	津市	未実施	—	9.2	0.4	-8.2	-1.1	-4.7	-8.8	8.8	-10.9	-3.4	—
	四日市市	未実施	—	4.1	6.2	-0.2	7.4	6.5	3.3	3.9	-1.9	-3.0	—
	伊勢市	未実施	—	-3.1	-4.5	-13.0	-8.9	1.7	0.8	2.8	0.7	3.6	—
	尾鷲市	未実施	—	-36.0	-58.0	-64.4	5.8	14.1	-7.3	-5.0	21.2	8.4	—
	大紀町	未実施	—	38.7	98.7	42.1	48.1	1.2	6.1	3.4	5.0	-6.6	—
県外有料化 実施市町	函館市	H14.4	—	0.6	9.9	78.3	15.3	5.9	8.0	1.1	0.0	—	—
	登別市	H12.4	—	186.7	48.4	16.2	-1.3	14.4	-1.0	1.6	3.1	—	—
	幸手市	H18.10	—	4,613.7	-0.7	-12.4	0.9	-8.1	7.4	-1.5	-7.8	—	—
	日野市	H12.10	—	-0.2	-11.4	-9.2	-4.2	-8.3	-3.4	-10.3	-2.6	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	-3.6	-49.5	—	—	—	—	1,534.6	20.4	—	—
	桜井市	H12.10	—	97.9	-46.7	-14.8	11.7	-8.1	3.8	-2.0	-5.9	—	—
	全国	—	—	6.0	2.4	-1.3	0.4	3.4	2.6	2.0	-0.3	—	—

市町名	有料化実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 集団回収量の1人1日あたり排出量の増減											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
県内有料化 実施市町	名張市	H20.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伊賀市	H19.1	52	42	36	32	40	166	100	127	140	177	—
	鳥羽市	H18.10	26	21	33	64	79	88	100	95	110	94	—
	志摩市	H16.10	127	125	98	91	100	79	37	108	143	146	—
	南伊勢町	H17.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県外有料化 実施市町	函館市	H14.4	90	91	100	178	206	218	235	238	238	—	—
	登別市	H12.4	100	287	426	495	488	559	553	562	579	—	—
	幸手市	H18.10	0	116	115	100	101	93	100	99	91	—	—
	日野市	H12.10	100	100	88	80	77	70	68	61	60	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桜井市	H12.10	100	198	105	90	100	92	96	94	88	—	—

③ 県内有料化実施市町と県外実施市町の家庭系ごみ（集団回収量）の1人1日あたりの排出量推移（有料化導入前年を100とした場合）



(2) 家庭系ごみの有料化・資源回収量

① 有料化実施市町と未実施市町の家庭系ごみ（資源回収量）の1人1日あたりの排出量推移(1)

市町名	有料化実施年月	① 家庭系資源回収量の1人1日あたり排出量 (g/人・日)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	83	144	187	203	188	90	63	57	57	97	74
	伊賀市	H19.1	125	151	147	236	219	227	201	197	170	150	—
	鳥羽市	H18.10	79	74	86	68	167	166	187	198	192	172	—
	志摩市	H16.10	77	93	101	127	142	151	133	139	146	135	—
	南伊勢町	H17.10	63	106	133	130	136	149	148	154	147	143	—
	桑名市	H9.4	160	169	182	198	207	248	244	224	221	201	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	156	232	239	204	215	258	252	298	245	219	—
	四日市市	未実施	211	230	235	229	232	232	229	214	194	—	
	伊勢市	未実施	140	156	178	184	209	205	209	213	212	201	—
	尾鷲市	未実施	84	200	222	219	252	218	215	210	191	169	—
	大紀町	未実施	5	29	48	59	84	73	73	73	74	70	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	80	81	85	153	164	169	180	179	176	—	—
	登別市	H12.4	27	100	120	130	129	138	139	143	145	—	—
	幸手市	H18.10	39	192	198	185	185	186	191	245	250	—	—
	日野市	H12.10	110	185	251	250	247	236	235	229	216	—	—
	泉佐野市	H18.4	100	100	93	80	62	59	49	65	59	—	—
	桜井市	H12.10	88	200	158	130	141	167	169	178	168	—	—
全国	—	122	138	148	151	152	158	166	169	167	—	—	

市町名	有料化実施年月	② H11年度を基準とした 家庭系資源回収量の1人1日あたり排出量の増減量率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	73.1	123.9	143.7	125.2	7.9	-24.0	-31.9	-31.6	16.4	-11.7
	伊賀市	H19.1	—	21.1	17.6	89.5	75.6	81.8	61.6	57.7	36.8	20.4	—
	鳥羽市	H18.10	—	-6.3	8.8	-13.3	112.0	111.3	137.5	151.2	144.0	118.2	—
	志摩市	H16.10	—	21.3	31.5	65.6	85.3	97.7	74.0	82.0	90.1	76.3	—
	南伊勢町	H17.10	—	68.5	111.3	106.6	115.6	136.2	135.1	143.2	133.2	126.5	—
	桑名市	H9.4	—	5.7	13.7	23.8	29.4	55.4	52.9	40.6	38.2	25.9	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	48.7	53.0	30.9	37.7	65.7	61.6	90.9	57.2	40.6	—
	四日市市	未実施	—	9.3	11.5	8.6	10.0	9.9	9.9	8.5	1.3	-8.2	—
	伊勢市	未実施	—	11.8	27.8	32.0	49.4	46.9	49.7	52.5	51.5	44.1	—
	尾鷲市	未実施	—	136.8	162.9	158.9	198.1	158.1	154.7	148.2	126.0	100.2	—
	大紀町	未実施	—	469.2	847.6	1,064.7	1,560.4	1,340.3	1,342.3	1,352.7	1,358.2	1,287.5	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	1.6	6.5	90.6	104.7	111.2	124.8	123.7	119.6	—	—
	登別市	H12.4	—	267.4	340.8	377.6	373.2	407.5	409.9	425.4	432.6	—	—
	幸手市	H18.10	—	386	401	368	369	372	385	522	533	—	—
	日野市	H12.10	—	67.9	127.8	126.6	123.8	114.5	113.7	108.2	96.4	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	0.5	-7.2	-20.3	-38.1	-41.0	-50.4	-34.9	-41.0	—	—
	桜井市	H12.10	—	127.3	79.3	47.9	60.4	89.2	91.2	102.1	90.5	—	—
全国	—	—	13.1	21.2	23.8	25.0	29.5	36.4	39.0	37.3	—	—	

注1) 色付け部分は、有料化導入年度を示す。

注2) 市町村合併をおこなった市町は、旧各市町村の排出量の合計とした。

注3) 桑名市は平成9年に有料化を導入したため、参考数値として示した。有料化導入前年を100とした表については、前年数値を示していないため算出していない。

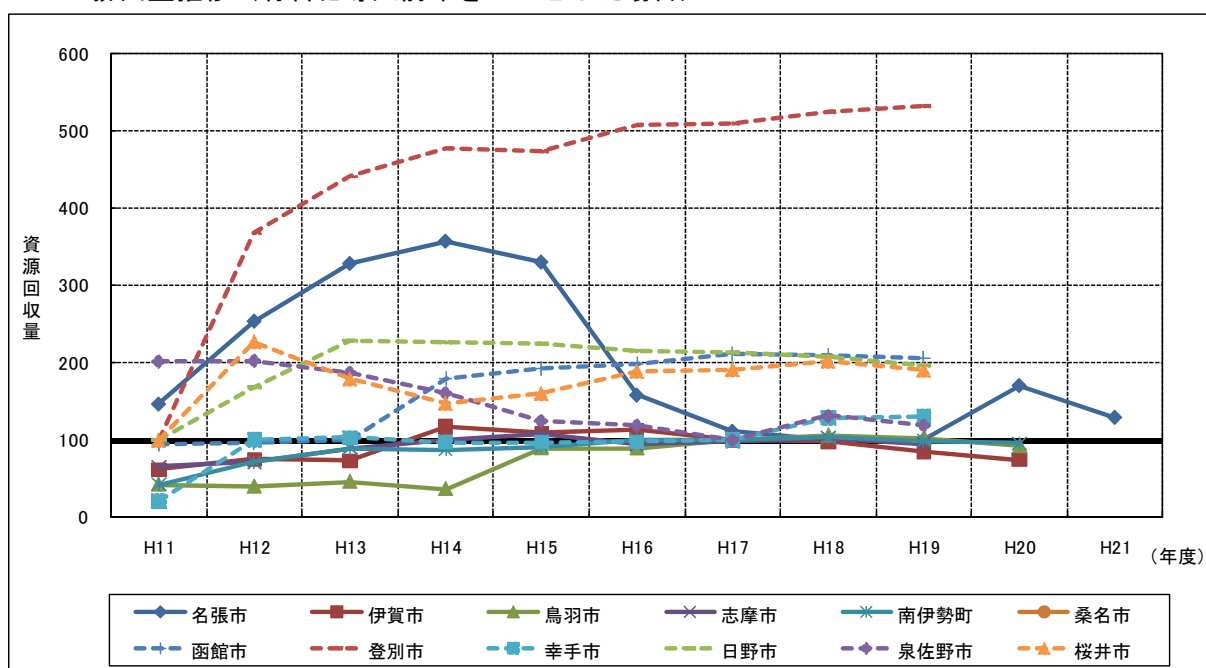
資料：平成11年度～平成19年度：一般廃棄物実態調査(環境省)、平成20年度：三重県速報値
平成21年度：伊賀南部衛生組合(平成21年1月末現在)

② 有料化実施市町と未実施市町の家庭系ごみ（資源回収量）の1人1日あたりの排出量推移(2)

市町名	有料化実施年月	③ 前年度対比の 家庭系資源回収量の1人1日あたり排出量の増減量率 (%)											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	—	73.1	29.4	8.8	-7.6	-52.1	-29.5	-10.5	0.4	70.2	-24.1
	伊賀市	H19.1	—	21.1	-2.9	61.1	-7.3	3.5	-11.1	-2.4	-13.3	-12.0	—
	鳥羽市	H18.10	—	-6.3	16.1	-20.3	144.5	-0.3	12.4	5.8	-2.9	-10.6	—
	志摩市	H16.10	—	21.3	8.4	25.9	11.9	6.7	-12.0	4.6	4.4	-7.3	—
	南伊勢町	H17.10	—	68.5	25.4	-2.2	4.4	9.6	-0.5	3.4	-4.1	-2.9	—
	桑名市	H9.4	—	5.7	7.5	8.9	4.5	20.2	-1.6	-8.1	-1.6	-8.9	—
未実施市町 県内有料化	津市	未実施	—	48.7	3.0	-14.5	5.2	20.3	-2.5	18.2	-17.7	-10.6	—
	四日市市	未実施	—	9.3	2.0	-2.6	1.3	0.0	0.0	-1.3	-6.6	-9.3	—
	伊勢市	未実施	—	11.8	14.3	3.3	13.2	-1.7	2.0	1.9	-0.7	-4.9	—
	尾鷲市	未実施	—	136.8	11.0	-1.5	15.1	-13.4	-1.3	-2.5	-8.9	-11.4	—
	大紀町	未実施	—	469.2	66.5	22.9	42.6	-13.3	0.1	0.7	0.4	-4.8	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	—	1.6	4.8	79.0	7.4	3.2	6.4	-0.5	-1.8	—	—
	登別市	H12.4	—	267.4	20.0	8.4	-0.9	7.3	0.5	3.0	1.4	—	—
	幸手市	H18.10	—	385.9	3.0	-6.5	0.2	0.5	2.7	28.2	1.8	—	—
	日野市	H12.10	—	67.9	35.7	-0.6	-1.2	-4.2	-0.4	-2.6	-5.7	—	—
	泉佐野市	H18.4	—	0.5	-7.6	-14.1	-22.4	-4.6	-16.0	31.3	-9.3	—	—
	桜井市	H12.10	—	127.3	-21.1	-17.5	8.4	18.0	1.1	5.7	-5.7	—	—
全国	—	—	13.1	7.2	2.1	1.0	3.6	5.3	2.0	-1.3	—	—	

市町名	有料化実施年月	④ 有料化導入前年度を100とした 家庭系資源回収量の1人1日あたり排出量の増減											
		H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
実施市町 県内有料化	名張市	H20.4	146	253	328	356	329	158	111	100	100	170	129
	伊賀市	H19.1	62	75	73	117	109	113	100	98	85	75	—
	鳥羽市	H18.10	42	39	46	37	89	89	100	106	103	92	—
	志摩市	H16.10	54	65	71	89	100	107	94	98	103	95	—
	南伊勢町	H17.10	42	71	89	87	91	100	100	103	99	96	—
	桑名市	H9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施市町 県外有料化	函館市	H14.4	94	95	100	179	192	198	211	210	206	—	—
	登別市	H12.4	100	367	441	478	473	507	510	525	533	—	—
	幸手市	H18.10	21	100	103	97	97	97	100	128	131	—	—
	日野市	H12.10	100	168	228	227	224	214	214	208	196	—	—
	泉佐野市	H18.4	202	203	187	161	125	119	100	131	119	—	—
	桜井市	H12.10	100	227	179	148	160	189	191	202	191	—	—

③ 県内有料化実施市町と県外実施市町の家庭系ごみ（資源回収量）の1人1日あたりの排出量推移（有料化導入前年を100とした場合）



資料4. 本調査対象の県内、県外市町のごみ分別状況（ごみ組成分析調査、ごみ減量化施策と減量化の効果）

市町名	燃やすごみ	燃やさないごみ	埋め立てごみ	粗大ごみ	缶	アルミ缶	スチール缶	スプレー缶	びん	リターナブルびん	無色のガラス製の容器	茶色のガラス製の容器	その他のガラス製の容器	ペットボトル	白色トレイ	プラスチック製容器包装	プラスチック	発泡スチロール	その他プラスチック	紙製容器包装	紙パック	牛乳パック	段ボール	古紙	新聞	チラシ・雑誌・その他紙類	古布	金属類	ガラス陶磁器	廃食油	有害ごみ	乾電池・蛍光管	温度計・体温計	その他		
																																			可燃	無色と有色
三重県内	名張市	○	○		○	○	○				○	○	○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	○			○	○				
	伊賀市	○			可燃	○	○				無色と有色		○			可燃					○		○	○	○	○	○				○					
	鳥羽市	○	○			○	○	○			○	○	○	○		○				○								○				○				
	志摩市	○	○		○	○	○		○					○	○		○	○	○			○	○		○	○	○	○	○			○				
	南伊勢町	○	○		○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○			○	○		○	○	○	○				○				
	桑名市	○	○		○	○	○				○	○	○	○	○		○					○	○		○	○	○					○	○	カセットテープ		
	津市	○	○						○					○					○			○	○	○	○	○	○					○				
	四日市市	○	○		○	○			○					○								○	○		○	○	○	○					○	○		
	伊勢市	○									○	○	○	○	○		○					○	○	○		○	○	○	○	○			○			
	尾鷲市	○			○			○		○	○	○	○	○	○				○			○	○		○	○	○	○	○				○	○	複合製品	
	大紀町	○	○		○	○			○					○																			○			
菰野町	○				○	○	○			○	○	○	○	○		○	○			○		○		○	○	○	○	○				○		小型電化製品		
三重県外	北海道函館市	○	○		○	○			○					○		○																○				
	北海道登別市	○	○		○	○			○					○																		○	○			
	埼玉県幸手市	○	○		○	○		○	○					○		○					○		○		○	○	○						○	○		
	東京都日野市	○	○		○	○		○	○					○	発泡トレイ							○	○		○	○	○						○	○	テープ類	
	大阪府泉佐野市	○			○	○								○								○		○		○	○								紙箱、紙袋	
	奈良県桜井市	○	○		○	○			○					○								○	○		○	○										

注1) 志摩市、伊勢市など合併後、旧市町村で分別の統一がされていない場合は、人口が最も多い旧市町村の分別状況を記載。

注2) 混合ごみの分別区分はなし。

資料) 各市町HP(平成22年3月現在)